

仙台市文化財調査報告書第456集

仙台市文化財調査報告書第456集

# 元袋遺跡・六反田遺跡・伊古田遺跡ほか

—仙台市富沢駅周辺土地区画整理事業関係遺跡発掘調査報告書VI—

[第2分冊]

元袋遺跡・六反田遺跡・伊古田遺跡ほか

[第2分冊]

二〇一七年三月

仙台市教育委員会

2017年3月

仙台市教育委員会

仙台市文化財調査報告書第456集

## 元袋遺跡・六反田遺跡・伊古田遺跡ほか

—仙台市富沢駅周辺土地区画整理事業関係遺跡発掘調査報告書VI—

[第2分冊]

2017年3月

仙台市教育委員会

# 本文目次

## 第2分冊

### 第2章

第4節 伊古田遺跡	1
1. 調査要項	1
2. 4A区の調査	(1) IV層検出の遺構と遺物 1 (2) V層検出の遺構と遺物 2 (3) 遺構外出土の遺物 4
3. 5A1区の調査	(1) IVa2層検出の遺構と遺物 4 (2) V層検出の遺構と遺物 4 (3) 遺構外出土の遺物 4
4. 5A2区の調査	(1) V層検出の遺構と遺物 5 (2) 遺構外出土の遺物 5
5. 5A3区の調査	(1) V層検出の遺構と遺物 5
6. 5B区の調査	(1) III層検出の遺構と遺物 5 (2) V層検出の遺構と遺物 6 (3) 遺構外出土の遺物 7
7. 6区の調査	7
8. まとめ	62
写真図版	67
第5節 大野田古墳群	84
1. 調査要項	84
2. 15A区の調査	(1) V層検出の遺構と遺物 84 (2) 遺構外出土の遺物 85
3. 15B区の調査	(1) III層検出の遺構と遺物 85
4. 15C区の調査	(1) IV層検出の遺構と遺物 86 (2) V層検出の遺構と遺物 86
5. 15D区の調査	(1) V層検出の遺構と遺物 86
6. 16A1区の調査	(1) V層検出の遺構と遺物 86 (2) 遺構外出土の遺物 87
7. 16A1西区の調査	(1) IV b層検出の遺構と遺物 87 (2) VII層検出の遺構と遺物 87
8. 16A2区の調査	(1) V層検出の遺構と遺物 87
9. 16A3区の調査	(1) V層検出の遺構と遺物 87
10. 16B区の調査	(1) V層検出の遺構と遺物 87 (2) 遺構外出土の遺物 88
11. 16C区の調査	(1) V層検出の遺構と遺物 88 (2) 遺構外出土の遺物 88
12. 16D区の調査	(1) III層検出の遺構と遺物 88 (2) IV層検出の遺構と遺物 89 (3) V層検出の遺構と遺物 89
13. 16E区の調査	(1) V層検出の遺構と遺物 89
14. 17A区の調査	(1) V層検出の遺構と遺物 89 (2) 仮C層(縄文時代の遺構確認面)検出の遺構と遺物 89 (3) 遺構外出土の遺物 90
15. 17B区の調査	(1) V層検出の遺構と遺物 90 (2) VIIc層検出の遺構と遺物 90 (3) 遺構外出土の遺物 90
16. まとめ	150
写真図版	157
第6節 袋前遺跡	174
1. 調査要項	174
2. 6区の調査	(1) V層検出の遺構と遺物 174
3. まとめ	174

第7節	伊古田B遺跡	176
1.	調査要項	176
2.	5区の調査	176
	(1) IVa層検出の遺構と遺物	176
	(2) IVb層検出の遺構と遺物	176
	(3) V層検出の遺構と遺物	176
3.	まとめ	179
	写真図版	181
第3章	総括	184
第1節	富沢駅周辺土地区画整理事業関係遺跡の調査成果	184
1.	縄文時代	184
2.	弥生時代	184
3.	古墳時代	184
4.	古代	185
5.	中世	186
6.	近世	186
第2節	小溝状遺構群と性格不明遺構について	186
第3節	木棺墓出土の管玉・ガラス小玉について	187
1.	管玉について	187
2.	ガラス小玉について	188
	(1) 観察方法	188
	(2) 観察結果	188
	(3) まとめ	189

引用参考文献  
報告書抄録

## 挿 図 目 次

第2分冊	第11図	SI108 (a期) 竪穴建物跡平面図・断面図	16
第2章	第12図	SI108 (b期) 竪穴建物跡平面図・断面図	17
第4節	第13図	SI109 竪穴建物跡平面図・断面図	18
第1図	第14図	SI110 竪穴建物跡平面図・断面図	19
第2図	第15図	SI110 竪穴建物跡出土遺物	19
SD1 出土遺物	第16図	SI111 (a期) 竪穴建物跡平面図・断面図	20
第3図	第17図	SI111 (b期) 竪穴建物跡平面図・断面図	21
伊古田遺跡 4A1 V層	第18図	SI111 (b期) 竪穴建物跡出土遺物	21
遺構配置図	第19図	SI111 (c期) 竪穴建物跡平面図・断面図	22
第4図	第20図	SI111 (c期) 竪穴建物跡出土遺物	22
伊古田遺跡 4A1 深掘りIX層	第21図	SI158 竪穴建物跡平面図・断面図	23
遺構配置図	第22図	SI159 竪穴住居跡平面図・断面図	24
第5図	第23図	SI159 竪穴住居跡出土遺物	25
伊古田遺跡 4A2 V層			
遺構配置図			
第6図			
伊古田遺跡 4A2 下層			
遺構配置図			
第7図			
SI35 竪穴住居跡平面図・断面図			
第8図			
SI36 竪穴住居跡平面図・断面図			
第9図			
SI86 竪穴建物跡平面図・断面図			
第10図			
SI86 竪穴建物跡出土遺物			

第24図	SB160 掘立柱建物跡平面図・断面図	26	第62図	S153 竪穴遺構平面図・断面図	51
第25図	SB205 掘立柱建物跡平面図・断面図	27	第63図	S160 竪穴住居跡平面図・断面図	52
第26図	SK 土坑平面図・断面図	28	第64図	S160 竪穴住居跡出土遺物	53
第27図	SK153 土坑出土遺物	28	第65図	S161 竪穴住居跡平面図・断面図	53
第28図	SR213 河川跡断面図	29	第66図	S179 竪穴住居跡平面図・断面図	54
第29図	SR213 河川跡出土遺物	29	第67図	S179 竪穴住居跡出土遺物	54
第30図	SD39・139 溝跡断面図	30	第68図	S183 竪穴住居跡平面図・断面図	55
第31図	溝跡出土遺物	30	第69図	S1102 竪穴住居跡平面図・断面図	55
第32図	IV層出土遺物	30	第70図	S1234 竪穴住居跡平面図・断面図	56
第33図	伊古田遺跡 5A1区IV a2層 遺構配置図	31	第71図	S1234 竪穴住居跡出土遺物	56
第34図	S132 竪穴住居跡平面図・断面図	32	第72図	土坑平面図・断面図(1)	57
第35図	S132 竪穴住居跡出土遺物(1)	32	第73図	土坑平面図・断面図(2)	58
第36図	S132 竪穴住居跡出土遺物(2)	33	第74図	SK68 土坑出土遺物	58
第37図	SR19 河川跡断面図	33	第75図	SX80 性格不明遺構平面図・断面図	59
第38図	IV a2層遺構外出土遺物	33	第76図	溝跡断面図	59
第39図	伊古田遺跡 5A1区V層遺構配置図	34	第77図	SD228 溝跡出土遺物	59
第40図	SB60 掘立柱建物跡平面図・断面図	35	第78図	遺構外出土遺物	60
第41図	SD46 溝跡断面図	35	第79図	伊古田遺跡 6区遺構配置図	61
第42図	伊古田遺跡 5A2区V層 遺構配置図	37・38	第5節		
第43図	S192 竪穴住居跡平面図・ 断面図(1)	39	第1図	大野田古墳群 15A区V層 遺構配置図	91
第44図	S192 竪穴住居跡断面図(2)	40	第2図	SB10 掘立柱建物跡 SD18・77・94 溝跡平面図	92
第45図	S192 竪穴住居跡出土遺物	40	第3図	SB10 掘立柱建物跡 SD18・77・94 溝跡断面図	93
第46図	SB43 掘立柱建物跡平面図・断面図	41	第4図	SB82 掘立柱建物跡平面図・断面図	94
第47図	土坑平面図・断面図	41	第5図	SB89 掘立柱建物跡平面図・断面図	95
第48図	溝跡断面図	42	第6図	SB133 掘立柱建物跡 SD36・117・140 溝跡平面図	96
第49図	溝跡出土遺物(1)	42	第7図	SB133 掘立柱建物跡 SD177 溝跡断面図	97
第50図	溝跡出土遺物(2)	43	第8図	土坑平面図・断面図	98
第51図	P285 ビット V層出土遺物	43	第9図	土坑出土遺物(1)	98
第52図	伊古田遺跡 5A3区V層遺構配置図	44	第10図	土坑出土遺物(2)	99
第53図	伊古田遺跡 5B区III層 遺構配置図	45・46	第11図	SX126 性格不明遺構平面図・断面図 SD119・125・132 溝跡断面図	99
第54図	SK16・78 土坑平面図・断面図	47	第12図	IV層遺構外出土遺物	100
第55図	土坑出土遺物	47	第13図	大野田古墳群 15B区III層 遺構配置図	101
第56図	SX24・25 性格不明遺構平面図・ 断面図	47	第14図	SD1～3 溝跡断面図	101
第57図	溝跡断面図	47	第15図	大野田古墳群 15C1区V層 遺構配置図	102
第58図	溝跡出土遺物	48	第16図	大野田古墳群 15C2区IV層 遺構配置図	103
第59図	伊古田遺跡 5B区V層 遺構配置図	49・50			
第60図	S152 竪穴遺構平面図・断面図	51			
第61図	S152 竪穴遺構出土遺物	51			

第 17 図	大野田古墳群 15C2 区 V 層 遺構配置図	104	第 49 図	SB23 掘立柱建物跡平面図・ 断面図	131・132
第 18 図	SD30 溝跡断面図	105	第 50 図	SK1 土坑平面図・断面図	133
第 19 図	大野田古墳群 15D 区 V 層 遺構配置図	106	第 51 図	SD5 溝跡断面図	133
第 20 図	38 号墳周溝平面図・断面図	107	第 52 図	大野田古墳群 16D 区 IV 層 遺構配置図	134
第 21 図	38 号墳周溝出土遺物	107	第 53 図	SD12 ～ 15 溝跡断面図	135
第 22 図	大野田古墳群 16A1 区 V 層 遺構配置図	108	第 54 図	大野田古墳群 16D 区 V 層 遺構配置図	136
第 23 図	大野田古墳群 16A1 西区 IV b 層 遺構配置図	109	第 55 図	大野田古墳群 16E 区 V 層 遺構配置図	137
第 24 図	大野田古墳群 16A1 西区 VII 層 遺構配置図	110	第 56 図	大野田古墳群 17A 区 V 層 遺構配置図	138
第 25 図	33 号墳周溝平面図・出土遺物	111	第 57 図	S11 竪穴住居跡平面図・断面図	139
第 26 図	SD16 溝跡出土遺物	112	第 58 図	S135 竪穴住居跡平面図・断面図	140
第 27 図	P92 ビット出土遺物	112	第 59 図	S135 竪穴住居跡出土遺物	140
第 28 図	IV 層遺構外出土遺物	112	第 60 図	S142 竪穴住居跡平面図・断面図	141
第 29 図	大野田古墳群 16A2 区 V 層 遺構配置図	113	第 61 図	SD20 溝跡断面図・出土遺物	141
第 30 図	SD26 溝跡出土遺物	114	第 62 図	大野田古墳群 17A 区 仮 C 層 遺構配置図	142
第 31 図	大野田古墳群 16A3 区 V 層 遺構配置図	115・116	第 63 図	S141 竪穴住居跡平面図・断面図	143
第 32 図	土坑平面図・断面図	117	第 64 図	I 層遺構外出土遺物	143
第 33 図	大野田古墳群 16B1 区 V 層 遺構配置図	118	第 65 図	SK43 土坑平面図・断面図	144
第 34 図	大野田古墳群 16B2 区 V 層 遺構配置図	119	第 66 図	大野田古墳群 17B 区 V 層 遺構配置図	145
第 35 図	S164 竪穴住居跡平面図・断面図	120	第 67 図	土坑平面図・断面図	146
第 36 図	S164 竪穴住居跡出土遺物	120	第 68 図	SD14 溝跡出土遺物	146
第 37 図	SD1 溝跡断面図	121	第 69 図	大野田古墳群 17B 区 VII c 層 遺構配置図	147
第 38 図	IV 層遺構外出土遺物	121	第 70 図	SX29 性格不明遺構平面図・断面図	148
第 39 図	大野田古墳群 16C1 区 V 層 遺構配置図	122	第 71 図	SX29 性格不明遺構出土遺物	148
第 40 図	大野田古墳群 16C2 区 V 層 遺構配置図	123	第 72 図	SK30 土坑出土遺物	149
第 41 図	1 号墳周溝平面図・断面図	124	第 73 図	VII d 層遺構外出土遺物	149
第 42 図	1 号墳周溝出土遺物 (1)	125	第 74 図	大野田古墳群出土の文字資料 (1)	151
第 43 図	1 号墳周溝出土遺物 (2)	126	第 75 図	大野田古墳群出土の文字資料 (2)	151
第 44 図	2 号墳周溝平面図・断面図	127	第 76 図	古代の文字関連資料が 出土した遺跡と地区	153
第 45 図	2 号墳周溝出土遺物	127	第 6 節		
第 46 図	30 号墳周溝平面図・断面図	128	第 1 図	袋前遺跡 6 区 V 層遺構配置図	175
第 47 図	III 層遺構外出土遺物	128	第 7 節		
第 48 図	大野田古墳群 16D 区 III 層 遺構配置図	129	第 1 図	伊古田 B 遺跡 5 区 IV a ～ V 層 遺構配置図	177・178
			第 2 図	SD2 溝跡断面図	179

第3章	
第2節	
第1図	性格不明遺構の分布模式図 ……187
第3節	

第2図	ガラス小玉の製作技法 (倍率不同) ……188
第3図	ガラス小玉の製作技法別の 形状分布図 ……189

## 表 目 次

第2分冊	
第2章	
第4節	
第1表	遺構一覧表 (1) ……63
第2表	遺構一覧表 (2) ……64
第3表	遺構一覧表 (3) ……65
第5節	
第1表	遺構一覧表 (1) ……154
第2表	遺構一覧表 (2) ……155
第3表	遺構一覧表 (3) ……156
第6節	
第1表	遺構一覧表 ……174
第7節	

第1表	遺構一覧表 ……179
第3章	
第1表	仙台市富沢駅周辺土地区画整理事業関係 遺跡報告書別調査成果一覧 (1) ……190
第2表	仙台市富沢駅周辺土地区画整理事業関係 遺跡報告書別調査成果一覧 (2) ……191
第3表	仙台市富沢駅周辺土地区画整理事業関係 遺跡報告書別調査成果一覧 (3) ……192
第4表	仙台市富沢駅周辺土地区画整理事業関係 遺跡報告書別調査成果一覧 (4) ……193
第5表	仙台市富沢駅周辺土地区画整理事業関係 遺跡報告書別調査成果一覧 (5) ……194

## 写真図版目次

第2分冊	
第2章	
第4節	
写真図版1	伊古田遺跡 (1) ……69
写真図版2	伊古田遺跡 (2) ……70
写真図版3	伊古田遺跡 (3) ……71
写真図版4	伊古田遺跡 (4) ……72
写真図版5	伊古田遺跡 (5) ……73
写真図版6	伊古田遺跡 (6) ……74
写真図版7	伊古田遺跡 (7) ……75
写真図版8	伊古田遺跡 (8) ……76
写真図版9	伊古田遺跡 (9) ……77
写真図版10	伊古田遺跡出土遺物 (1) ……78
写真図版11	伊古田遺跡出土遺物 (2) ……79
写真図版12	伊古田遺跡出土遺物 (3) ……80
写真図版13	伊古田遺跡出土遺物 (4) ……81
写真図版14	伊古田遺跡出土遺物 (5) ……82
写真図版15	伊古田遺跡出土遺物 (6) ……83

第5節	
写真図版1	大野田古墳群 (1) ……159
写真図版2	大野田古墳群 (2) ……160
写真図版3	大野田古墳群 (3) ……161
写真図版4	大野田古墳群 (4) ……162
写真図版5	大野田古墳群 (5) ……163
写真図版6	大野田古墳群 (6) ……164
写真図版7	大野田古墳群 (7) ……165
写真図版8	大野田古墳群 (8) ……166
写真図版9	大野田古墳群 (9) ……167
写真図版10	大野田古墳群 (10) ……168
写真図版11	大野田古墳群出土遺物 (1) ……169
写真図版12	大野田古墳群出土遺物 (2) ……170
写真図版13	大野田古墳群出土遺物 (3) ……171
写真図版14	大野田古墳群出土遺物 (4) ……172
写真図版15	大野田古墳群出土遺物 (5) ……173
第7節	
写真図版1	伊古田B遺跡 ……183



## 第4節 伊古田遺跡

### 1. 調査要項

- (1) 遺跡名：伊古田遺跡（宮城県遺跡登録番号 01191）
- (2) 所在地：仙台市太白区大野田字千刈田・塚田
- (3) 調査面積：約 3,145 m<sup>2</sup>
  - ・平成 22 年度：約 1,109 m<sup>2</sup>（4A1・4A2 区）
  - ・平成 23 年度：約 2,975 m<sup>2</sup>（4A2・5A1・5A2・5A3・5B 区）
  - ・平成 24 年度：約 170 m<sup>2</sup>（6 区）
- (4) 調査主体：仙台市教育委員会
- (5) 調査担当：仙台市教育委員会文化財課
- (6) 担当職員
  - ・平成 22 年度：平間亮輔・川本剛史  
（派遣調査員：蝦名 純／縣三協技術）
  - ・平成 23 年度：平間亮輔・及川謙作・川本剛史  
（派遣調査員：蝦名 純／国際文化財課）
  - ・平成 24 年度：平間亮輔
- (7) 調査期間
  - （野外調査）平成 22 年度：平成 22 年 11 月 8 日～平成 23 年 3 月 11 日
  - ・平成 23 年度：平成 23 年 5 月 19 日～平成 24 年 1 月 17 日
  - ・平成 24 年度：平成 24 年 7 月 17 日～8 月 23 日

### 2. 4A 区の調査

調査区は、平成 22 年度に調査を行った北側の 1 区と、平成 22・23 年度に行った南側の 2 区に分かれる。

1 区では、基本層 IV 層上面（古代の遺構検出面）において、溝跡 7 条、小溝状遺構群 3 群 27 条を検出した。V 層上面（古墳時代～古代の遺構検出面）では、竪穴住居跡 2 軒、土坑 2 基、溝跡 1 条、小溝状遺構 46 条、ピット 78 基を検出した。

2 区では、V 層上面において、竪穴住居跡 1 軒、竪穴建物跡 6 棟、掘立柱建物跡 2 棟、土坑 14 基、河川跡 1 条、性格不明遺構 1 基、溝跡 16 条、小溝状遺構群 3 群 84 条、ピット 174 基を検出した。

4A1 区及び 2 区で下層の調査を行ったが（第 4・6 図）遺構は検出されなかった。

#### (1) IV 層検出の遺構と遺物（第 1・2 図、写真図版 1・10）

##### SD1 溝跡（第 1・2 図、写真図版 1・10）

1 区南西側 W160・S120～130 グリッドで検出した東西方向の溝跡である。西側と南側は調査区外へ延びる。SD7 溝跡と重複し本溝跡が新しい。平面形は不整形を呈し、検出長は 9.8m、溝幅は 2m 以上あり、深さは 11～70cm を測る。底面は起伏があり、西側が深くなる。

堆積土中から在地産の中世陶器摺鉢が 2 点出土し、中世の遺構の可能性がある。

##### SD7 溝跡（第 2 図、写真図版 1）

1 区中央南西側 W160～170・S100～120 グリッドで検出した L 字状を呈する溝跡である。SD1 溝跡、小溝状遺構群と重複し、SD1 溝跡より古く、小溝状遺構群 II・III 群より新しい。検出長は東西 11.2m、南北 18.6m を測るが途中 4m 程途切れる。断面観察では IV 層上面から掘り込まれていることが判明した。溝幅は 65～110cm、IV 層上面からの深さは 40cm を測る。方向は東西方向が N-66°-W、南北方向 N-23°-E である。断面形は U 字形を呈し、堆積土は 3 層に分けられ、自然堆積である。

本溝跡に伴うと考えられる遺物は出土していないが、検出層位などから中世以降に下る可能性がある。

(2) V層検出の遺構と遺物 (第3・5・7～31図、写真図版1～5・10・14)

1区 SI35 竪穴住居跡 (第7図、写真図版1)

〔位置〕調査区南東隅 W150～170・S120 グリッドで検出した。

〔重複関係〕ピット群と重複し本住居跡が古い。本地区の南側には伊古田 4A2 区が隣接し、東端で SD139 溝跡を検出した。本調査区では検出されなかったが、本住居跡の内側に隣接あるいは重複して延びていたものと考えられる。

〔規模・形態〕一部のみの検出であるが方形を呈すると考えられる。本住居跡は、本地区の南側に隣接する伊古田 4A2 区側に広がっているものと推測されるが、同箇所には SD139 溝跡があり、重複して壊されている可能性がある。

〔主軸方向〕N-55° -E

〔堆積土〕堆積土は7層に分けられ、掘り方は認められない。

〔壁面〕やや外傾して立ち上がる。壁高は最大 25cm を測る。

〔柱穴〕検出されなかった。

〔床面〕掘り込んだ面をそのまま床面としている。

〔炉跡〕焼土範囲が認められた。炉跡の可能性はある。

〔周溝〕北東側床面残存部分で検出した。

〔出土遺物〕掲載遺物なし。炉跡の可能性のある焼土範囲を検出したことや、4A2 区 SD139 溝跡から古墳時代前期の可能性のある瓦片が出土したことから、時期は古墳時代前期の可能性はある。

1区 SI36 竪穴住居跡 (第8図、写真図版1)

〔位置〕調査区中央南西側 W170・S110 グリッドに位置する。伊古田遺跡 5A2 区で南西側のコーナ一部分を検出した。

〔重複関係〕SK37 土坑、小溝状遺構群と重複し本住居跡が古い。

〔規模・形態〕北東・南西 3.76 m、北西・南東約 4.0 m を測り、方形を呈すると考えられる。

〔主軸方向〕N-51° -E

〔堆積土〕堆積土は2層に分けられ、掘り方は認められない。

〔壁面〕床面から垂直に立ち上がる。壁高は 24cm を測る。

〔柱穴〕検出されなかった。

〔周溝〕検出されなかった。

〔その他の施設〕南東側壁際に楕円形を呈する土坑 1 基を検出した。

〔床面〕掘り込んだ面をそのまま床面としている。

〔カマド・炉跡〕検出されなかった。

〔出土遺物〕掲載できる遺物は出土しなかった。

2区 SI86 竪穴建物跡 (第9・10図、写真図版1・10)

〔位置〕調査区南東側 W160・S130～140 グリッドで検出した。

〔重複関係〕小溝状遺構群と重複し、小溝状遺構群より新しい。

〔規模・形態〕南北 2.62 m、東西 2.58 m を測り、隅丸方形を呈する。

〔主軸方向〕N-1° -W

〔堆積土〕堆積土は5層に分けられ、炉跡南側に6・7層が堆積する。6層は焼土粒を多量に含み、7層は上面に灰、炭化物が認められる。掘り方は認められない。

〔壁面〕床面から緩やかに外傾して立ち上がる。北側と南側は中央部に段がある。壁高は 56cm を測る。

〔柱穴〕底面でピットを壁柱穴 8 基を検出した。

〔周溝〕検出されなかった。

〔床面〕掘り込んだ面をそのまま床面としている。中央部がやや高くなっている。

〔炉跡〕北西側で焼土面を検出した。炉跡と考えられる。

〔出土遺物〕縄文時代晩期の壺形土器が出土したが、遺構の時期は中世と考えられる。

2区 SI111 (a・b・c期) 竪穴建物跡 (第16～20図、写真図版4・10)

〔位置〕調査区中央東側 W160～170・S120～130 グリッドで検出した。

[重複関係] SD143 溝跡、小溝状遺構群、S1110 竪穴建物跡と重複し、SD143 溝跡、小溝状遺構群より新しく、S1110 竪穴建物跡より古い。本竪穴建物跡は2度建て替えをしており、新しい方から a・b・c 期とする。

[規模・形態] a 期は東西 5.1 m、南北 4.7 m を測り、隅丸方形を呈する。b 期は東西 4.4 m、南北 4.7 m を測り、北西側と北東側の周溝がやや角張るが隅丸方形を呈する。c 期は東西 3.8 m、南北 3.1 m を測り、隅丸長方形を呈する。

[主軸方向] a 期・b 期は N-5° -E である。c 期は N-9° -E である。

[堆積土] a 期・b 期はそれぞれ 2 層に分けられ 2 層は周溝堆積土である。c 期は、3 層に分けられ 3 層は周溝堆積土である。共に掘り方は認められない。

[壁面] a 期は、床面から緩やかに外傾して立ち上がる。壁高は 30cm を測る。b・c 期はともに壁は残存しない。

[柱穴] a 期は底面でピット 2 基を検出した。P1 は柱痕跡を確認した。b 期はピット 8 基を検出した。主柱穴と考えられる。P1・4 は柱痕跡を確認した。c 期は炉跡付近にピット 1 基を検出した。そのほか周溝内にピット状の不整な掘り込みを多数検出した。

[周溝] a 期は南側中央部と北東側を除き検出した。b 期は、北東側、北西側、西側、南側の一部で検出した。c 期は、東側で検出し、周溝と床面の間がテラス状になっている。

[床面] それぞれ拡張した面、古い竪穴の堆積土上面、掘り込んだ面をそのまま床面としている。

[炉跡] c 期の床面は、中央北東寄り検出した。

[出土遺物] b・c 期堆積土中から中世陶器片がわずかに出土した。時期は中世と考えられる。

## 2 区 SI159 竪穴住居跡 (第 22・23 図、写真図版 5・10・14)

[位置] 調査区中央南側 W180 ~ 190・S120 ~ 130 グリッドで検出した。南側に隣接する伊古田遺跡 5A2 区の調査より全体を確認した。

[重複関係] 小溝状遺構群、ピット群と重複し本住居跡が古い。

[規模・形態] 北東・南西 5.8 m、北西・南東約 5.9 m を測り、隅丸方形を呈する。

[主軸方向] N-38° -E

[堆積土・構築土] 調査区をまたいだ調査のため全体の整合性は不明である。4A2 区では 12 層に分けられ、1 ~ 11 層はカマドを含む堆積土、12 層は掘り方埋土である。5B 区では 8 層に分けられ 1 ~ 6 層は堆積土、7・8 層は掘り方埋土である。

[壁面] 床面から垂直ぎみに立ち上がる。壁高は 40cm を測る。

[柱穴] 床面でピットを 17 基検出した。いずれも柱痕跡は確認されない。

[周溝] カマド周辺を除き全周する。

[床面] 掘り方埋土上面を床面としている。

[カマド] 北東壁中央で検出した。

[掘り方] 平坦である。

[出土遺物] 非クロコ土師器・甕、須恵器円面硯・蓋のほか鉄鏝などの鉄製品、土製支脚などが出土した。時期は 8 世紀後半頃と考えられる。その他に堆積土中から灰陶器壺片が出土した。

## SB160 掘立柱建物跡 (第 24 図、写真図版 5)

2 区北側中央 W170 ~ 180・S120 グリッドで検出された。SI108・158 竪穴建物跡、小溝状遺構群 III 群と重複し、SI108・158 竪穴建物跡より古く、小溝状遺構群 III 群より新しい。北東の P10 は 4A1 区 V 層で検出した柱穴で SI36 竪穴住居跡より新しい。桁行 3 間、梁行 2 間の側柱建物跡で、主軸方向は N-61° -W である。桁行の総長は 7.3 m、梁行の総長は東西 4.7 m を測る。掘り方は隅丸長方形を呈するものが多く、長辺 80 ~ 110cm、短辺 40 ~ 85cm を測る。深さは 40 ~ 85cm あり、4 隅の柱穴が比較的深く掘り込まれている。いずれの柱穴からも柱痕跡は確認されなかった。遺物の出土は確認されなかった。

## SD139 溝跡 (第 5・30・31 図、写真図版 5・10)

2 区東側 W160 ~ 170・S120 ~ 130 グリッドで検出した。小溝状遺構群 I ~ III 群、ピット群と重複しこれよりも古い。北側の 4A1 区 SI35 竪穴住居跡より新しいと考えられるが直接の関係は不明である。主軸方向は N-53° -E である。南側の 5B 区 SD48・81 溝跡に連続する遺構と考えられる。検出長は 13.9 m、幅 1.8 ~ 2.2 m、断面形は V 字状を呈し、

深さは67cmである。堆積土は3層に分けられ、自然堆積である。遺物は非クロコの土師器甕が出土した。

**SD203 溝跡** (第5・31図、写真図版10)

2区西側W180・S110～120グリッドで検出した。SB205掘立柱建物跡、SD204溝跡、小溝状遺構群Ⅰ・Ⅱ群と重複し、SB205掘立柱建物跡、小溝状遺構群より新しくSD204溝跡よりも古い。北側の5A2区SD1溝跡に連続するものと思われ、南側の5B区SD23溝跡と連続する可能性もある。主軸方向はN-21°-Eである。検出長は15.8m、幅は0.9～1.4mを測る。断面形は皿形を呈し、深さ32cmである。堆積土は4層に分けられ、自然堆積である。

堆積土中からクロコ土師器環と須恵器環が出土した。時期は9世紀前半頃である。土師器環の外周底部には線刻が認められるものがある。

**(3) 遺構外出土の遺物** (第32図、写真図版10)

IV層から弥生時代後期の土器、古墳時代前期の器台、古代の須恵器環が出土した。

### 3. 5A1 区の調査

IV a2層上面において、堅穴住居跡1軒、河川跡1条、小溝状遺構群3群34条を検出した。V層上面において、掘立柱建物跡1棟、溝跡1条、小溝状遺構群2群21条、ピット群を検出した。

**(1) IV a2層検出の遺構と遺物** (第33～37図、写真図版5・6・11)

**S132 堅穴住居跡** (第34～36図、写真図版5・11)

〔位置〕 調査区南西側W160・S80～90グリッドで検出した。

〔重複関係〕 小溝状遺構群Ⅱ・Ⅲ群と重複し本住居跡が新しい。

〔規模・形態〕 南北2.85m、東西2.57mを測り、隅丸長方形を呈する。

〔主軸方向〕 N-29°-E

〔堆積土・構築土〕 17層に分けられ、1～3層は堆積土、4～14層はカマド堆積土、15・16層は掘り方埋土、17層はカマド袖構築土である。

〔壁面〕 床面から外傾して立ち上がる。壁高は45cmを測る。

〔柱穴〕 床面でピットを3基検出した。いずれも浅い皿状の掘り込みである。

〔周溝〕 検出されなかった。

〔床面〕 掘り方埋土上面を床面としている。ほぼ平坦である。

〔カマド〕 北東壁中央やや東寄りで検出した。燃焼部に被熱範囲が認められない。煙道部は約90cm壁外へ伸び、煙出し部は径40cm、深さ60cmのピットが掘り込まれ、その上部に底部を打ち欠いた土師器甕を、正位で据えている。ピット上面には甕を据えるため60×95cmの隅丸長方形の掘り方が認められた。

〔掘り方〕 ほぼ平坦に掘り込まれている。

〔出土遺物〕 非クロコ土師器、環、クロコ土師器環、須恵器蓋、クロコ土師器甕、刀子などの鉄製品、砥石などの石製品が出土した。時期は8世紀末葉から9世紀初頭頃と考えられる。

**(2) V層検出の遺構と遺物** (第39～41図、写真図版6)

**SB60 掘立柱建物跡** (第40図、写真図版6)

調査区北側中央W150・S80グリッドで検出した。小溝状遺構群Ⅲ群、SR19河川跡と重複し、いずれよりも古い。桁行2間以上、梁行2間の側柱建物跡で、主軸方向はN-33°-Eである。桁行の総長は3.15m以上、柱間寸法は1.2～1.64mを測る。梁行の総長は2.78m、柱間寸法は1.46～1.68mを測る。掘り方は隅丸長方形を呈するものが多く、長辺40～62cm、短辺36～50cmを測る。深さは14～44cmを測り、P1・6を除き柱痕跡が確認された。遺物の出土は確認されなかった。

**(3) 遺構外出土の遺物** (第38図、写真図版11)

IV a2層から土製品の土鍾が出土した。

#### 4. 5A2 区の調査

V層上面において、竪穴住居跡1軒、掘立柱建物跡1棟、土坑7基、溝跡23条、小溝状遺構群2群57条、ビット323基を検出した。

##### (1) V層検出の遺構と遺物 (第42～51図、写真図版6・7・11・12)

###### S192 竪穴住居跡 (第43～45図、写真図版6・11)

[位置] 調査区中央西寄り W180・S100 グリッドで検出した。

[重複関係] SD41・56・88・93 溝跡、ビット群と重複し、本住居跡が古い。

[規模・形態] 北東・南西 8.00 m、北西・南東 7.25 m を測る大形の竪穴で、隅丸方形を呈する。

[主軸方向] N-53° -E

[堆積土・構築土] 11 層に分けられ、1～10 層は堆積土、11 層は掘り方埋土である。

[壁面] 床面から垂直ぎみに立ち上がる。壁高は 40cm を測る。

[柱穴] 床面でビットを 24 基検出した。位置などから P21～24 の 4 基が主柱穴と思われ、P20 も柱痕跡が確認されている。P19 は貯蔵穴の可能性もある。

[周溝] 溝跡に削平されている部分があるが、全周するものと考えられる。

[床面] 掘り方埋土上面を床面としている。ほぼ平坦である。

[その他の施設] 北東側に SD1 溝跡、南東側に SD2 溝跡を検出した。北東部を区画する間仕切り溝と考えられる。

[伊跡] 検出されなかった。溝跡に削平されたものと考えられる。

[掘り方] ほぼ平坦に掘り込まれている。

[出土遺物] 床面から口縁部を欠損した土師器甕が出土した。時期は古墳時代前期 4 世紀頃と考えられる。

##### (2) 遺構外出土の遺物 (第51図、写真図版12)

V層から古墳時代前期の甕と古代の土師器環が出土した。

#### 5. 5A3 区の調査

V層上面において、河川跡1条、小溝状遺構3条、ビット11基を検出した。

##### (1) V層検出の遺構と遺物 (第52図、写真図版7)

東側で南北方向1条、東西方向2条の小溝状遺構を検出した。

#### 6. 5B 区の調査

III層上面において、土坑17基、性格不明遺構2基、溝跡11条、ビット群を検出した。V層上面において、竪穴住居跡6軒、竪穴遺構2基、土坑18基、溝跡9条、小溝状遺構群4群63条、ビット群を検出した。

##### (1) III層検出の遺構と遺物 (第53～58図、写真図版7・12・13)

###### SK16 土坑 (第54・55図、写真図版13)

調査区中央北側 W180～190・S130 グリッドで検出した。SD21 溝跡と重複し本土坑が古い。平面形は隅丸方形を呈すると思われる、南北 122cm を測る。断面形は箱形で堆積土は 3 層に分けられ自然堆積と思われる、深さは 32cm を測る。

遺物は最下層から赤焼土器環が出土し、灰釉陶器蓋も堆積土中から出土した。赤焼土器環は小形で 10 世紀後半頃の遺物と考えられる。

###### SD21・22・23 溝跡 (第53・57・58図、写真図版12・13)

いずれも南北方向の溝跡で SD22 溝跡は北側の 4A2 区 V層検出の SD204 溝跡、5A2 区 V層検出の SD41 溝跡に連続する溝跡と考えられる。SD23 溝跡は、堆積土の観察から 3 時期の変遷があるが、4A2 区 V層検出の SD203 溝跡、5A2 区 V層検出の SD1 溝跡に連続する溝跡の可能性ある。SD21 溝跡は 4A2 区 V層検出の SD161 溝跡に連続する溝跡の可能性ある。4A2・5A2 区では III層は検出されておらず、これらの溝跡は他の地区でも III層から掘り込まれていたと考えられる。この内 SD22 溝跡は調査区中央 W190～200・S130～150 グリッドで検出した。SD20 溝跡と重複し、本溝跡が新しい。主軸方向は N-3° -E である。検出長は 14.85 m、幅は 1.4～2.15 m を測り、断面形は逆台形を呈し、深さ 60cm である。堆積土は 7 層に分けられる。

堆積土中から主に12世紀後半から13世紀中頃の常滑窯産の陶器が出土した。

(2) V層検出の遺構と遺物 (第59～77図、写真図版8・9・13・14)

S152 竪穴遺構 (第60・61図、写真図版8・13)

〔位置〕調査区中央北側W170～180・S130グリッドで検出した。

〔重複関係〕S153竪穴住居跡、ビット群と重複し、S153竪穴住居跡より新しく、ビット群より古い。

〔規模・形態〕南北2.35m、東西2.25mを測り、隅丸方形を呈する。

〔主軸方向〕N-37°-W

〔堆積土・構築土〕4層に分けられ、1～3層は堆積土、4層は掘り方理土である。

〔壁面〕床面から外傾して立ち上がる。壁高は11cmを測る。

〔柱穴〕床面でビットを2基検出した。

〔周溝〕検出されなかった。

〔床面〕掘り方理土上面を床面としている。ほぼ平坦である。

〔炉跡〕検出されなかった。

〔掘り方〕ほぼ平坦に掘り込まれている。

〔出土遺物〕土師器が発見された。時期は古墳時代前期4世紀頃と考えられる。

S160 竪穴住居跡 (第63・64図、写真図版8・14)

〔位置〕調査区中央東側W160・S140グリッドで検出した。

〔重複関係〕S145溝跡、小溝状遺構群、ビット群と重複し、いずれよりも古い。

〔規模・形態〕南北4.80m、東西4.16mを測り、隅丸長方形を呈する。

〔主軸方向〕N-28°-W

〔堆積土・構築土〕堆積土は単層で、掘り方はない。

〔壁面〕床面からやや外傾して立ち上がる。壁高は19cmを測る。

〔柱穴〕床面でビットを5基検出した。

〔周溝〕検出されなかった。

〔床面〕掘り込んだ面をそのまま床面とし、ほぼ平坦である。

〔炉跡〕検出されなかった。

〔出土遺物〕本住居跡に伴う遺物は確認されなかった。SK1土坑は本住居跡に伴うものではなく、縄文時代の遺構と考えられ、縄文時代後期の深鉢が出土した。

S179 竪穴住居跡 (第66・67図、写真図版9・13)

〔位置〕調査区南西側W210・S160～1790グリッドで検出した。南東側は調査区外へ延びる。

〔重複関係〕小溝状遺構群と重複し本住居跡が古い。

〔規模・形態〕南北3.28m、東西3.85m以上で、隅丸長方形を呈する。

〔主軸方向〕N-36°-E

〔堆積土・構築土〕28層に分けられ、1～7層は堆積土、8～10層は掘り方理土、11～24層がカマド堆積土、25～28層はカマド袖構築土である。

〔壁面〕床面からほぼ垂直に立ち上がる。壁高は50cmを測る。

〔柱穴〕床面でビットを2基検出した。いずれも浅い皿状の掘り込みである。

〔周溝〕検出されなかった。

〔床面〕掘り方理土上面を床面としている。ほぼ平坦である。

〔カマド〕北東壁で検出した。燃焼部は明確な被熱範囲が認められないが、両袖の内面は被熱している。煙道部は壁外へ170cm伸び、煙出し部も被熱している。

〔掘り方〕ほぼ平坦に掘り込まれている。

〔出土遺物〕非クロコ土師器の坏、須恵器坏がカマド周辺から出土した。時期は8世紀後半頃と考えられる。

## S1234 竪穴住居跡（第70・71図、写真図版9・14）

〔位置〕 調査区東側 W140・S140 グリッドで検出した。

〔重複関係〕 小溝状遺構群、ピット群と重複し、いずれよりも古い。

〔規模・形態〕 東西3.25 m、南北2.90 mを測り、隅丸長方形を呈する。

〔主軸方向〕 N-20° -W

〔堆積土・構築土〕 8層に分けられ1～7層は堆積土、8層が掘り方埋土である。

〔壁面〕 床面からやや外傾して立ち上がる。壁高は30cmを測る。

〔柱穴〕 検出されなかった。

〔周溝〕 検出されなかった。

〔床面〕 掘り方埋土上面を床面としている。ほぼ平坦である。

〔炉跡〕 中央北西寄りに位置する。

〔掘り方〕 ほぼ平坦である。

〔出土遺物〕 土師器壺と台付甕が出土した。時期は古墳時代前期4世紀代と考えられる。

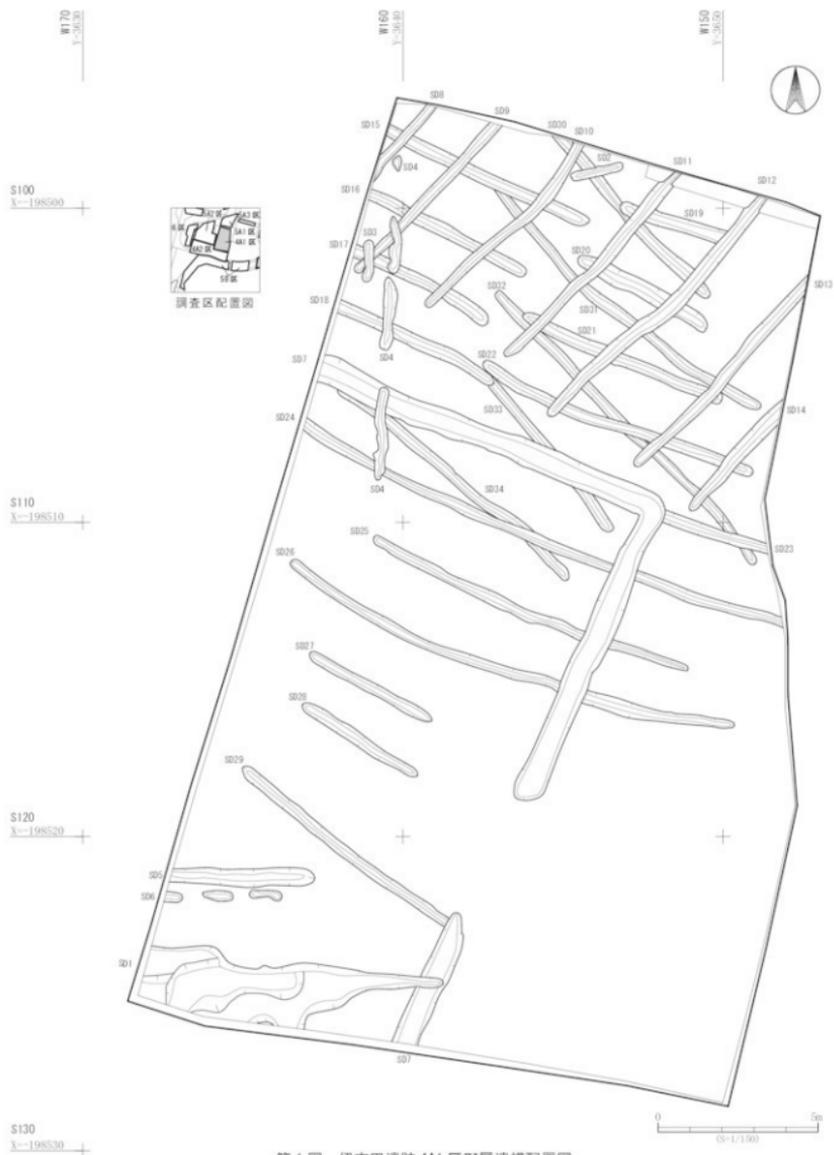
## (3) 遺構外出土の遺物（第78図、写真図版15）

中世と考えられる青磁片や近世の瀬戸・美濃産の陶器、金属製品の鉄鏃などが出土した。

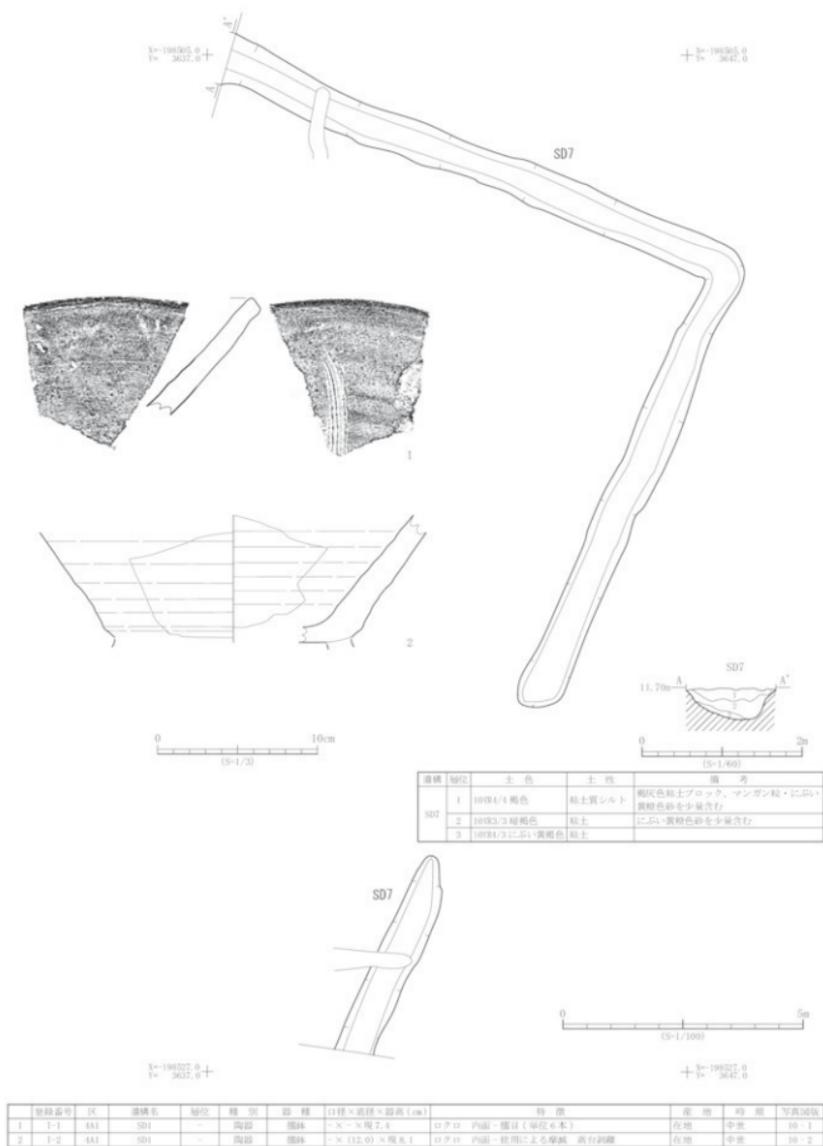
## 7. 6区の調査

調査区の大半は深さ2 m以上の擾乱を受けており、一部遺存する箇所は河川跡の堆積土であった。このため遺構はないものと判断した（第79図）。

第1節 伊古田遺跡4A区



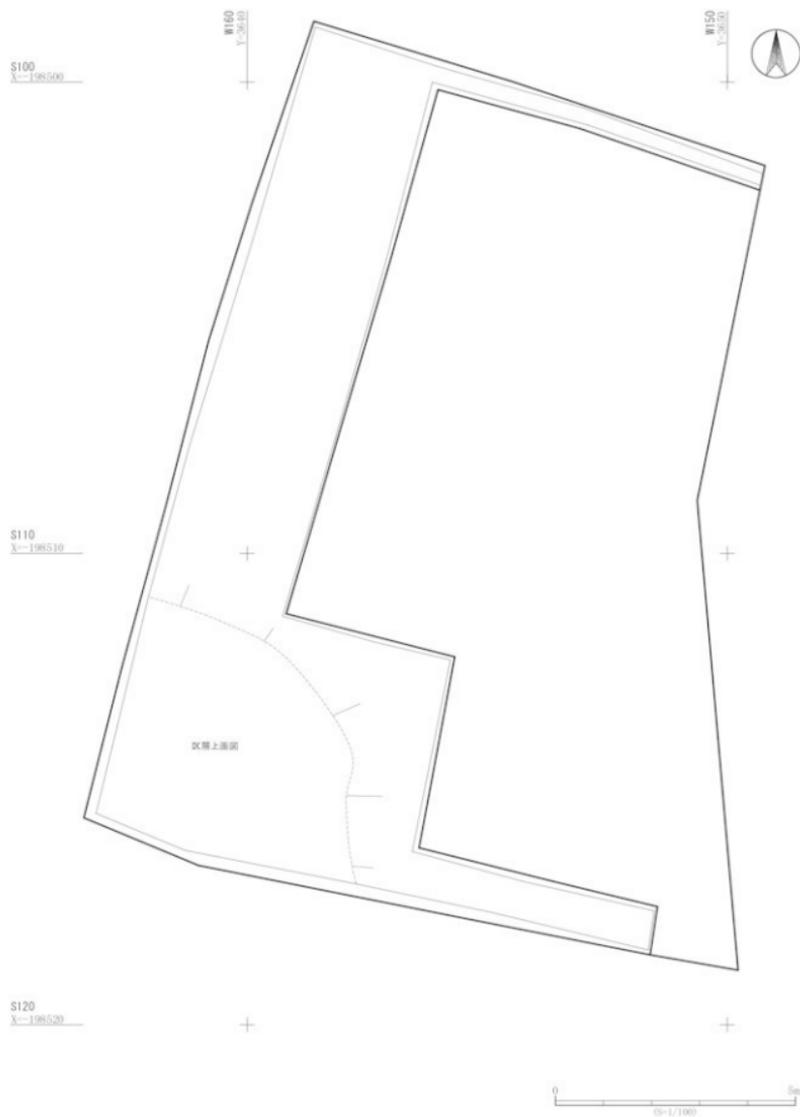
第1図 伊古田遺跡4A1区IV層遺構配置図



第2図 SD7溝跡平面図・断面図 SD1出土遺物



第3図 伊古田遺跡4A1区V層遺構配置図



第 4 図 伊古田遺跡 4A1 区深掘り穴層遺構配置図



第5図 伊古田遺跡4A2区V層遺構配置図

W150  
Y=3650

W160  
Y=3640

W170  
Y=3630

W180  
Y=3620

W190  
Y=3610

W200  
Y=3600

S110  
X=108510

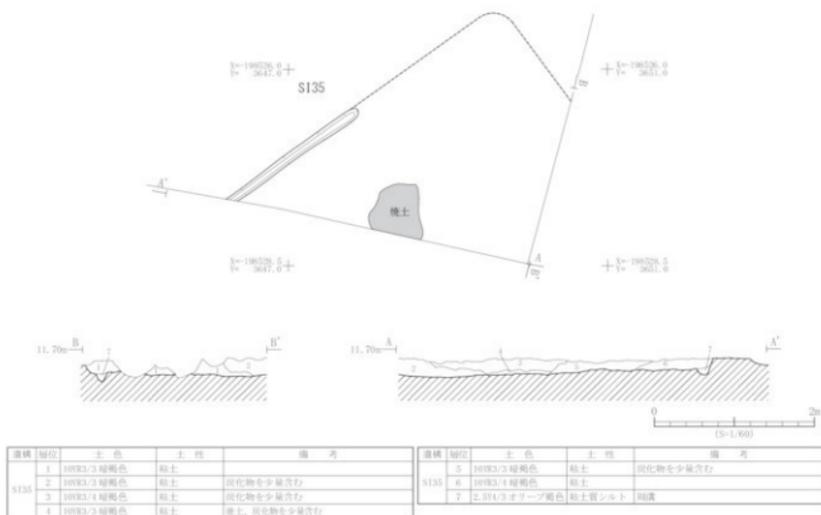
S120  
X=108530

S130  
X=108550

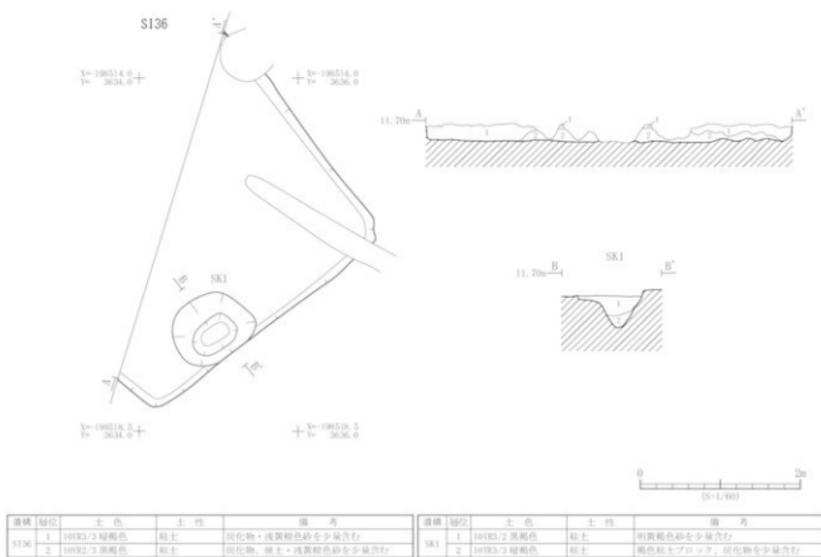
S140  
X=108570



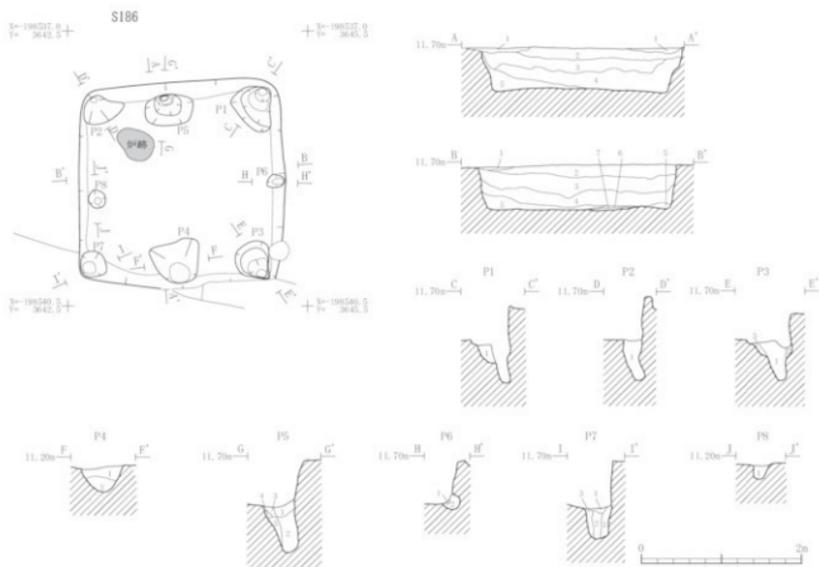
第6図 伊古田道路4A2区下層道構配置図



第7図 S135 竪穴住居跡平面図・断面図

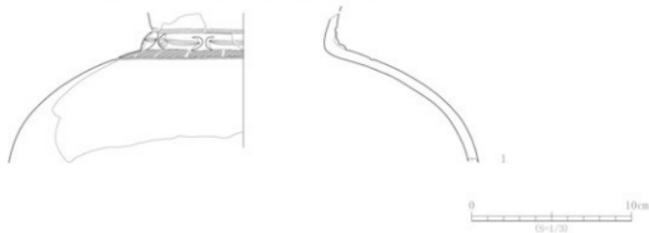


第8図 S136 竪穴住居跡平面図・断面図



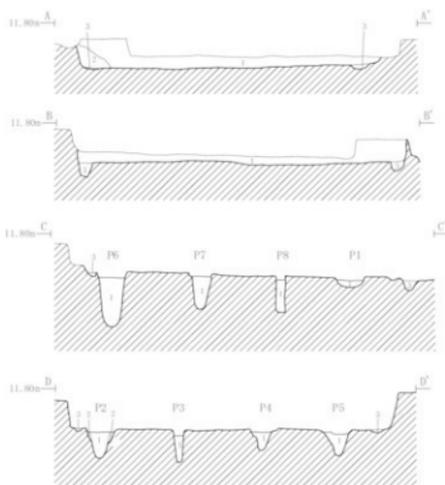
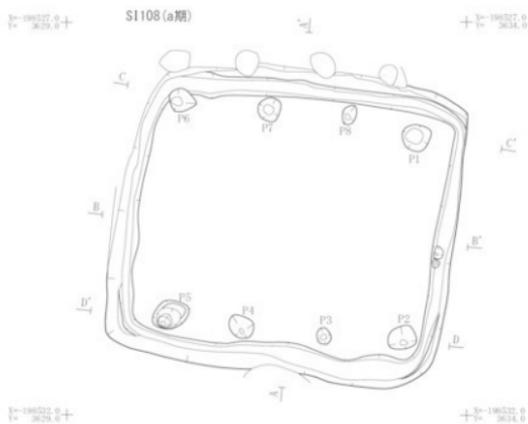
遺構	層位	土色	土性	備考	遺構	層位	土色	土性	備考																																																										
S186	1	10R1/2 灰黄褐色	粘土質シルト	粘土粒多量含む	P5	1	10R1/4 暗褐色	砂質シルト	炭化物を少量含む																																																										
	2	10R1/2 灰黄褐色	粘土質シルト			2	10R2/3 黒褐色	シルト質粘土	炭化物を少量含む																																																										
	3	10R3/2 黒褐色	粘土質シルト			3	10R3/4 暗褐色	砂質シルト	炭化物を少量含む																																																										
	4	10R1/3 にぶい・黄褐色	粘土質シルト			4	10R1/4 暗褐色	砂質シルト																																																											
	5	10R1/2 灰黄褐色	粘土質シルト			5	10R1/4 暗褐色	砂質シルト	炭化物を少量含む																																																										
	6	10R1/2 灰黄褐色	砂質シルト	粘土粒を多量含む	P6	1	10R3/3 暗褐色	粘土質シルト	炭化物を少量含む																																																										
	7	10R1/2 灰黄褐色	砂質シルト	上部に灰を含む		2	10R3/2 灰黄褐色	粘土	酸化物を灰状に含む																																																										
P1	1	10R3/3 暗褐色	粘土質シルト	炭化物を少量含む	P7	1	10R3/3 暗褐色	シルト質粘土	灰黄褐色粘土・ブロックを埋め、炭化物を少量、粘土粒を微量含む																																																										
	2	10R1/2 灰黄褐色	粘土			P2	1	10R1/4 暗褐色	砂質シルト	暗褐色粘土・ブロックを少量、炭化物を微量含む	P8	2	10R1/4 暗褐色	粘土質シルト	暗褐色シルト質粘土・ブロックを少量含む	2	10R3/4 暗褐色	粘土質シルト	炭化物を少量含む	3	10R3/4 暗褐色	粘土質シルト	炭化物を微量含む	3	10R3/4 暗褐色	砂質シルト	暗褐色粘土・ブロックを少量含む	1	10R1/4 暗褐色	砂質シルト	灰黄褐色粘土・ブロック・炭化物を少量含む	P3	1	10R3/4 暗褐色	砂質シルト	炭化物を少量含む						2	10R3/4 暗褐色	砂質シルト	炭化物を少量含む						P4	1	10R1/3 にぶい・黄褐色	砂質シルト	灰黄褐色ブロック・炭化物を少量含む						2	10R1/3 にぶい・黄褐色	粘土	にぶい・黄褐色砂・炭化物を少量含む			
P2	1	10R1/4 暗褐色	砂質シルト	暗褐色粘土・ブロックを少量、炭化物を微量含む	P8		2	10R1/4 暗褐色	粘土質シルト	暗褐色シルト質粘土・ブロックを少量含む																																																									
	2	10R3/4 暗褐色	粘土質シルト	炭化物を少量含む			3	10R3/4 暗褐色	粘土質シルト	炭化物を微量含む																																																									
	3	10R3/4 暗褐色	砂質シルト	暗褐色粘土・ブロックを少量含む	1	10R1/4 暗褐色	砂質シルト	灰黄褐色粘土・ブロック・炭化物を少量含む																																																											
P3	1	10R3/4 暗褐色	砂質シルト	炭化物を少量含む																																																															
	2	10R3/4 暗褐色	砂質シルト	炭化物を少量含む																																																															
P4	1	10R1/3 にぶい・黄褐色	砂質シルト	灰黄褐色ブロック・炭化物を少量含む																																																															
	2	10R1/3 にぶい・黄褐色	粘土	にぶい・黄褐色砂・炭化物を少量含む																																																															

第9図 S186 竪穴建物跡平面図・断面図



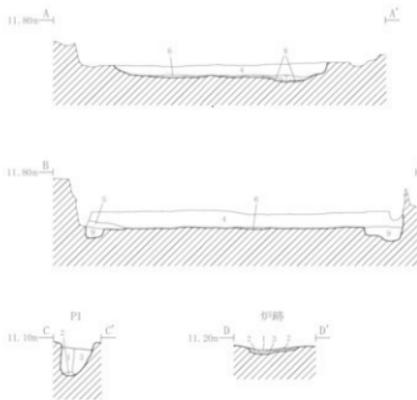
No.	登録番号	区	出土遺構	層位	種別	総称	文様等	備考	写真採取
1	A-2	432	S186	-	竪穴・土跡	遺	口縁→体口→体底線文・沈線文・L形溝文		10-4

第10図 S186 竪穴建物跡出土遺物



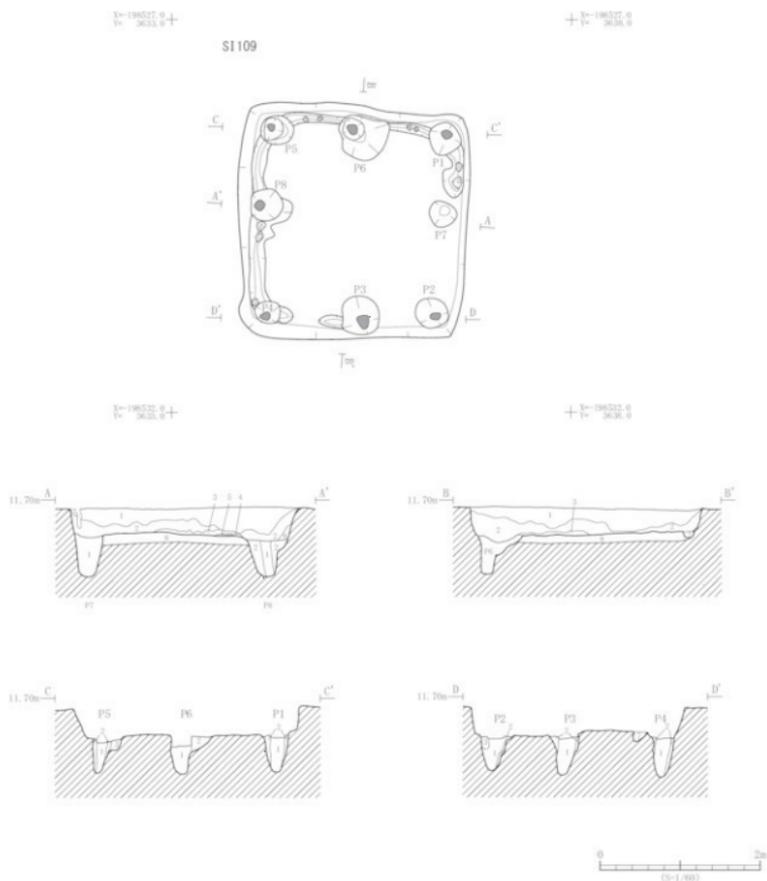
遺構	層位	土色	土性	備考	遺構	層位	土色	土性	備考
S1108 (a期)	1	10R3/2 黄褐色	粘土	灰化物・褐色鉄を少量含む	P3	1	10R3/2 に近い黄褐色	粘土	
	2	10R4/4 褐色	粘土	灰黄褐色粘土を少量含む	P4	1	10R2/4 暗褐色	粘土	
	3	10R3/4 暗褐色	粘土質シルト	同層	P5	1	10R4/3 に近い黄褐色	粘土	灰黄褐色粘土ブロックを少量含む
P1	1	10R3/4 暗褐色	粘土	灰化物を少量含む	P6	1	10R3/3 暗褐色	粘土	灰黄褐色粘土ブロックを少量含む
	2	10R4/3 に近い黄褐色	粘土		P7	1	10R4/3 に近い黄褐色	粘土質シルト	
P2	1	10R4/3 に近い黄褐色	粘土		P8	1	10R4/3 に近い黄褐色	粘土	
	2	10R4/4 褐色	シルト						

第11図 S1108 (a期) 竪穴建物跡平面図・断面図



遺構	層位	土色	土性	備考	遺構	層位	土色	土性	備考
SI108 (b期)	1	10R3/2 緑褐色	粘土質シルト	褐色シルトブロックを少量含む	P1	1	10R3/2 緑褐色	粘土	
	5	10R4/4 褐色	粘土	炭化物を少量含む		2	10R4/3 に土間層褐色	粘土	
	6	10R3/2 黄褐色	粘土	炭化物を全層状に含む		3	10R3/2 黄褐色	粘土	褐色粘土質シルトブロックを少量含む
	7	10R3/2 緑褐色	粘土	褐色反応を多量含む	伊路	1	10R3/2 緑褐色	シルト	黄土
	8	10R3/3 緑褐色	粘土	泥、灰、黄土を全層状に多量含む		2	10R3/2 黒褐色	シルト	
	9	10R3/4 緑褐色	粘土	同層		3	10R4/4 褐色	シルト	

第12図 SI108 (b期) 竪穴建物跡平面図・断面図

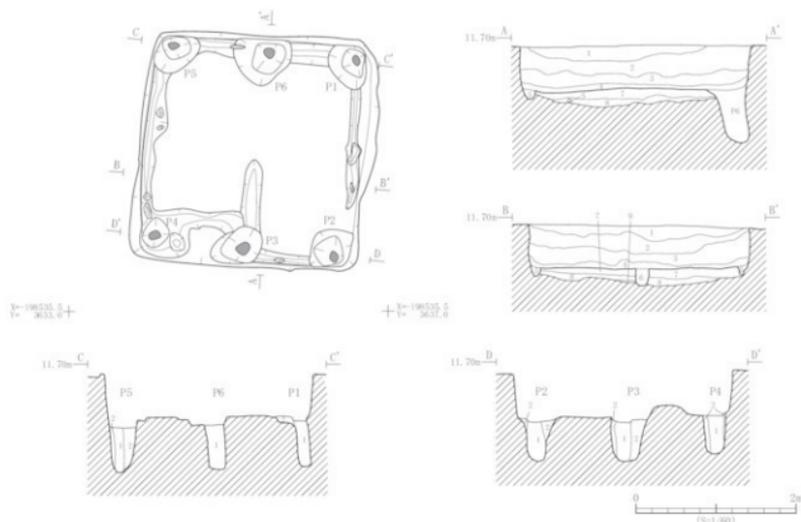


遺構	層位	土色	土性	備考	遺構	層位	土色	土性	備考
S1109	1	10PR3/4 暗褐色	粘土質シルト	褐色粘土質シルトブロック・炭化物を含む	P3	1	10PR4/3 に近い黄褐色	粘土	炭化物を少量含む 柱眼
	2	10PR3/3 暗褐色	粘土	褐色粘土質シルトブロック・炭化物を少量含む		2	10PR4/4 褐色	シルト	
	3	10PR3/1 暗灰色	灰	にぶい黄褐色粘土との互層	P4	1	10PR4/3 に近い黄褐色	粘土	炭化物を少量含む 柱眼
	4	10PR3/2 黒褐色	灰	灰黄褐色粘土との互層		2	10PR4/4 褐色	粘土質シルト	
	5	10PR4/4 褐色	粘土質シルト		3	10PR3/4 暗褐色	粘土質シルト	炭化物を多量含む	
	6	10PR4/3 に近い黄褐色	粘土		P5	1	10PR4/3 に近い黄褐色	粘土	炭化物を少量含む 柱眼
	7	10PR3/3 暗褐色	粘土	褐色シルトブロック・炭化物を多量含む 洞縁		2	10PR4/3 に近い黄褐色	粘土	褐色シルトブロックを含む
	8	10PR4/4 褐色	シルト	灰黄褐色粘土を少量含む 掘り方	P6	3	10PR4/4 褐色	粘土質シルト	炭化物を少量含む
P1	1	10PR4/3 に近い黄褐色	粘土	炭化物を少量含む 柱眼		1	10PR4/3 に近い黄褐色	粘土	炭化物を少量含む 柱眼
	2	10PR4/4 暗褐色	粘土		2	10PR4/4 褐色	粘土質シルト	炭化物を少量含む	
	3	10PR4/3 に近い黄褐色	粘土		P7	1	10PR4/3 に近い黄褐色	粘土	褐色シルトブロックを少量含む
P2	1	10PR4/3 に近い黄褐色	粘土			1	10PR4/3 に近い黄褐色	粘土	柱眼
	2	10PR4/4 暗褐色	粘土		2	10PR4/4 褐色	粘土	にぶい黄褐色粘土ブロックを少量含む	
	3	10PR4/4 褐色	シルト						

第13図 S1109 竪穴建物跡平面図・断面図

N=19521.0  
Y=3633.0++Y=19521.0  
+Y=3633.0

S1110



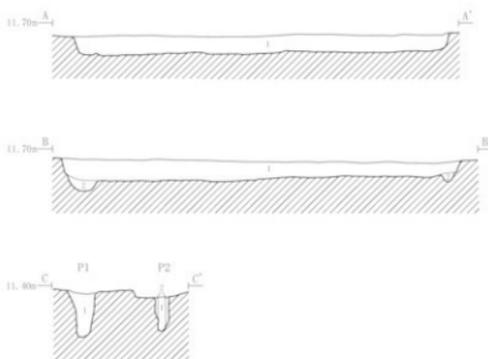
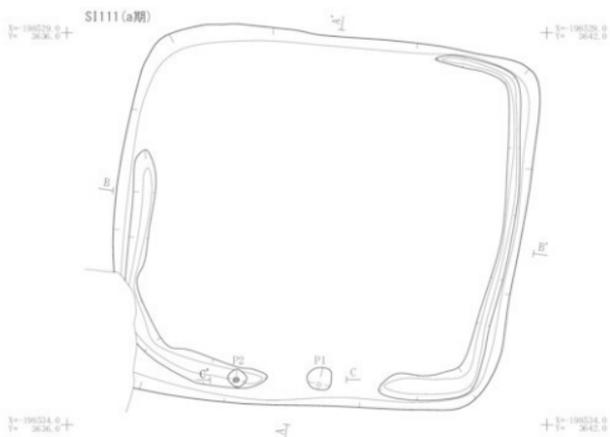
遺構	層位	土色	土性	備考	遺構	層位	土色	土性	備考
S1110	1	10R3/3 暗褐色	粘土質シルト	褐色粘土質シルトブロックを多量、炭化物を微量含む	P2	1	10R4/3 じぶい・黄褐色	粘土	炭化物を少量含む 柱眼
	2	10R3/2 黒褐色	粘土	褐色シルトブロックを少量含む		2	10R3/4 暗褐色	粘土	褐色粘土ブロック、黒褐色粘土ブロックを少量含む
	3	10R3/2 黒褐色	粘土	褐色シルトブロックを多量含む	P3	1	10R4/3 じぶい・黄褐色	粘土	炭化物を少量含む 柱眼
	4	10R3/2 黒褐色	粘土	褐色シルトブロックを多量含む		2	10R3/4 暗褐色	粘土	褐色粘土ブロック、黒褐色粘土ブロックを少量含む
	5	10R3/2 黒褐色	粘土	褐色シルトブロック、炭化物を少量含む 腐蝕	P4	1	10R4/3 じぶい・黄褐色	粘土	炭化物を少量含む 柱眼
	6	10R3/4 暗褐色	シルト	仕切り層		2	10R3/4 暗褐色	粘土	褐色粘土ブロック、黒褐色粘土ブロックを少量含む
	7	10R4/1 褐色	砂	灰黄褐色粘土を多量、炭化物を少量含む 掘り方	P5	1	10R4/3 じぶい・黄褐色	粘土	炭化物を少量含む 柱眼
	8	10R4/2 灰黄褐色	粘土	褐色シルトブロックを含む 掘り方		2	10R3/4 暗褐色	粘土	褐色粘土ブロック、黒褐色粘土ブロックを少量含む
	9	10R4/2 灰黄褐色	粘土	炭化物を多量含む 掘り方		P6	1	10R4/3 じぶい・黄褐色	粘土
P1	2	10R4/2 じぶい・黄褐色	粘土	炭化物を少量含む 柱眼					
P1	2	10R3/4 暗褐色	粘土	褐色粘土ブロック、黒褐色粘土ブロックを少量含む					

第14図 S1110 竪穴建物跡平面図・断面図



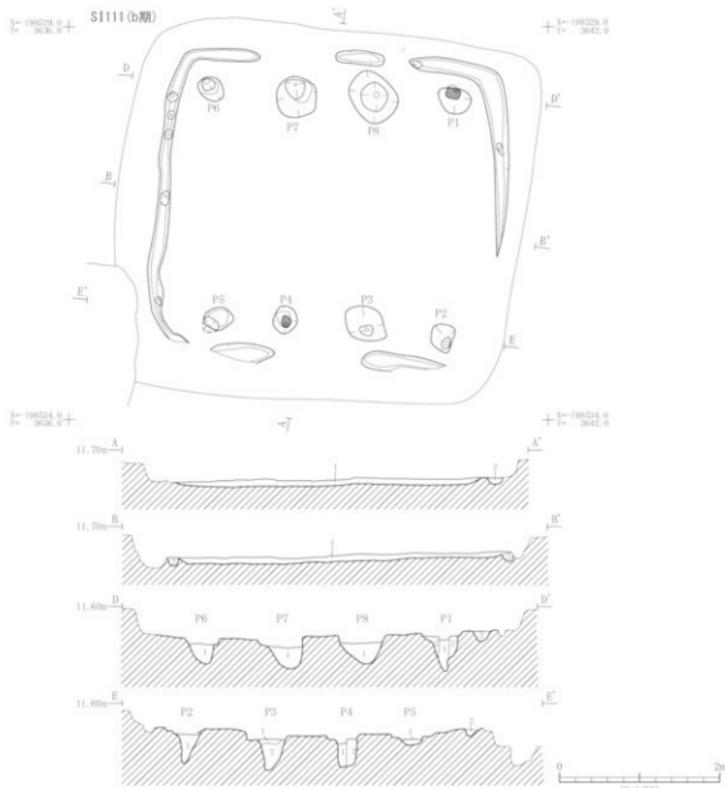
第15図 S1110 竪穴建物跡出土遺物

No.	登録番号	IC	出土遺構	層位	種別	品類	石材	長さ×幅×厚さ (cm)	重さ (g)	備考	写真掲載
1	K3-a-1	K32	S1110	-	石製品	磁石	磁瓦片	8.8×5.6×4.9	294.4	磁石1個。	10-5



遺構	層位	土色	土性	備考	遺構	層位	土色	土性	備考
SI111	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	褐色シルトブロック、炭化物を少量含む	P2	1	10YR5/3 に近い 濃褐色	粘土	柱底
(a期)	2	10YR3/2 濃褐色	粘土	褐色粘土ブロックを含む。燻煙		2	10YR3/3 暗褐色	粘土	
P1	1	10YR3/2 濃褐色	粘土	濃褐色粘土ブロックを少量含む					

第16図 SI111 (a期) 竪穴建物跡平面図・断面図



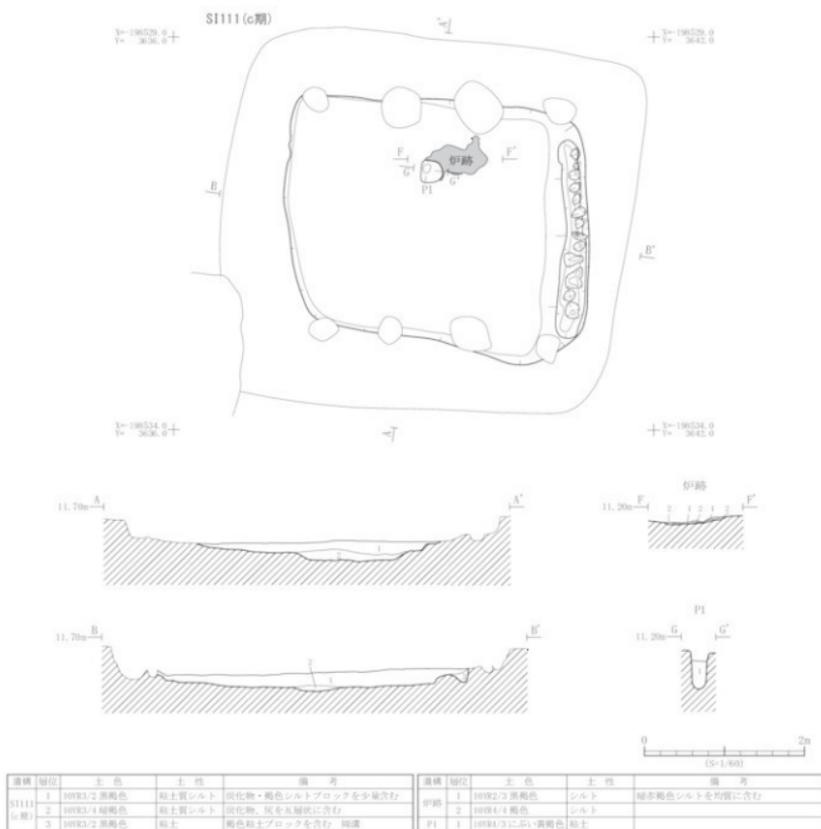
遺構	層位	土色	土性	備考	遺構	層位	土色	土性	特徴	備考
SI111 (b期)	1	10R3/2 黄褐色	粘土質シルト		P1	1	10R3/3 に近い黄褐色	粘土	柱痕	
	2	10R3/3 暗褐色	粘土	褐色シルトブロックを少量含む。柱痕		2	10R4/4 褐色	粘土質シルト		
P1	1	10R4/3 に近い黄褐色	粘土	灰黄褐色粘土ブロックを少量含む。柱痕	P5	1	10R4/3 に近い黄褐色	粘土		
	2	10R4/4 褐色	シルト		P6	1	10R4/3 に近い黄褐色	粘土	灰化物・粘土粒を少量含む	
P2	1	10R4/3 に近い黄褐色	粘土		P7	1	10R4/3 に近い黄褐色	粘土		
	2	10R3/3 暗褐色	粘土		P8	1	10R4/3 に近い黄褐色	粘土		
P3	2	10R4/3 に近い黄褐色	粘土							

第17図 SI111 (b期) 竪穴建物跡平面図・断面図



No.	登録番号	IC	遺構名	層位	種別	図種	口径×底径×器高 (cm)	特徴	産出時期	写真記録	
1	1-4	442	SI111 (b期)	-	陶器	壺	- × - × 見5.8		古墳	中世	10-6

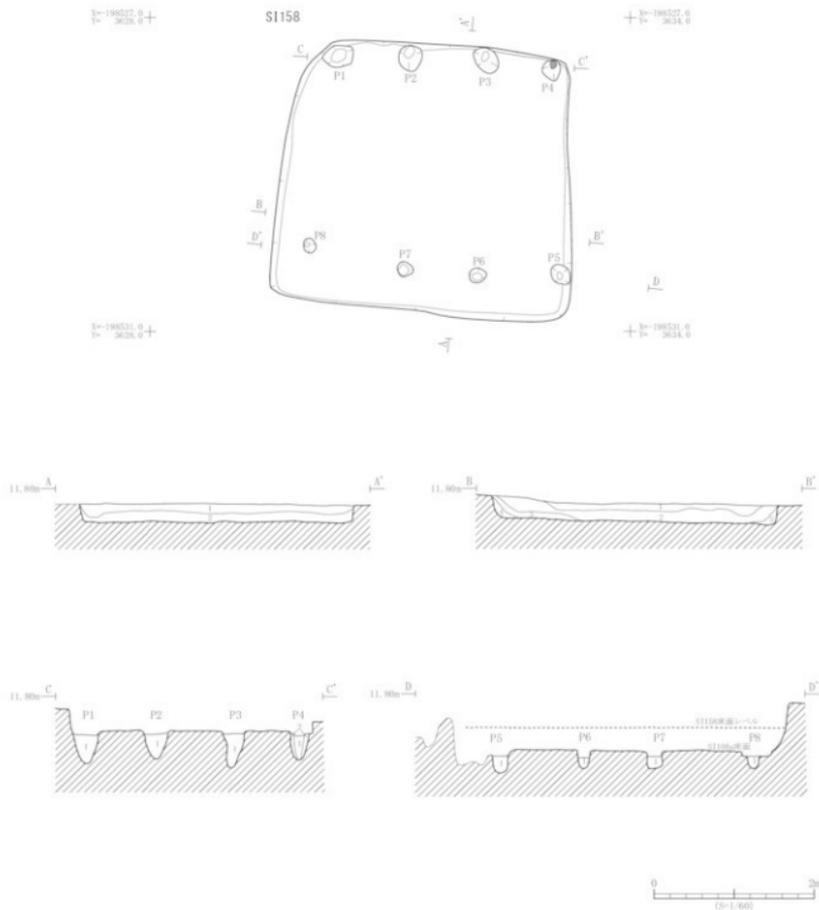
第18図 SI111 (b期) 竪穴建物跡出土遺物



第19図 SI111 (c期) 竪穴建物跡平面図・断面図

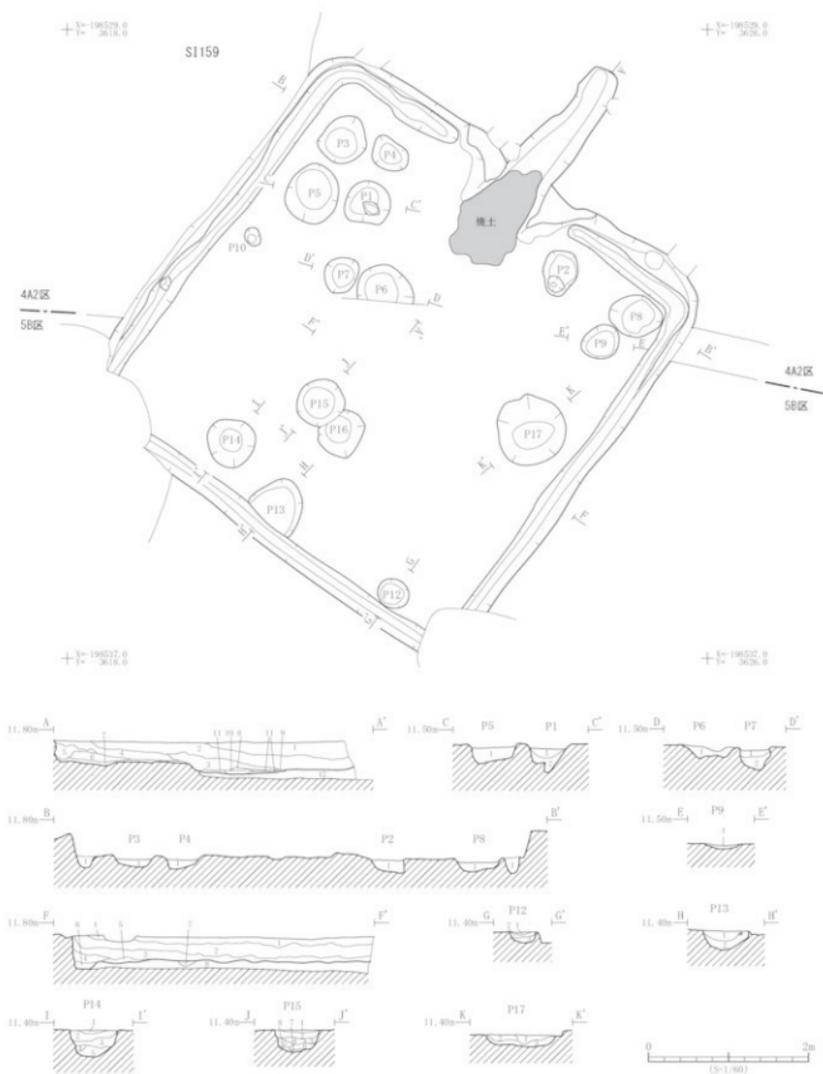


第20図 SI111 (c期) 竪穴建物跡出土遺物



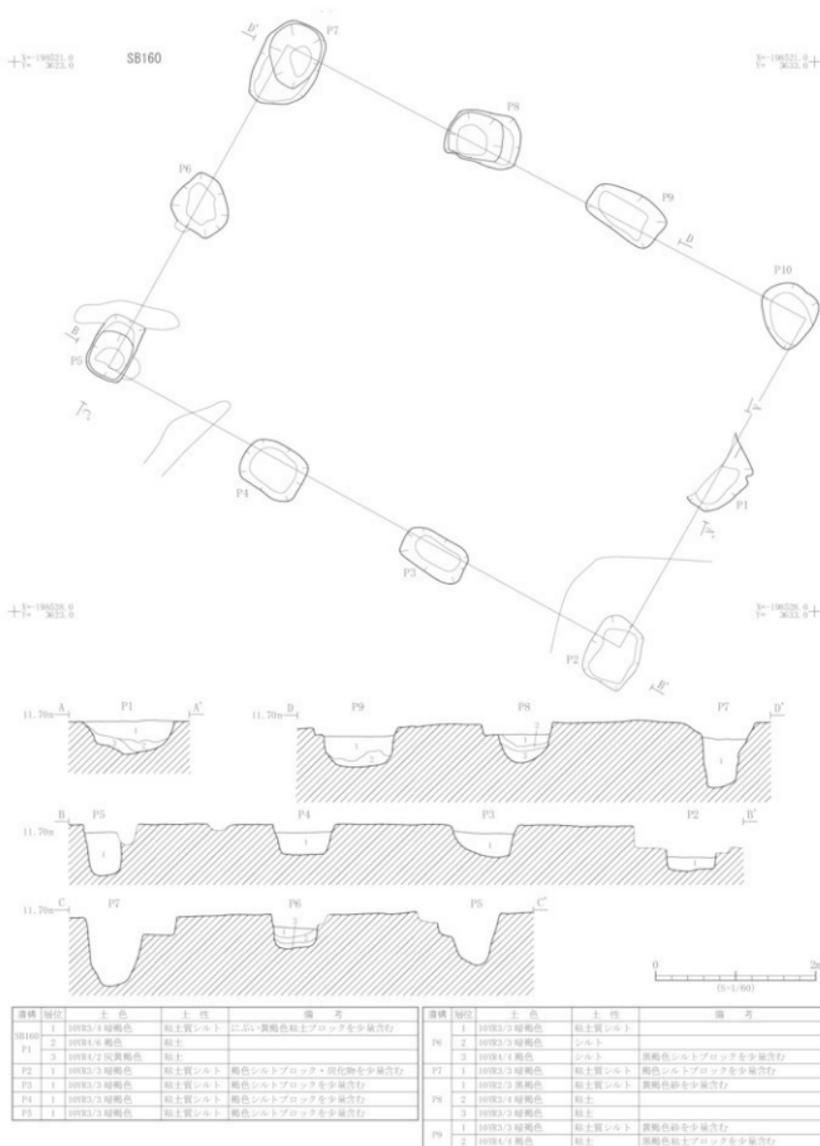
遺構	層位	土色	土性	備考	遺構	層位	土色	土性	備考	
S1158	1	10R3/3 暗褐色	粘土質シルト	褐色シルトブロックを含む	P5	1	10R3/2 黒褐色	粘土質シルト	褐色シルトブロック・灰黄褐色粘土ブロックを少量含む	
	2	10R3/3 暗褐色	粘土質シルト	褐色シルトブロック・にぶい黄褐色シルトブロック・炭化物を少量含む		1	10R4/3 にぶい黄褐色	粘土	石灰	
	3	10R3/3 暗褐色	粘土質シルト	褐色シルトブロックを多量含む		2	10R3/2 黒褐色	粘土質シルト	褐色シルトブロックを多量含む	
	4	10R3/3 暗褐色	粘土質シルト			P5	1	10R3/4 暗褐色	粘土	褐色シルトブロックを少量含む
	5	10R3/3 暗褐色	粘土質シルト			P6	1	10R3/4 暗褐色	粘土	褐色シルトブロックを少量含む
P1	1	10R3/2 黒褐色	粘土質シルト	褐色シルトブロック・灰黄褐色粘土ブロックを少量含む	P7	1	10R3/4 暗褐色	粘土	に黄褐色粘土ブロックを少量含む	
	P2	1	10R3/2 黒褐色	粘土質シルト	P8	1	10R3/4 暗褐色	粘土	褐色シルトブロックを少量含む	

第21図 S1158 竪穴建物跡平面図・断面図



第22図 S1159 竪穴住居跡平面図・断面図

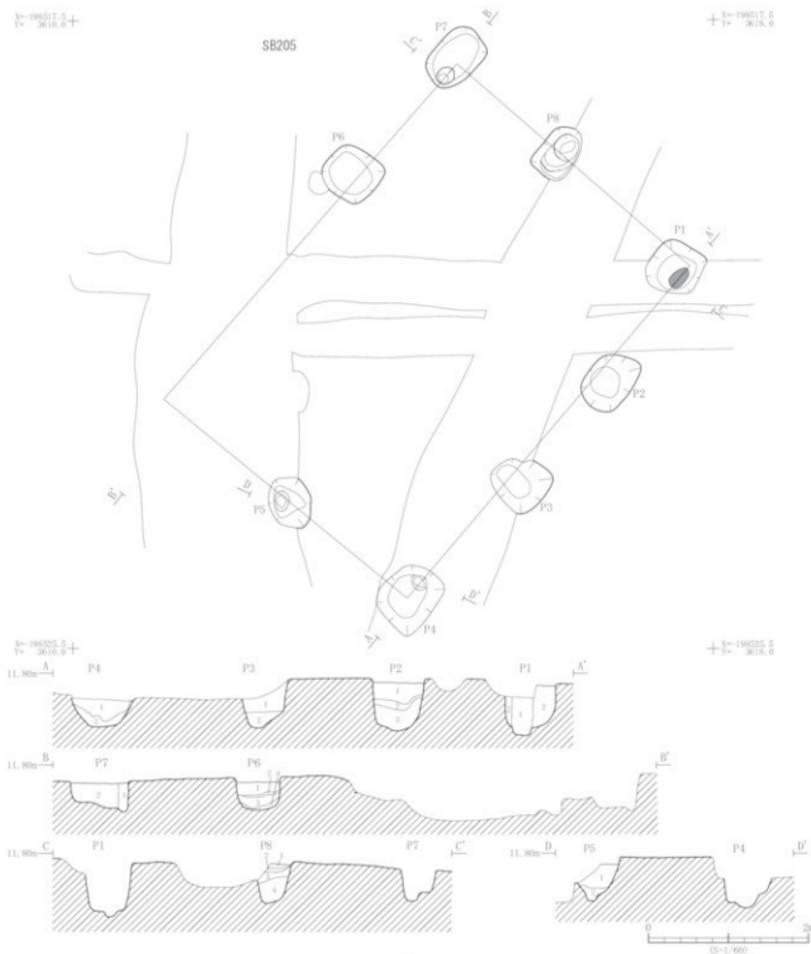




第24図 SB160 掘立柱建物跡平面図・断面図

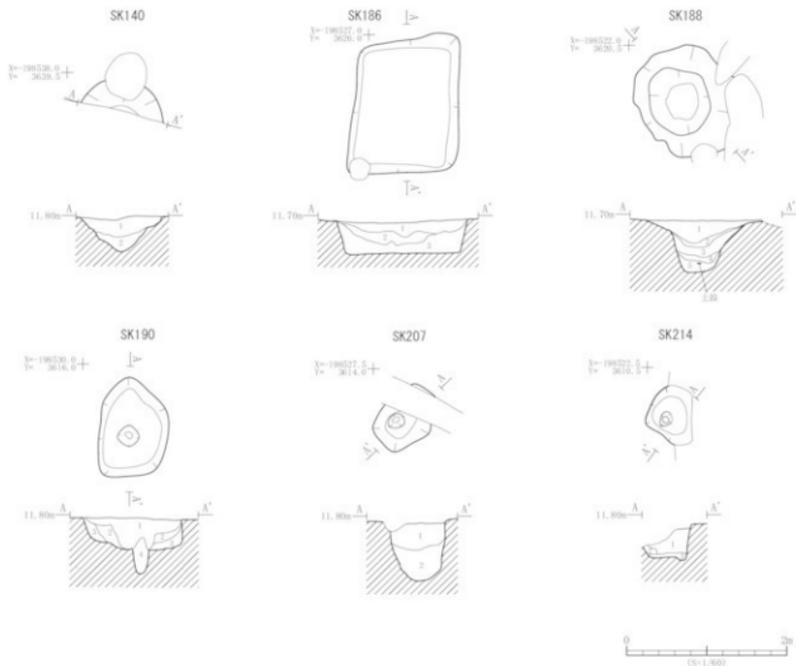
N=190217.5  
E=3018.0+

SB205

N=190217.5  
E=3018.0

遺構	層位	土色	土性	備考	遺構	層位	土色	土性	備考
P1	1	10R3/2 黒褐色	粘土	灰黄褐色粘土ブロック・褐色砂を少量含む	P6	1	10R3/3 暗褐色	粘土	褐色シルトブロックを少量含む
	2	10R4/4 褐色	粘土質シルト	暗褐色粘土ブロックを含む		2	10R4/6 褐色	シルト	暗褐色粘土ブロックを少量含む
P2	1	10R3/3 暗褐色	粘土	褐色シルトブロックを含む	3	10R3/4 暗褐色	粘土		
	2	10R4/6 褐色	シルト	暗褐色粘土ブロックを少量含む	4	10R4/4 褐色	粘土質シルト		
	3	10R3/3 暗褐色	粘土	褐色粘土質シルトブロックを少量含む	1	10R3/3 暗褐色	粘土		
P3	1	10R3/3 暗褐色	粘土	褐色砂を少量含む	2	10R4/4 褐色	粘土	黒褐色粘土ブロックを含む	
	2	10R4/4 褐色	シルト	暗褐色粘土ブロックを少量含む	1	10R3/3 暗褐色	粘土		
P4	1	10R3/3 暗褐色	粘土	灰黄褐色粘土ブロック・褐色粘土質シルトブロックを少量含む	2	10R4/4 褐色	砂質シルト		
	2	10R4/4 褐色	粘土質シルト	暗褐色粘土ブロックを少量含む	3	10R3/2 黒褐色	粘土	褐色砂質シルトブロックを少量含む	
P5	1	10R3/3 暗褐色	粘土	褐色シルトブロックを少量含む	4	10R4/4 褐色	砂質シルト	暗褐色粘土ブロックを少量含む	
	2	10R4/4 褐色	砂質シルト	暗褐色粘土ブロックを少量含む					

第25図 SB205 掘立柱建物跡平面図・断面図



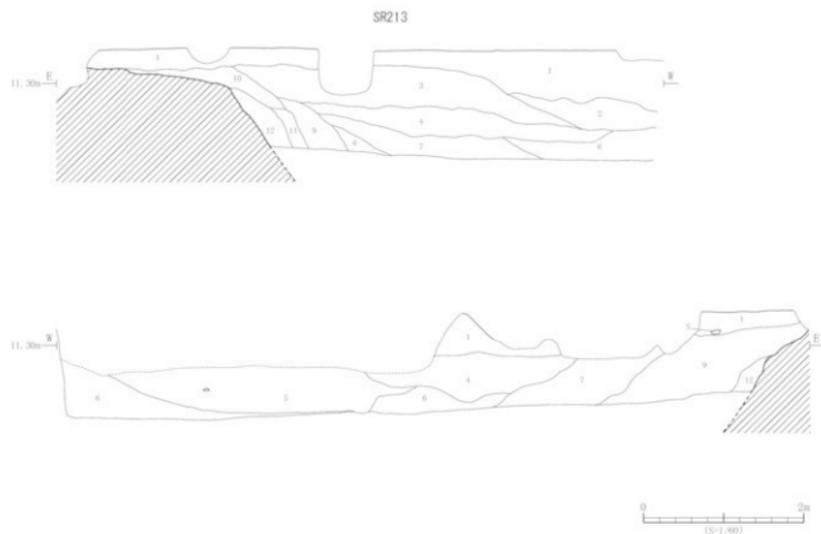
遺構	層位	土色	土性	備考	遺構	層位	土色	土性	備考
SK140	1	10R3/4 緑褐色	粘土	マンガン鉱を多量含む	SK186	1	10R3/2 黒褐色	粘土質シルト	褐色シルトブロックを少量含む
	2	10R5/2 灰黄褐色	粘土質シルト			2	10R4/4 褐色	シルト	
SK188	1	10R3/3 緑褐色	粘土	褐色粘土質シルトブロック・炭化物を含む		3	10R4/3 に近い黄褐色	粘土	
	2	10R4/4 褐色	粘土	炭化物を少量含む		4	10R4/1 褐色	粘土	
	3	10R3/4 緑褐色	粘土	炭化物を少量含む	SK207	1	10R3/3 緑褐色	粘土	炭化物を少量含む
4	10R3/2 黒褐色	粘土質シルト		2		10R3/3 緑褐色	粘土	褐色粘土質シルトブロックを多量含む	
SK186	1	10R3/3 緑褐色	シルト	炭化物を少量含む	SK214	1	10R4/2 に近い黄褐色	粘土質シルト	
	2	10R3/2 黒褐色	粘土			2	10R4/2 灰黄褐色	粘土	
	3	10R3/4 緑褐色	粘土	褐色シルトブロックを少量含む		3	10R3/4 緑褐色	粘土質シルト	
	4	10R4/3 に近い黄褐色	シルト						
	5	10R4/3 に近い黄褐色	シルト						

第26図 SK土坑平面図・断面図



No.	登録番号	区	出土遺構	層位	種別	用途	口径×底径×高さ (cm)	外面調整	内面調整	備考	写真図版
1	C-5	4A2	SK153	-	土師器	高炉	×11.2×縦5.6	ヘラナデ・ヘアミガキ・コソナゲ	ヘソナゲ		10-13

第27図 SK153土坑出土遺物



遺構 層位	土色	土性	備考	遺構 層位	土色	土性	備考		
SR213	1	10YR4/4 褐色	粘土	にぶい・黄褐色シルトブロック・12.5%・黄褐色粘土ブロックを少量含む。	SR213	7	10YR5/4 にぶい・黄褐色	砂質シルト	褐色粘土との互層
	2	10YR4/1 褐色	細砂	にぶい・黄褐色粘土ブロックを微量に少量含む。		8	10YR5/4 にぶい・黄褐色	細砂	
	3	10YR4/1 褐色	粘土	にぶい・黄褐色粘土ブロックを微量に少量含む。		9	10YR3/3 にぶい・黄褐色	粘土	にぶい・黄褐色粘土ブロックを少量含む。
	4	10YR4/3 にぶい・黄褐色	砂質シルト	褐色粘土ブロックを微量に少量含む。		10	10YR3/3 にぶい・黄褐色	粘土	にぶい・黄褐色粘土ブロック・細粒物を少量含む。
	5	10YR5/4 にぶい・黄褐色	粗砂	にぶい・黄褐色砂礫・にぶい・黄褐色粘土との互層		11	10YR4/4 褐色	粘土	
	6	10YR5/3 にぶい・黄褐色	細砂	オリーブ褐色砂礫・オリーブ褐色粘土との互層		12	10YR3/3 にぶい・黄褐色	砂質シルト	

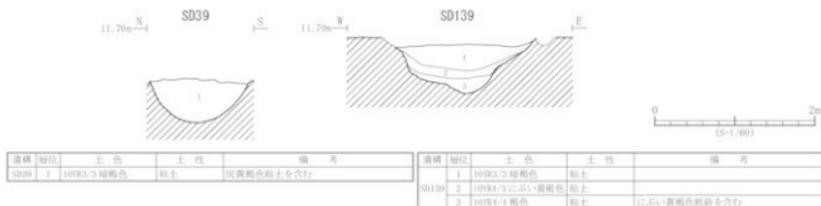
第28図 SR213 河川跡断面図



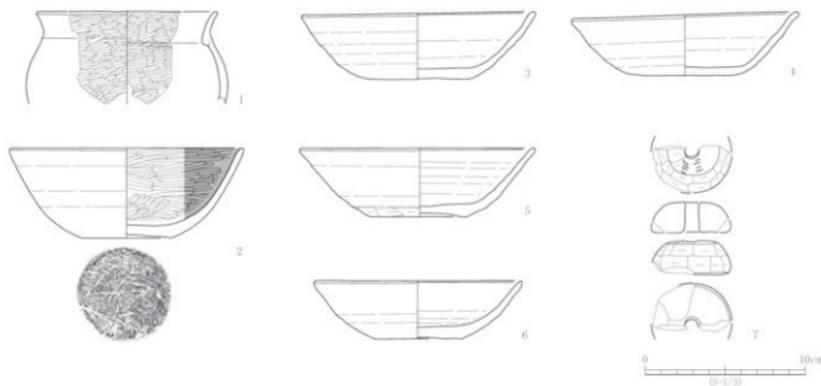
0 10cm  
(S-1-7)

No.	登録番号	IC	出土遺構	層位	種別	品種	文様等	備考	写真図版
1	A-1	432	SR213	-	縄文土器	注口土器	体部・注口文・朝雲文・1.8 縄文		10-14

第29図 SR213 河川跡出土遺物



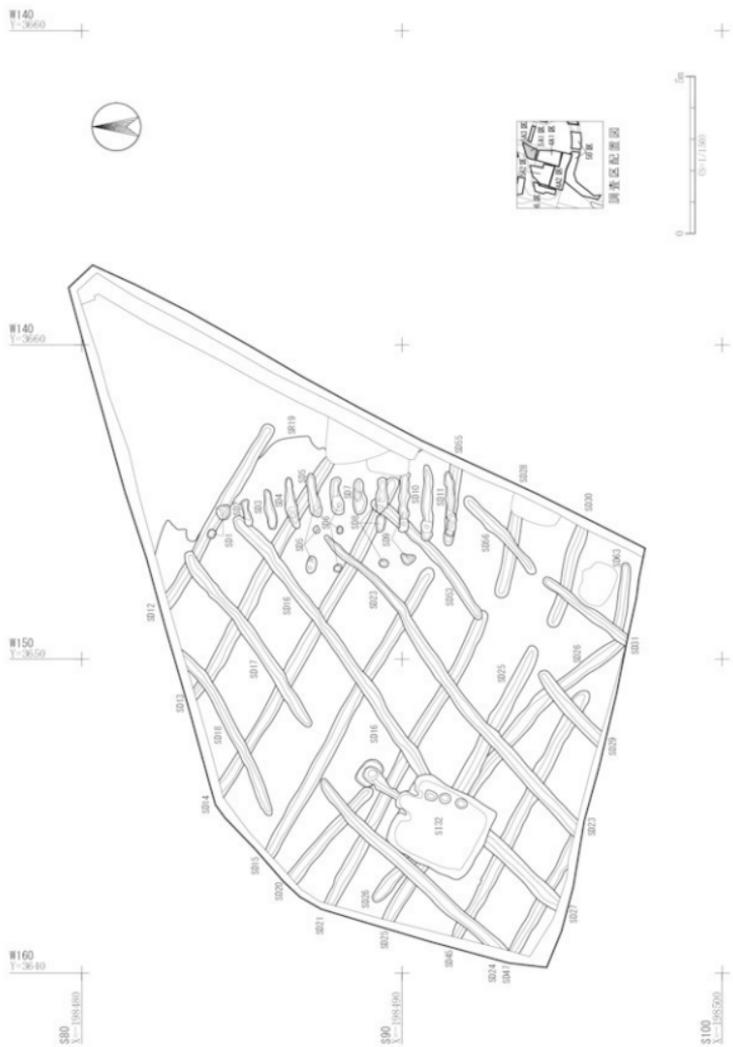
第30図 SD39・139 溝跡断面図



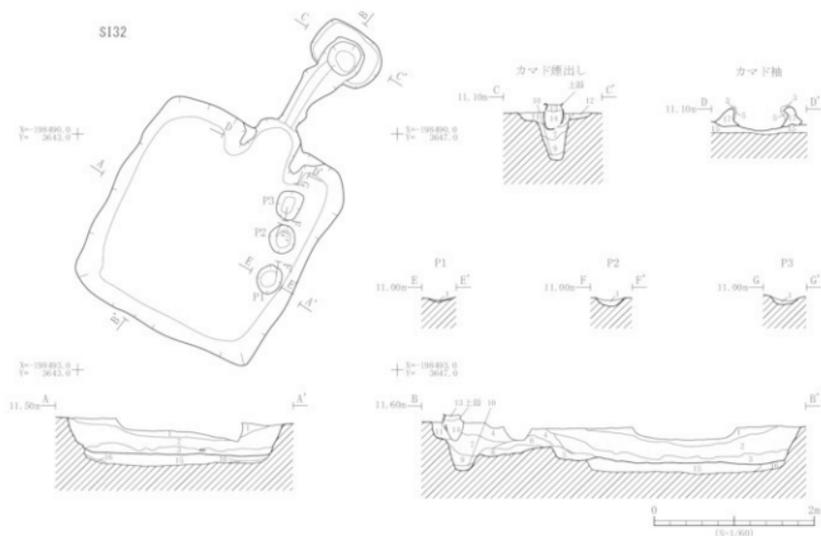
第31図 溝跡出土遺物



第32図 IV層出土遺物

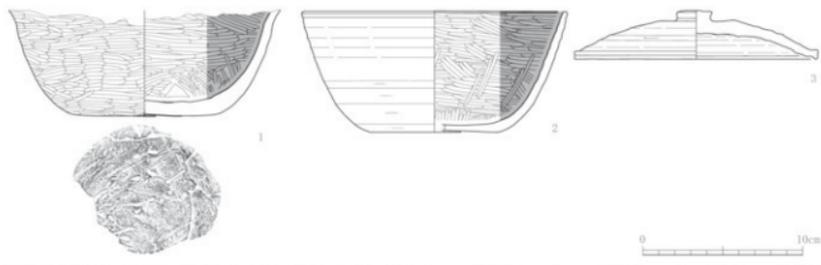


第 33 図 伊古田遺跡 5A1 区 IV a2 階遺構配置図



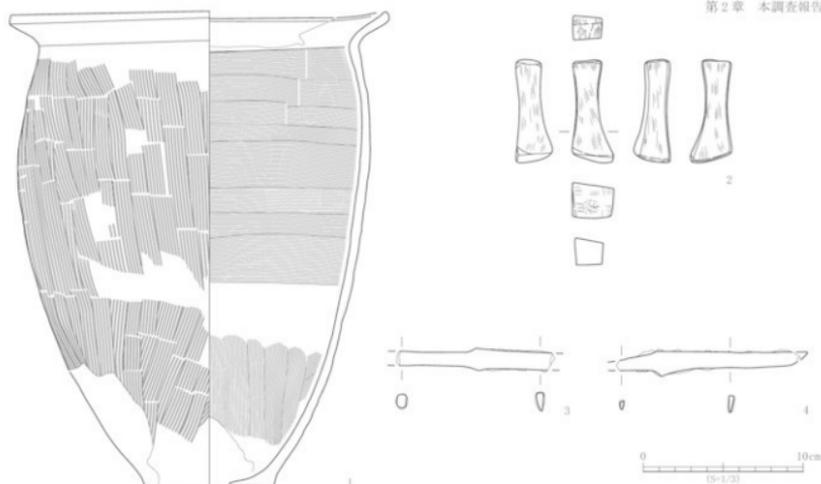
遺積	層位	土色	土性	備考
S132	1	10R3/2 灰黄褐色	粘土質シルト	酸化鉄を少量含む
	2	10R3/4 緑褐色	粘土質シルト	炭化物を少量含む
	3	10R1/3 にぶ・黄褐色	粘土	下部に炭化物を含む
	4	10R1/3 にぶ・黄褐色	粘土質シルト	カマド
	5	10R3/2 黒褐色	粘土	焼土小ブロック・炭化物・灰を多量含む カマド
	6	10R3/2 黒褐色	粘土	焼土小ブロック、炭化物小ブロックを少量含む カマド
	7	10R3/2 黒褐色	粘土	炭化物を多量含む カマド
	8	10R3/2 黒褐色	粘土	焼土小ブロック、炭化物小ブロックを少量含む カマド
	9	10R3/2 黒褐色	粘土	炭化物を多量含む カマド
S132	10	10R1/3 にぶ・黄褐色	粘土	炭化物を多量含む カマド
	11	10R1/3 にぶ・黄褐色	粘土	カマド
	12	10R1/4 褐色	粘土質シルト	カマド
	13	10R1/2 灰黄褐色	粘土質シルト	酸化鉄を少量含む カマド
	14	10R3/2 黒褐色	粘土	炭化物小ブロックを多量含む カマド
	15	10R1/3 にぶ・黄褐色	粘土	多量焼土小ブロックを多量含む 盛り方
	16	10R2/2 にぶ・黄褐色	砂質シルト	盛り方
	17	10R1/3 にぶ・黄褐色	粘土質シルト	炭化物を微量に含む カマド跡
	P1	1	10R3/4 緑褐色	粘土
P2	1	10R3/4 緑褐色	粘土	焼土・灰小ブロック、炭化物を多量含む
P3	1	10R3/4 緑褐色	粘土	焼土・灰小ブロック、炭化物を多量含む

第 34 図 S132 竪穴住居跡平面図・断面図



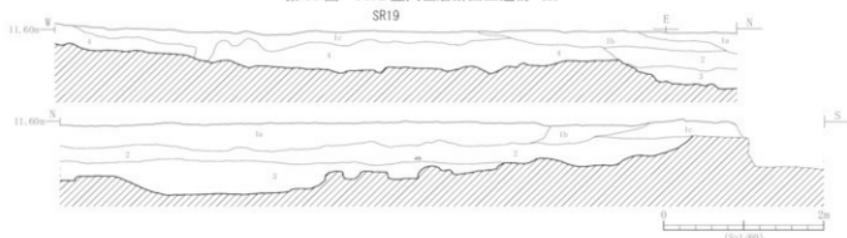
No.	登録番号	区	出土遺構	層位	種別	図録	口径・底径×器高 (cm)	表面調整	内面調整	備考	写真図録
1	C-7	SA1	S132		土師器	罎	× 18.0 × 腹 6.8	へラミ草	へラミ草	外面黒褐色、	11-2
2	D-2	SA1	S132		灰直	土師器	罎 (16.3 × 16.0) × 7.7	ロクロナデ 体部下縁部へラミ草	へラミ草・黒色処理		11-3
3	E-2	SA1	S132		灰直	土師器	罎 (15.2 × × 3.4 × 高さ 10.2)	ロクロナデ 天部黒褐色へラミ草	ロクロナデ		11-4

第 35 図 S132 竪穴住居跡出土遺物 (1)



No.	登録番号	区	出土遺構	層位	種別	器種	口径×底径×器高 (cm)	外面調整	内面調整	備考	写真採取
1	D-3	S41	S132-棟出し ピット	-	土師器	甕	口徑3.71×底径16.21×器高34.0	ロタロナゲ・ハケメ	ロタロナゲ・ヘラナゲ・削 ナゲ	底面出しに使用する ため打ち欠いている。	11-1
No.	登録番号	区	出土遺構	層位	種別	器種	石 材	長さ×幅×厚さ (cm)	重量 (g)	備考	写真採取
2	Kof-a-2	S41	S132	床面	石製品	燧石製	燧石	6.6×2.6×2.3	32.2	砥面平砥。	11-5
No.	登録番号	区	出土遺構	層位	種別	器種	長さ×幅×厚 (cm)		備考	写真採取	
3	S-1	S41	S132-ナゲ	-	金属製品	刀子	現16.8×1.4×0.3		両端で、開口離れ。片透り。	11-7	
4	K-5	S41	S132	床面	金属製品	刀子	現11.5×1.4×0.3		両端で、開口離れ。片透り。	11-6	

第36図 S132 竪穴住居跡出土遺物 (2)



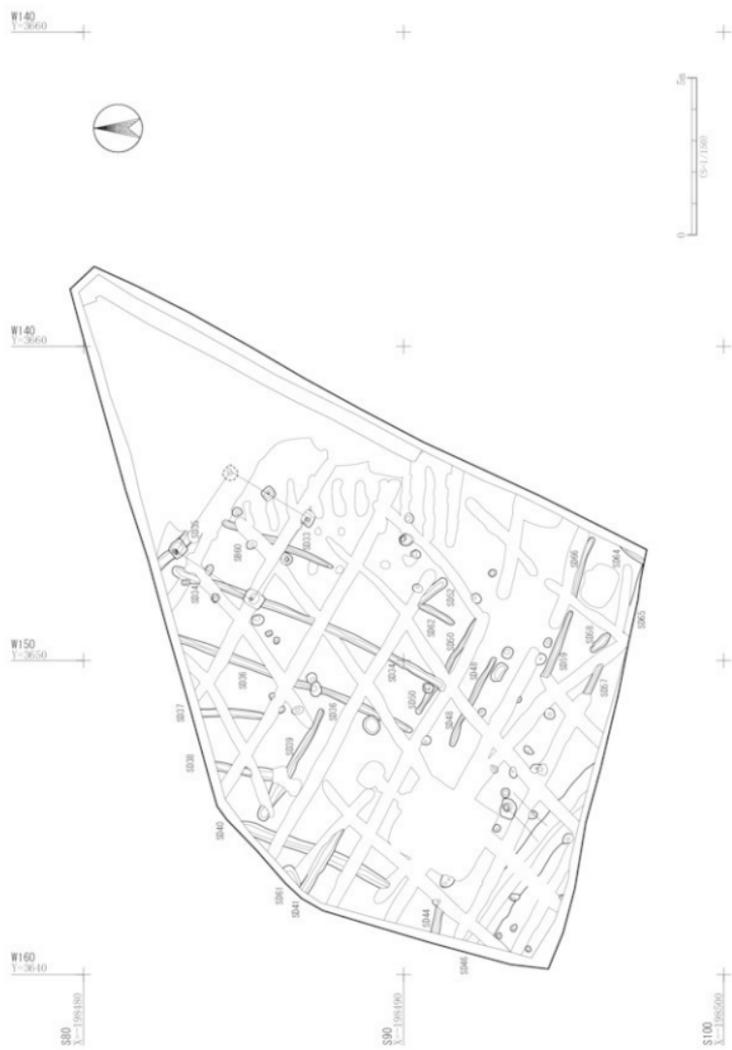
遺構	層位	土色	土性	備考	遺構	層位	土色	土性	備考
SR19	1a	10PB0/1 靑灰色	砂質シルト	酸化鉄を多量含む	SR19	3	10PB5/1 靑灰色	細砂	酸化鉄を含む
	1b	10PB0/1 靑灰色	砂質シルト	酸化鉄を含む		4	10PB3/4 暗褐色	粘土質シルト	靑灰色砂質シルトやフロックを多量、酸化鉄を含む。
	1c	10PB0/2 灰黄褐色	砂質シルト	酸化鉄を多量に含む					
	2	10PB5/1 靑灰色	砂	酸化鉄を含む					

第37図 SR19 河川跡断面図

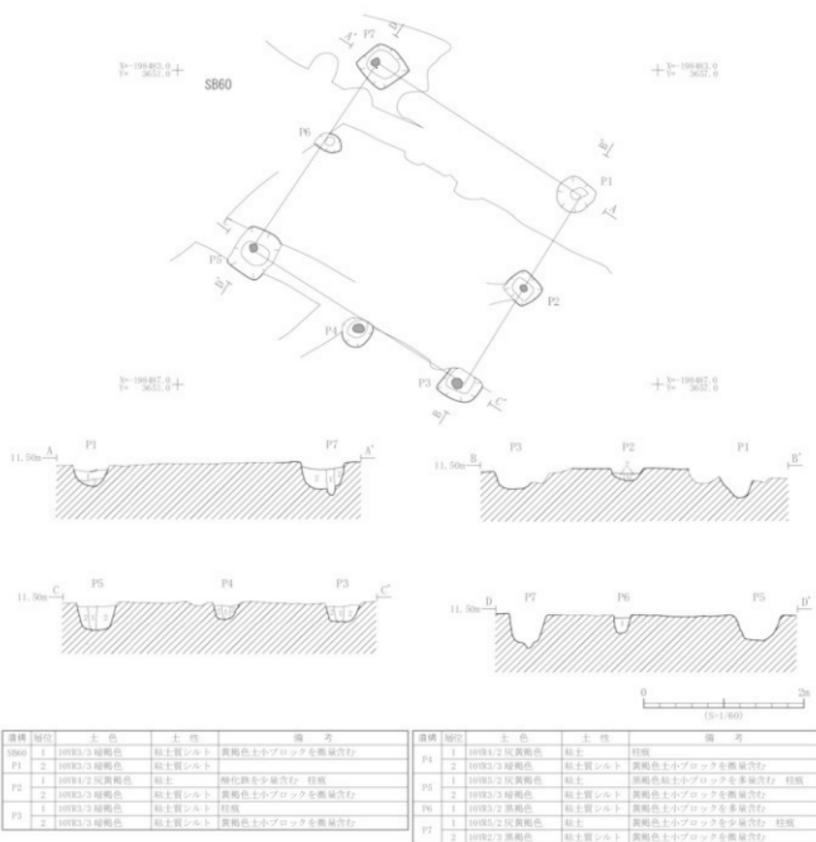


No.	登録番号	区	グリッド	層位	種別	器種	長さ×幅×厚さ (cm)		重量 (g)	備考	写真採取
1	P-2	S41	-	IV a2	土製品	土埴	3.5×3.6×3.4	40.2	孔径0.6		11-8

第38図 IV a2 層遺構外出土遺物



第39図 伊古田遺跡5A1区V部遺構配置図

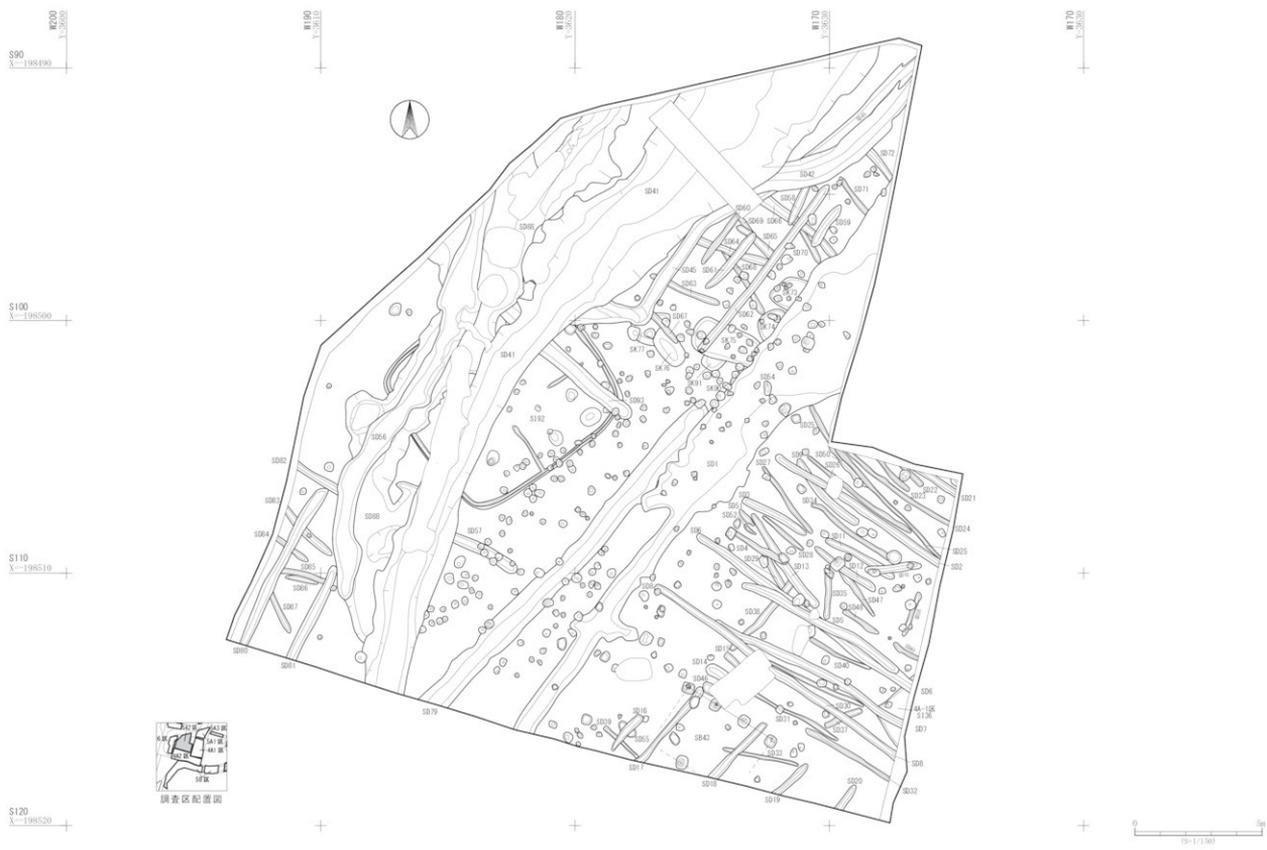


第40図 SB60 掘立柱建物跡平面図・断面図

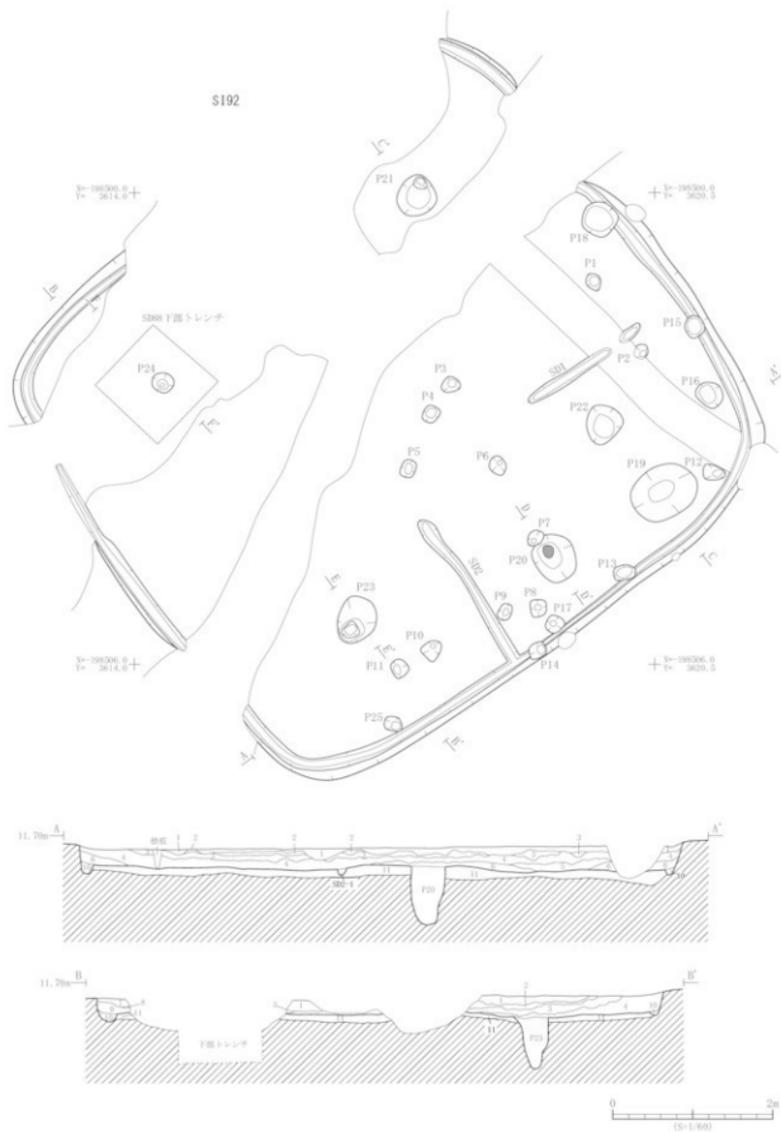


第41図 SD46 溝跡断面図



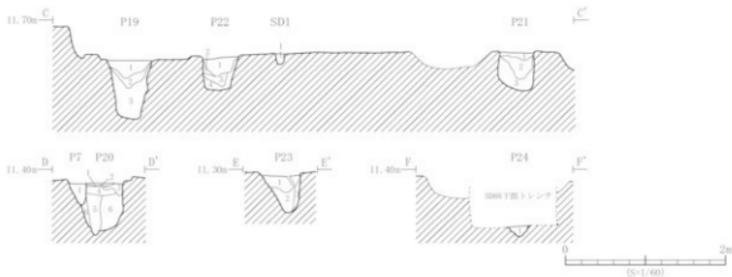


第42図 伊古田遺跡 5A2区 V層遺構配置図



第43図 S192 竪穴住居跡平面図・断面図(1)

第4節 伊古田遺跡 5A2区



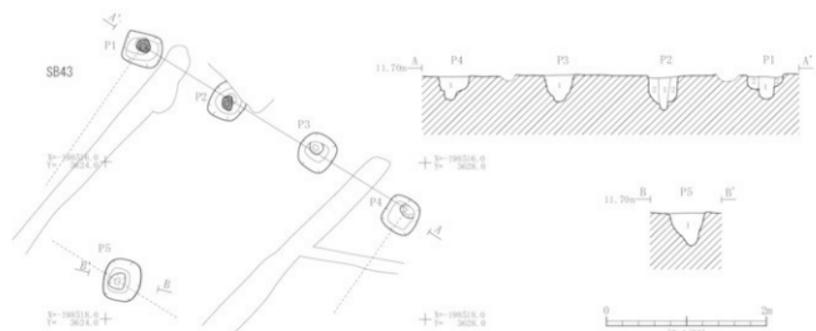
遺構/層位	土色	土性	備考	遺構/層位	土色	土性	備考		
S192	1	10YR4/3に灰・黄褐色	粘土	黒褐色粘土ブロックを少量含む	P20	1	10YR4/2 灰黄褐色	粘土質シルト	炭化物を少量含む
	2	10YR5/4に灰・黄褐色	粘土	黒褐色粘土ブロックを少量含む		2	10YR3/1 黒褐色	粘土	
	3	10YR3/2 黒褐色	粘土	黒褐色粘土ブロックを多量含む		3	10YR3/2 黒褐色	粘土	
	4	10YR3/2 黒褐色	シルト質粘土	褐色砂質シルトブロック・マンガン粒を少量含む		4	10YR4/4 褐色	シルト	黒褐色粘土ブロック・炭化物ブロックを少量含む
	5	10YR3/1 黒褐色	粘土	炭化物ブロックを複数含む		5	10YR3/4 緑褐色	粘土	柱状
	6	10YR3/3に灰・黄褐色	粘土	マンガン粒を少量含む	6	10YR3/3に灰・黄褐色	シルト	褐色砂質シルトブロックを多量含む	
	7	10YR4/3に灰・黄褐色	砂質シルト	マンガン粒を多量含む	7	10YR3/3 緑褐色	粘土質シルト	炭化物ブロックを含む	
	8	10YR4/4 褐色	砂質シルト		P21	2	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	に灰・黄褐色シルトブロックを多量、炭化物ブロックを含む
	9	10YR4/2 灰黄褐色	砂質シルト	マンガン粒を少量含む		3	10YR3/3 緑褐色	シルト	に灰・黄褐色シルトブロックを少量含む
	10	10YR4/4 緑褐色	粘土質シルト	同層	1	10YR3/3 緑褐色	粘土	褐色シルトブロックを少量、炭化物ブロックを含む	
	11	10YR4/3に灰・黄褐色	シルト	黒褐色シルトブロックを少量含む。壁り方	P22	2	10YR4/4 褐色	シルト	
SD1	1	10YR3/4 緑褐色	粘土質シルト	褐色シルトブロックを少量含む		3	10YR3/2 黒褐色	粘土	炭化物ブロックを含む
	2	10YR3/4 緑褐色	粘土質シルト	褐色シルトブロックを少量含む		4	10YR4/3に灰・黄褐色	粘土質シルト	
SD2	1	10YR3/4 緑褐色	粘土質シルト	褐色シルトブロックを少量含む		1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	に灰・黄褐色シルトブロックを少量含む
	2	10YR4/3に灰・黄褐色	粘土	炭化物ブロックを少量含む	2	10YR3/4 緑褐色	粘土		
	3	10YR3/2 黒褐色	粘土	炭化物ブロックを少量含む	3	10YR3/4 緑褐色	シルト		
P19	2	10YR4/3に灰・黄褐色	粘土質シルト		P24	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	砂を均等に多量含む
	3	10YR3/2 黒褐色	粘土	炭化物ブロックを少量含む					

第44図 S192 竪穴住居跡断面図(2)



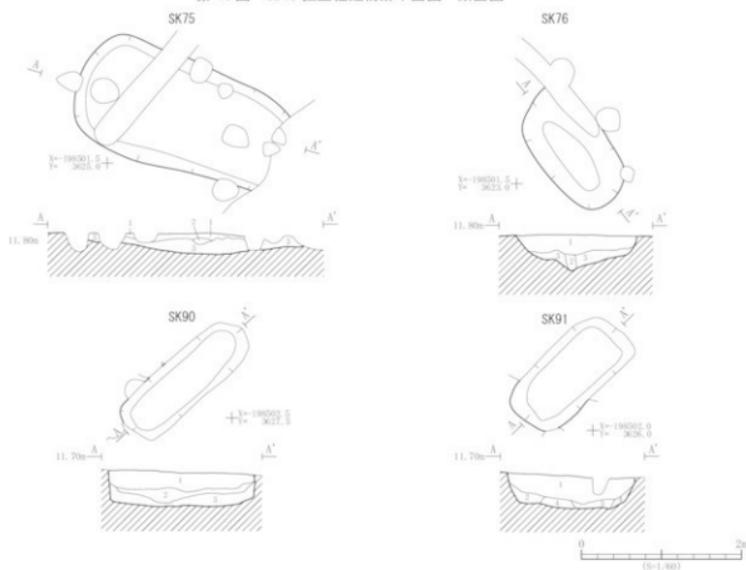
No.	発掘番号	区	出土遺構	層位	種別	用途	口径×底径×高さ(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真掲載
1	C-11	5A2	S192	灰黄	土間部	竪	×(8.0)×(26.3)	ハタメ・ヘラミゾカ	ハラナダ・形オケ		11-9

第45図 S192 竪穴住居跡出土遺物



遺構 層位	土色	土性	備考	遺構 層位	土色	土性	備考
SB43 1	10R04/2 灰黄褐色	粘土	柱痕	P3 1	10R03/2 黒褐色	粘土	褐色粘土質シルトブロックを少量含む
P1 2	10R03/3 緑褐色	粘土質シルト	褐色粘土質シルトブロックを少量含む	P4 1	10R03/2 黒褐色	粘土	褐色粘土質シルトブロックを少量含む
P2 1	10R04/2 灰黄褐色	粘土	柱痕	P5 1	10R03/3 緑褐色	粘土	褐色粘土質シルトブロックを少量含む
P2 2	10R03/3 緑褐色	粘土	褐色粘土質シルトブロックを多量含む				

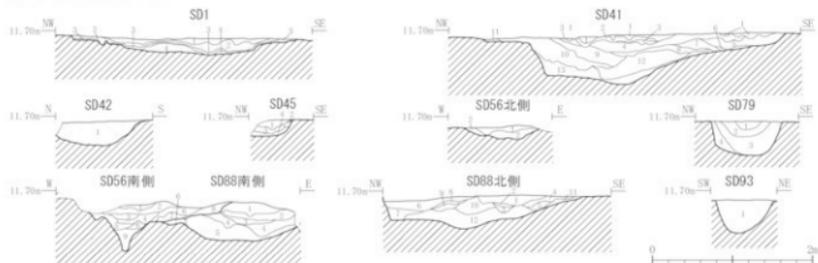
第46図 SB43掘立柱建物跡平面図・断面図



遺構 層位	土色	土性	備考	遺構 層位	土色	土性	備考
SK75 1	10R03/1 黄褐色	粘土	褐色シルトブロック・マンガン粒を少量含む	SK90 1	10R03/1 黄褐色	粘土	にじみ黄褐色シルトブロックを少量含む
SK75 2	10R03/2 黒褐色	粘土	マンガン粒を少量含む	SK90 2	10R04/4 褐色	シルト	緑褐色粘土質シルトブロックを少量含む
SK75 3	10R04/3 にじみ黄褐色	粘土	マンガン粒を少量含む	SK90 3	10R03/4 緑褐色	粘土質シルト	
SK76 1	10R03/2 黒褐色	粘土	灰黄褐色シルトブロック・マンガン粒を少量含む	SK91 1	10R04/2 灰黄褐色	粘土	
SK76 2	10R03/1 黄褐色	粘土		SK91 2	10R03/1 黄褐色	粘土	にじみ黄褐色粘土質シルトブロックを少量含む
SK76 3	10R04/4 褐色	粘土質シルト	緑褐色粘土ブロックを多量含む	SK91 3	10R03/2 黒褐色	粘土	褐色粘土質シルトブロックを少量含む
				SK91 4	10R04/3 にじみ黄褐色	粘土質シルト	灰黄褐色粘土ブロックを少量含む

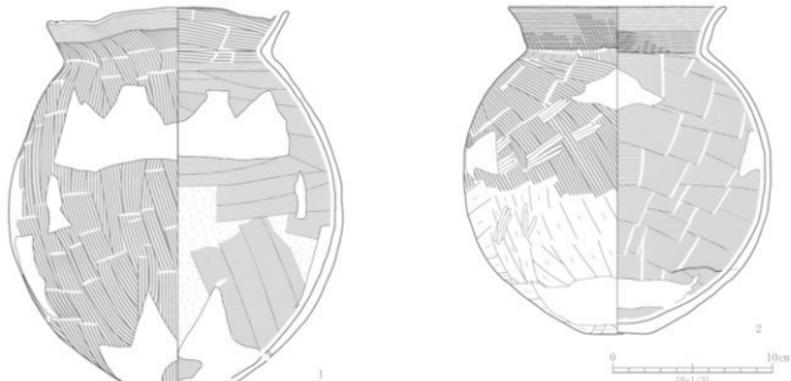
第47図 土坑平面図・断面図

第4節 伊古田遺跡 5A2区



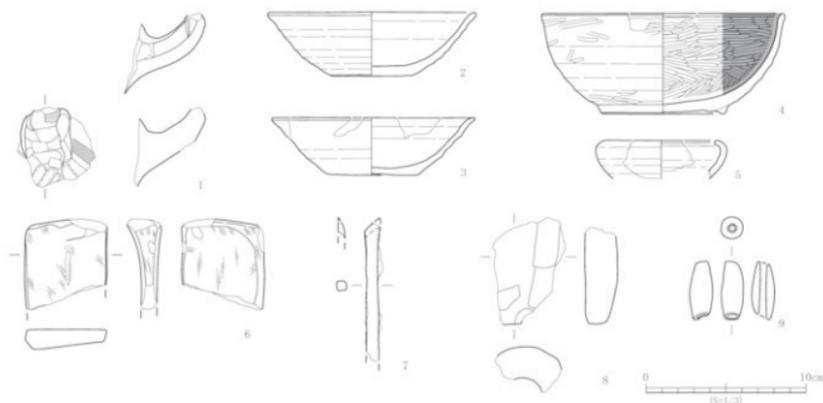
遺構	層位	土色	土性	備考	遺構	層位	土色	土性	備考
S01	1	10YR4/3にぶい・黄褐色	砂	褐色細砂、灰白火山灰を少量含む	S056南側	5	10YR3/4暗褐色	粘土	褐色細砂を少量含む
	2	10YR4/1褐色	粘土	灰白火山灰を少量含む		6	10YR4/3にぶい・黄褐色	シルト質砂	
	3	褐色鉄屑		下部にマンガンを含む		7	10YR4/3にぶい・黄褐色	粘土質シルト	にぶい・黄褐色細砂を均質に含む
	4	10YR4/4褐色	シルト	黒褐色粘土質シルトブロックを多量含む		8	10YR5/3にぶい・黄褐色	細砂	マンガン結を多量含む
	1	10YR3/3暗褐色	粘土	マンガン結を多量、明褐色土を少量含む		9	10YR3/4暗褐色	粘土	黄褐色粘土ブロックを少量含む
	2	10YR4/2灰黄褐色	シルト質砂	暗褐色粘土ブロックを少量含む		1	10YR4/4褐色	シルト	マンガン結を多量含む
	3	10YR2/2黒褐色	粘土質シルト			2	10YR3/4暗褐色	粘土質シルト	灰黄褐色粘土ブロック・マンガン結を少量含む
	4	10YR4/2灰黄褐色	細砂	細砂との互層		3	10YR3/4暗褐色	粘土質シルト	褐色シルトブロックを少量含む
	5	10YR4/3にぶい・黄褐色	シルト質砂			4	10YR4/4褐色	シルト	暗褐色粘土質シルトブロックを少量含む
	6	10YR3/2暗褐色	粘土			1	10YR2/2黒褐色	粘土質シルト	
	7	10YR4/3にぶい・黄褐色	細砂			2	10YR4/2灰黄褐色	シルト	
	8	10YR2/1黒色	粘土	褐色色細砂・褐色粘土の互層		3	10YR3/3暗褐色	細砂	
	9	10YR4/3にぶい・黄褐色	シルト質砂	にぶい・黄褐色細砂との互層、暗褐色粘土ブロックを少量含む		4	10YR3/1黒褐色	粘土	褐色細砂ブロックを含む
10	10YR4/1褐色	粘土質シルト	にぶい・黄褐色砂を層状に、暗褐色粘土ブロックを少量含む	5	10YR2/2暗褐色	粘土	暗褐色細砂を均質に含む		
11	10YR4/3にぶい・黄褐色	シルト質砂		6	10YR3/3暗褐色	シルト	黄褐色粘土質シルトブロック・にぶい・黄褐色シルトブロックを少量含む		
12	10YR4/3にぶい・黄褐色	シルト質砂	褐色色細砂との互層	7	10YR2/2暗褐色	粘土	にぶい・黄褐色細砂を多量含む		
13	10YR4/3にぶい・黄褐色	シルト質砂	にぶい・黄褐色細砂を均質に含む	8	10YR4/4褐色	シルト質砂	にぶい・黄褐色細砂との互層		
SD42	1	10YR4/2灰黄褐色	シルト質砂	灰白石灰・黒褐色粘土・マンガン結を少量含む	S088北側	1	10YR4/2灰黄褐色	粘土	黒色粘土ブロックを少量含む
	1	10YR2/2黒褐色	粘土	灰黄褐色細砂を少量含む		2	10YR4/4褐色	シルト	
	2	10YR4/2灰黄褐色	粘土			3	10YR4/2灰黄褐色	細砂	黄褐色シルトブロックを少量含む
SD43	1	10YR4/2灰黄褐色	砂	褐色細砂を少量含む	S088南側	1	10YR2/2暗褐色	粘土	にぶい・黄褐色シルト・暗褐色粘土質シルトとの互層、灰化物を少量含む
	1	10YR2/1黒褐色	粘土	灰黄褐色細砂を少量含む		2	10YR2/2暗褐色	粘土	灰化物を多量含む
	2	10YR4/2灰黄褐色	シルト質砂	黄褐色粘土ブロックを少量含む		3	10YR2/2暗褐色	粘土	灰化物を多量含む
	1	10YR5/3にぶい・黄褐色	細砂	マンガン結を多量含む		4	10YR3/1黒褐色	粘土	暗褐色粘土ブロック・灰化物を少量含む
南側	2	10YR4/3にぶい・黄褐色	砂	黒褐色シルトブロック・マンガン結を少量含む	5	10YR3/3暗褐色	粘土	褐色粘土ブロック・灰化物を少量含む	
	3	10YR3/3暗褐色	シルト質砂	灰化物を少量含む	6	10YR4/2灰黄褐色	シルト	灰化物を少量含む	
北側	1	10YR4/3にぶい・黄褐色	シルト	にぶい・黄褐色砂・黒褐色粘土との互層	SD93	1	10YR4/3にぶい・黄褐色	シルト	黄褐色シルトブロックを少量含む
	4	10YR4/3にぶい・黄褐色	シルト						

第48図 溝跡断面図



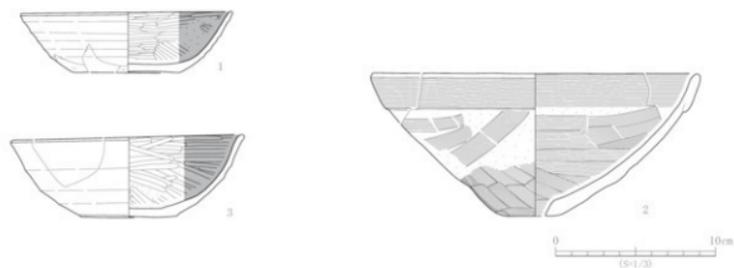
No.	器物番号	区	出土遺構	層位	種類	総経	口径×底径×高さ (cm)	表面調整	内面調整	備考	写真図版
1	C-9	5A2	S051	-	土師器	壺	15.1×9×24.0	ヨコナデ・ヘナデ	ヨコナデ・ヨコナデ	内面無調整	11-11
2	C-10	5A2	S088	-	土師器	壺	(13.4)×3.9×20.9	ハクメ・ヨコナデ・ヘナデ・ヨコナデ・ヘナデ・ヘラヒラ	ヨコナデ・ヘナデ	内面無調整	12-11

第49図 溝跡出土遺物 (1)



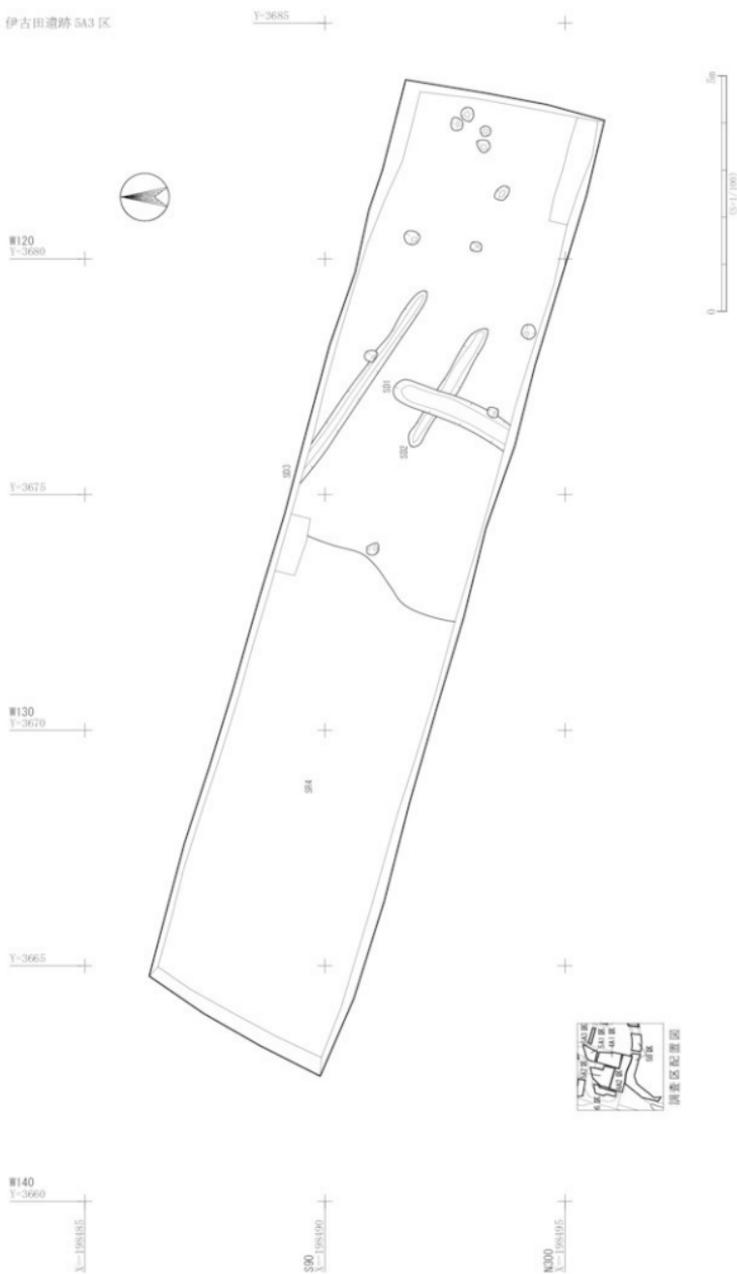
No.	登録番号	区	出土遺構	層位	種別	器種	口径×底径×器高 (cm)	外面調整	内面調整	備考	写真図版
1	C-12	S42	SD41	-	土師器	輪郭子	- × - × 規 5.1	指先平直 × ナデ	-	-	12-1
2	D-6	S42	S888	-	赤褐色土器	甔	(13.4) × 4.9 × 4.1	ロクロナデ 底部回転糸切り	ロクロナデ・ヘラナデ・磨ナデ	-	12-6
3	E-10	S42	S888	-	灰褐色土器	甔	(12.7) × 5.6 × 規 3.7	ロクロナデ 底部回転糸切り	ロクロナデ	-	12-10
4	D-7	S42	S888	-	土師器	高台付甔	(15.2) × 7.2 × 規 4.4	ロクロナデ・ヘラミダテ 底部回転糸切り→高台付	ヘラミダテ・染色処理	-	12-5
5	I-8	S42	S851	-	緑釉陶器	鉢	(7.2) × - × 規 2.4	ロクロナデ・ヘラミダテ	ロクロナデ・ヘラミダテ	-	13-10
No.	登録番号	区	出土遺構	層位	種別	器種	石 材	長さ×幅×厚さ (cm)	重さ (g)	備考	写真図版
6	K3-a-3	S42	S888	-	石製品	砥石	凝灰岩	(5.8) × 5.2 × 2.4 (15.4)	砥石 1 枚、下部全壊	-	12-7
No.	登録番号	区	出土遺構	層位	種別	器種	長さ×幅×厚さ (cm)	備考	写真図版		
7	N-6	S42	S888	-	金属製品	鉄銚	規 8.9 × 0.9 × 0.6	銚身部は無数の片刃で、端刃となる。片造り。	12-8		
10	N-7	S42	S888	-	金属製品	銅針洋	7.1 × 5.7 × 2.6	写真掲載。	12-3		
11	N-8	S42	S888	-	金属製品	銅針洋	9.6 × 6.5 × 3.0	写真掲載。	12-4		
No.	登録番号	区	出土遺構	層位	種別	器種	長さ×幅×厚さ (cm)	重さ (g)	備考	写真図版	
8	P-5	S42	SD41	-	土製品	輪(射口)	規 6.8 × 規 4.6 × 2.1 (56.0)	-	ナデ。	12-2	
9	P-3	S42	S888	-	土製品	土埴	3.7 × 1.4 × 1.4 孔径 0.4 cm	-	-	12-9	

第50図 溝跡出土遺物(2)

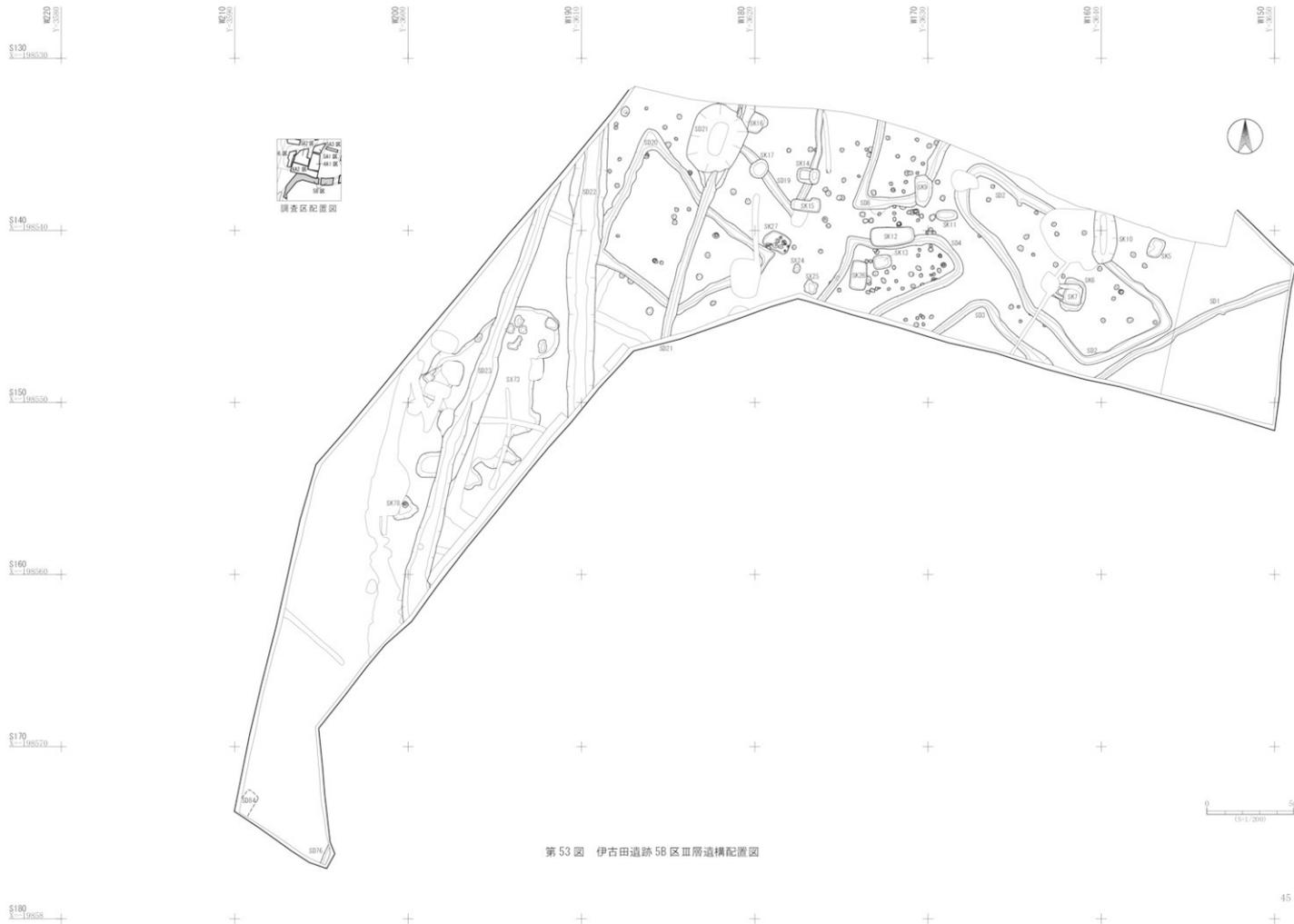


No.	登録番号	区	出土遺構	層位	種別	器種	口径×底径×器高 (cm)	外面調整	内面調整	備考	写真図版
1	D-5	S42	P285	-	土師器	甔	13.2 × 6.2 × 3.9	ロクロナデ 縁部下縁平直 ヘラミダテリ 底部平直 ヘラミダテ	ヘラミダテ・染色処理	-	12-12
2	C-8	S42	-	V	土師器	甔	(20.4) × 3.3 × 9.0	ロクロナデ・ヘラナデ	ロクロナデ・ヘラナデ	-	12-13
3	D-4	S42	-	V	土師器	甔	(14.4) × 6.0 × 5.1	ロクロナデ 底部回転糸切り →手持りヘラミダテ	ヘラミダテ・染色処理	内面筆触。	12-14

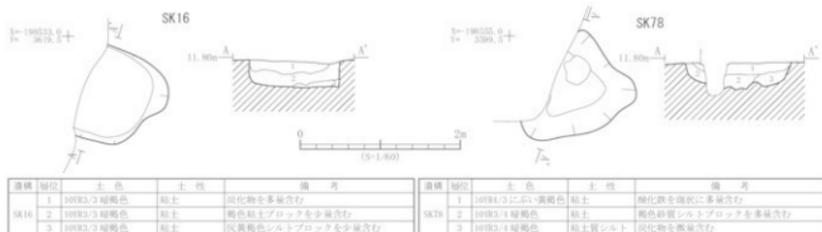
第51図 P285ビット V層出土遺物



新52図 伊古田遺跡 5A3区V部遺構配置図



第53圖 伊古田遺跡5B区Ⅲ層遺構配置圖

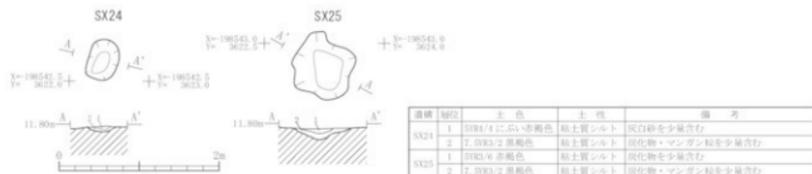


第54図 SK16・78 土坑平面図・断面図

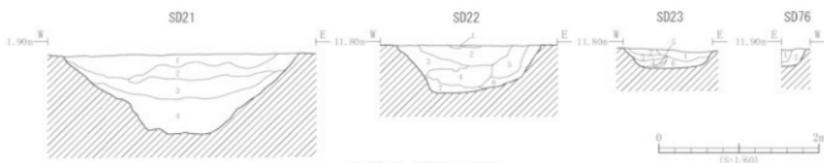


No.	登録番号	区	出土遺構	層位	種別	器種	口径×底径×器高 (cm)	表面調整	内面調整	備考	写真掲載
1	D-10	3B	SK16	地下層	赤褐色土器	甕	(11.32 × 4.6 × 3.2)	ロタロナデ 底面凹輪状凸	ロタロナデ		13-1
2	I-16	3B	SK16	2	灰物陶器	高脚蓋	- × × 径 3.0	ロタロナデ	ロタロナデ	S42 灰V層出土の漆器片と縁合	13-2
3	D-11	5B	SK17	-	土師器	甕	(15.40 × 6.6 × 5.8)	ロタロナデ 底面凹輪状凸	ヘラミヤナ・赤色焼埋		12-16
No.	登録番号	区	出土遺構	層位	種別	器種	右 径	長さ×幅×厚 5 (mm)	重さ (g)	備考	写真掲載
4	Kd-a-8	5B	SK16	2	石製品	砥石	縦切型	(7.90 × 15.30 × 13.00)	(112.4)	スズ付着あり	13-4
5	Kd-a-5	5B	SK15	-	石製品	砥石	縦切型	(10.23 × 9.9 × 1.6)	(88.0)	砥面4面、両端面欠損	12-15
No.	登録番号	区	出土遺構	層位	種別	器種	備考	文様等	写真掲載	備考	写真掲載
6	P-9	5B	SK16	-	土製品	焼粘土塊					13-3

第55図 土坑出土遺物



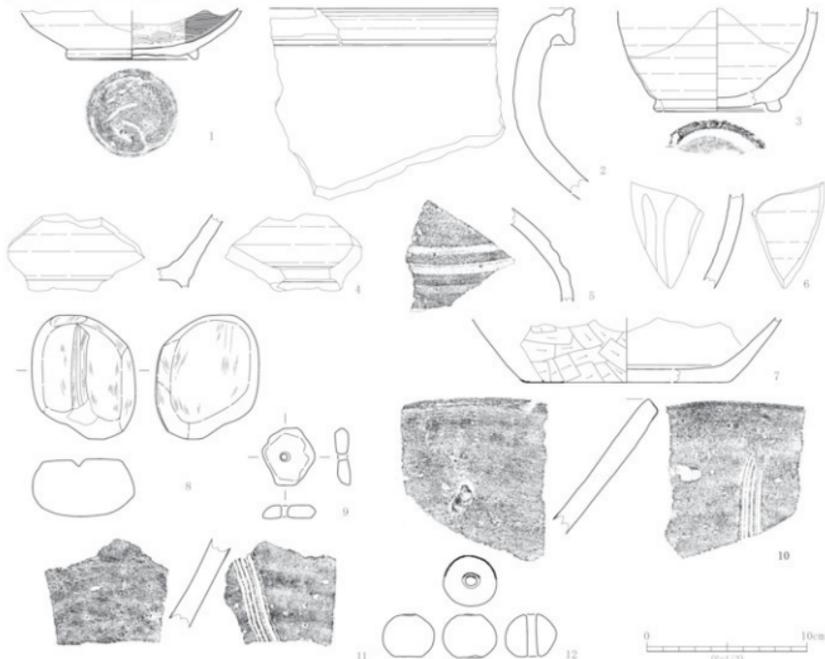
第56図 SX24・25 性格不明遺構平面図・断面図



第57図 溝跡断面図

溝跡土層計表

遺跡	層位	土色	土性	備考	遺跡	層位	土色	土性	備考
S021	1	10YR3/4 暗褐色	シルト質粘土	褐色粘土ブロックを少量含む	S022	6	10YR4/4 暗褐色	粘土質シルト	
	2	10YR4/3 に近い黄褐色	粘土	暗褐色粘土ブロック・炭化物を少量含む		7	2.0YR5/3 黄褐色	粘土質シルト	褐色砂を含む
	3	10YR4/3 に近い黄褐色	粘土	黒褐色粘土ブロックを少量含む	1	10YR4/3 に近い黄褐色	砂質シルト	灰白色砂、酸化鉄粒を少量含む	
	4	10YR5/3 に近い黄褐色	粘土	酸化鉄を複数に少量含む	2	10YR5/3 に近い黄褐色	粘土質シルト	マンガン粒、酸化鉄粒を少量含む	
S023	1	10YR2/2 黒褐色	シルト	褐色砂を少量含む	3	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	酸化鉄粒、灰白色砂を少量含む	
	2	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	褐色砂・黒色粘土質シルトブロック、灰白火山灰を少量含む	4	10YR5/4 に近い黄褐色	粘土	灰黄色粘土ブロック主体、酸化鉄粒を少量含む	
	3	10YR4/3 に近い黄褐色	砂質シルト	黄褐色粘土質シルトブロックを少量含む	5	10YR4/3 に近い黄褐色	粘土	マンガン粒を少量含む	
	4	10YR4/3 に近い黄褐色	粘土	灰黄色粘土ブロックを少量含む	6	10YR4/3 に近い黄褐色	粘土	灰黄色粘土ブロックを少量含む	
S026	1	10YR3/3 暗褐色	粘土	酸化鉄を少量含む	S026	1	10YR3/3 暗褐色	砂質シルト	酸化鉄を少量含む
	2	10YR4/3 に近い黄褐色	シルト質粘土	灰白色シルトブロックを含む		2	10YR4/3 に近い黄褐色	シルト質粘土	灰白色シルトブロックを含む

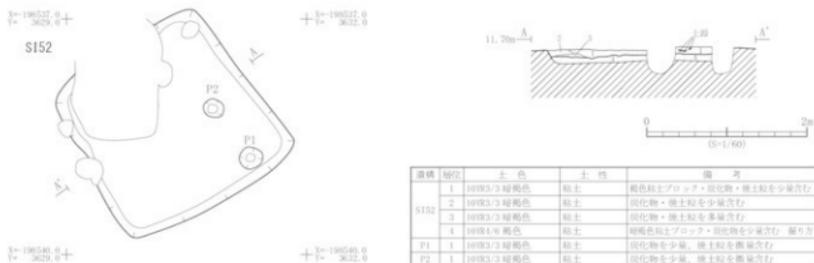


No.	登録番号	区	出土遺構	層位	種別	器種	口径×底径×器高 (cm)	表面調整	内面調整	備考	写真図版	
1	D-9	5B	S023	-	土師器	高付付帯	×7.9×規3.1	ロクロナデ	底面・側面未施 6→裏面付帯	へツミガキ・黒色処理 外面底面不明加工	12-17	
3	F-14	5B	S022	1	灰土質陶器	高脚蓋	×18.0×規6.6	ロクロナデ	ロクロナデ	底面施釉	13-13	
No. <th>登録番号</th> <th>区</th> <th>遺構名</th> <th>層位</th> <th>種別</th> <th>器種</th> <th>口径×底径×器高 (cm)</th> <th>特 徴</th> <th>器 地</th> <th>時 期</th> <th>写真図版</th>	登録番号	区	遺構名	層位	種別	器種	口径×底径×器高 (cm)	特 徴	器 地	時 期	写真図版	
2	F-10	5B	S022	-	陶器	蓋	×××規12.2	ロクナデ	常滑	中世	13-11	
4	F-11	5B	S022	-	陶器	片口鉢	×××規5.0	ロクナデ	内面・自然釉付帯	常滑	中世	13-10
5	F-8	5B	S021	-	陶器	蓋	×××規5.9	ロクナデ	常滑	中世	13-5	
6	F-13	5B	S022	-	陶器	蓋	×××規6.8	ロクナデ	外面・自然釉付帯	常滑	中世	13-12
7	F-9	5B	S022	-	陶器	蓋	×(13.0)×規4.1	へツケテラ	在池	中世	13-9	
10	F-12	5B	S021	-	陶器	楕鉢	×××規8.9	ロクナデ	内面・掻目(単位6本)	在池	中世	13-6
11	F-7	5B	F90	1	陶器	楕鉢	×××規5.6	ロクナデ	内面・掻目(単位6本)	在池	中世	13-15
No. <th>登録番号</th> <th>区</th> <th>出土遺構</th> <th>層位</th> <th>種 別</th> <th>器 種</th> <th>材 料</th> <th>長さ×幅×厚さ (cm)</th> <th>重 さ (g)</th> <th>備 考</th> <th>写真図版</th>	登録番号	区	出土遺構	層位	種 別	器 種	材 料	長さ×幅×厚さ (cm)	重 さ (g)	備 考	写真図版	
8	Kd-a-6	5B	S021	-	石製品	砥石	安山岩	7.9×6.4×3.7	237.1	両縁部磨面あり	13-7	
9	Kd-f-1	5B	S023	-	石製品	碓石	碓石	3.7×3.3×0.9	10.5	孔内面に磨面付帯あり	12-18	
No. <th>登録番号</th> <th>区</th> <th>出土遺構</th> <th>層位</th> <th>種 別</th> <th>器 種</th> <th>材 料</th> <th>長さ×幅×厚さ (cm)</th> <th>重 さ (g)</th> <th>備 考</th> <th>写真図版</th>	登録番号	区	出土遺構	層位	種 別	器 種	材 料	長さ×幅×厚さ (cm)	重 さ (g)	備 考	写真図版	
12	F-6	5B	S021	-	土製品	土牌	土	2.8×3.3×3.2	29.0	口径0.7	13-8	

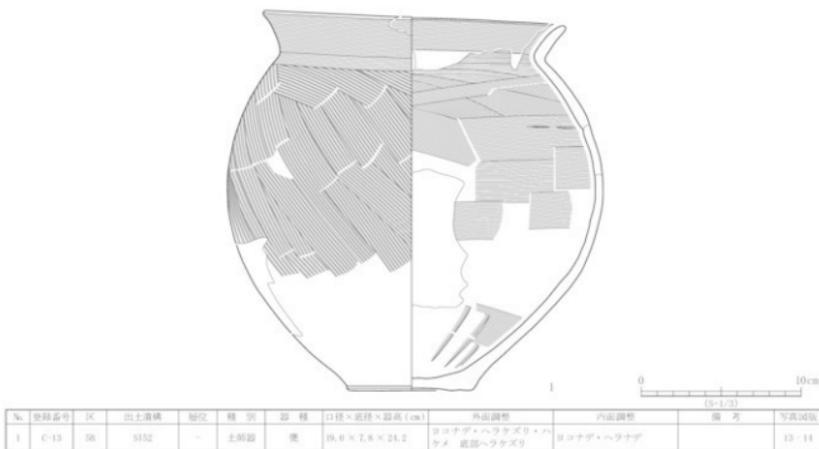
第58図 溝跡出土遺物



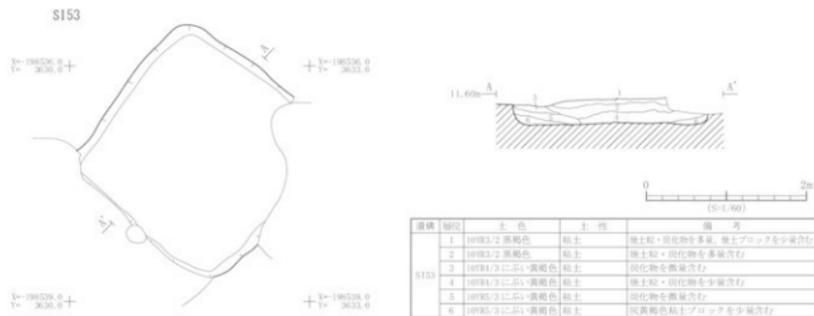
第59图 伊古田遗址B区V层遗构配置图



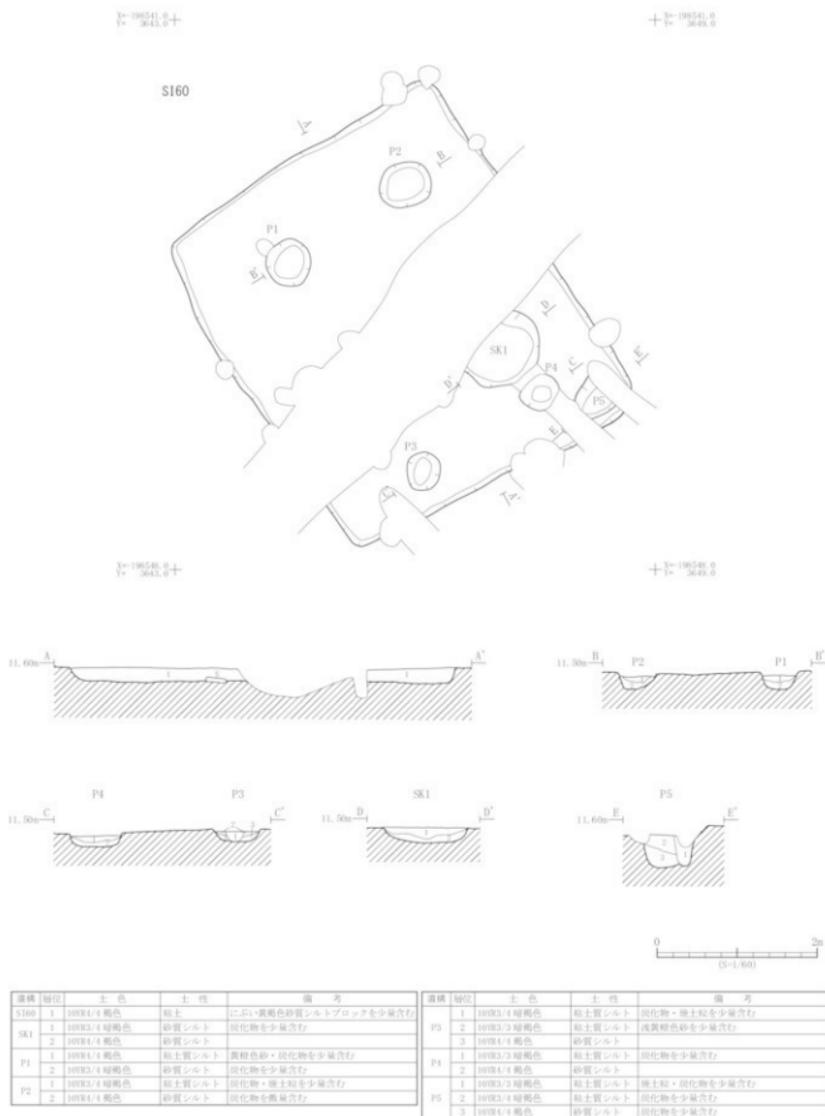
第60図 S152 竪穴遺構平面図・断面図



第61図 S152 竪穴遺構出土遺物



第62図 S153 竪穴遺構平面図・断面図

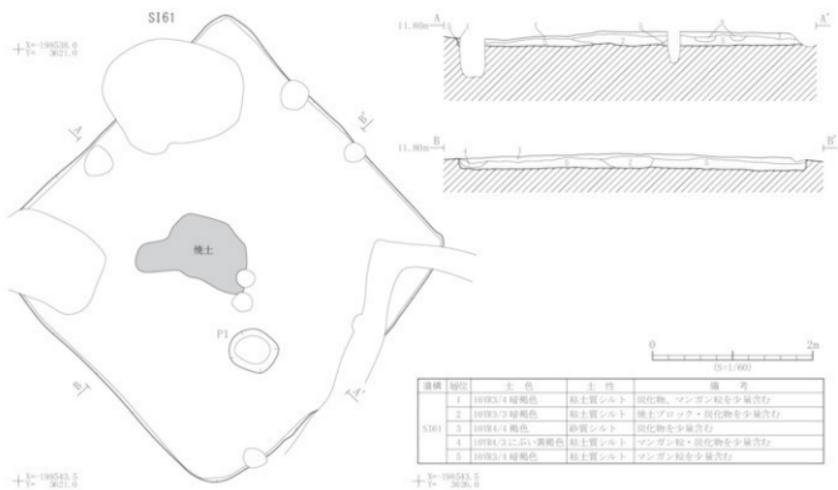


第63図 S160 竪穴住居跡平面図・断面図



No.	登録番号	区	出土遺構	層位	種類	総称	名称等	備考	写真図版
1	A-3	Ⅱ	S160-S81	-	縄文土器	須弥	網目・波線文・珠線文		14-6

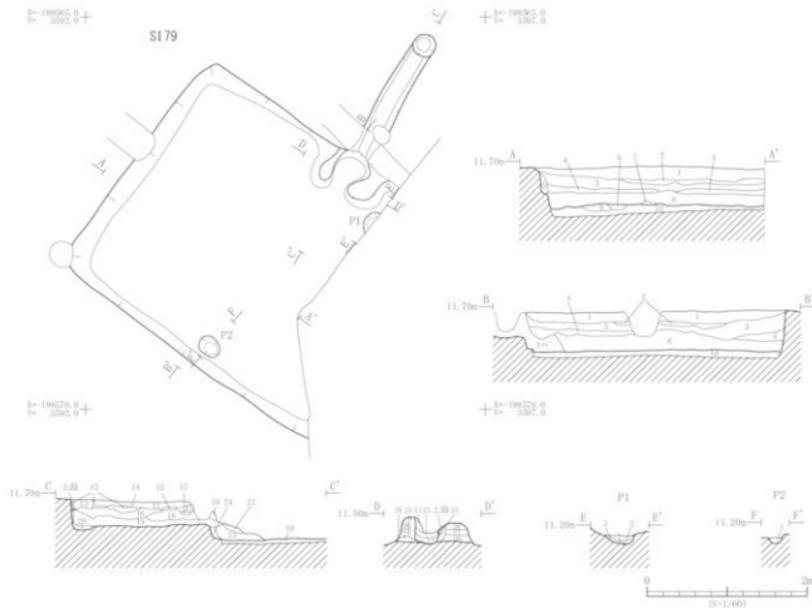
第64図 S160 竪穴住居跡出土遺物



遺構	層位	土色	土性	備考
1	10R3/4	緑褐色	粘土質シルト	炭化物、マンガン粒を少量含む
2	10R3/3	緑褐色	粘土質シルト	焼土ブロック・炭化物を少量含む
3	10R3/4	褐色	砂質シルト	炭化物を少量含む
4	10R4/3	二色、黄褐色	粘土質シルト	マンガン粒・炭化物を少量含む
5	10R3/4	緑褐色	粘土質シルト	マンガン粒を少量含む

第65図 S161 竪穴住居跡平面図・断面図

第4節 伊古田遺跡SB区



遺構 層位	土色	土性	備考
1	10R3/4 緑褐色	粘土質シルト	炭化物を少量含む
2	10R3/3 緑褐色	粘土質シルト	炭化物・焼土粒を少量含む
3	10R3/2 緑褐色	シルト質粘土	褐色赤質シルトブロック・炭化物を少量含む
4	10R3/1 緑褐色	シルト質粘土	炭化物を少量含む
5	10R4/4 黄褐色	粘土質シルト	灰白色砂を少量含む
6	10R4/3 黄褐色	粘土	灰黄褐色粘土ブロック・炭化物を少量含む
7	10R4/1 黄褐色	砂質シルト	炭化物を少量含む
8	10R3/4 緑褐色	粘土質シルト	腐り方
9	10R3/3 緑褐色	粘土質シルト	炭化物を少量含む
10	10R4/1 黄褐色	砂質シルト	緑褐色粘土ブロックを少量含む
11	10R4/3 黄褐色	粘土質シルト	茶褐色シルト質粘土ブロックを少量含む
12	10R2/3 茶褐色	シルト質粘土	焼土層
13	10R3/4 緑褐色	粘土質シルト	炭化物・焼土粒を少量含む
14	10R3/3 緑褐色	粘土質シルト	炭化物を少量含む
15	10R3/2 緑褐色	粘土質シルト	炭化物・焼土粒を少量含む
16	10R3/1 緑褐色	粘土質シルト	炭化物・焼土粒を少量含む

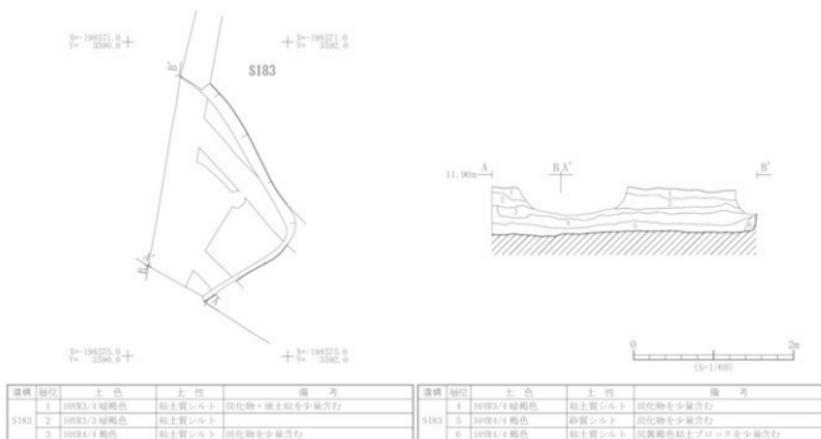
遺構 層位	土色	土性	備考	
17	10R2/2 茶褐色	シルト質粘土	焼土層 焼土又は砂質粘土	
18	10R2/1 茶褐色	シルト質粘土	炭化物・焼土粒を少量含む	
19	10R2/3 緑褐色	粘土質シルト	炭化物を含む	
20	10R4/4 黄褐色	砂質シルト	炭化物を少量含む	
21	10R3/4 緑褐色	粘土質シルト	炭化物・焼土ブロックを少量含む	
22	10R3/2 緑褐色	砂質シルト	焼土ブロックを多量、炭化物を含む	
23	10R2/3 緑褐色	シルト質粘土	焼土ブロックを多量、炭化物を少量含む	
24	10R3/4 緑褐色	砂質シルト	焼土ブロック・炭化物を少量含む	
25	10R3/6 緑褐色	砂質シルト	焼土ブロックを多量、炭化物を含む	
26	10R2/3 茶褐色	砂質シルト	炭化物を少量含む	
27	10R2/4 緑褐色	砂質シルト	カマド跡	
28	10R4/4 黄褐色	砂質シルト	カマド跡	
1	10R2/4 緑褐色	砂質シルト	炭化物を少量含む	
P1	2	10R3/4 緑褐色	砂質シルト	炭化物を少量含む
3	10R4/4 黄褐色	砂質シルト	焼土粒を少量含む	
P2	1	10R4/4 黄褐色	砂質シルト	焼土粒を少量含む

第 66 図 S179 竪穴住居跡平面図・断面図

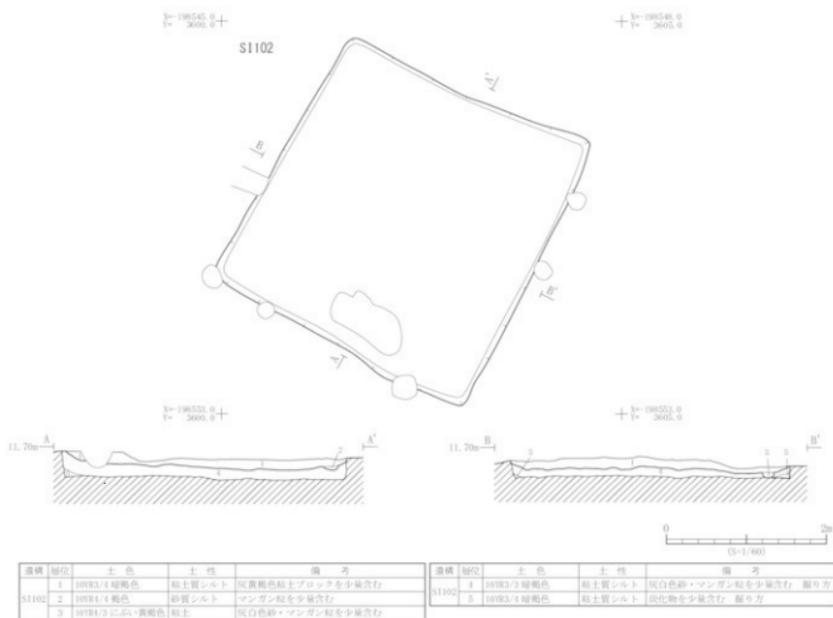


No.	登録番号	区	出土遺構	層位	種別	部材	口径×底径×器高 (cm)	外面調整	内面調整	備考	写真収録
1	C-16	SB	S179	-	土師器	埴	17.5 × 8 × 器高 4.4	ヨコナデ・ヘラケズリ	ヘラミガキ・黒色処理		13-17
2	E-9	SB	S179	-	須弥器	埴	13.9 × 7.0 × 5.6	ヨコナデ 体部下端削付・ヘラケズリ 底部器口縁1.不明	ヨコナデ	外面自然剥付	13-16

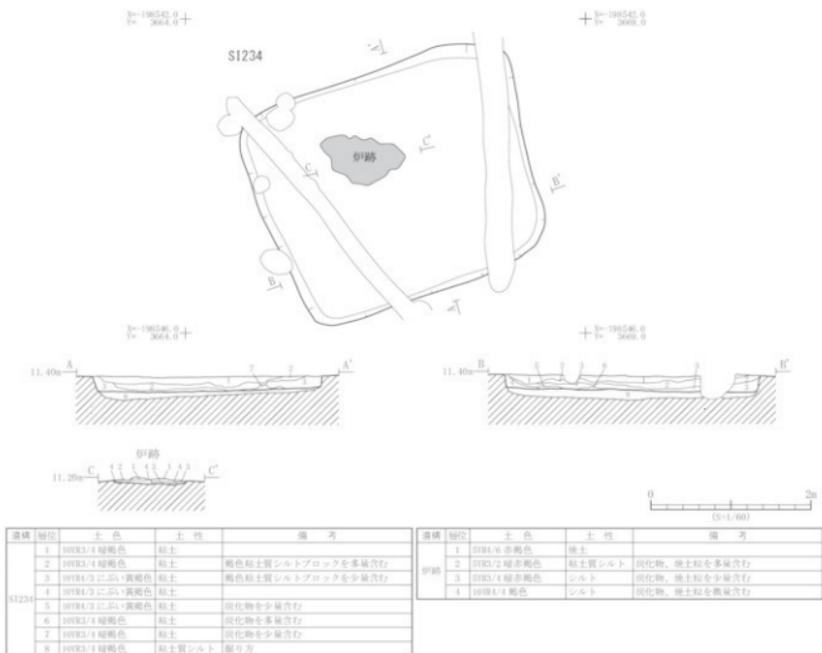
第 67 図 S179 竪穴住居跡出土遺物



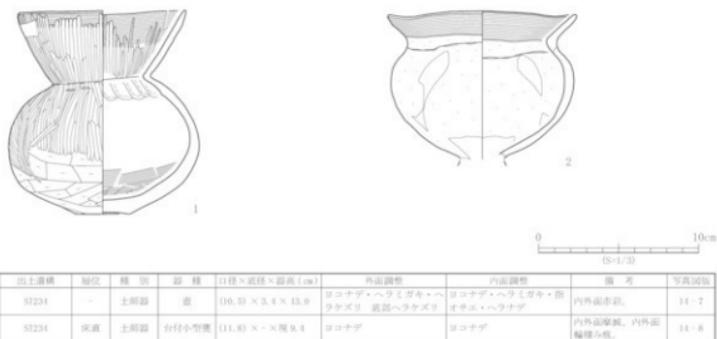
第68図 S183 竪穴住居跡平面図・断面図



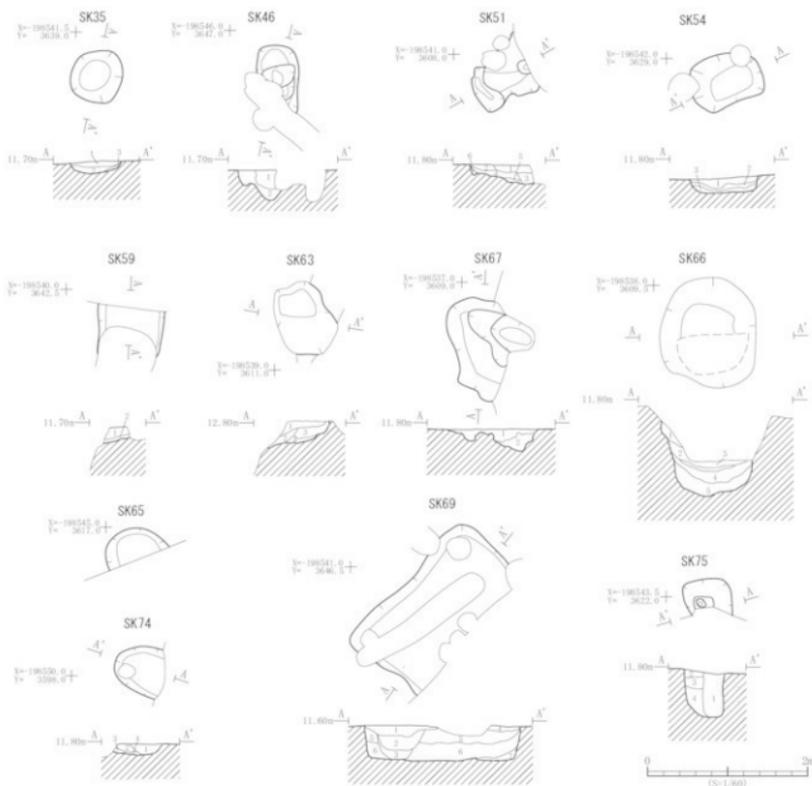
第69図 S1102 竪穴住居跡平面図・断面図



第70図 S1234 竪穴住居跡平面図・断面図



第71図 S1234 竪穴住居跡出土遺物

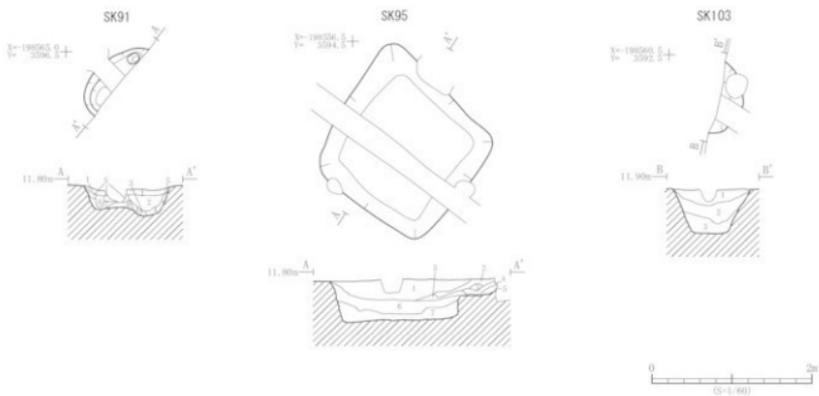


遺構 層位	土色	土性	備考
SK35	1 10PR3/3 緑褐色	粘土質シルト	炭化物を少量含む
	2 10PR4/4 褐色	粘土質シルト	灰白色粘土ブロックを少量含む
SK46	1 10PR3/3 緑褐色	粘土質シルト	V層アロックス主体
	2 10PR4/4 褐色	粘土	褐色粘土ブロックを少量含む
SK51	1 10PR3/3 緑褐色	粘土	褐色粘土ブロックを少量含む
	2 10PR4/4 褐色	粘土	褐色粘土ブロックを少量含む
SK54	1 10PR3/3 緑褐色	粘土質シルト	炭化物を少量含む
	2 10PR4/4 褐色	粘土質シルト	炭化物を少量含む
SK59	1 10PR3/3 緑褐色	粘土質シルト	炭化物を少量含む
	2 10PR4/4 褐色	粘土	褐色粘土ブロックを少量含む
SK63	1 10PR3/3 緑褐色	粘土質シルト	炭化物・酸化鉄を少量含む
	2 10PR4/4 褐色	粘土	褐色粘土ブロックを少量含む
SK67	1 10PR3/3 緑褐色	粘土質シルト	炭化物を少量含む
	2 10PR4/4 褐色	粘土	褐色粘土ブロックを少量含む
SK66	1 10PR3/3 緑褐色	粘土質シルト	炭化物を少量含む
	2 10PR4/4 褐色	粘土	褐色粘土ブロックを少量含む
SK65	1 10PR3/3 緑褐色	粘土質シルト	炭化物を少量含む
	2 10PR4/4 褐色	粘土	褐色粘土ブロックを少量含む
SK69	1 10PR3/3 緑褐色	粘土質シルト	炭化物を少量含む
	2 10PR4/4 褐色	粘土	褐色粘土ブロックを少量含む
SK74	1 10PR3/3 緑褐色	粘土質シルト	炭化物を少量含む
	2 10PR4/4 褐色	粘土	褐色粘土ブロックを少量含む
SK75	1 10PR3/3 緑褐色	粘土質シルト	炭化物を少量含む
	2 10PR4/4 褐色	粘土	褐色粘土ブロックを少量含む

遺構 層位	土色	土性	備考
SK66	3 10PR5/5 に近い黄褐色	粘土	に広い黄褐色粘土ブロックを多量、黒褐色粘土ブロックを少量含む
	4 10PR5/2 灰黄褐色	粘土	黒褐色粘土シルト・に広い黄褐色砂質シルトの互層
SK67	5 10PR5/3 に近い黄褐色	シルト質粘土	に広い黄褐色粘土ブロックを多量含む
	6 10PR5/3 に近い黄褐色	粘土	に広い黄褐色粘土ブロックを少量含む
SK69	1 10PR3/3 緑褐色	粘土質シルト	炭化物を少量含む
	2 10PR4/4 褐色	粘土質シルト	炭化物を少量含む
SK71	1 10PR3/3 緑褐色	粘土質シルト	炭化物を少量含む
	2 10PR4/4 褐色	粘土質シルト	炭化物を少量含む
SK75	1 10PR3/3 緑褐色	粘土	炭化物・マンガン粒を少量含む、粒塊
	2 10PR4/4 褐色	粘土質シルト	マンガン粒を少量含む
SK85	1 10PR3/3 緑褐色	粘土質シルト	炭化物を少量含む
	2 10PR4/4 褐色	粘土質シルト	炭化物を少量含む
SK86	1 10PR3/3 緑褐色	粘土質シルト	炭化物を少量含む
	2 10PR4/4 褐色	粘土質シルト	炭化物を少量含む
SK87	1 10PR3/3 緑褐色	粘土質シルト	炭化物を少量含む
	2 10PR4/4 褐色	粘土質シルト	炭化物を少量含む

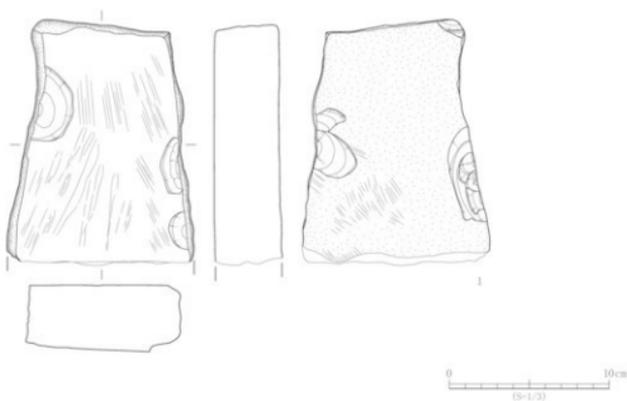
第72図 土坑平面図・断面図(1)

第4節 伊古田遺跡 3B区



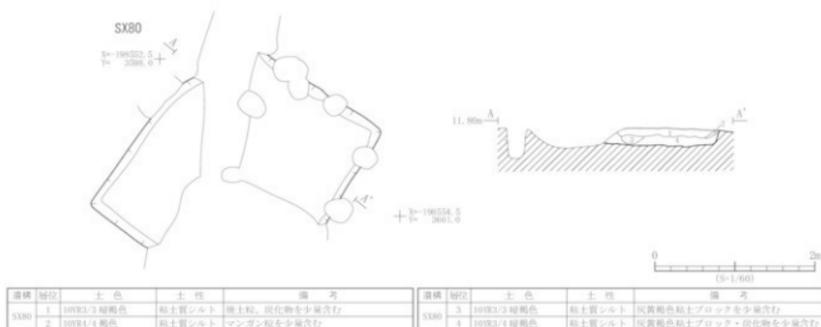
遺構 層位	土色	土性	備考	遺構 層位	土色	土性	備考		
SK91	1	10R11/2に灰・黄褐色	粘土質シルト	灰黄褐色粘土質シルトブロック、炭化物を少量含む	SK95	1	10R3/4暗褐色	粘土質シルト	炭化物・粘土粒を少量含む
	2	10R3/4暗褐色	粘土質シルト			2	10R3/3暗褐色	粘土質シルト	炭化物を少量含む
	3	10R3/3暗褐色	粘土			3	10R3/4暗褐色	粘土質シルト	黄褐色シルト質粘土ブロック・に灰・黄褐色粘土ブロック・炭化物・粘土粒を少量含む
SK103	1	10R1/4暗褐色	砂質シルト	に灰・黄褐色粘土ブロックを少量含む	SK103	1	10R3/4暗褐色	粘土質シルト	炭化物・粘土粒を少量含む
	3	10R2/3黄褐色	粘土	炭化物を少量含む		2	10R3/3暗褐色	粘土質シルト	炭化物を少量含む
	4	10R3/4暗褐色	粘土質シルト	炭化物を少量含む		3	10R4/3暗褐色	粘土質シルト	炭化物を少量含む
	7	10R1/4暗褐色	粘土質シルト	炭化物を少量含む					
8	10R1/4暗褐色	砂質シルト	に灰・黄褐色粘土ブロックを少量含む						

第73図 土坑平面図・断面図(2)

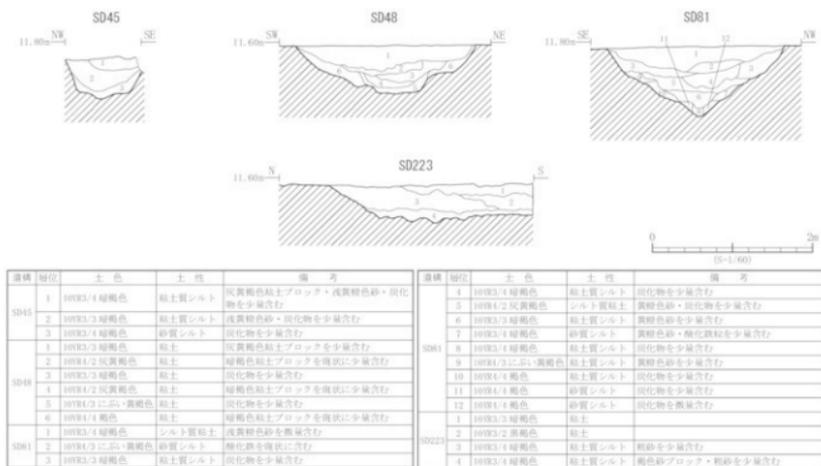


No.	登録番号	区	出土遺構	層位	種別	品群	石材	長さ×幅×厚さ (cm)	重さ (g)	備考	写真掲載
1	K1-a-7	3B	SK68	-	石製品	磁石	石質山岩	15.7×11.7×4.0	106.0	下部欠損。	11-9

第74図 SK68 土坑出土遺物



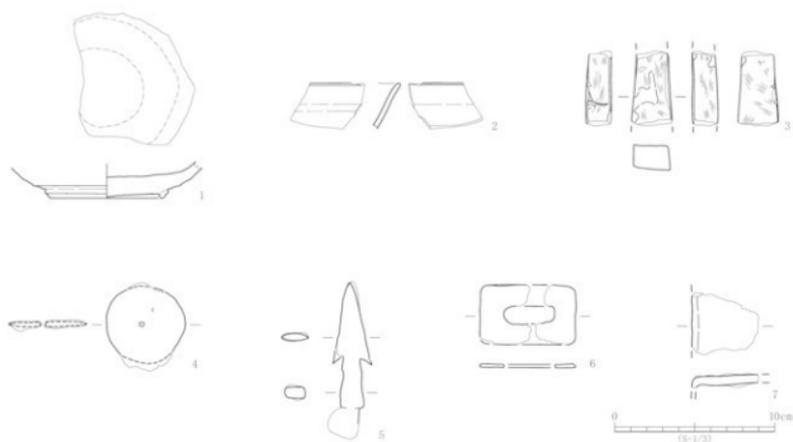
第75図 SX80 性格不明遺構平面図・断面図



第76図 溝跡断面図

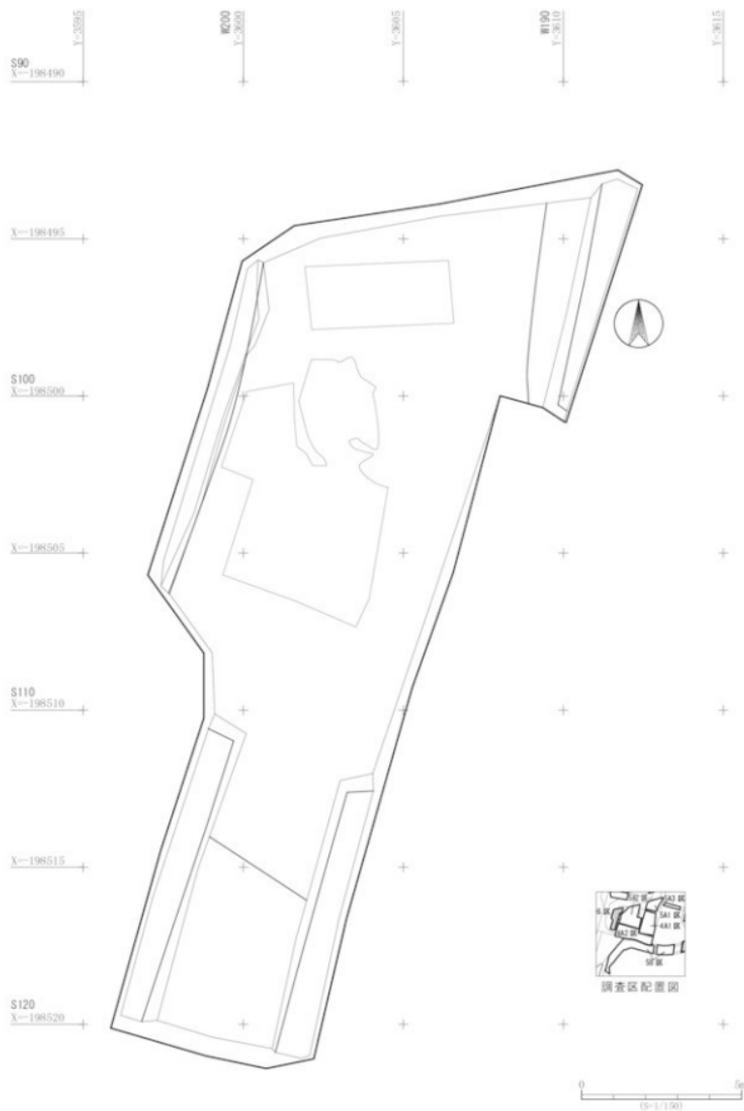


第77図 SD228 溝跡出土遺物



No.	登録番号	区	遺構名	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	特徴	備考	写真掲載	
1	N-15	5B	カクラン	-	陶器	碗	-×11.2×現土面	ロクロ・反拗 内面底縁の目線は直	瀬戸・米津	近世 15-3	
2	J-1	5B	-	-	青磁	碗	-×-×現土面	-	-	15-1	
No.	登録番号	区	出土遺構	層位	種別	器種	石 材	長さ×幅×厚さ(cm)	重さ(g)	備考	写真掲載
3	N-3	5B	出土遺構	層位	石製品	砥石	凝灰岩	長さ×幅×厚さ(cm)	重さ(g)	砥面4面、側縁部欠損	15-2
No.	登録番号	区	出土遺構	層位	種別	器種	長さ×幅×厚さ(cm)	備考		写真掲載	
4	N-10	5B	-	-	金属製品	不明	5.9×4.8×0.2	小孔を有する鉄製片断。孔は中心から偏心している。刃部直方。		15-4	
5	N-11	5B	-	-	金属製品	鉄器	現土7×3.8×0.7	断面部は長二角形で鋭角の逆鉤をもつ。断面は太く、常規。		15-5	
6	N-12	5B	-	-	金属製品	不明	現土7×3.8×0.2	二片あり。中心部に長円形の孔を有する長方形の薄い鉄板。		15-6	
7	N-13	5B	-	-	金属製品	不明	現土4.1×現土9×0.6	鈍造鉄片断。一面の縁部が曲がっている。		15-7	

第78図 遺構外出土遺物



第79図 伊古田道跡6区遺構配置図

## 8. ま と め

伊古田遺跡は、仙台市太白区大野田字千刈田・塚田にあり、自然堤防に立地する。標高は12.3m前後である。平成22年度に4A1・4A2区、平成23年度に4A2・5A1・5A2・5A3・5B区、平成24年度に6区の調査を行い、合計面積は約3,145㎡である。各遺構検出面から、古墳時代、古代、中世の遺構群を検出した。

### (1) 遺構について

1) 中世以降の遺構は、基本層Ⅲ層上面で検出した。

5B区 一土坑17基、性格不明遺構2基、溝跡11条、ビット群

2) 4A1区SD7溝跡はIVa1層から掘り込まれていることが確認されている。SD7溝跡を切るSD1溝跡からは中世陶器片が出土し、中世の遺構と思われる。SD4溝跡もSD7溝跡を切ることから、4A1区検出の溝跡7条の内3条は中世の遺構と考えられる。4A1区検出の溝跡7条、小溝状遺構群3群27条は古代から中世にかけての遺構である。

また4A2区V層検出の堅穴建物跡6棟は、他の遺構との重複関係、形態、出土遺物などから本来はより上層から掘り込まれた中世の遺構と考えられる。

3) 古代の遺構は、基本層IVa2層上面で検出した。

5A1区一堅穴住居跡1軒、河川跡1条、小溝状遺構群3群34条

4) 古墳時代から古代の遺構は、基本層V層上面で検出した。

4A区 一堅穴住居跡3軒、堅穴建物跡16棟、掘立柱建物跡2棟、土坑16基、河川跡1条、性格不明遺構1基、溝跡16条、小溝状遺構群3群84条(2区)、小溝状遺構46条(1区)、ビット252基

5A1区一掘立柱建物跡1棟、溝跡1条、小溝状遺構群2群21条、ビット群

5A2区一堅穴住居跡1軒、掘立柱建物跡1棟、土坑7基、溝跡23条、小溝状遺構群2群57条、ビット323基

5A3区一河川跡1条、小溝状遺構3条、ビット11基

5B区一堅穴住居跡6軒、堅穴遺構2基、土坑18基、溝跡9条、小溝状遺構群4群63条、ビット群

### (2) 遺物について

1) 縄文時代

4A2区から晩期の壺、注口土器、5B区から後期の深鉢、晩期の鉢が出土した。

2) 弥生時代

4A2区から後期の土器が出土した。

3) 古墳時代

5A2区SI92堅穴住居跡、5B区SI52堅穴住居跡、SI234堅穴住居跡から古墳時代前期の遺物が出土した。

4) 古 代

4A2区SI159堅穴住居跡、5A1区SI32堅穴住居跡、5B区SI79堅穴住居跡から8世紀後半から9世紀初頭にかけての遺物が出土した。

5A2区SD51溝跡から緑軸陶器の小形の鉢が出土した。

5B区SK16土坑から10世紀後半頃の赤焼土器坏が出土した。

5) 中 世

4A1区SI111堅穴建物跡、SD1溝跡からは中世陶器片が出土した。

5B区SD21・22溝跡から12世紀後半から13世紀中葉頃の常滑産の壺や片口鉢、甕が出土した。

6) 近 世

5B区から瀬戸・美濃産の陶器が出土した。

### (3) 古代の文字関連資料について

伊古田遺跡から、文字に関連した資料として円面硯1点が出土した。4A2区の基本層V層上面で検出したSI159から出土した。

第1表 遺構一覧表(1)

## 441 遺跡

遺構番号	位置(グリッド)	方向	規模(m)	断面形	備考
S07	R100～120×S100～120	N-60°-E N-22°-E	長さ東西(11.2)×幅0.65×深さ0.4 長さ南北(18.6)×幅1.10×深さ0.4	U字形	

## 小溝状遺構群

小溝状遺構群	位置(グリッド)	方向	規模(m)	遺構番号	備考
I段	北平	北東-南西	長さ(3.6)～(8.6)×幅0.30～0.50	S08～14	
II段	全山	北西-南東	長さ(3.5)～(16.4)×幅0.25～0.35	S015～29	
III段	北平	北西-南東	長さ(6.1)～(11.8)×幅0.30～0.47	S030～34	

## 442 穴

## 整穴住居跡

遺構番号	位置(グリッド)	主軸方向	規模(m)	平面形	備考
S135	R150～160×S120	N-57°-E	[3.64]×幅0.2～0.25	[方形]	
S136	R170×S110	N-51°-E	[3.76]×[4.0]×幅0.24	[方形]	

## 土坑

遺構番号	位置(グリッド)	主軸方向	規模(m)	平面形/断面形	備考
SK37	-	N-57°-E	長軸08×短軸64×深さ-	楕円形	

## 溝渠

遺構番号	位置(グリッド)	方向	規模(m)	断面形	備考
S029	R150～160×S90～100	N-42°-E	長さ(3.33)×幅0.93×深さ0.37	U字形	

## 443 穴

## 整穴住居跡・整穴住居跡

遺構番号	位置(グリッド)	主軸方向	規模(m)	平面形	備考
S106	R160×S130～140	N-1°-E	南北2.62×東西2.38×壁高0.56	隅丸方形	中世
S110a-規	R170～180×S120～130	N-90°-E	東西4.06×南北2.73×壁高0.24	隅丸長方形	中世
S110b-規	R170～180×S120～130	N-97°-E	東西4.16×南北2.8×壁高0.3～0.4	隅丸方形	中世
S1109	R170×S120～130	N-9°	南北3.9×東西2.84×壁高0.38	隅丸方形	中世
S1110	R170×S130	N-1°-E	南北2.95×東西2.94×壁高0.36	隅丸方形	中世
S111a-規	R160～170×S120～130	N-5°-E	東西5.1×南北4.7×壁高(0.1～0.3)	隅丸方形	中世
S111b-規	R160～170×S120～130	N-95°-E	南北4.7×東西4.4×壁高-	正方形	中世
S111c-規	R160～170×S120～130	N-95°-E	東西3.8×南北3.1×壁高-	隅丸方形	中世
S1136	R170～180×S120～130	N-90°-E	東西3.6×南北3.4×壁高0.38	隅丸方形	中世
S1139	R180～190×S120～130	N-30°-E	北西-東長3.9×北東-南西3.8×壁高0.3～0.4	隅丸方形	8世紀後半

## 土坑

遺構番号	位置(グリッド)	主軸方向	規模(m)	平面形/断面形	備考
SK106	R170×S130	N-0°	長軸64×短軸64×深さ-	不整形円形	
SK107	R170×S130	N-27°-E	長軸118×短軸50×深さ-	不整形円形	
SK140	R160～170×S130	-	長軸-	不明/張り跡	
SK153	R170×S130	N-50°-E	長軸76×短軸[54]×深さ-	不整形円形	
SK157	R170×S130	N-30°-E	長軸100×短軸99×深さ-	不整形円形	
SK184	R180×S130	N-9°	長軸66×短軸32×深さ-	不整形円形	
SK186	R180×S120	N-1°-E	長軸170×短軸130×深さ42	隅丸方形/楕円形	
SK187	R180×S120	N-18°-E	長軸130×短軸100×深さ-	不整形	
SK188	R180×S120	N-38°-E	長軸148×短軸125×深さ36	不整形/隅丸U字形	
SK190	R180×S130	N-90°	長軸126×短軸89×深さ22	不整形円形/0°-10°形	
SK207	R180×S120	N-14°-E	長軸90×短軸64×深さ24	不整形/U字形	
SK212	R200×S120	N-32°-E	長軸100×短軸88×深さ-	楕円形	
SK214	R180×S120	-	長軸-	不明/張り跡	

## 竪立柱建物跡

遺構番号	位置(グリッド)	主軸方向	柱間数	建物規模(m)	備考
SK160	R170～180×S120	N-61°-E	初行3間×梁行2間		
SK205	R180×S140～120	N-41°-E	初行3間×梁行2間	初行総長さ3.5×梁行総長さ4.7	
			初行3間×梁行2間	初行総長さ5.5×梁行総長さ3.9	

## 溝渠跡

遺構番号	位置(グリッド)	方向	規模(m)	断面形	備考
SK213	R180～200×S120	-	長さ×幅×深さ-	-	

## 溝渠

遺構番号	位置(グリッド)	方向	規模(m)	断面形	備考
S0129	R160～170×S120～130	N-57°-E	長さ(13.9)×幅1.8～2.2×深さ0.47	V字形	

## 小溝状遺構群

小溝状遺構群	位置	方向	規模(m)	遺構番号	備考
I段	全体	北東-南西	長さ0.6～(3.3)×幅0.20～0.42	S087～105・S0136・S0137・S0142・S0143・S0145・S0146～168・S0170・S0171・S0174～178・S0181・S0185・S0189・S0193～196	
II段	全体	北西-南東	長さ(0.5)～(7.8)×幅0.18～0.50	S0113～119・S0121・S0123・S0125～130・S0132・S0134・S0134・S0136・S0180・S0183・S0197～202・S0209～211	
III段	東平	北東-南西	長さ(1.3)～3.3×幅0.15～0.44	S0120・S0122・S0124・S0133・S0135・S0138・S0139～150・S0179	

第2表 遺構一覧表(2)

## S41 東V4層

## 壁穴住居跡

遺構番号	位置(グリッド)	主軸方向	規模(m)	平面形	備考
S132	R100×S80～90	N-29°-E	南北2.85×東西2.07×壁高0.45	隅丸長方形	壁穴住居・壁穴土庫

## 河川跡

遺構番号	位置(グリッド)	方向	規模(m)	断面形	備考
S019	R100～150×S70～90	不明	-	-	-

## 小溝状遺構群

小溝状遺構群	位置	方向	規模(m)	遺構番号	備考
I群	東半	東西	長さ0.8～2.4×幅0.15～0.42	S01～11	
II群	全体	北東～南西	長さ3.2～(12.2)×幅0.35～0.45	S016～18・S023・S024・S027・S028・S031・S035・S036	
III群	全体		長さ(2.0)～(11.3)×幅0.30～0.45		
IV群		N-60°-E		S012～15・S021・S025・S028・S030・S043・S047・S053・S063	
V群		N-45°-E		S020・S026	

## S41 東V層

## 壁立柱建物跡

遺構番号	位置(グリッド)	主軸方向	柱間数	規模(m)	備考
S060	R100×S80	N-33°-E	桁行2間×梁行2間	桁行総長3.15×梁行総長2.78	

## 溝跡

遺構番号	位置(グリッド)	方向	規模(m)	断面形	備考
S046	R100×S90	N-52°-E	長さ(5.40)×幅0.94×深さ0.52	U字形	

## 小溝状遺構群

小溝状遺構群	位置	方向	規模(m)	遺構番号	備考
I群	全体	北東～南西	長さ(0.6)～(0.3)×幅0.25～0.30	S023・S034・S036～38・S040・S061・S061・S064	
II群	全体	北西～南東	長さ0.8～(4.0)×幅0.15～0.40	S025・S029・S041・S044・S048・S050・S052・S057～59・S062・S063	

## S42 東V層

## 壁穴住居跡

遺構番号	位置(グリッド)	主軸方向	規模(m)	平面形	備考
S192	R100×S100	N-53°-E	北東～南西0.90×北西～南東2.25×壁高0.4	隅丸方形	1倉庫

## 壁立柱建物跡

遺構番号	位置(グリッド)	主軸方向	柱間数	規模(m)	備考
S043	R100×S110	N-58°-E	桁行3間×梁行1間	桁行総長3.95×梁行総長2.70	

## 土坑

遺構番号	位置(グリッド)	長軸方向	規模(m)	平面形・断面形	備考
SK73	R100×S90	N-38°-E	長軸128×短軸(96)×深さ3	隅丸長方形・-	
SK74	R100×S90～100	N-37°-E	長軸140×短軸(72)×深さ3	隅丸方形・-	
SK75	R100×S90～100	N-62°-E	長軸(200)×短軸(46)×深さ20	隅丸長方形・溝状	
SK76	R100×S100	N-37°-E	長軸160×短軸(90)×深さ30	隅丸長方形・変形U字形	
SK77	R100×S90～100	N-20°-E	長軸(13.8)×短軸(10.4)×深さ1	隅丸方形・不明	
SK90	R100×S100	N-47°-E	長軸100×短軸(63)×深さ40	隅丸長方形・溝状	
SK91	R100×S100	N-45°-E	長軸161×短軸79×深さ40	隅丸長方形・溝状	

## 溝跡

遺構番号	位置(グリッド)	方向	規模(m)	断面形	備考
S01	R170～190×S80～110	N-34°-E	長さ(26.5)×幅(6.9～3.65)×深さ0.20	溝状形	
S041	R170～190×S80～110	北行N-44°-E 屈曲 N-19°-E	長さ(30.15)×幅(0.23～4.83)×深さ0.66	溝状形	
S042	R170～190×S80	N-57°-E	長さ(7.02)×幅(1.22)×深さ0.32	U字形	
S045	R170～190×S80～90	北行N-30°-E 屈曲 N-99°-E	長さ(7.85)×幅(0.51～0.90)×深さ(0.2)	溝状形	
S056	R190×S90～110	N-19°-E	長さ(16.7)×幅(0.95～1.07)×深さ0.17	溝状形	
S079	R100～190×S100～110	N-47°-E	長さ(16.00)×幅(0.85)×深さ0.15	溝状形	
S083	R100～190×S100	N-50°-E	長さ(4.35)×幅(0.45)×深さ0.42	U字形	
S088	R100～190×S80～110	N-20°-E	長さ(21.4)×幅(1.4～4.0)×深さ0.5	不明	

## 小溝状遺構群

小溝状遺構群	位置(グリッド)	方向	規模(m)	遺構番号	備考
I群	全体	北東～南西	長さ1.79～8.31×幅0.23～5.21	S016～20・S026～62・S080・S081	
II群	全体	北西～南東	長さ(0.83)～(11.6)×幅0.12～0.52	S02～8・S011～15・S021～32・S034・S040・S047～49・S051・S057・S063・S065～72・S082～87	

## 溝状遺構

## 土坑

遺構番号	位置(グリッド)	長軸方向	規模(m)	平面形・断面形	備考
SK16	R100～190×S130	N-19°-E	長軸122×短軸(104)×深さ32	隅丸方形・溝状	
SK78	R200～210×S130	N-19°-E	長軸150×短軸(104)×深さ34	-	

## 性格不明遺構

遺構番号	位置(グリッド)	長軸方向	規模(m)	平面形・断面形	備考
SK24	R100×S140	N-18°-E	長軸(32)×短軸(38)×深さ8	長楕円形・溝・溝状	
SK25	R100×S140	N-60°-E	長軸71×短軸(68)×深さ14	長八角長方形・溝・変形U字形	

第3表 造構一覧表(3)

## 溝跡

遺構番号	位置(グリッド)	方向	規模(m)	断面形	備考
S021	R190～S130～140	N-17°-E	長さ(14.15)×幅0.7～3.4幅×深さ1.04	溝内形	
S022	R190～200×S130～150	N-3°-E	長さ(14.85)×幅1.4～2.15×深さ0.6	溝内形	
S023	R200～210×S130～160	N-18°-E	長さ(25.7)×幅0.75～1.6×深さ0.25	U字形	
S026	R210～S170	N-32°-E	長さ(1.66)×幅(0.5)×深さ0.2	U字形	

## 段状V溝

## 壁穴状溝跡・壁穴遺構

遺構番号	位置(グリッド)	長軸方向	規模(m)	平面形	備考
S172	R170～180×S130	N-37°-E	南北2.35×東西(2.25)×壁高0.11	溝内方形	1世紀
S173	R170～S130	N-42°-E	南北(2.36)×東西(2.30)×壁高-	溝内方形	
S160	R160～S140	N-28°-E	南北4.40×東西4.16×壁高0.19	溝内方形	
S161	R160～S130～140	N-47°-E	東西4.41×南北4.55×壁高0.18	溝内方形	
S179	R210～S160～170	N-36°-E	東西(3.45)×南北3.28×壁高0.50	溝内方形	8世紀後半
S183	R210～S170	N-68°-E	東西(2.30)×南北(1.82)×壁高0.55	溝内方形	
S192	R200～210×S140～150	N-28°-E	南北3.60×東西3.50×壁高-	溝内方形	
S1234	R180～S140	N-20°-E	東西3.25×南北2.90×壁高0.20	溝内方形	1世紀

## 土坑

遺構番号	位置(グリッド)	長軸方向	規模(m)	平面形・断面形	備考
SK35	R170～S140	N-12°-E	長軸100×短軸96×深さ26	楕円形・U字形	
SK46	R160～S140	N-90°	長軸194×短軸98×深さ36	不整形円形・不整形	
SK31	R200～S130～140	N-60°-E	長軸(75)×短軸(55)×深さ25	不整形	
SK24	R170～180×S140	N-65°-E	長軸90×短軸45×深さ18	不整形円形・U字形	
SK59	R160～S140	N-66°-E	長軸80×短軸33×深さ18	不整形	
SK63	R190～S130	N-27°-E	長軸94×短軸69×深さ28	不整形円形	
SK65	R190～S140	N-67°-E	長軸(78)×短軸(46)×深さ3-	-	
SK66	R190～200×S130	N-90°	長軸141×短軸120×深さ115	不整形円形・V字形	
SK67	R200～S130	N-3°-E	長軸122×短軸109×深さ28	不整形	
SK69	R160～S140	N-37°-E	長軸198×短軸(115)×深さ45	不整形長方形・コの字形	
SK74	R210～S140～150	N-70°-E	長軸(65)×短軸(65)×深さ12	楕円形・溝内形	
SK75	R180～S140	N-83°-E	長軸40×短軸(39)×深さ55	不整形円形・U字形	
SK91	R210～S160	N-49°-E	長軸104×短軸(52)×深さ31	不整形円形・不整形字	
SK95	R210～S130	N-27°-E	長軸(213)×短軸183×深さ51	不整形長方形・不整形コの字	
SK103	R210～S160	N-17°-E	長軸82×短軸(28)×深さ55	不整形円形・溝内形	

## 性格不明遺構

遺構番号	位置(グリッド)	長軸方向	規模(m)	平面形・断面形	備考
S180	R200～210×S150	N-20°-E	長軸(275)×短軸(236)×深さ24	不整形・U字形	

## 溝跡

遺構番号	位置(グリッド)	方向	規模(m)	断面形	備考
S015	R160～S140	N-47°-E	長さ(5.01)×幅1.28×深さ0.52	溝内形	
S016	R170～180×S130～140	N-27°-E	長さ(11.22)×幅2.40×深さ0.62	溝内形もしくはV字形	
S061	R210～S170	N-47°-E	長さ(2.75)×幅2.48×深さ90	V字形	
S0223	R180～S150	N-51°-E	長さ(2.96)×幅(1.40)×深さ0.50	溝内形	

## 小溝状遺構群

小溝状遺構群	位置	方向	規模(m)	遺構番号	備考
I群	北平	北東-南西	長さ(0.7)～(3.5)×幅0.22～0.41	S029～31・S038・S053・S056・S071・S0192	
II群	東区全体	南北	長さ(3.9)～(13.5)×幅0.25～0.40	S0297～215・S0214・S0225	
III群	南西側-東区-東区全面	北西-南東	長さ(1.3)～(5.2)×幅0.20～0.34	S028・S032～34・S039・S041～43・S047・S072・S082・S085～90・S092～94・S096・S098～101・S0201～205・S0217～222	
IV群	東区中央	東西	長さ(2.7)～7.2×幅0.13～0.28	S0226～233	



# 伊古田遺跡写真図版





4A区1区IV層調査区全景（南より）



4A区1区IV層 SD7 断面（東より）



4A区1区V層 調査区北側（西より）



4A区1区V層 S135 東壁断面（西より）



4A区1区V層 S136（南より）



4A区2区V層 S186（北より）



4A区2区V層 S186 床面炭灰層検出状況（東より）



4A区2区V層 S186 床面炭灰層断面（東より）

写真図版1 伊古田遺跡（1）



4A区2区V層 調査区東側（西より）

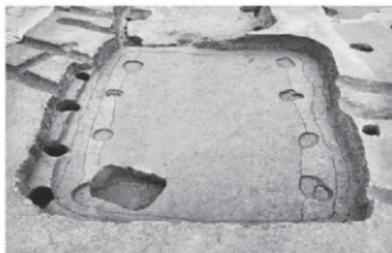


4A区2区V層 調査区西側（東より）

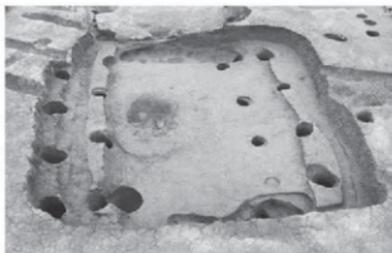
写真図版2 伊古田遺跡（2）



4A区2区V層 調査区東側（北より）



4A区2区V層 S1108a期（西より）



4A区2区V層 S1108b期（西より）



4A区2区V層 S1108b期床面炭灰層検出状況（西より）



4A区2区V層 S1108b期床面炭灰層断面（東より）

写真図版3 伊古田遺跡（3）



4A区2区V層 S1109 (西より)



4A区2区V層 S1109 床面炭灰層検出状況 (西より)



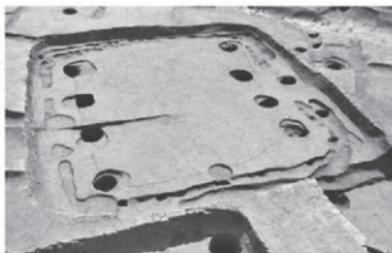
4A区2区V層 S1110 完掘 (南より)



4A区2区V層 S1110 床面炭灰層検出状況 (西より)



4A区2区V層 S1111a期 (西より)



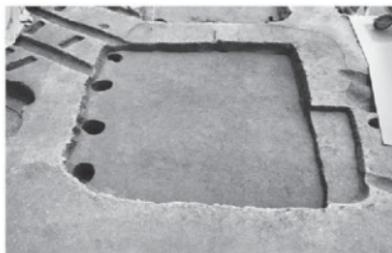
4A区2区V層 S1111b期 (西より)



4A区2区V層 S1111c期 (西より)



4A区2区V層 S1111c期床面炭灰層検出状況 (西より)



4A区2区V層 S1158 (西より)



4A区2区V層 S1159 (西より)



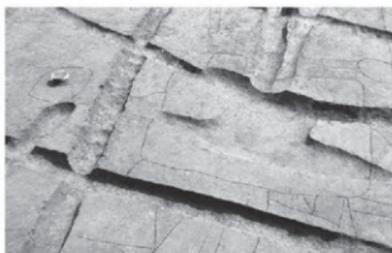
4A区2区V層 S1810 (西より)



4A区2区V層 S18205 (北東より)



4A区2区V層 S1319 (北東より)



5A1区IV a2層 S132 掘出状況 (西より)



5A1区IV a2層 S132 (南より)



5A1区IV a2層 S132 掘出しピット断面 (南西より)



5A1区IV a2層 SD1～11小溝状遺構群（南より）



5A1区IV a2層 SR19北壁断面（南より）



5A1区V層 調査区全景（南より）



5A1区V層 SB60（南東より）



5A1区V層 SD46（東より）



5A2区V層 調査区東側（南より）



5A2区V層 調査区北側（南西より）



5A2区V層 S192（南西より）



5A2区V層 SB43 (北西より)



5A2区V層 SD41・79 (南より)



5A3区V層 調査区東側 (南西より)



5B区III層 調査区西側 (北より)



5B区III層 調査区中央 (北より)



5B区III層 SK16 (西より)



5B区III層 SX24 断面 (南より)



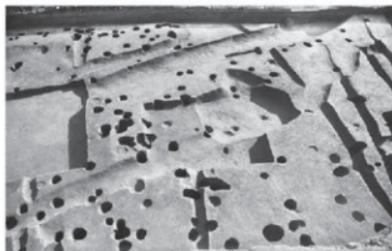
5B区III層 SX25 断面 (北より)



58区V層 調査区東側（西より）



58区V層 調査区西側、SK95付近（北西より）



58区V層 調査区西側、SX80付近（西より）



58区V層 調査区中央（北より）



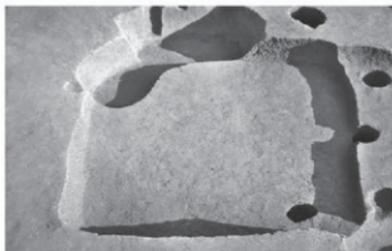
58区V層 調査区中央（北東より）



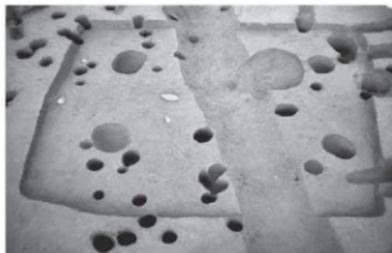
58区V層 調査区中央東側（北より）



58区V層 S152（南東より）



58区V層 S153（北西より）



5B区V層 S160 (南西より)



5B区V層 S161 (南東より)



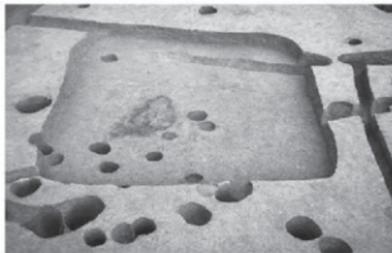
5B区V層 S179 (南西より)



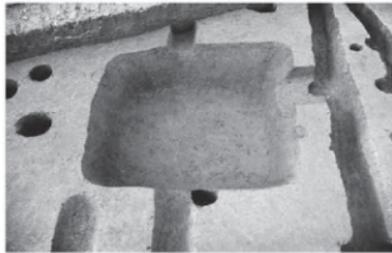
5B区V層 S183 (北東より)



5B区V層 S1102 (南西より)



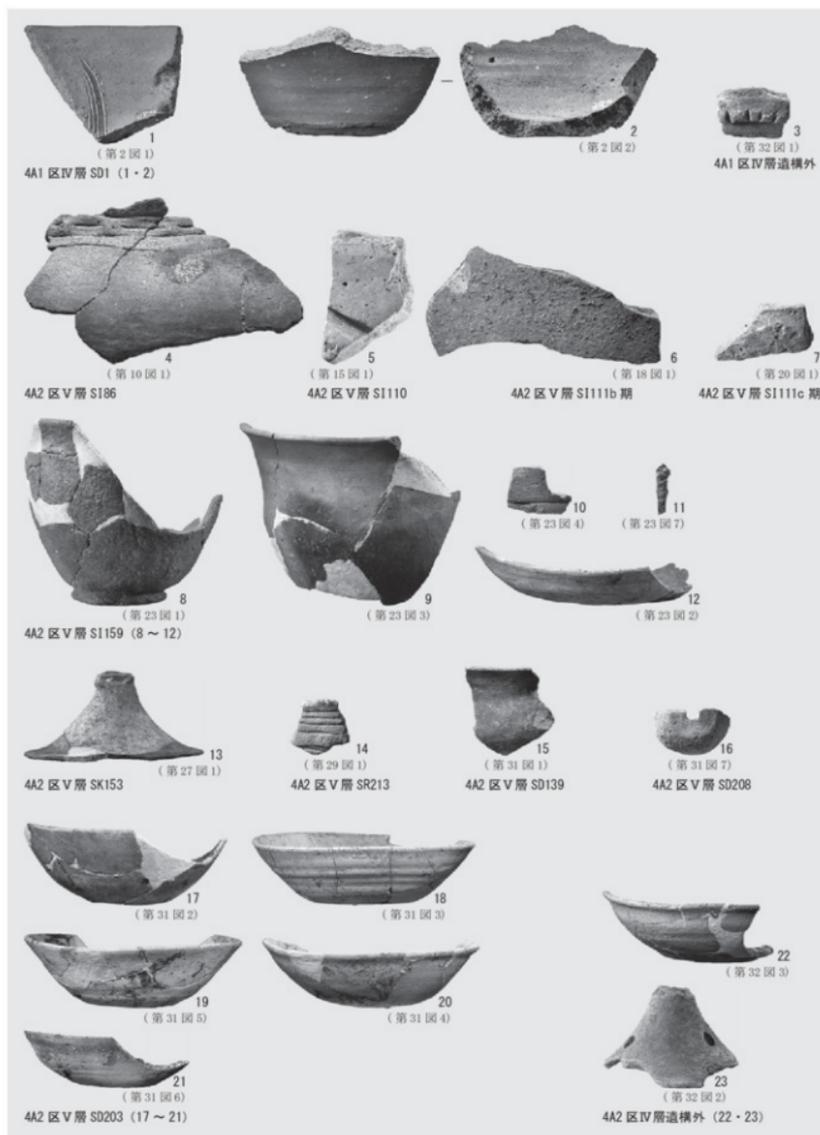
5B区V層 S1234 (南西より)



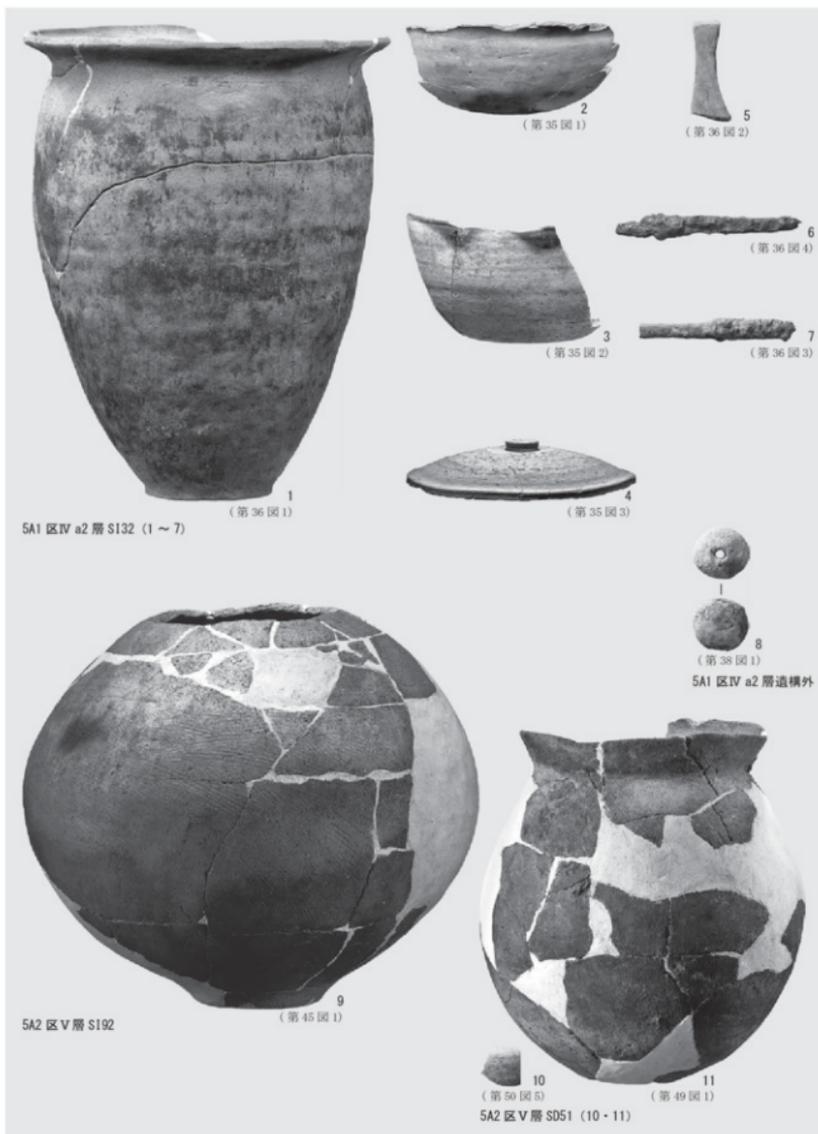
5B区V層 SK95 (南東より)



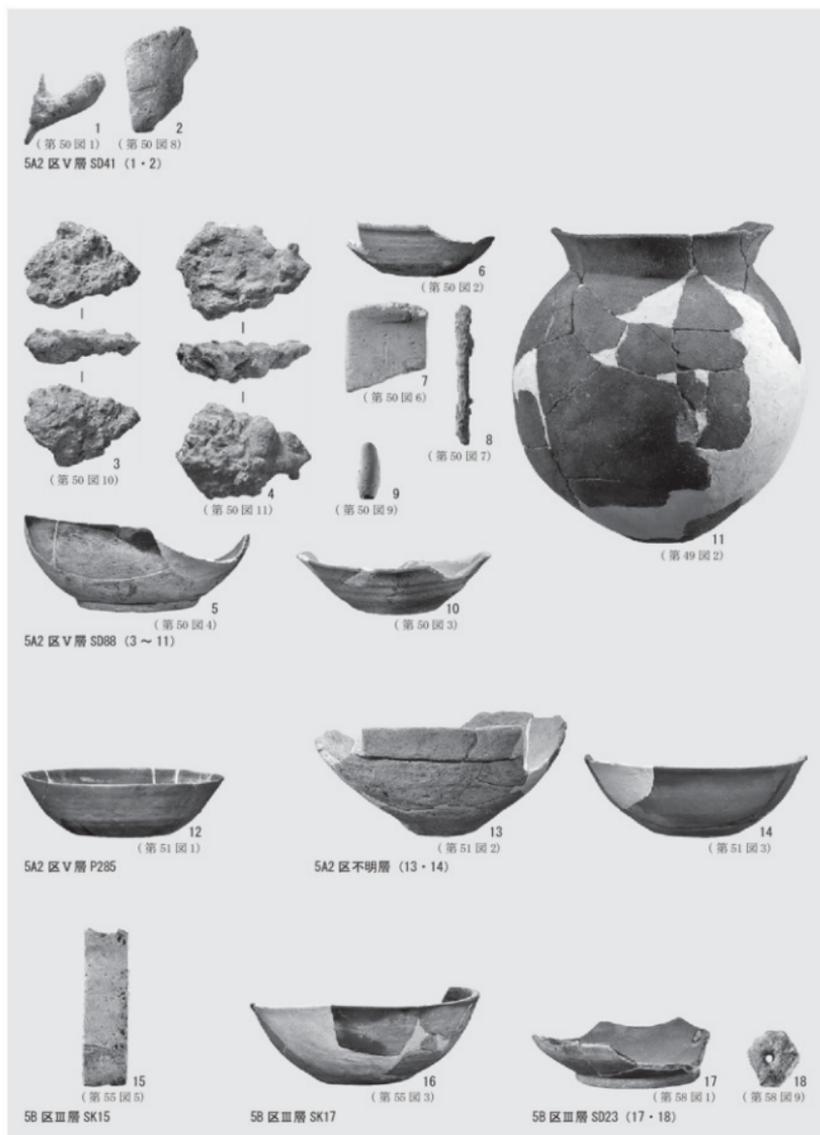
5B区V層 S081 断面 (北より)



写真図版 10 伊古田遺跡出土遺物 (1)



写真図版 11 伊古田遺跡出土遺物 (2)



写真図版 12 伊古田遺跡出土遺物 (3)



写真図版 13 伊古田遺跡出土遺物 (4)



写真図版 14 伊古田遺跡出土遺物 (5)



写真図版 15 伊古田遺跡出土遺物 (6)

## 第5節 大野田古墳群

### 1. 調査要項

- (1) 遺跡名：大野田古墳群（宮城県遺跡登録番号01361）
- (2) 所在地：仙台市太白区大野田字王ノ權・千刈田・竹松・宮・宮脇
- (3) 調査面積：約3,585㎡
  - ・平成22年度：約1,252㎡（15A・15B・15C・15D区）
  - ・平成23年度：約1,751㎡（16A1・16A2・16A3・16B・16C・16D・16E区）
  - ・平成24年度：約582㎡（17A・16A1西・17B区）
- (4) 調査主体：仙台市教育委員会
- (5) 調査担当：仙台市教育委員会文化財課
- (6) 担当職員
  - ・平成22年度：平間亮輔・及川謙作  
（派遣調査員：蝦名 純・田口雄一・菊地 豊／縣三協技術）
  - ・平成23年度：平間亮輔・川本剛史  
（派遣調査員：長林 大・竹内俊之・蝦名 純／国際文化財株）
  - ・平成24年度：佐藤 洋・平間亮輔  
（派遣調査員：菊地 豊／縣三協技術）
- (7) 調査期間  
（野外調査）平成22年度：平成22年4月26日～平成23年6月17日  
平成23年度：平成23年6月22日～平成24年3月16日  
平成24年度：平成24年5月7日～10月26日

### 2. 15A区の調査

基本層V層上面（古墳時代～古代の遺構検出面）において、掘立柱建物跡4棟、土坑7基、性格不明遺構4基、溝跡20条、小溝状遺構群6群126条、ピット240基を検出した。

なお、調査区北東端部で検出したSK79土坑は、東側に隣接する16B区1区で検出したS164竈穴住居跡の一部である。

#### (1) V層検出の遺構と遺物（第1～11図・写真図版1・2）

##### SB10掘立柱建物跡・SD18・77・94溝跡（第2・3図）

調査区南東側E40～50・N20グリッドで検出した。SD125溝跡、小溝状遺構群Ⅱ・Ⅳ・Ⅵ群と重複し、いずれよりも新しい。南側は調査区外へ延びる。主軸方向はN-86°-Eである。全体の規模は桁行3間（総長7.7m、各芯々距離は2.50～2.58m）、梁行2間（各芯々距離は2.9～3.05m）以上の側柱建物である。柱穴掘り方は長辺104～140cm、短辺70～80cmの隅丸長方形を呈し、残存する深さは46～80cmを測る。すべての柱穴で抜き取り痕が認められる。抜き取り痕の下面には径14～32cmの柱痕跡が確認された。

SD18・77・94溝跡は掘立柱建物跡のそれぞれ北側・西側・東側を区画し、一連の遺構と考えられる。

SD18溝跡の主軸方向はN-85°-Eである。検出長7.35m、幅52cmを測る。断面形は逆台形を呈し、堆積土は2層に分けられ、深さは35cmである。SD77溝跡の主軸方向はN-5°-Wである。検出長6.2m、幅68cmを測る。断面形は逆台形を呈し、堆積土は3層に分けられ、深さは45cmである。SD94溝跡の主軸方向はN-8°-Wである。検出長は3.85m、幅70cmを測る。断面形は楕円状を呈し、堆積土は3層に分けられ、深さは30cmである。

##### SB133掘立柱建物跡、SD36・117・140溝跡（第6・7図、写真図版1）

調査区南側中央E20・N10～20グリッドで検出した。小溝状遺構群Ⅰ・Ⅲ・Ⅴ・Ⅶ群と重複し、いずれよりも新しい。主軸方向はN-80°-Wである。全体の規模は桁行5間（総長13.24m、各芯々距離は1.5～1.8m）、梁行2間（各芯々距離は2.2～2.4m）の東西棟の側柱建物跡で、東西の2面に扉が付いていたものと考えられる。柱穴は全部で19基検出し

た。身舎の柱穴掘り方は一辺75～85cmの隅丸方形を呈し、廂の柱穴掘り方は径50～60cmの楕円形あるいは隅丸方形を呈する。P10以外は概ね円形の柱痕跡が確認され、径14～22cmである。

SD36・117・140溝跡は本掘立柱建物跡のそれぞれ東側・北側・西側を区画し、一連の遺構と考えられる。

SD36溝跡の主軸方向はN-0°である。検出長2.5m、溝幅35cmを測り、ごく浅い掘り込みである。SD117溝跡の主軸方向はN-82°-Wである。検出長13.8m、幅52cmを測る。堆積土は2層に分けられ、断面形はU字形を呈し、深さは28cmである。SD140溝跡の主軸方向はN-3°-Eである。検出長6.24m、幅48cmを測り、ごく浅い掘り込みである。大野田古墳群14B区の調査でIV層の北西側端部で検出したP226は本掘立柱建物跡の南東端の柱穴に相当すると考えられ、SD36溝跡の南側に連続すると考えられるSD97溝跡も検出した〔仙台市教委 2017〕。

#### SK80a土坑（第8～10図、写真図版1・11）

調査区北側中央部E30～40・N30グリッドで検出した。長軸方向はN-81°-Wである。小溝状遺構群、SB82掘立柱建物跡、SK80b土坑と重複しいずれよりも新しい。平面形は不整な楕円形を呈し、規模は東西315cm、南北250cm以上である。断面形は開いたU字形を呈し、深さは45cmを測る。堆積土は5層に分けられ、自然堆積である。

遺物はSK80b土坑出土遺物と区別されておらず、全てSK80土坑出土遺物として報告する。ロクロ土師器・須恵器の坏が出土した。体部外面に「方」と墨書された土師器坏と須恵器坏がそれぞれ2点出土した。時期は9世紀後半頃と考えられる。

#### SK80b土坑（第8～10図、写真図版1・11）

調査区北側中央部E30・N30グリッド、調査区壁際で検出した。長軸方向は不明である。小溝状遺構群、SB82掘立柱建物跡、SK80a土坑と重複し小溝状遺構群、SB82掘立柱建物跡より新しく、SK80a土坑より古い。

規模は不明であるが南側で東西2.5m以上、南北2.0m以上ある。断面形は舟底形を呈し、深さは40cmである。堆積土は3層に分けられ、自然堆積である。

#### SK83土坑（第8・10図、写真図版2・11）

調査区中央部N30・E30グリッドで検出した。長軸方向はN-8°-Eである。平面形は不整な楕円形を呈し、規模は長軸112cm、短軸102cmを測る。断面形は開いたU字形を呈し、深さは20cmである。堆積土は2層に分けられる。

遺物は1層からロクロ土師器・須恵器の坏、2層から体部外面に「方」と墨書されたロクロ土師器坏が須恵器坏などと共に出土した。時期は9世紀後半頃と考えられる。

#### SD125溝跡（第11図）

調査区東側E40～50・N20～30グリッドで検出した。SB10掘立柱建物跡・ビット群と重複しいずれよりも古い。主軸方向はN-13°-Wである。南北方向に延び、六反田遺跡6B3区SD53溝跡、大野田古墳群14B区SD92溝跡と連続する可能性がある〔仙台市教委 2017〕。検出長は11.2m、幅1.3～2.0mを測る。断面形は開いたU字形を呈し、深さは30cmである。堆積土は2層に分けられ、自然堆積である。

### (2) 遺構外出土の遺物（第12図・写真図版11・12）

IV層から体部外面に墨書が認められる土師器の坏などが出土した。時期は9世紀後半頃のものが多く、

## 3. 15B区の調査

III層上面（中世以降の遺構検出面）において、溝跡3条を検出した。

### (1) III層検出の遺構と遺物（第13・14図・写真図版2）

#### SD1・2・3溝跡（第13・14図、写真図版2）

SD1・2・3溝跡はW-10～30・E170～180グリッドで検出した。重複しており、数度にわたって掘り直されたものと考えられ、新しい方からSD1・2・3溝跡となる。主軸方向は、南西側がN-74～75°-E、北東側がN-58～60°-Eである。検出長は18m、幅は82～98cmを測る。断面形はSD1溝跡が逆台形、SD2・3溝跡はU字形を呈し、最も深いSD2溝跡は深さ72cmを測る。SD1・2溝跡の堆積土中には灰白色火山灰が含まれる。

堆積土中から古代の遺物が出土している。

## 4. 15C区の調査

調査区は2地区に分けられ、西から1・2区と呼称した。

IV層上面（古代の遺構検出面）において、溝跡3条を検出した。V層上面では、土坑6基、溝跡15条、小溝状遺構群1群27条、ピット234基を検出した。

なお、15C区V層検出の調査区中央を東西に横断するSD30溝跡は大野田官衛遺跡の南側区画溝跡であることが判明している。

## (1) IV層検出の遺構と遺物（第16図）

15C2区検出のSD31・32・33溝跡は、調査区東側で検出した小溝状遺構群の一部と考えられる東西方向の溝跡である。

## (2) V層検出の遺構と遺物（第15・17・18図・写真図版2・3）

## SD30溝跡（第17・18図・写真図版2）

調査区中央E280～300・S30グリッドで検出した。SD64～69溝跡、小溝状遺構群I群と重複し、本溝跡が古い、主軸方向はN-89°-Wである。大野田官衛遺跡の南側区画溝であり、東側延長上には大野田古墳群8A区SD421溝跡がある〔仙台市教委 2011〕。検出長は21.4m、幅2.76～3.72mを測る。断面形は逆台形を呈し、深さは1.24mである。堆積土は11層に分けられ、4層中に灰白色火山灰粒を多く含む。

遺物は土師器片が少量出土したのみである。

## SD71溝跡付近のピット群、SD72溝跡付近のピット群（第17図・写真図版2）

SD71溝跡付近のピット群はC2区南側で検出した。SD71溝跡と重複しピット群が新しい。C1区北側検出のSD27溝跡付近のピット群も同様である。これらピット群は大野田古墳群、5A区SA257・258番列、SA1・2柱列跡の東側端部にあり連続する遺構の可能性がある〔仙台市教委 2005・2011〕。ピット群の配列はSA257・258番列、SA1・2柱列跡に比べ規則性が弱い、X座標-198.440付近に位置し、ほぼ東西方向に180m以上の延長があり、さらに西側に延びる。大野田官衛遺跡の南側区画溝の南側10～20mに位置していることから、官衛関連の遺構と考えられる。

## 5. 15D区の調査

V層上面において、古墳1基（38号墳）、ピット18基を検出した。

## (1) V層検出の遺構と遺物（第19～21図・写真図版3・12）

## 大野田38号墳（第20・21図・写真図版3・12）

調査区北東側W20～30・S20グリッド及び、南側W20～30・S40グリッドで周溝の一部を検出した。本古墳は大野田古墳群12A区で調査され、周溝の東側を検出した。径24m程の円墳と推定され、埴輪を有する古墳である。南側で周溝底面までの深さは60cmを測る。堆積土は5層に分けられ、自然堆積である。

基部に3条のヘラ記号を持つ円筒埴輪片が出土した〔仙台市教委 2017〕。

## 6. 16A1区の調査

調査区は2地区に分けられ、それぞれ南・北区と呼称した。

V層上面において、古墳1基（33号墳）、小溝状遺構群1群15条、ピット約110基を検出した。

## (1) V層検出の遺構と遺物（第22・25図・写真図版3・12）

## 大野田33号墳（第25図・写真図版4・12）

1・2区の調査区東側W30～40・S90～110グリッドで周溝の西側を検出した。本古墳は、大野田古墳群12A区で調査され、周溝東側を検出した。推定径24m程の円墳と考えられる。周溝幅は2.86～3.64m、12A区の調査では底面までの深さは50cmを測り、堆積土は2層に分けられ、自然堆積である。埴輪を有する古墳であることが確認されている〔仙台市教委 2017〕。

周溝内から弥生土器が出土した。基本層IV層から朝顔形埴輪片などが出土した。これらの埴輪片はその出土位置から、小溝状遺構群、SD16溝跡出土の朝顔形埴輪と共に本古墳に伴っていたものと考えられる。埴輪には間隔の狭い2条の凸帯を有するものがあり、朝顔形埴輪の肩部片もしくは形象埴輪の台座部分の可能性もある。同様の破片は大

野田古墳群では1A区の大野田10号墳で出土した〔仙台市教委 2000a〕。

## (2) 遺構外出土の遺物 (第28図・写真図版12)

IV層から大野田33号墳に伴うものと考えられる朝顔形埴輪片の他、縄文・弥生土器が出土した。

## 7. 16A1西区の調査

IIb層上面(中世～近世の遺構検出面)において、小溝状遺構群25条、ビット7基を検出した。IIIa層上面(古代～中世の遺構検出面)では、小溝状遺構群3条、ビット37基を検出した。IVa層上面では、小溝状遺構群29条、IVb層上面では、小溝状遺構群3群29条、性格不明遺構1基、ビット70基を検出した。Va層上面には土坑1基、ビット42基を検出した。VIc層上面では、溝跡2条を検出した。VII層上面では、ビット3基を検出した。ここではIVb層上面とVII層上面の遺構を掲載し、その他の面の遺構については写真図版3・4に掲載している。

### (1) IVb層検出の遺構と遺物 (第23図・写真図版4)

小溝状遺構群3群29条を検出した。調査区北東側で最も新しいI群5条を検出した。I群より古い、北西・南東方向のII群22条を調査区全域で検出した。北東側でII群より古い、南北方向のIII群2条を検出した。

### (2) VII層検出の遺構と遺物 (第24図・写真図版4)

南西側の深掘り区で東側へ傾斜する埋没谷地形を確認し、縄文時代と考えられるビット3基を検出した。

## 8. 16A2区の調査

調査区は2地区に分けられ、それぞれ南・北区と呼称した。

V層上面において、土坑1基、小溝状遺構群3群52条、ビット50基を検出した。

### (1) V層検出の遺構と遺物 (第29・30図・写真図版4・5・12)

小溝状遺構群3群52条を検出した。最も新しいI群9条は調査区全域で検出し、主軸方向はN-10°-Eである。II群21条は調査区北側で検出し、I群より古い。主軸方向はN-41°-59°-Wである。III群22条は最も古く調査区全域で検出した。III群内には新旧関係があり、新しい方からIIIa群4条・IIIb群5条・IIIc群13条に分けられ主軸方向はそれぞれN-10°-W、N-30°-W、N-10°-W、である。

II群SD26溝跡内から5世紀後半頃と考えられる、非クロロ土器の壺が出土した。

## 9. 16A3区の調査

V層上面において、土坑5基、小溝状遺構群3群23条、ビット群を検出した。

### (1) V層検出の遺構と遺物 (第31・32図・写真図版5)

#### SK11土坑 (第32図)

調査区北側W50・S130グリッドで検出した。小溝状遺構群I群SD2溝跡に北側を削平されているが、平面形は楕円形を呈するものと思われ、規模は長軸55cm、短軸28cm以上である。底面は一部ビット状に深くなり、深さは55cmを測る。堆積土は2層に分けられ、自然堆積である。遺物は出土しなかった。

## 10. 16B区の調査

調査区は2地区に分けられ、西から1・2区と呼称した。

V層上面において、堅穴住居跡1軒、土坑3基、溝跡3条、小溝状遺構群2群142条、ビット群を検出した。

### (1) V層検出の遺構と遺物 (第33～37図・写真図版5・6・13)

#### 1区 S164堅穴住居跡 (第35・36図・写真図版5・13)

[位置] 調査区北西側E50・N30グリッドで検出した。

[重複関係] 小溝状遺構群と重複し本住居跡が古い。西側の15A区で検出したSK79土坑は本住居跡の一部である。

[規模・形態] 北側は調査区外へ延びるが、隅丸方形を呈すると思われる、規模は東西6.2mを測る。

[主軸方向] N-16°-E

[堆積土] 堆積土は5層に分けられ、1～4層が堆積土、5層が掘り方埋土である。

[壁面] 床面から外傾して立ち上がる。壁高は最大23cmを測る。

[柱穴] 床面南東側でビットを1基検出した。

[床面] ほぼ平坦で、掘り方を2～5cm程埋め戻して床面としているが、部分的には掘り込んだ面をそのまま床面としている。

[炉跡] 炉跡の可能性のある焼土範囲が認められる。

[周溝] 南東側のビット付近、北東コーナー付近は途切れるが、ほぼ全周する。

[掘り方] 部分的に認められる。

[出土遺物] 非クロコ土師器の甕や小形壺が出土した。時期は古墳時代前期4世紀代と考えられる。

## (2) 遺構外出土の遺物 (第38図・写真図版13)

IV層から弥生時代中・後期土器や古代の土師器が出土した。

## 11. 16C区の調査

調査区は2地区に分けられ、北から1・2区と呼称した。

V層上面において、古墳3基(1・2・30号墳)、小溝状遺構群2群7条、ビット20基を検出した。

### (1) V層検出の遺構と遺物 (第39～46図・写真図版6・7・13・14)

#### 大野田1号墳 (第41～43図・写真図版6・13)

1区南側E30・S80～90グリッドで周溝の南西側を検出した。本古墳は1971年に市道拡幅のため1次調査、1981年に大野田コミュニティーセンター建設予定地内で第2次調査が行われた〔仙台市教委 1983・1987b〕。

前回の調査では周溝南側の一部を検出し、墳丘の積土がわずかに残存していた。これまでの調査から径22m前後の円墳と推定される。周溝幅は3.15mを測る。断面形は逆台形を呈し、周溝底面までの深さは65cmを測る。堆積土は2層に分けられ、自然堆積と考えられる。

周溝内から朝顔形埴輪が出土した。朝顔形埴輪の肩部には外面調整に2次調整の横ハケを有するものがあり、時期は5世紀後半代と考えられる。

#### 大野田2号墳 (第44・45図・写真図版7・14)

1区南側E130・S90グリッドで周溝の北側の一部、2区中央部S100・E140グリッドで周溝の東側の一部を検出した。大野田古墳群11A・B区でそれぞれ周溝の南東側と南西側の一部を検出した〔仙台市教委 2017〕。

これまでの調査から径25～27mの円墳と推定される。周溝幅は3.3mを測る。断面形は皿形を呈し、周溝底面までの深さは50cmを測る。堆積土は3層に分けられ、自然堆積である。

周溝内から朝顔形埴輪が出土した。

#### 大野田30号墳 (第46図・写真図版7)

2区東側E150・S100グリッドで周溝の西側の一部を検出した。大野田古墳群11A区で調査され、墳丘積土が残存し、主体部を含む大部分が調査され、埴輪を有する古墳であることが確認されている。西側には2号墳の周溝が近接する〔仙台市教委 2017〕。これまでの調査から径22mの円墳と推定される。今回の調査で周溝西側端部を検出した。

### (2) 遺構外出土の遺物 (第47図・写真図版14)

2区III層から縄文時代後期後半の深鉢形土器が出土した。

## 12. 16D区の調査

III層上面において、掘立柱建物跡1棟、土坑7基、性格不明遺構2基、溝跡2条、ビット148基を検出した。IV層上面では、溝跡4条、ビット2基を検出した。V層上面において、小溝状遺構群1群5条、ビット83基を検出した。

### (1) III層検出の遺構と遺物 (第48～51図・写真図版7)

#### SB23 掘立柱建物跡 (第49図・写真図版7)

調査区東側中央部E280～300・S240～250グリッドで検出した。SX9性格不明遺構と重複し本掘立柱建物跡が古い。北西側は調査区外へ延びる。主軸方向はN-85°-Wの東西棟である。全体の規模は桁行5間、総長11.8m、梁行4間、総長7.4mの建物跡である。柱穴掘り方は長辺42～62cm、短辺36～50cmの楕円形を呈し、残存する深さは30～60cmを測る。P1・2・9・10で柱痕跡を確認している。堆積土はP10を除いて単層である。遺物は確認されなかった。

## (2) IV層検出の遺構と遺物 (第52・53図・写真図版8)

## SD13・14溝跡 (第52・53図・写真図版8)

SD13・14溝跡は調査区東側中央部290～300・S250～260グリッドで検出した。主軸方向はSD13溝跡がN-89°-W、SD14溝跡がN-90°ではほぼ東西方向に平行して検出した。検出長はSD13溝跡が4.48m、SD14溝跡は4.43m、幅はSD13溝跡が59cm、SD14溝跡は72cm、断面形は逆台形を呈し、深さはSD13溝跡が40cm、SD14溝跡は11cmである。堆積土はSD13溝跡が3層に分けられ、1層は掘り直しの可能性がある。SD14溝跡は単層である。

## (3) V層検出の遺構と遺物 (第54図・写真図版8)

小溝状遺構群I群は調査区北東側で南北方向に5条検出した。

## 13. 16E区の調査

V層上面において、小溝状遺構3条、ビット2基を検出した。

## (1) V層検出の遺構と遺物 (第55図・写真図版8・9)

小溝状遺構群と考えられる小溝は調査区中央南側に東西方向の1条、複瓦を挟んで南側に南北方向の小溝1条、南北方向の小溝に削平される東西方向の小溝1条を検出した。

## 14. 17A区の調査

V層上面において、竪穴住居跡3軒、溝跡4条、小溝状遺構群3群34条、ビット194基を検出した。C層上面(深塚区、基本層に該当しない縄文時代の遺構検出面)において、竪穴住居跡1軒、土坑5基、ビット10基を検出した。

## (1) V層検出の遺構と遺物 (第56～61図・写真図版9・14)

## SI35竪穴住居跡 (第58・59図・写真図版9・14)

[位置] 調査区中央W110・S90グリッドで検出した。

[重複関係] SD19溝跡、ビット群と重複し本住居跡が古い。

[規模・形態] 規模は東西3.92m、南北3.46mを測り、隅丸方形を呈する。

[主軸方向] N-28°-W

[堆積土] 堆積土は19層に分けられ、1～11層が堆積土、12・13層が伊跡堆積土、14～19層が掘り方埋土である。

[壁面] 床面から垂直に立ち上がる。壁高は30cmを測る。

[柱穴] 底面でビットを8基検出した。

[その他の施設] 南東側で貯蔵穴を検出した。

[床面] 掘り方埋土上面を床面としている。ほぼ平坦である。床面上に焼土を含む炭化物範囲が認められる。

[伊跡] 中央北側で検出した。

[周溝] 西側で一部途切れるがほぼ全周する。

[掘り方] 中央部が浅く、四隅が深く掘り込まれる。

[出土遺物] 非クロコ土師器の甕が出土した。時期は古墳時代と考えられる。

## SD20溝跡 (第56・61図・写真図版9・14)

SD20溝跡は調査区北側W110・S70～90グリッドで検出した。主軸方向はN-39°-Eである。検出長は11.05m、溝幅は1.63m、断面形は楕円形を呈し、深さは52cmを測る。堆積土は3層に分けられ、3層下部に粗砂が認められ、流水があったものと考えられる。これらの特徴は伊古田遺跡5B区SD48溝跡でも認められ、連続する溝跡の可能性があり、六反田遺跡7F1南区のSD20・21溝跡に連続する可能性がある。また伊古田遺跡1区SD5溝跡、2A区SD1溝跡に連続する遺構の可能性ある〔仙台市教委 2013a〕。堆積土1層中から青白磁の輪花皿の口縁部片が出土した。

## (2) 仮C層(縄文時代の遺構確認面)検出の遺構と遺物 (第62・63・65図・写真図版10)

## SI41竪穴住居跡 (第63図・写真図版10)

[位置] 調査区東側深掘り区W100～110・S80～90グリッドで検出した。

[重複関係] ビット群と重複し、2基のビットより新しく1基のビットより古い。

[規模・形態] 規模は東西3.5m、南北2.9mを測り、不整形円形を呈する。

[主軸方向] 長軸方向を基準としN-64°-Wである。

[堆積土] 堆積土は5層に分けられ、1～4層が堆積土、5層が周溝堆積土である。掘り方は認められない。

[壁面] 床面から緩やかに立ち上がる。壁高は37cmを測る。

[柱穴] 床面でピットを14基検出した。

[床面] 掘り込んだ面を直接床面とし、ほぼ平坦である。床面上に焼土を含む炭化物範囲が2ヶ所認められる。

[炉跡] 明確な炉跡は検出されなかった。

[周溝] 北東側の一部のみで検出した。

[出土遺物] 縄文時代の遺構と考えられるが、遺物は検出時に土器片1点が出土したのみで時期は不明である。

(3) 遺構外出土の遺物 (第64図・写真図版14)

I層から古墳時代前期の台付甕が出土した。

## 15. 17B区の調査

V層上面において、土坑4基、小溝状遺構群3群24条、ピット38基を検出した。Ⅷc層上面(縄文時代後期後半の遺構検出面)では、土坑2基、性格不明遺構1基を検出した。

(1) V層検出の遺構と遺物 (第66～68図・写真図版10・14)

小溝状遺構群は3群24条を検出した。重複関係から最も新しいI群5条は調査区全域に広がり、主軸方向はN-5°-W～N-5°-Eのほぼ南北方向である。II群3条は調査区南東部で検出し、I群より古い。主軸方向はN-47～63°-Eで北東・南西方向である。III群16条はI・II群より古く、N-50～65°-Wの北西・南東方向である。遺物は土師器片、縄文土器片などの細片が出土した。

(2) Ⅷc層検出の遺構と遺物 (第69～72図・写真図版10・14・15)

SX29性格不明遺構 (第70・71図・写真図版10・14)

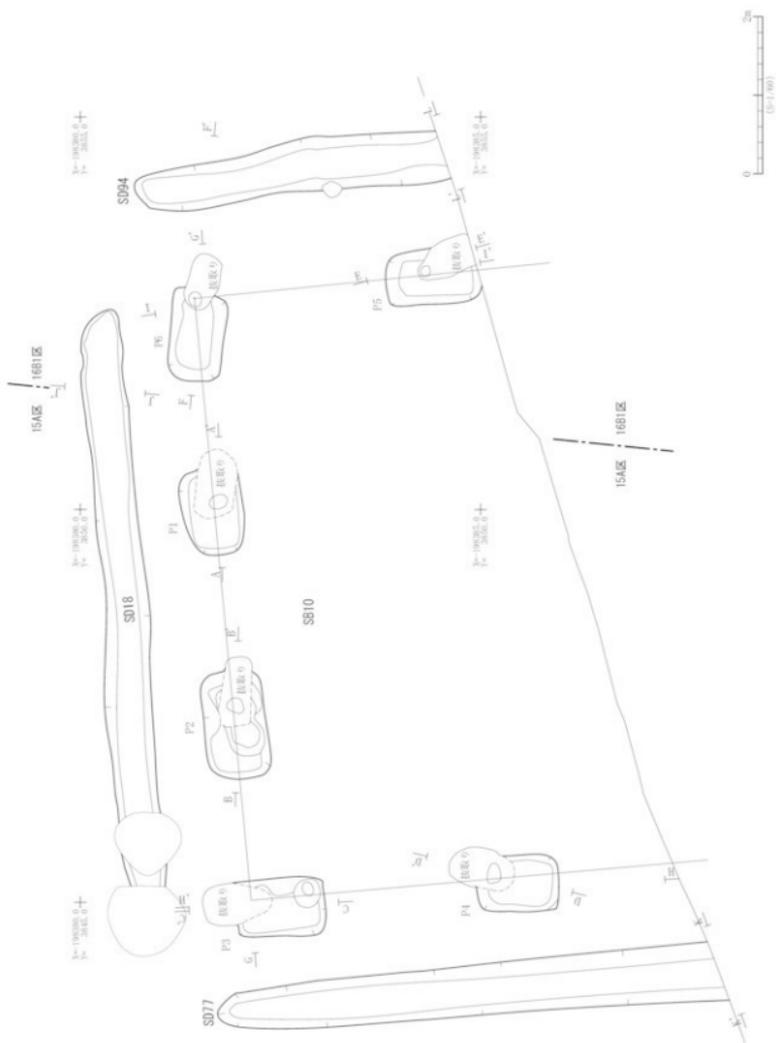
調査区南側W110・S130グリッドで検出した。平面形は楕円形を呈するものと思われ、規模は長軸518cm、短軸302cmを測り、主軸方向はN-69°-Wである。断面形は皿状を呈し、深さは20cmを測る。堆積土は3層に分けられる。

遺物は堆積土から縄文時代後期中葉宝ヶ峯式後半頃の遺物が出土した。

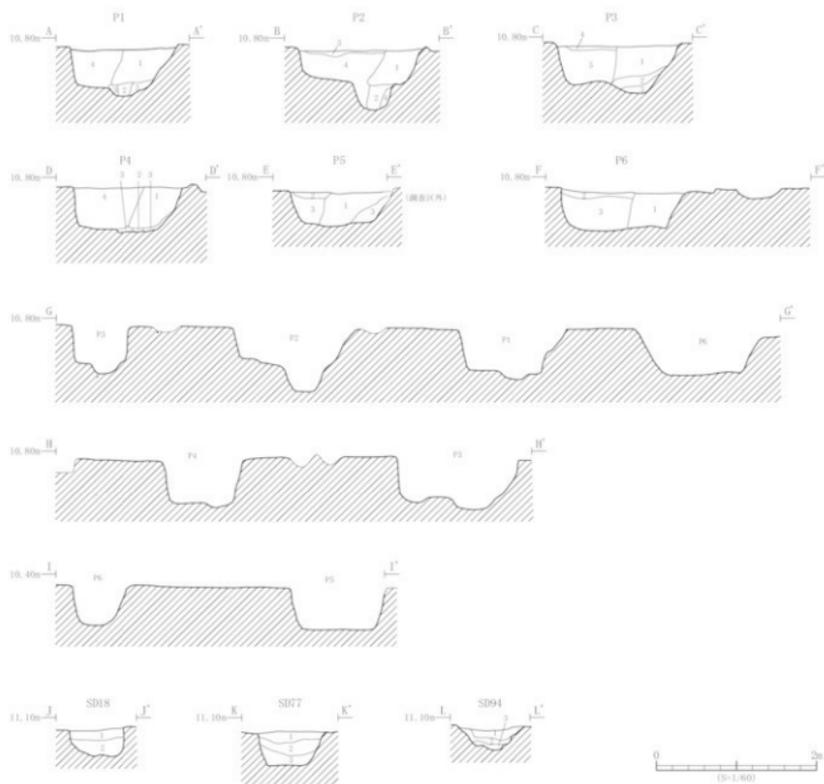
(3) 遺構外出土の遺物 (第73図・写真図版15)

Ⅷc層は縄文時代後期の遺物包含層で縄文土器片と石器の剥片十数点が出土した。Ⅷd層からは縄文時代後期と考えられる底部を焼成後打ち欠いた深鉢と打製石器の石錐が出土した。





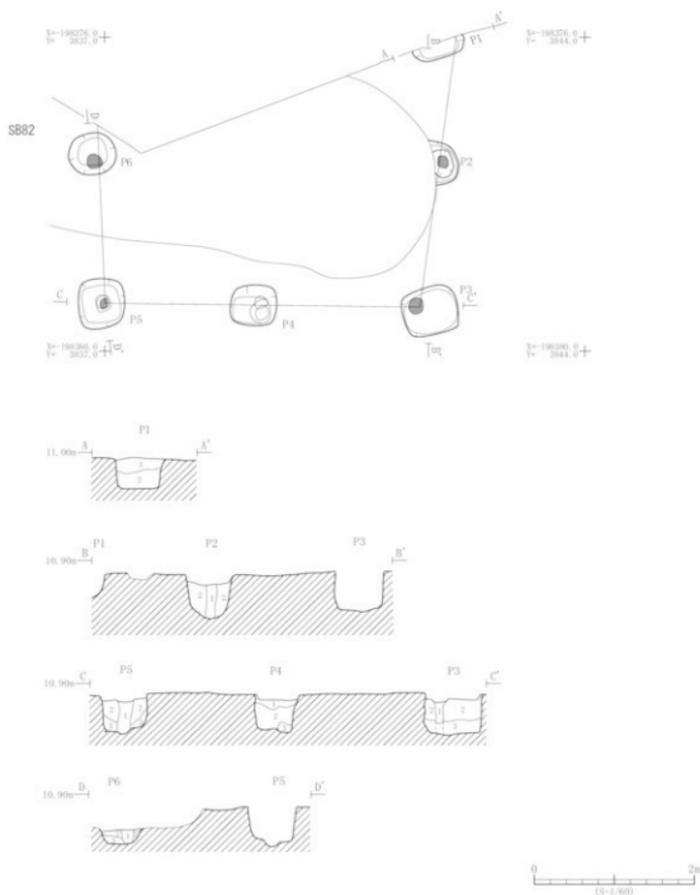
第2図 SB10 掘立柱建物跡 SD18・77・94 溝跡平面図



遺構	層位	土色	土性	備考
SD18	1	10R4/2 灰黄褐色	粘土	黄褐色粘土ブロックを嵌嵌に含む 抜き取り痕
	2	10R4/2 灰黄褐色	粘土	柱頭
	3	10R4/3 に近い黄褐色	粘土質シルト	黄褐色シルトブロックを嵌嵌に多量含む 掘り方
	4	10R4/3 に近い黄褐色	粘土質シルト	黄褐色粘土ブロックを嵌嵌に多量含む 掘り方
P2	1	10R3/2 暗褐色	砂質シルト	抜き取り痕
	2	10R4/2 灰黄褐色	粘土	柱頭
	3	10R4/2 に近い黄褐色	粘土質シルト	黄褐色粘土質シルトブロック・黄褐色粘土ブロックを嵌嵌に多量含む 掘り方
	4	10R4/3 に近い黄褐色	粘土質シルト	黄褐色粘土質シルトブロック・黄褐色粘土ブロックを嵌嵌に多量含む 掘り方
P3	1	10R3/2 黄褐色	粘土質シルト	黄褐色粘土・V層ブロックを少量含む 抜き取り痕
	2	10R4/2 灰黄褐色	粘土	柱頭
	3	10R4/3 に近い黄褐色	粘土質シルト	黄褐色粘土質シルトブロックを嵌嵌に多量含む 掘り方
P5	1	10R4/3 に近い黄褐色	粘土質シルト	黄褐色粘土質シルトブロックを嵌嵌に多量含む 掘り方
	2	10R4/2 灰黄褐色	粘土	柱頭
	3	10R4/2 灰黄褐色	粘土	黄褐色粘土質シルトブロックを嵌嵌に多量含む 掘り方
SD77	1	10R3/2 灰黄褐色	粘土	黄褐色粘土質シルトブロックを嵌嵌に多量含む 掘り方
	2	10R4/2 灰黄褐色	粘土	柱頭
	3	10R4/2 灰黄褐色	粘土	V層、V層ブロックを多量含む
SD94	1	10R3/2 灰黄褐色	粘土	灰褐色粘土を少量含む
	2	10R3/2 灰黄褐色	粘土	灰褐色粘土を少量含む
	3	10R3/2 灰黄褐色	粘土	V層、V層ブロックを少量含む

遺構	層位	土色	土性	備考
P1	1	10R4/3 に近い黄褐色	粘土質シルト	黄褐色シルトブロック・黄褐色粘土ブロックを嵌嵌に含む 抜き取り痕
	2	10R4/2 灰黄褐色	粘土	に近い黄褐色シルトを多量含む 柱頭
	3	10R4/3 に近い黄褐色	粘土質シルト	黄褐色粘土質シルトブロックを嵌嵌に多量含む 掘り方
	4	10R4/3 に近い黄褐色	粘土質シルト	掘り方
P5	1	10R4/2 灰黄褐色	粘土質シルト	黄褐色シルトブロック・V層小ブロックを嵌嵌に多量含む 抜き取り痕
	2	10R4/2 灰黄褐色	粘土	黄褐色粘土質シルトブロックを嵌嵌に多量含む 掘り方
	3	10R4/4 褐色	粘土	黄褐色粘土質シルト小ブロックを嵌嵌に多量含む V層小ブロックを少量含む
P6	1	10R4/2 灰黄褐色	粘土質シルト	黄褐色粘土質シルトブロックを嵌嵌に多量含む
	2	10R4/4 褐色	粘土	黄褐色粘土質シルトブロックを嵌嵌に多量含む
	3	10R3/2 灰黄褐色	粘土	黄褐色粘土を多量含む
SD18	1	10R3/2 灰黄褐色	粘土	黄褐色粘土を多量含む
	2	10R4/3 に近い黄褐色	粘土質シルト	V層ブロックを多量含む
	3	10R3/2 灰黄褐色	粘土	マンソン柱を多量、灰褐色を少量含む
SD77	1	10R3/2 灰黄褐色	粘土	灰褐色を少量含む
	2	10R4/2 灰黄褐色	粘土	V層、V層ブロックを多量含む
	3	10R4/2 灰黄褐色	粘土質シルト	灰褐色を少量含む
SD94	1	10R3/2 灰黄褐色	粘土質シルト	灰褐色・V層ブロックを少量含む
	2	10R3/2 灰黄褐色	粘土	灰褐色を少量含む
	3	10R3/2 灰黄褐色	粘土質シルト	V層ブロックを多量含む

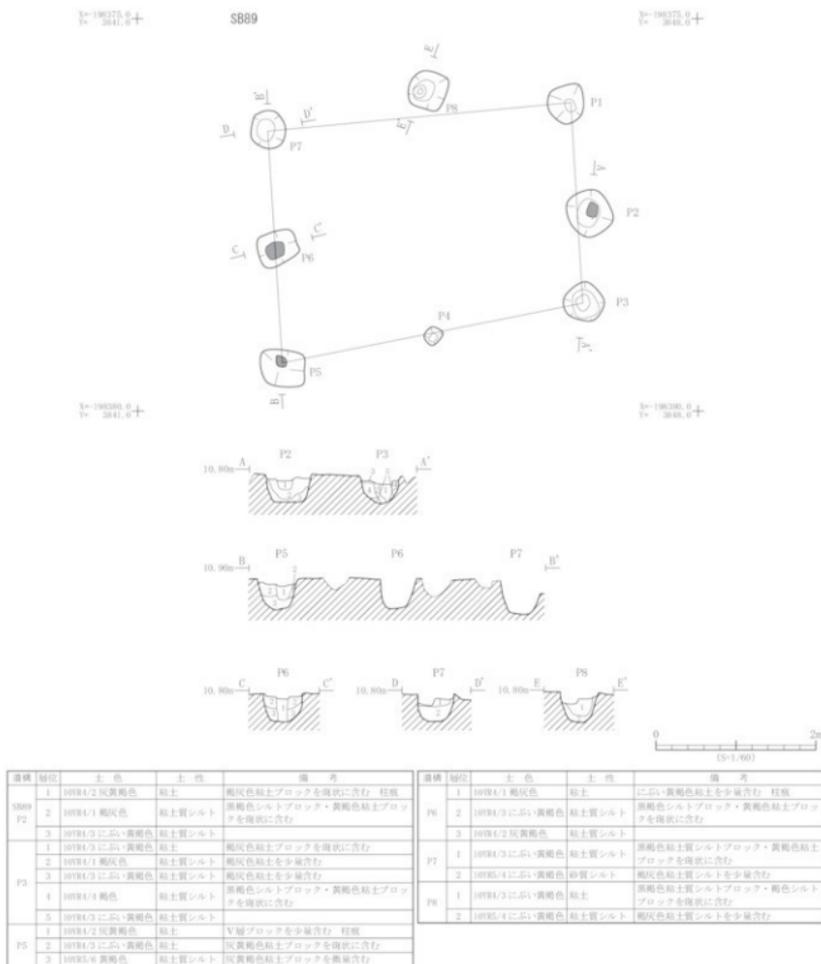
第3図 SD18 掘立柱建物跡 SD18・77・94 溝跡断面図



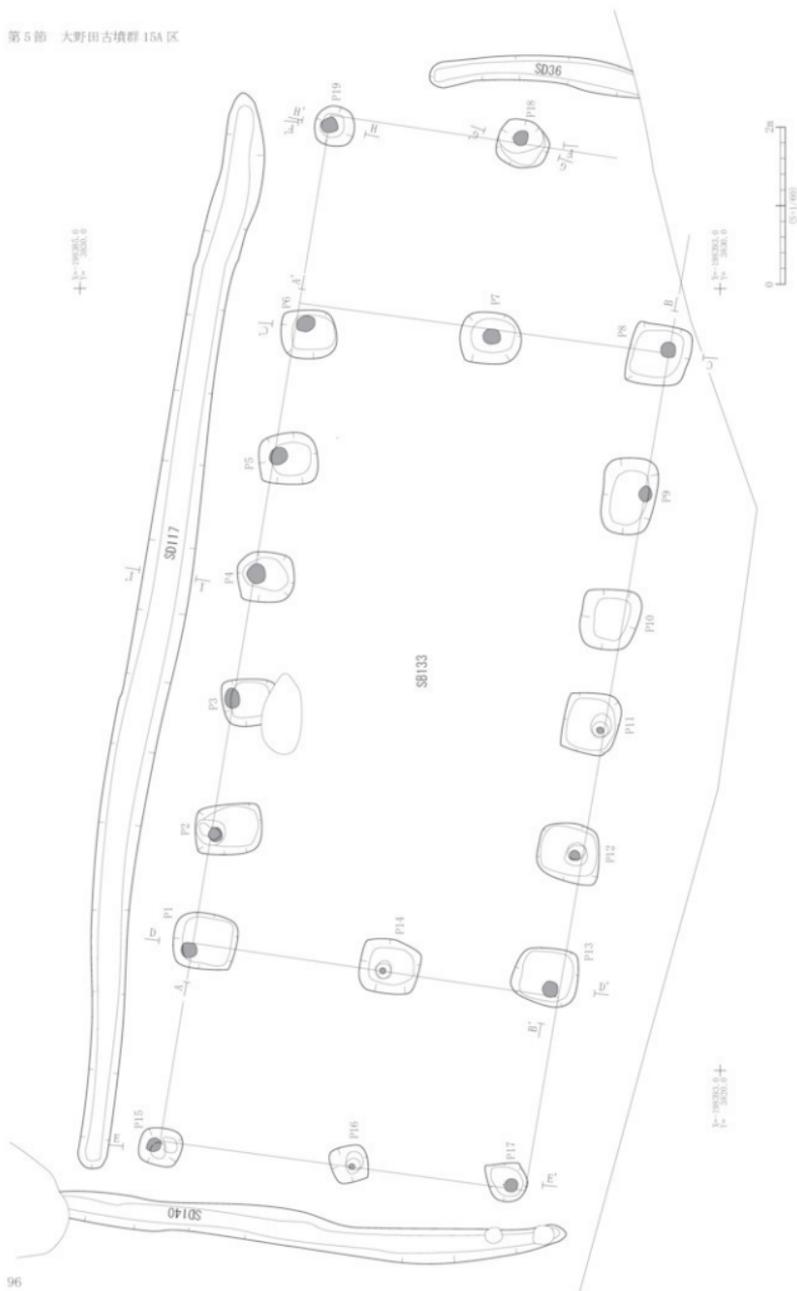
遺構	層位	土色	土性	備考
SB82	1	10YR4/3にぶい・黄褐色	粘土	灰黄褐色粘土ブロックを多量含む
	2	10YR4/3にぶい・黄褐色	粘土質シルト	灰黄褐色粘土ブロックを多量含む
P1	1	10YR4/2灰黄褐色	粘土	V層ブロックを少量含む
	2	10YR4/2灰黄褐色	粘土	灰黄褐色粘土ブロックを多量含む
P2	1	10YR4/2にぶい・黄褐色	粘土	灰黄褐色粘土ブロックを多量含む
	2	10YR4/2灰黄褐色	粘土	V層ブロックを少量含む
	3	10YR4/2灰黄褐色	粘土	灰黄褐色粘土ブロックを多量含む
P3	1	10YR4/3にぶい・黄褐色	粘土	灰黄褐色粘土ブロックを多量含む
	2	10YR4/3にぶい・黄褐色	粘土質シルト	灰黄褐色粘土ブロックを多量含む
	3	10YR4/3にぶい・黄褐色	粘土質シルト	灰黄褐色粘土ブロックを多量含む

遺構	層位	土色	土性	備考
P4	1	10YR4/3にぶい・黄褐色	粘土	灰黄褐色粘土ブロックを多量含む
	2	10YR4/3にぶい・黄褐色	粘土質シルト	V層ブロックを少量含む
	3	10YR4/2灰黄褐色	粘土	V層ブロックを少量含む
P5	1	10YR4/2灰黄褐色	粘土	V層ブロックを少量含む
	2	10YR4/3にぶい・黄褐色	粘土	灰黄褐色粘土ブロックを多量含む
P6	1	10YR4/2灰黄褐色	粘土	V層ブロック・酸化鉄を少量含む
	2	10YR4/3にぶい・黄褐色	粘土	灰黄褐色粘土ブロックを多量含む
	3	10YR4/2灰黄褐色	粘土質シルト	灰黄褐色粘土ブロックを多量含む

第4図 SB82 掘立柱建物跡平面図・断面図

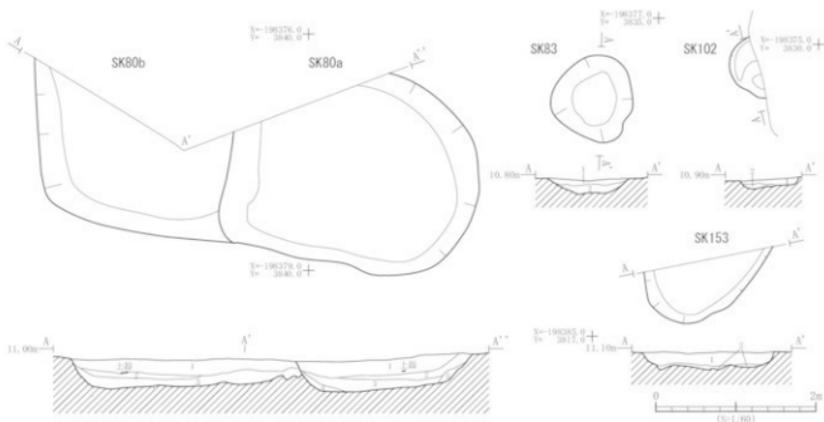


第5図 SB89 掘立柱建物跡平面図・断面図



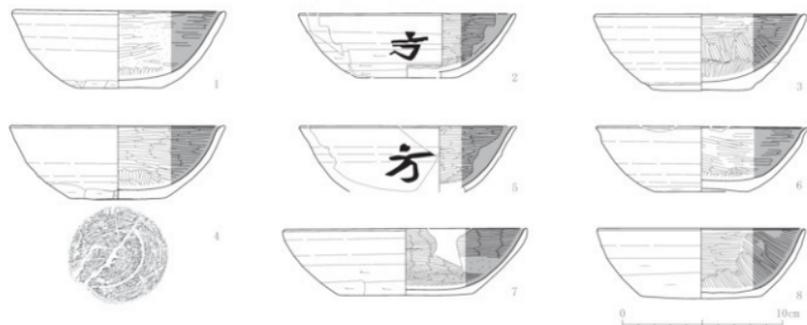
第6図 SBI33 掘立柱建物跡 S036・117・140 溝跡平面図





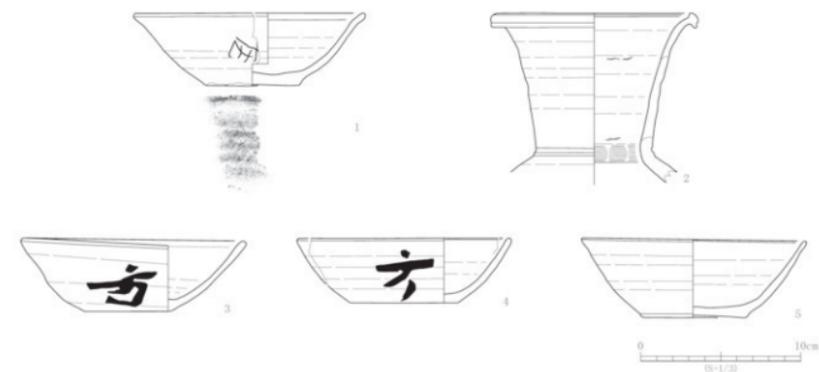
遺構	層位	土色	土性	備考	遺構	層位	土色	土性	備考
SK80a	1	10R3/2 黒褐色	粘土	V層粒・炭化物・焼土粒を多量含む	SK83	1	10R4/1 褐色	粘土質シルト	礎を含む
	2	10R4/1 褐色	粘土	炭化物・焼土粒を少量含む		2	10R4/1 褐色	粘土質シルト	に広い黄褐色粘土ブロックを多量含む
	3	10R4/2 灰黄褐色	粘土	V層粒・炭化物を少量含む	SK102	1	10R4/3 に広い黄褐色	粘土質シルト	V層粒を少量含む
SK80b	1	10R4/2 灰黄褐色	粘土	灰黄褐色粘土を多量含む	SK102	2	10R4/1 褐色	粘土質シルト	V層粒を多量、炭化物を少量含む
	2	10R4/2 灰黄褐色	粘土	に広い黄褐色粘土を多量含む		SK110	1	10R4/2 灰黄褐色	粘土
	3	10R4/1 褐色	粘土	V層粒、炭化物、焼土粒を多量含む	2		10R6/1 褐色	粘土	灰黄褐色粘土・焼土粒を多量含む

第8図 土坑平面図・断面図



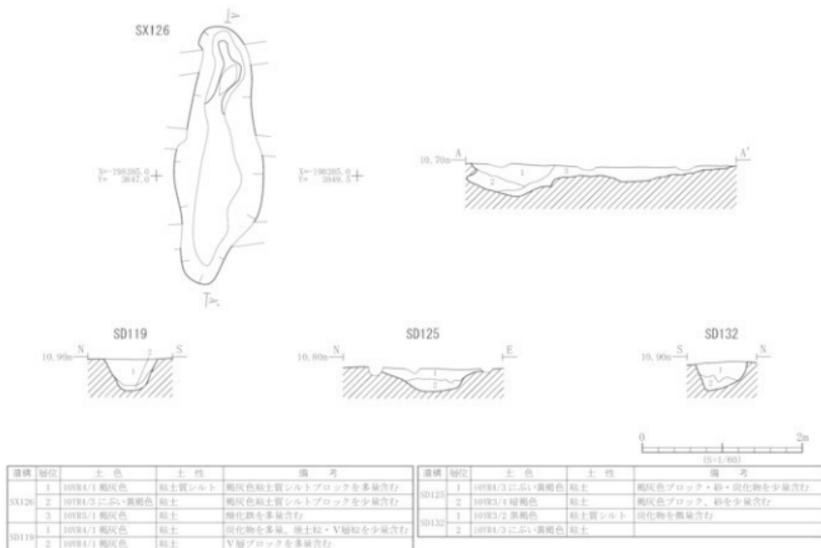
No.	登録番号	区	出土遺構	層位	種別	器種	口径×底径×器高 (cm)	外面調整	内面調整	備考	写真図版
1	D-5	15A	SK80	-	土師器	埴	13.4 × 5.3 × 5.0	コテコテ 体部下端手持ちヘラケズリ 底面回転ヘラケズリ	ヘラミヤキ・黒色処理		11-2
2	D-6	15A	SK80	-	土師器	埴	13.6 × 6.4 × 4.1	コテコテ 体部下端手持ちヘラケズリ 底面回転ヘラケズリ	ヘラミヤキ・黒色処理	蓋裏「方」、体外・正記	11-3
3	D-7	15A	SK80	-	土師器	埴	13.4 × 6.1 × 4.9	コテコテ 体部下端手持ちヘラケズリ 底面回転ヘラケズリ	ヘラミヤキ・黒色処理	内面輪襷少残	11-4
4	D-4	15A	SK80	-	土師器	埴	13.5 × 6.0 × 4.7	コテコテ 体部下端手持ちヘラケズリ 底面回転ヘラケズリ	ヘラミヤキ・黒色処理	外面底面ヘラ正記	11-1
5	D-10	15A	SK80	-	土師器	埴	13.43 × × 厚4.2	コテコテ 体部下端手持ちヘラケズリ 底面回転ヘラケズリ	ヘラミヤキ・黒色処理	蓋裏「方」、体外・正記	11-5
6	D-9	15A	SK83	棟出面	土師器	埴	13.3 × 5.9 × 4.2	コテコテ 体部下端手持ちヘラケズリ 底面回転ヘラケズリ	ヘラミヤキ・黒色処理		11-11
7	D-12	15A	SK80	-	土師器	埴	15.33 × 16.33 × 4.3	コテコテ 体部下端手持ちヘラケズリ 底面回転ヘラケズリ	ヘラミヤキ・黒色処理	内面筆跡	11-6
8	D-13	15A	SK80	-	土師器	埴	13.0 × 7.6 × 4.5	コテコテ 体部下端手持ちヘラケズリ 底面回転ヘラケズリ	ヘラミヤキ・黒色処理	内面底面ヘラ正記	11-7

第9図 土坑出土遺物(1)

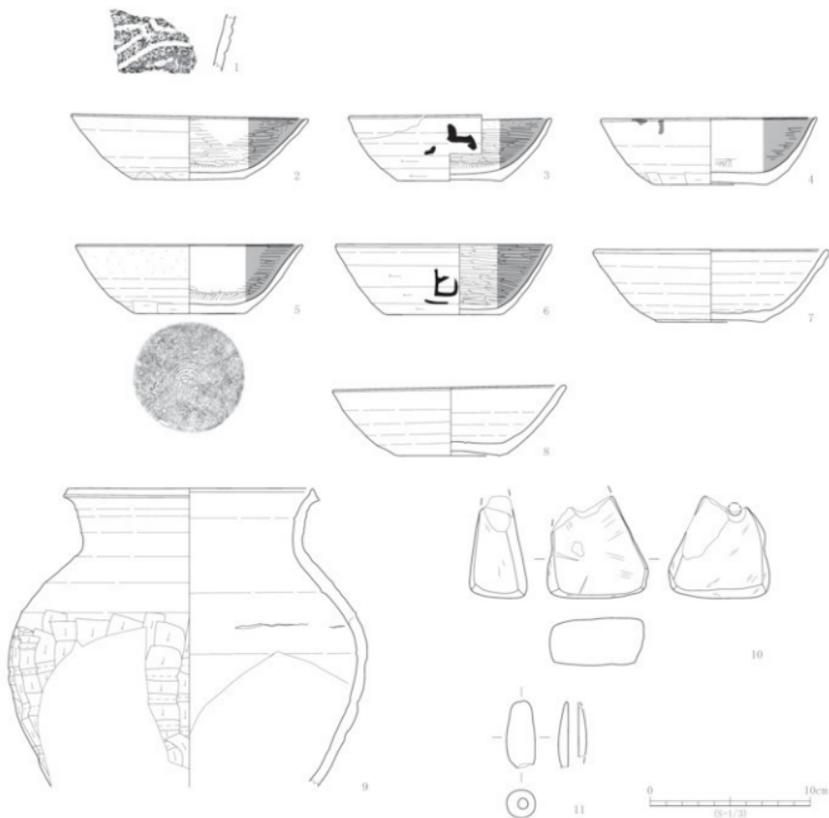


No.	登録番号	区	出土遺構	層位	種類	器種	口径×底径×器高 (cm)	外面調整	内面調整	備考	写真掲載
1	E-2	15A	S800	-	須恵器	甕	14.5 × 6.9 × 4.6	ロタロナデ	裏面(軸心部)磨	横溝面(肩「口」)内外	11-9
2	E-7	15A	S800	-	須恵器	甕	13.0 × × 規 10.8	ロタロナデ	ロタロナデ	外面自然物付着、内面輪郭不明	11-10
3	F-1	15A	S800	-	須恵器	甕	14.1 × 5.6 × 4.7	ロタロナデ	裏面(軸心部)磨	磨面「方」・溝内・正位	11-8
4	F-3	15A	S803	横出面	須恵器	甕	13.41 × 6.43 × 4.1	ロタロナデ	裏面(軸心部)磨	磨面「方」・溝内・正位	11-12
5	F-6	15A	S803	横出面	須恵器	甕	14.1 × 6.5 × 5.1	ロタロナデ	裏面(軸心部)磨	ロタロナデ	11-13

第10図 土坑出土遺物(2)



第11図 SX126 性格不明遺構平面図・断面図 SD119・125・132 溝跡断面図



No.	登録番号	IC	グリッド	方位	種別	器種	寸法	文様等	備考	写真図版	
1	A-1	15A	-	IV	織文土器	陶鉢	製法-花織文			11-21	
11	P-1	15A	-	IV	土製品	土鏝	(11.33 × 1.8 × 1.8 cm) (10.6g, 孔径0.6 cm)			12-3	
No.	登録番号	IC	グリッド	方位	種別	器種	口径×底径×器高 (cm)	表面装飾	内面調整	備考	写真図版
2	D-1	15A	-	IV	土師器	杯	14.9 × 6.9 × 4.2	ロクロナデ 体部下縁部へラケズ 底部下縁部へラケズ	へラミガキ・黒色処理	内面厚紙。	11-14
3	D-2	15A	-	IV	土師器	杯	12.8 × 6.5 × 4.2	ロクロナデ 体部下縁部へラケズ 底部下縁部へラケズ	へラミガキ・黒色処理	裏蓋「口」、体外。	11-16
4	D-3	15A	-	IV	土師器	杯	13.5 × 7.3 × 4.3	ロクロナデ 体部下縁部へラケズ 底部下縁部へラケズ	へラミガキ・黒色処理	外面デーム状削付痕。	11-17
5	D-8	15A	-	IV	土師器	杯	14.2 × 7.0 × 4.4	ロクロナデ 体部下縁部へラケズ 底部下縁部へラケズ	へラミガキ・黒色処理	内外面厚紙。	11-15
6	D-11	15A	-	IV	土師器	杯	(13.33 × 7.0) × 4.5	ロクロナデ 体部へラケズ 底部下縁部へラケズ	へラミガキ・黒色処理	裏蓋「口」、体外。	11-20
7	E-4	15A	-	IV	須恵器	杯	(14.8) × 6.8 × 4.6	ロクロナデ 底部下縁部へラケズ			11-19
8	E-5	15A	-	IV	須恵器	杯	14.6 × 7.0 × 4.5	ロクロナデ 底部下縁部へラケズ		外面厚紙。	11-18
9	E-8	15A	-	IV	須恵器	盃	(16.4) × × 高さ 19.0	ロクロナデ・へラケズ			12-1
No.	登録番号	IC	グリッド	方位	種別	器種	石 材	長さ×幅×厚さ (cm)	重さ (g)	備考	写真図版
10	K4-k-1	15A	-	IV	石製品	淨子	軽石	長さ×幅×厚さ (cm)	重さ (g)		12-2

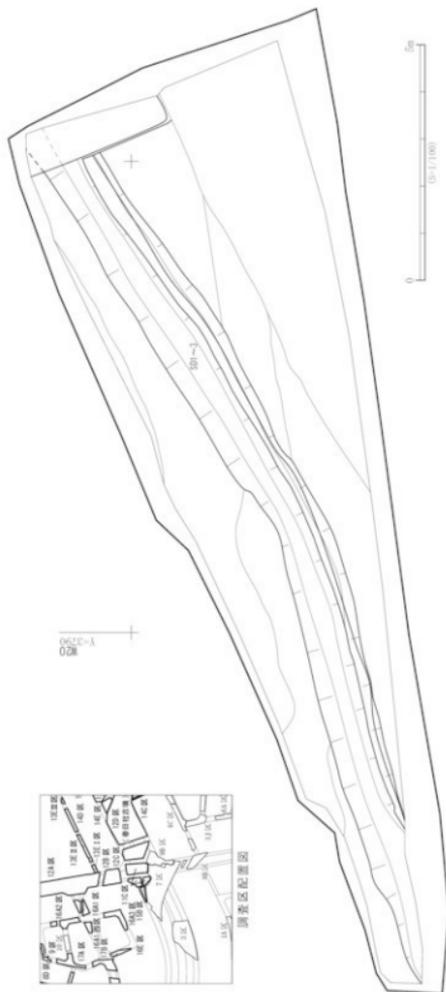
第12図 IV層遺構外出土遺物

01M  
01M



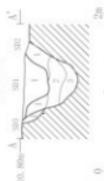
Y=1170  
X=108550  
N30

Y=1170  
X=10850



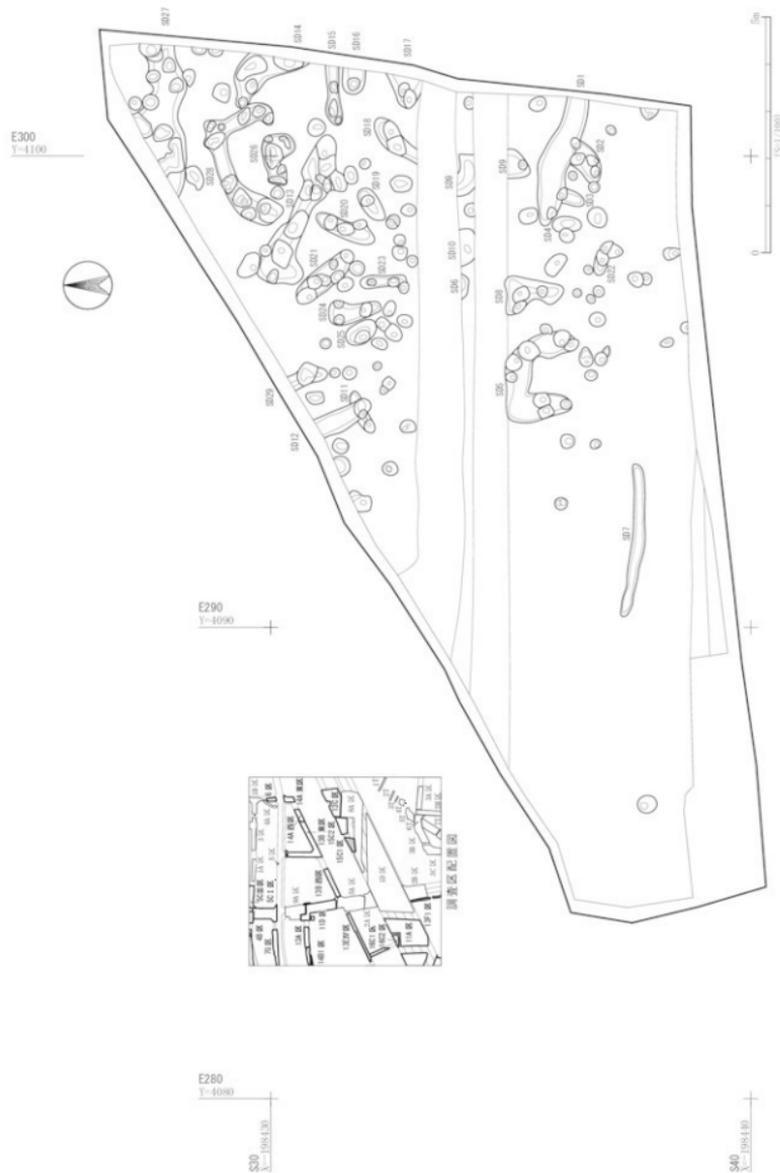
第13図 大野田古墳群156区Ⅲ層遺構配置図

SD1~3

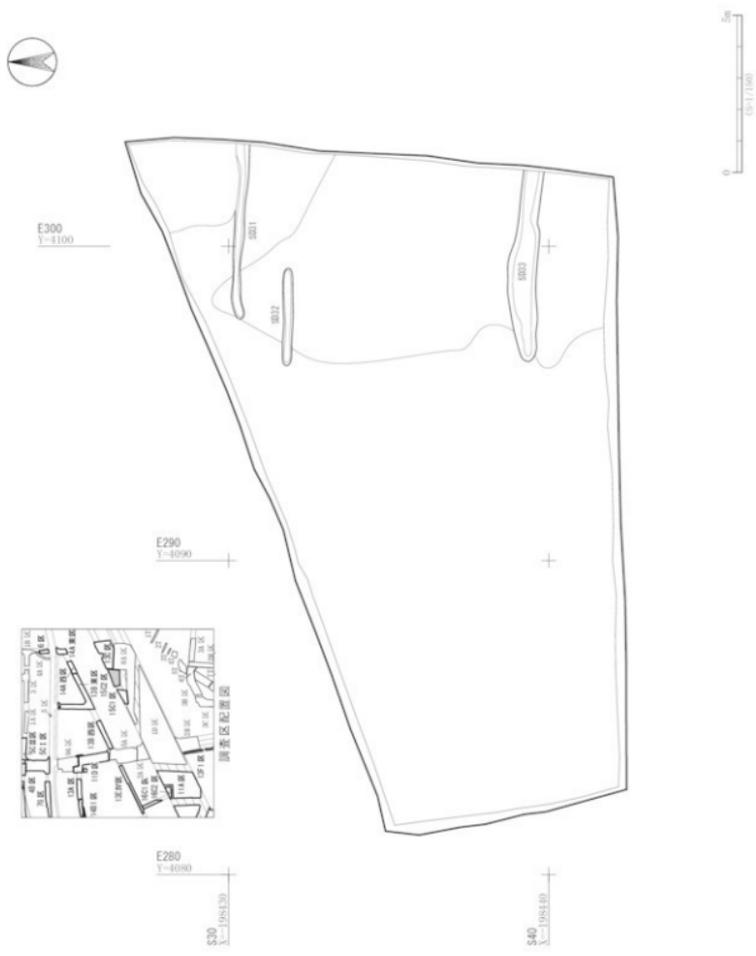


第14図 SD1~3溝断面図

遺構 層位	土 色	土 質	備 考
SD1 1	暗褐色土	粘土質(中)	灰白色土塊を含む。後、陶器片散見に付、層状に付。
SD1 2	暗褐色土	粘土質(中)	灰白色土塊を含む。層状に付。
SD1 3	暗褐色土	粘土質(中)	灰白色土塊を含む。層状に付。
SD2 1	暗褐色土	粘土質(中)	陶器片散見に付。



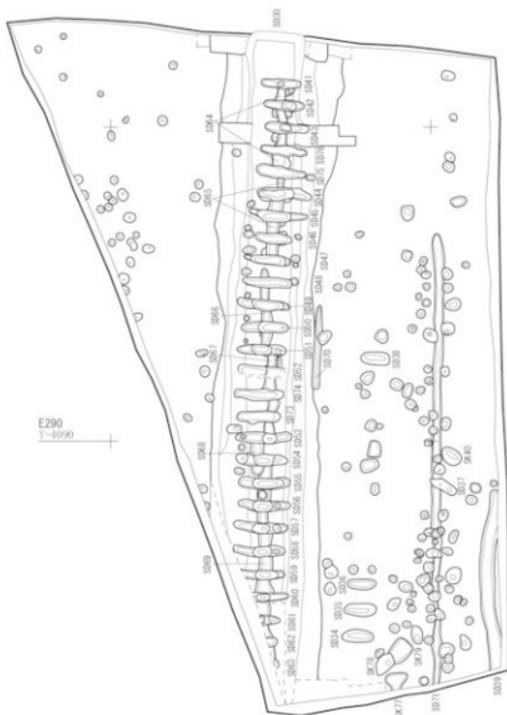
第15図 大野田古墳群 15C1区V層遺構配置図



第 16 図 大野田古墳群 1502 区Ⅳ層遺構配置図



E300  
1-1100



E290  
1-1090

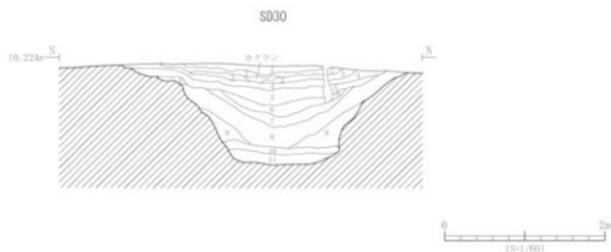
E280  
1-1080

S20  
1-1083.00

S40  
1-1081.00

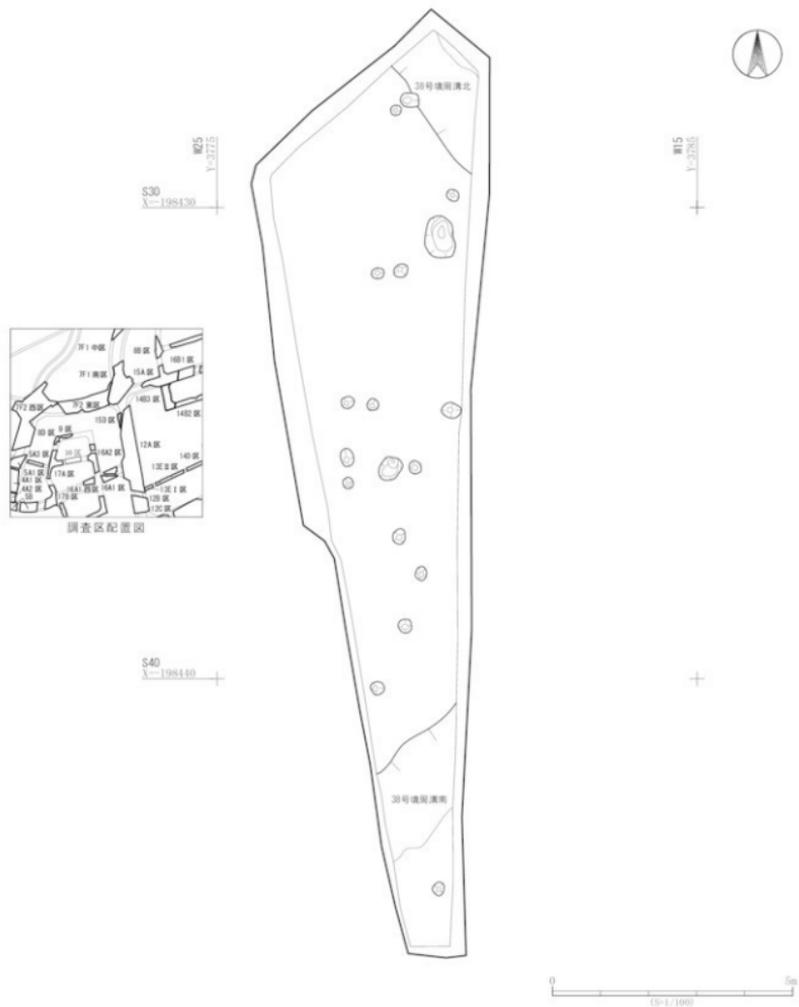


第17図 大野田古墳群 15C区V断面構配置図

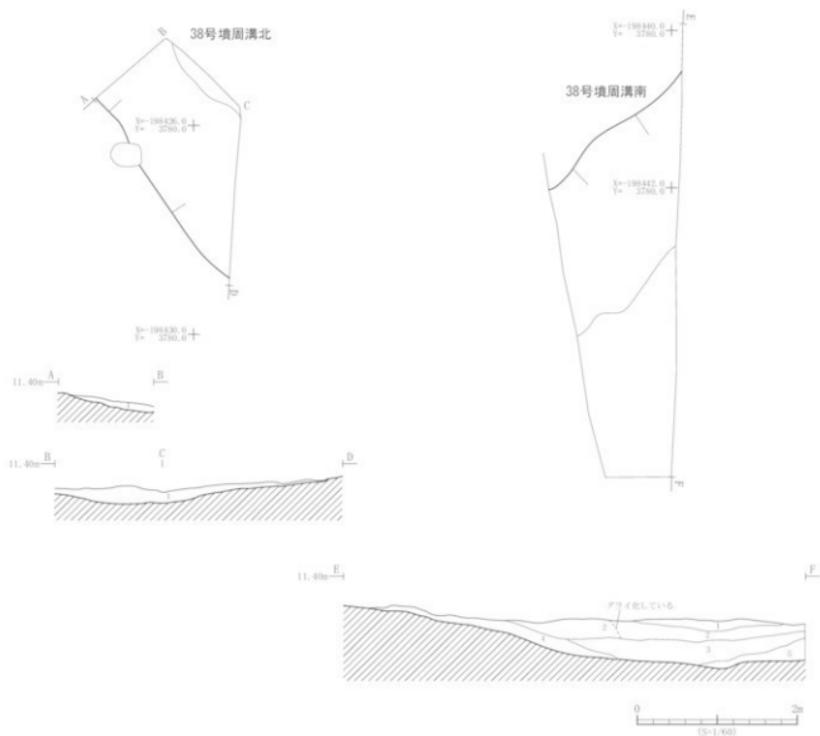


遺積	層位	土色	土性	備考	遺積	層位	土色	土性	備考
SD30	1	10YR4/2 灰黄褐色	粘土質シルト	炭化物を少量含む	SD30	6	10YR4/3 に近い黄褐色	粘土	灰黄褐色粘土ブロックを散在に少量含む
	2	10YR5/3 に近い黄褐色	シルト	炭化物を微量含む		7	10YR3/2 黒褐色	粘土	に近い黄褐色細砂ブロックを少量含む
	3	10YR4/3 に近い黄褐色	シルト質粘土	マンガン粒を多量、炭化物を散在に少量含む		8	10YR3/2 黒褐色	粘土	砕粒を少量含む
	4	10YR5/3 に近い黄褐色	粘土	灰白色の山灰粒を多量、炭化物を微量含む (基本層厚り層の流入と推定)		9	10YR4/3 に近い黄褐色	細砂	暗褐色粘土ブロックを散在に多量含む
	5	10YR3/2 暗褐色	粘土	砕粒を少量含む (基本層厚り層の流入と推定)		10	10YR3/2 黒褐色	粘土	砕粒、小礫を少量含む
					11	10YR4/3 に近い黄褐色	細砂	暗褐色粘土ブロックを多量含む	

第 18 図 SD30 溝跡断面図



第19図 大野田古墳群150区V層遺構配置図



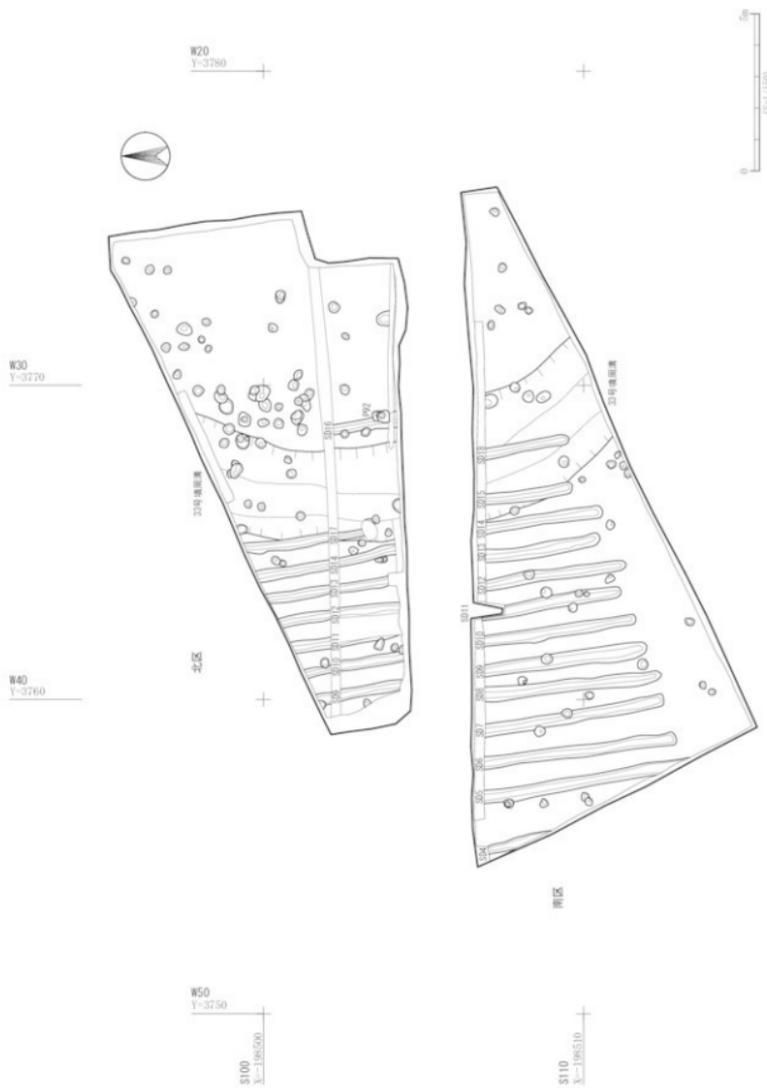
遺積	層位	土色	土性	備考	遺積	層位	土色	土性	備考
北	1	100R3.3 暗褐色	砂質シルト	下部にV層粒・V層ブロックを多量含む。	南	3	100R4.2 灰黄褐色	砂質シルト	
	1	100G.7 灰色	粘土	粘土粒を多量含む。	4	100R4.3 に近い 黄褐色	砂質シルト		
南	2	100J.1 オリーブ褐色	粘土	に近い黄褐色砂ブロックを少量含む。	5	100R4.3 に近い 黄褐色	砂質シルト	灰黄褐色粘土ブロックを多量含む。	

第20図 38号墳周溝平面図・断面図



No.	記録番号	区	出土遺構	層位	種別	図録	図 集 (cm)	外面調整	内面調整	備考	写真収録
1	S-1	11D	38号墳周溝	-	埴輪	円筒	-××× 縦5.4	クマハタメ+ヘア記号 (右側)	ヘアリ	基部碎状土質。 色調 橙黄色。	12-4

第21図 38号墳周溝出土遺物



第22図 大野田古墳群 16A1区V断面構配置図

W70  
Y-3720

Y-3725

W60  
Y-3740

Y-3745

W50  
Y-3750

X-198505

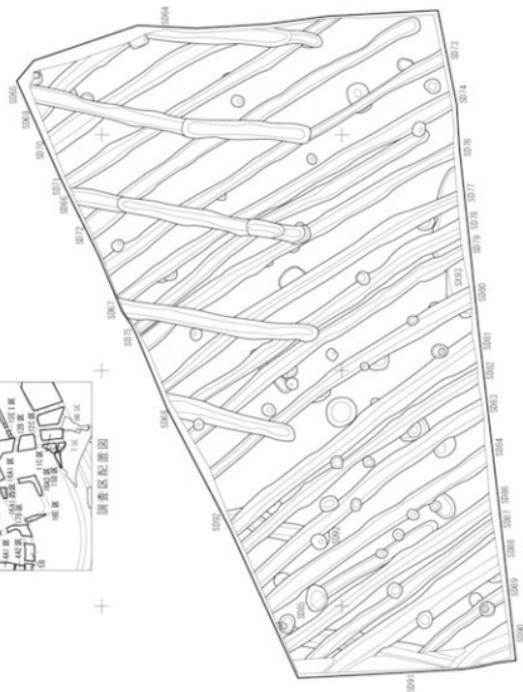
S110

X-198510

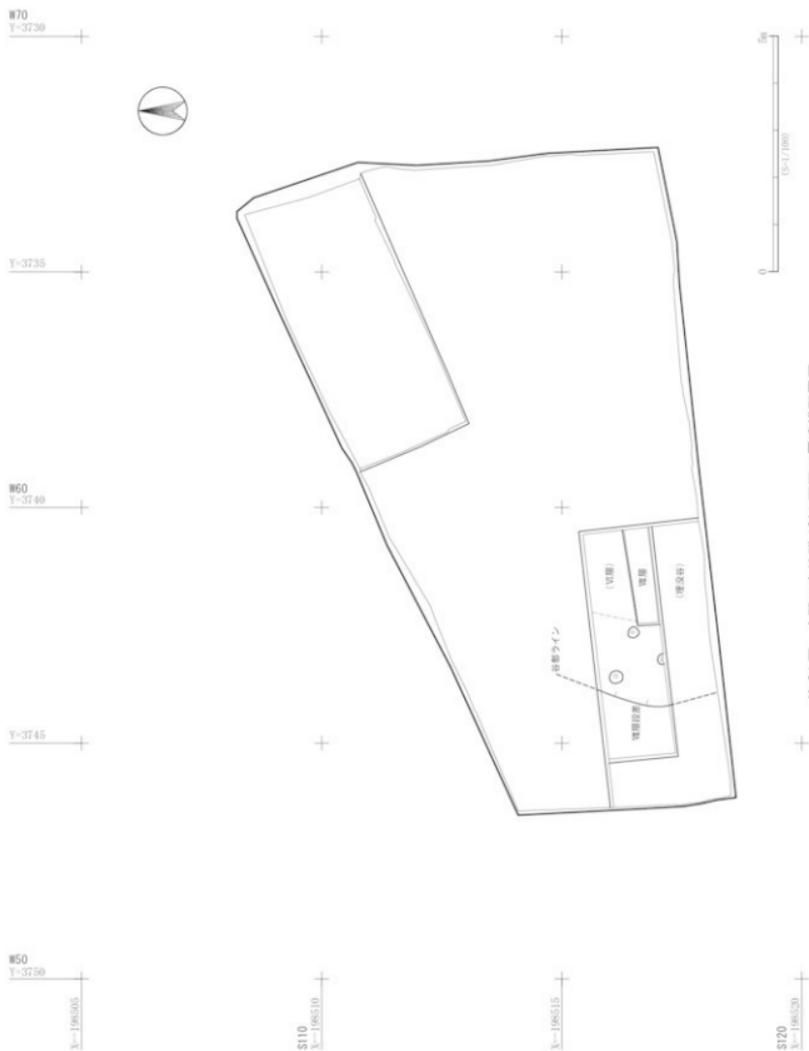
X-198515

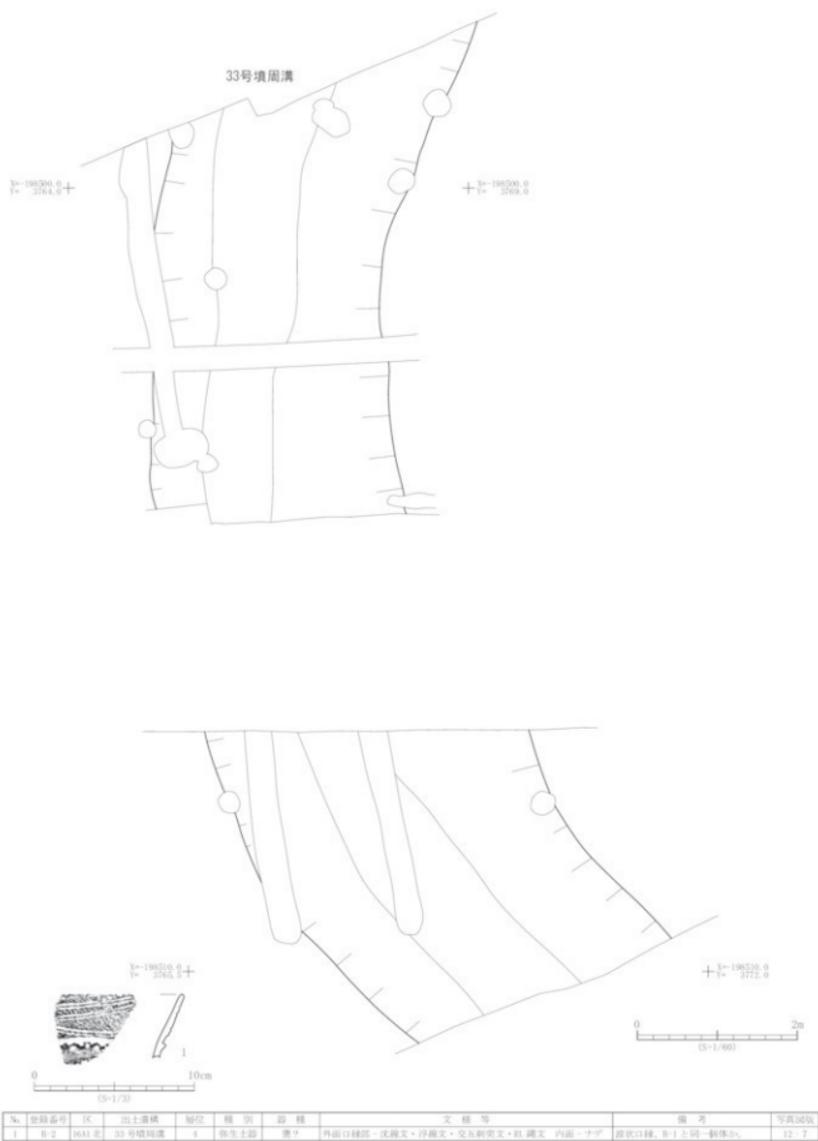
S170

X-198520



第23図 大野田古墳群 16A1 西区IV b 断面構配置図





第25図 33号墳周溝平面図・出土遺物



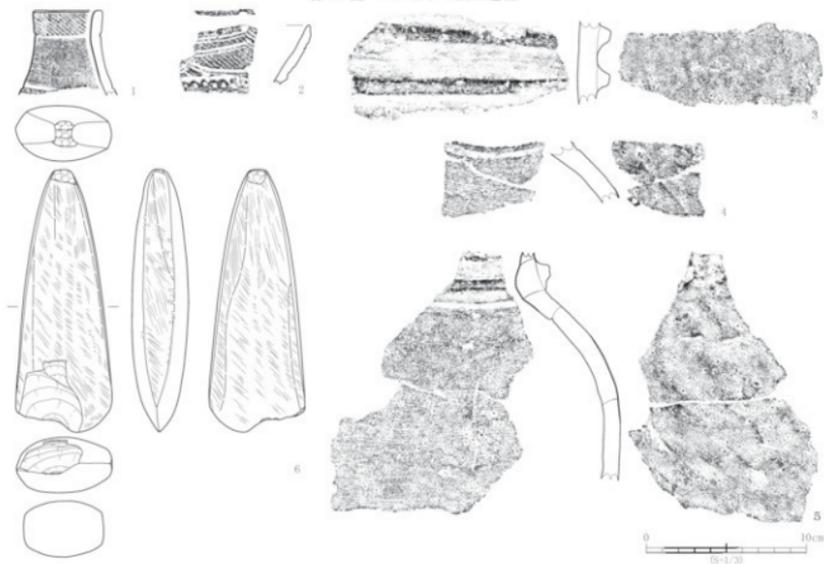
No.	登録番号	区	出土遺構	層位	種類	部種	法 量 (cm)	外面調整	内面調整	備 考	写真図版
1	S-5	16A1 北	3016	-	埴輪	輪部	-X × 厚 4.3 凸部幅上 0.7 下 1.6, 高さ 0.7	ハケメ・ヨコナゲ	ナゲ	頸部凸部, 色調 緑色系。	12-8

第26図 SD16 溝跡出土遺物



No.	登録番号	区	出土遺構	層位	種類	部種	文 様 等	備 考	写真図版
1	A-3	16A1	P92	1	縄文土器	口縁部	口縁→胴部・沈線文・張り筋・紅・縄文・磨り消し		12-5

第27図 P92 ビット出土遺物

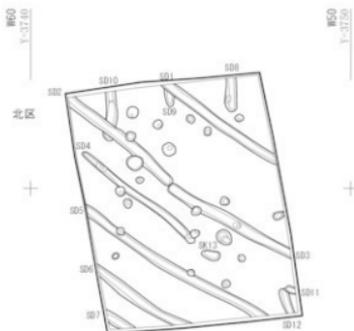


No.	登録番号	区	グリッド	層位	種類	部種	文 様 等	備 考	写真図版
1	A-2	16A1	-	IV	縄文土器	蓋	口縁部(沈線文・紅・縄文 単線多条)・磨り消し		12-6
2	B-1	16A1 北	-	IV	弥生土器	甕?	外面口縁部(沈線文・浮線文・交互斜交文・口唇部局部目・真直部押入)・紅・縄文 内面→ナゲ	面状口縁。	12-10

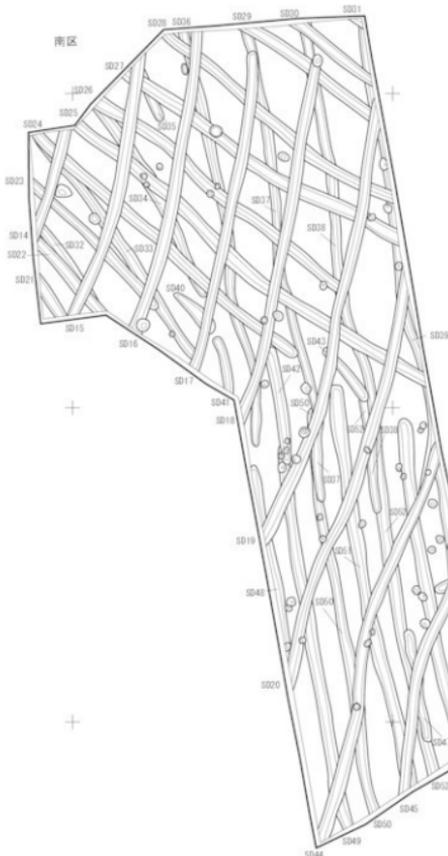
No.	登録番号	区	グリッド	層位	種類	部種	法 量 (cm)	外面調整	内面調整	備 考	写真図版
3	S-2	16A1 北	-	IV	埴輪	輪部の肩部 底平	-X × 厚 5.3 ①凸部幅上 0.7 下 1.9, 高さ 0.8 ②凸部幅上 0.6 下 1.8, 高さ 0.8	ナゲ	ナゲ	①頸部凸部。	12-9
4	S-4	16A1 北	-	IV	埴輪	輪部	-X × 厚 5.9	ヨコハケメ・ヨコナゲ	ナゲ	色調 緑色系。	12-11
5	S-5	16A1 北	-	IV	埴輪	輪部	-X × 厚 11.6 凸部幅上 0.6 下 2.0, 高さ 0.8	ヨコハケメ・ヨコナゲ	ナゲ(ナナメ)	頸部凸部, 色調 緑色系。	12-12
6	Kh-a-1	16A1 東	-	IV	磨製石器	磨製石器	石 材 長さ×幅×厚さ (cm) 重さ (g) 16.7 × 6.0 × 3.5 (907.9)				12-13

第28図 IV層遺構外出土遺物

S70  
X-198470



S80  
X-198490



S90  
X-198490

S100  
X-198500



調査区配置図

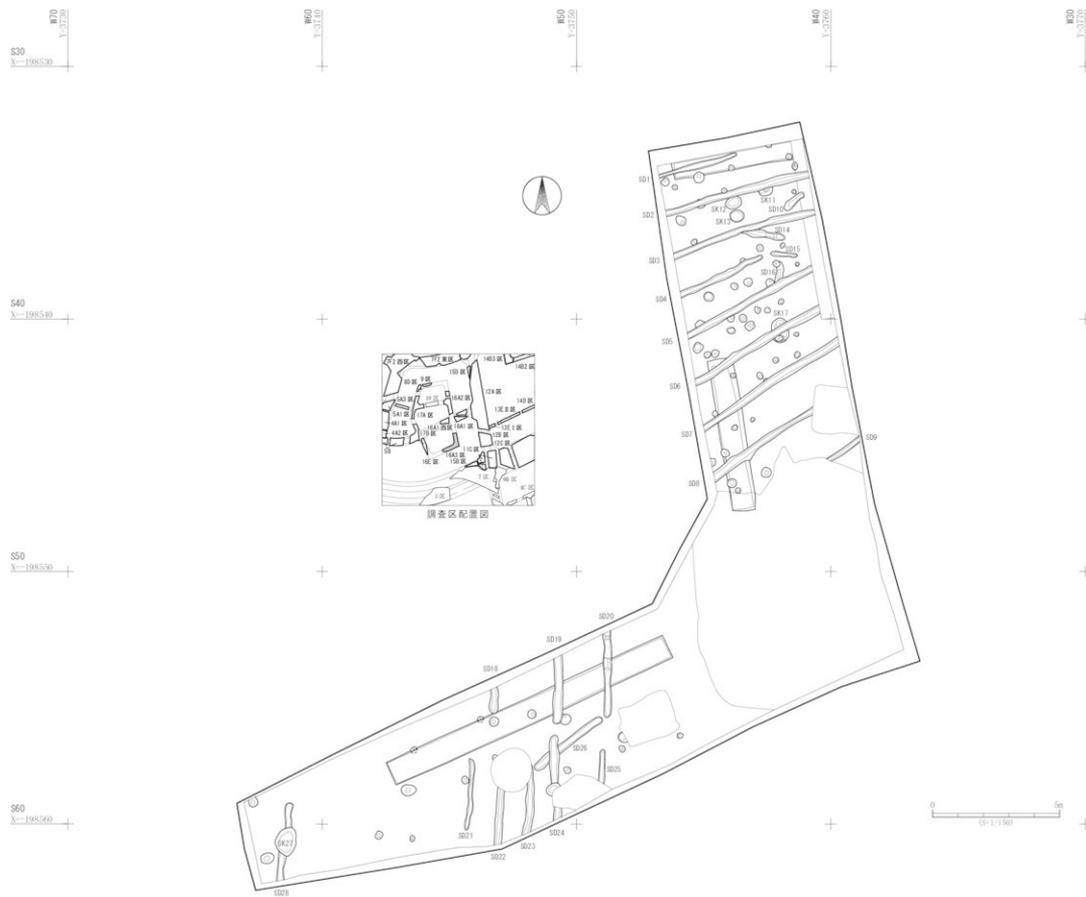


第29図 大野田古墳群 16A2区V層遺構配置図

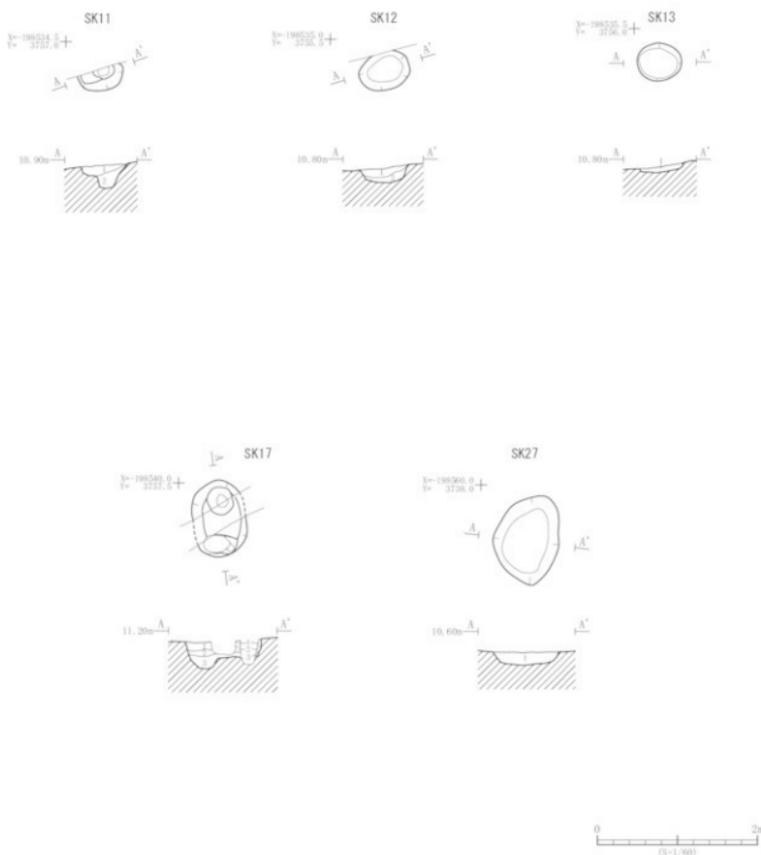


No.	登録番号	区	出土遺構	層位	種類	器種	口径×底径×器高 (cm)	表面調整	内面調整	備考	写真図版
1	C-1	16A2	3026	-	土師器	甕	115.0×95.0×器高21.4	弦字ナデ・ヘラナデ・ヘラミヤキ	弦字ナデ		12-14

第30図 SD26 溝跡出土遺物

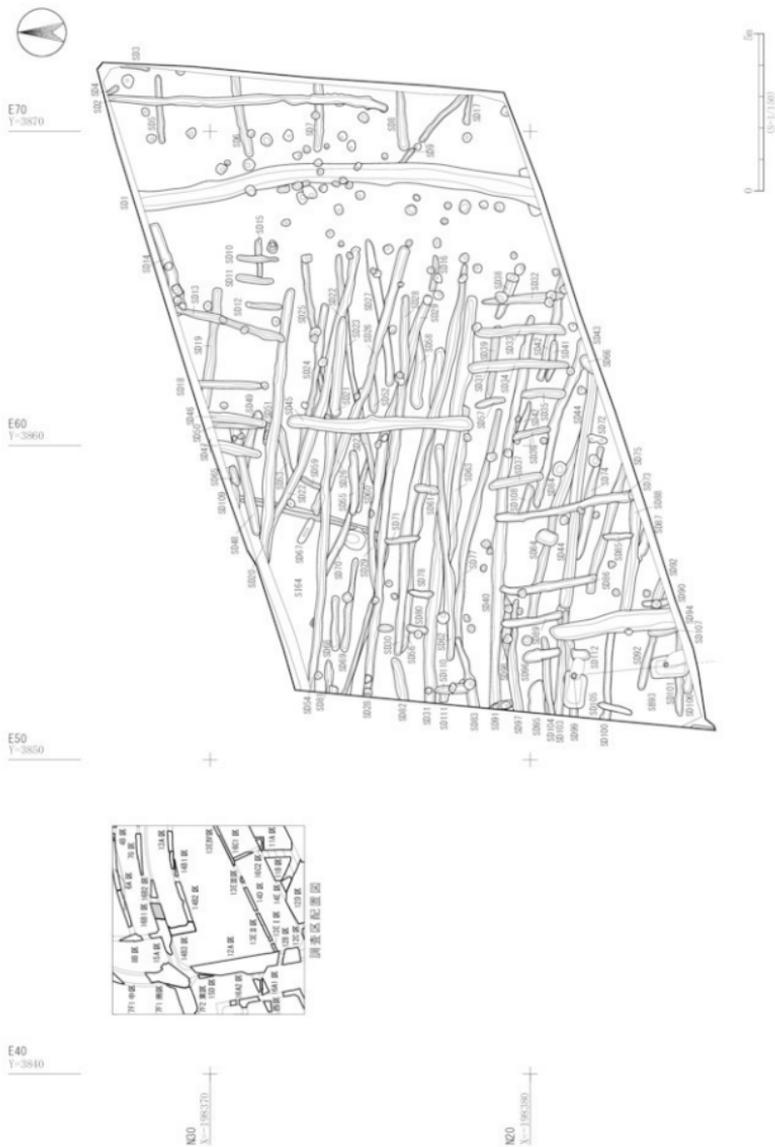


第31図 大野田古墳群 16A3区V形遺構配置図



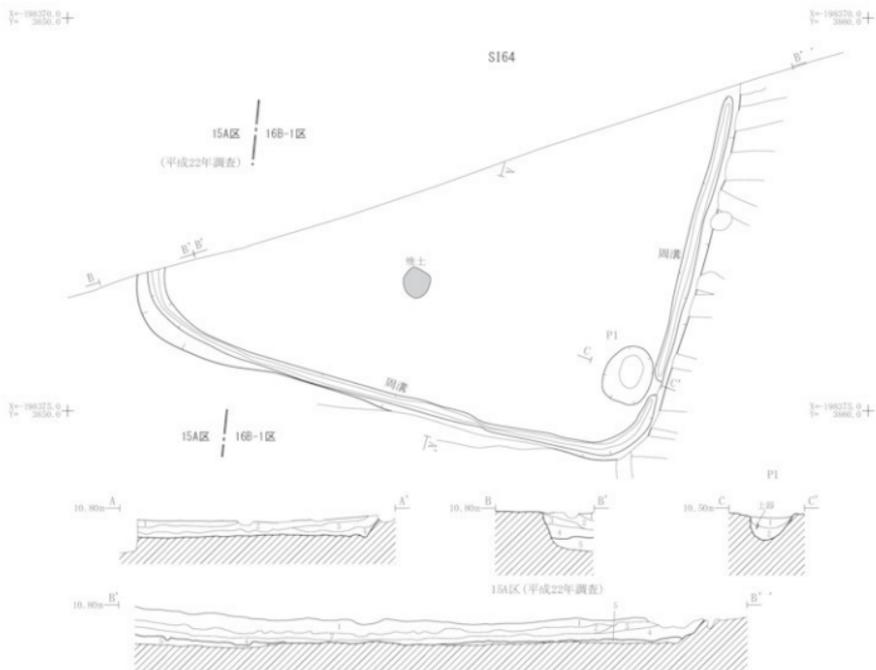
遺構 層位	土色	土性	備考	遺構 層位	土色	土性	備考
SK11	1 10R3/2 黒褐色	粘土質シルト	黄褐色粘土質シルトブロックを多量含む	SK13	1 10R4/1 褐色	粘土質シルト	灰黄褐色粘土質シルトブロック、マンガ ン粒、炭化物を少量含む
	2 10R3/2 黒褐色	粘土質シルト	黄褐色粘土質シルト、灰砂を少量含む		SK17	1 10R3/2 黒褐色	粘土質シルト
SK12	1 10R4/1 褐色	粘土質シルト	灰黄褐色粘土質シルトブロック、マンガ ン粒、炭化物を少量含む			2 10R3/2 黒褐色	粘土質シルト
	2 10R5/1 褐色	粘土質シルト	黄褐色粘土質シルトを少量含む	3 10R3/3 暗褐色		粘土質シルト	黄褐色粘土質シルトを多量含む
				SK27	1 10R3/1 黒褐色	粘土質シルト	灰黄褐色粘土質シルトブロックを少量含む

第32図 土坑平面図・断面図



第33図 大野田古墳群 16B1区V断面構配置図





遺構	層位	土色	土性	備考
S164	1	10R3/2 黒褐色	粘土	V層砂を少量含む
	2	10R4/1 褐色	粘土	炭化物を少量含む
	3	10R4/1 褐色	粘土質シルト	炭化物を少量、V層ブロックを微量含む
	4	10R3/2 黒褐色	粘土	埴部に炭化物・埴土をブロックを多量、褐色粘土質シルトを少量含む
	5	10R4/1 褐色	粘土質シルト	黒褐色粘土質シルト入ブロックを埴部に含む層り至

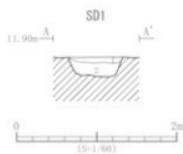
遺構	層位	土色	土性	備考
P1	1	10R3/3 暗褐色	粘土	埴部に炭化物を多量を含む
	2	10R4/2 灰黒褐色	粘土	炭化物を微量含む

第35図 S164 竪穴住居跡平面図・断面図



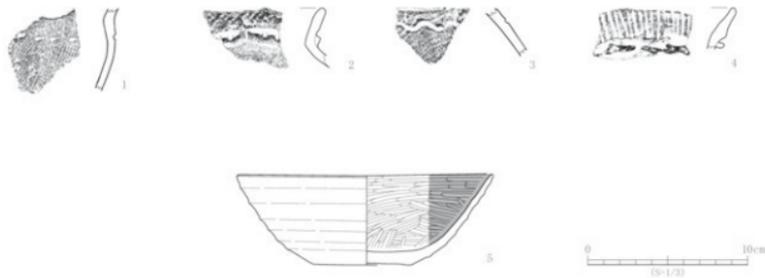
No.	発見番号	区	出土遺構	層位	種別	器種	口径×直径×器高 (cm)	外面調整	内面調整	備考	写真図版
1	C-3	16B1	S164	深直	土師器	蓋	14.7×××9.5×8	ハタメ	ヘラナゲ	外面調整・粘土粒のものを貼り付けた痕跡	13-1
2	C-4	16B1	S164	-	土師器	小甕	××2.8×9.4×3.3	ヘラナゲ	ヘラナゲ		13-2

第36図 S164 竪穴住居跡出土遺物



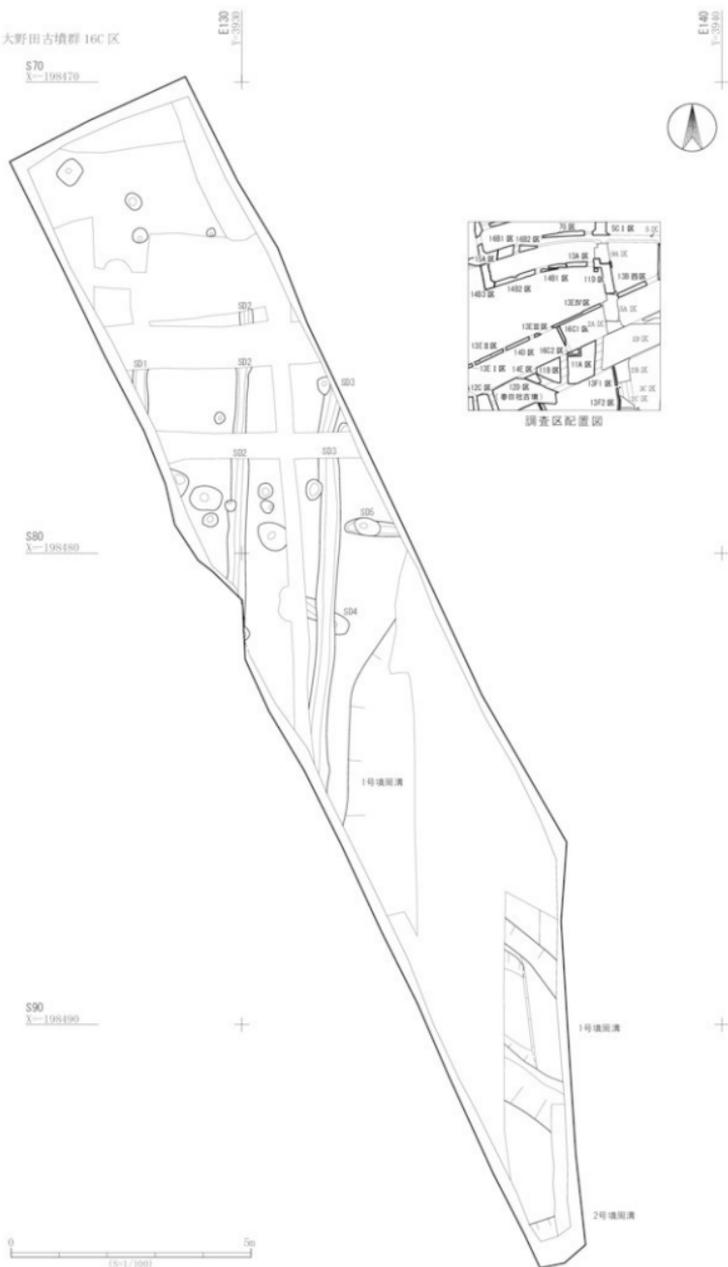
遺構	層位	土色	土質	備考
SD1	1	10R3/2 黒褐色	粘土質シルト	V層粘土少量含む。
	2	10R3/2 黒褐色	粘土質シルト	V層ブロックを多量含む。

第37図 SD1 溝跡断面図

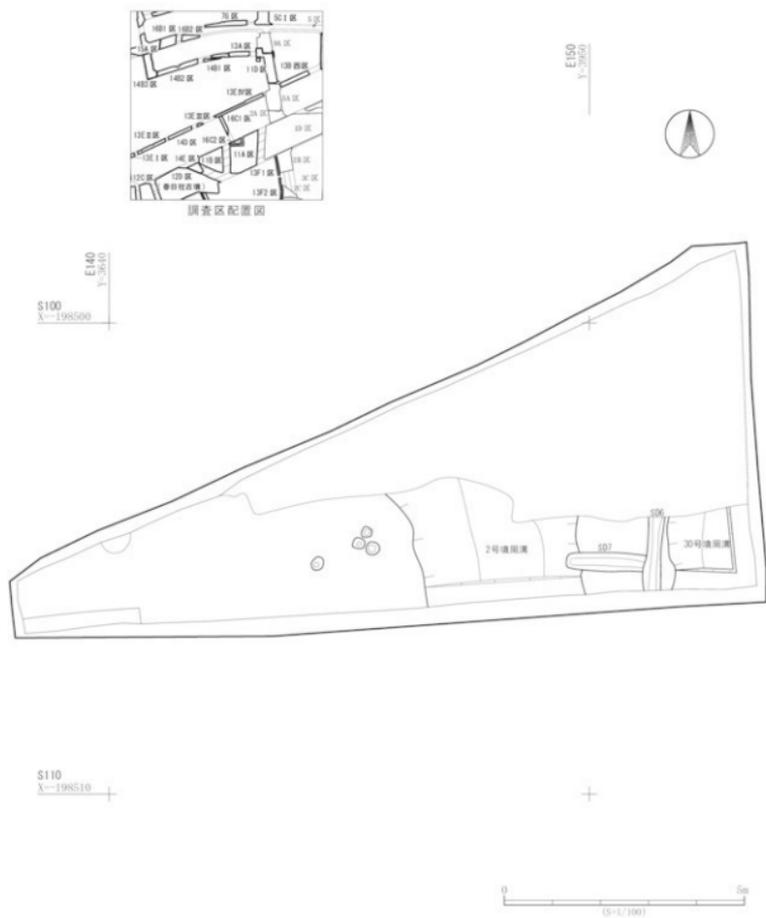


No.	登録番号	区	グリッド	層位	種別	器種	文様等	備考	写真掲載		
1	B-3	10B1	-	IV	弥生土器	甕	外面胴部・コノナデ 体部上半・刺突文・1.8 縄文		13-4		
2	B-4	10B1	-	IV	弥生土器	甕	外面口縁・胴部・浮線文・1.8 縄文 内面・ナデ		13-5		
3	B-5	10B1	-	IV	弥生土器	甕	外面体部上半・段状沈線文・1.8 縄文 内面・ナデ		13-6		
4	B-6	10B2	-	IV	弥生土器	甕	外面口縁部・沈線文(スリット文)・浮線文(上部刺突・下部押し) 内面・ナデ		13-8		
No.	登録番号	区	グリッド	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真掲載
5	D-14	10D1	-	IV	土師器	甕	116.01 × 6.2 × 5.8	コノナデ 底部凹面調整	ヘラミガキ・黒色地肌		13-7

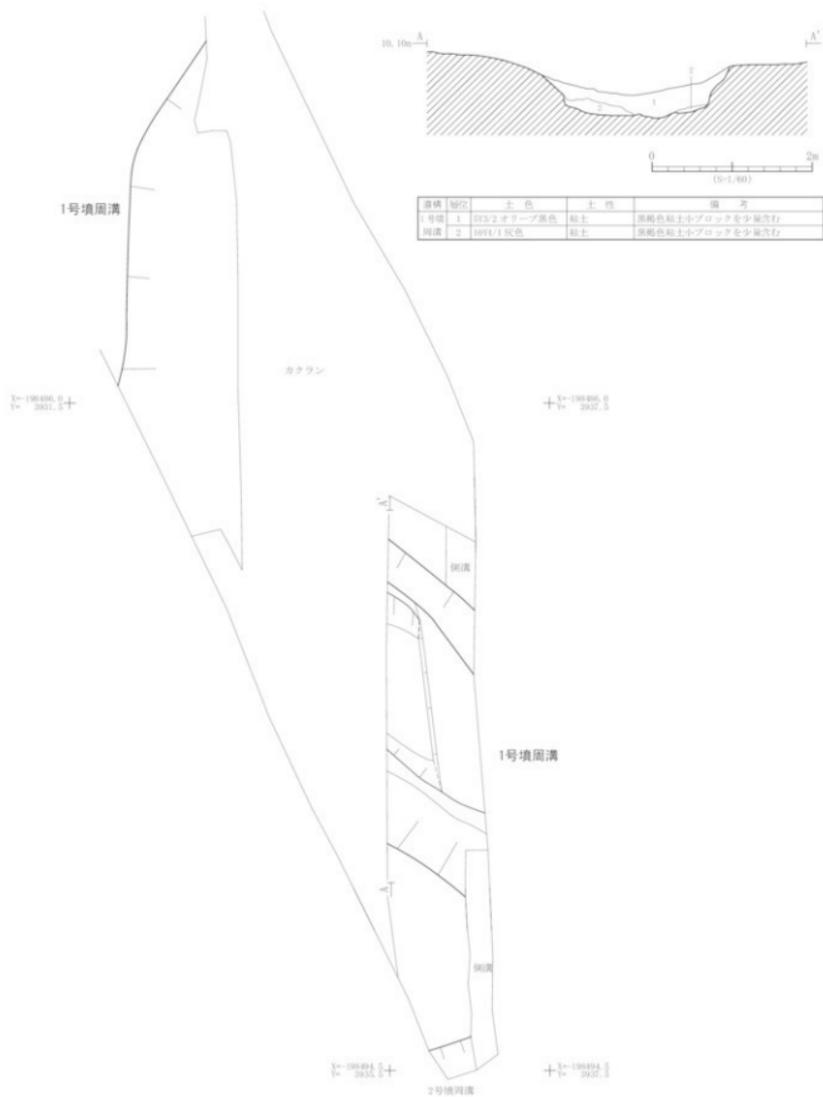
第38図 IV層遺構外出土遺物



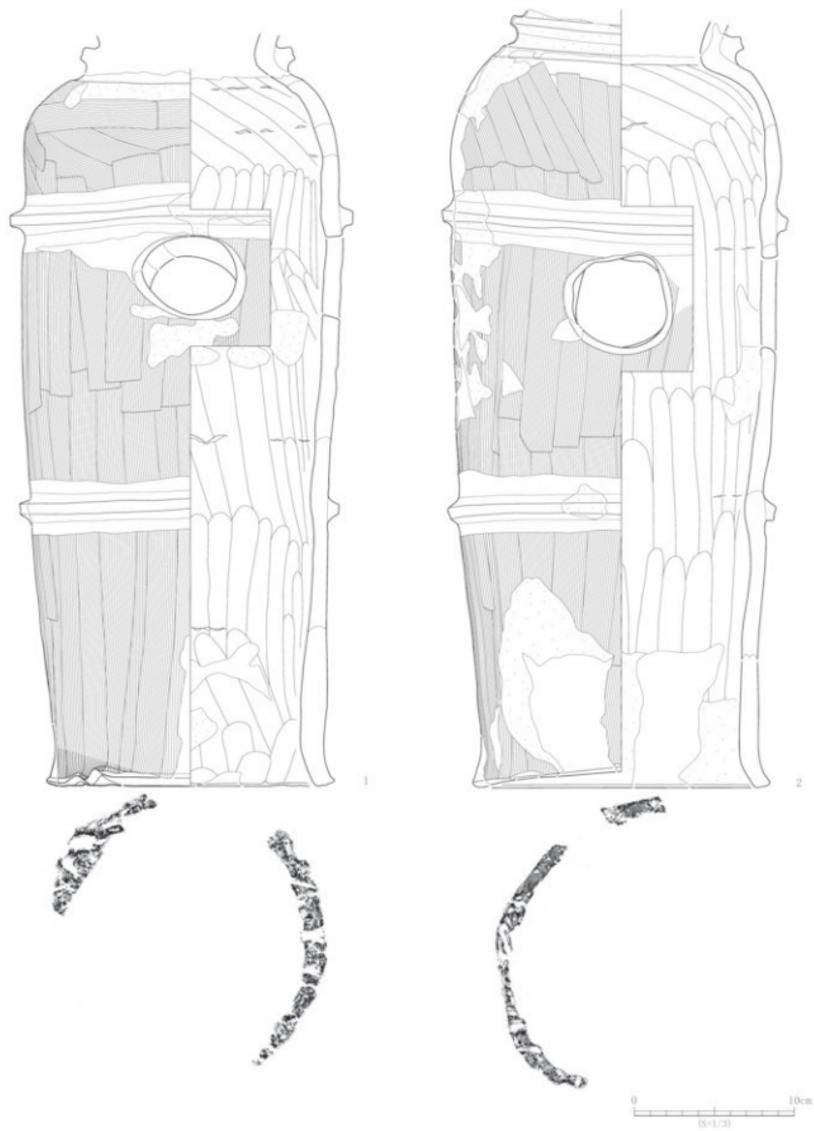
第39図 大野田古墳群16C1区V形遺構配置図



第40図 大野田古墳群16C2区V層遺構配置図



第41図 1号墳周溝平面図・断面図

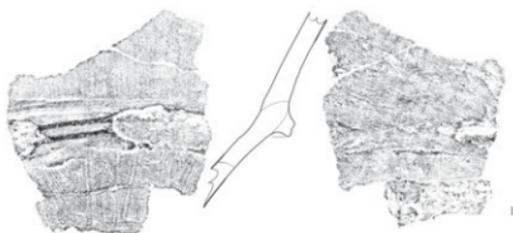


第42図 1号墳周溝出土遺物(1)

第5節 大野田古墳群 16C区

1号墳周溝出土遺物観察表

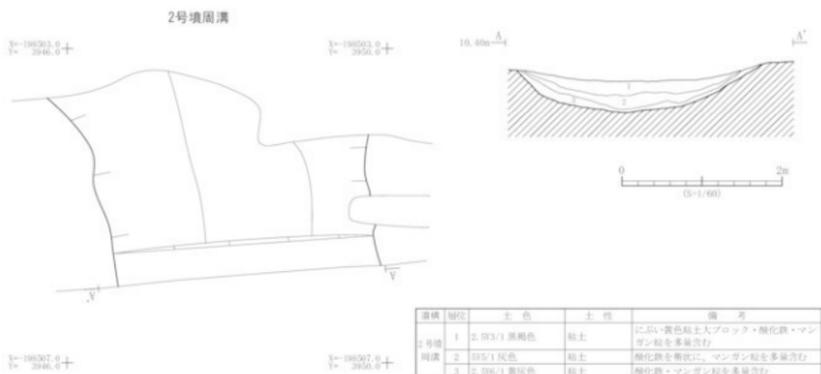
No.	登録番号	区	出土遺構	方位	種類	器種	法 量 (cm)	外面調整	内面調整	備 考	写真図版
1	S-6	16C	1号墳周溝	-	埴輪	鏡原	- × (18.0) × 厚 45.5 ①内径幅上 0.6 下 1.8, 高さ 0.7 ②内径幅上 0.8 下 2.0, 高さ 0.8	タテハケメ・ヨコナヅ 副 部不定方向ハケメ	ナヅ	①環状凸部, ②環状凸部, 基部縁状凸部, 透し形内径 2孔 1対, 色調 褐色系。	13-9
2	S-7	16C	1号墳周溝	-	埴輪	鏡原	- × (18.0) × 厚 40.5 ①内径幅上 0.8 下 1.6, 高さ 0.6 ②内径幅上 0.7 下 1.9, 高さ 0.7 ③内径幅上 0.8 下 2.1, 高さ 1.4	タテハケメ・ヨコナヅ 副部 タテハケメ・ナナメハケメ	ナヅ	①環状凸部, ②環状凸部, ③環状凸部, 基部縁状凸部, 透し円形、2孔 1対, 色調 褐色系。	13-11



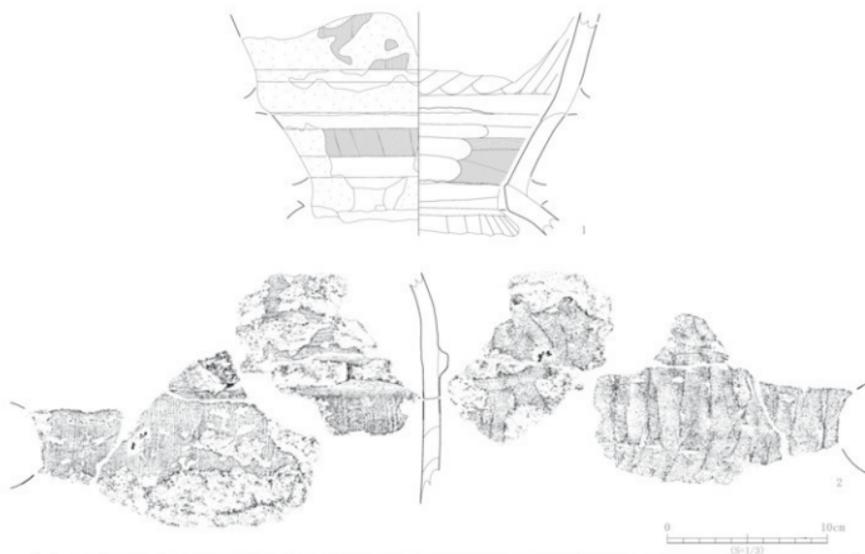
0 10cm  
(5-1/3)

No.	登録番号	区	出土遺構	方位	種類	器種	法 量 (cm)	外面調整	内面調整	備 考	写真図版
1	S-8	16C	1号墳周溝	-	埴輪	鏡原	- × × 厚 12.5 凸部幅上 0.9 下 2.1 高 さ 0.8	タテハケメ・ヨコナヅ	ナヅ	断面状凸部, 色調 褐色系。	13-10

第43図 1号墳周溝出土遺物 (2)

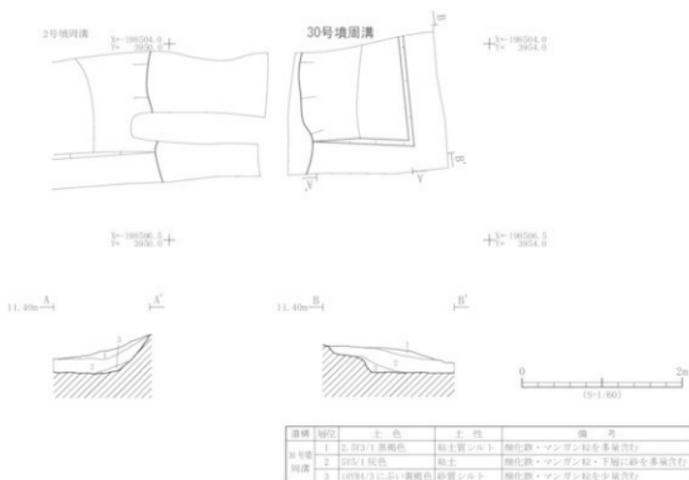


第44図 2号墳周溝平面図・断面図

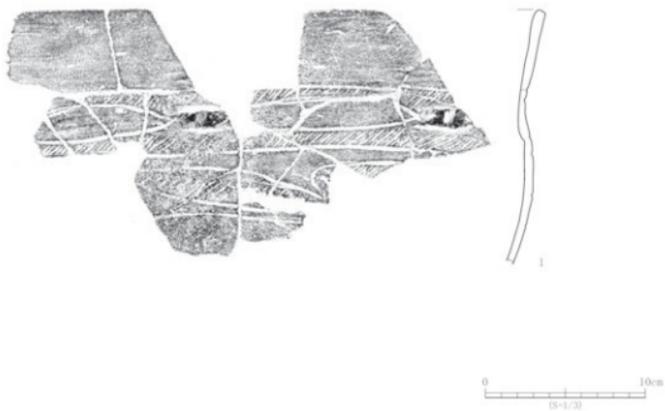


No.	登録番号	次	出土遺構	層位	種類	器種	法 尺 (cm)	外面調整	内面調整	備考	写真図版
1	S-10	10C2	2号墳周溝	-	埴輪	朝磁	-X-X 規 14.3	タテハケメ・ヨコナデ	ヨコハケメ・ナメハケメ ナデ 凸部内面ヨコナデ	頸部凸部・器底部凸部 磨滅。色調 褐色～淡褐色。 器底凸部。 透し一部残存。 ヨコハケメ部分に赤 彩痕あり。色調 淡褐色。	11-2
2	S-9	10C2	2号墳周溝	-	埴輪	朝磁	-X-X 規 14.8 凸部幅 1.0.5 下 2.1、 高さ 0.7	タテハケメ・ヨコナデ 器 底ヨコハケメ	ナデ		11-1

第45図 2号墳周溝出土遺物



第46図 30号墳周溝平面図・断面図



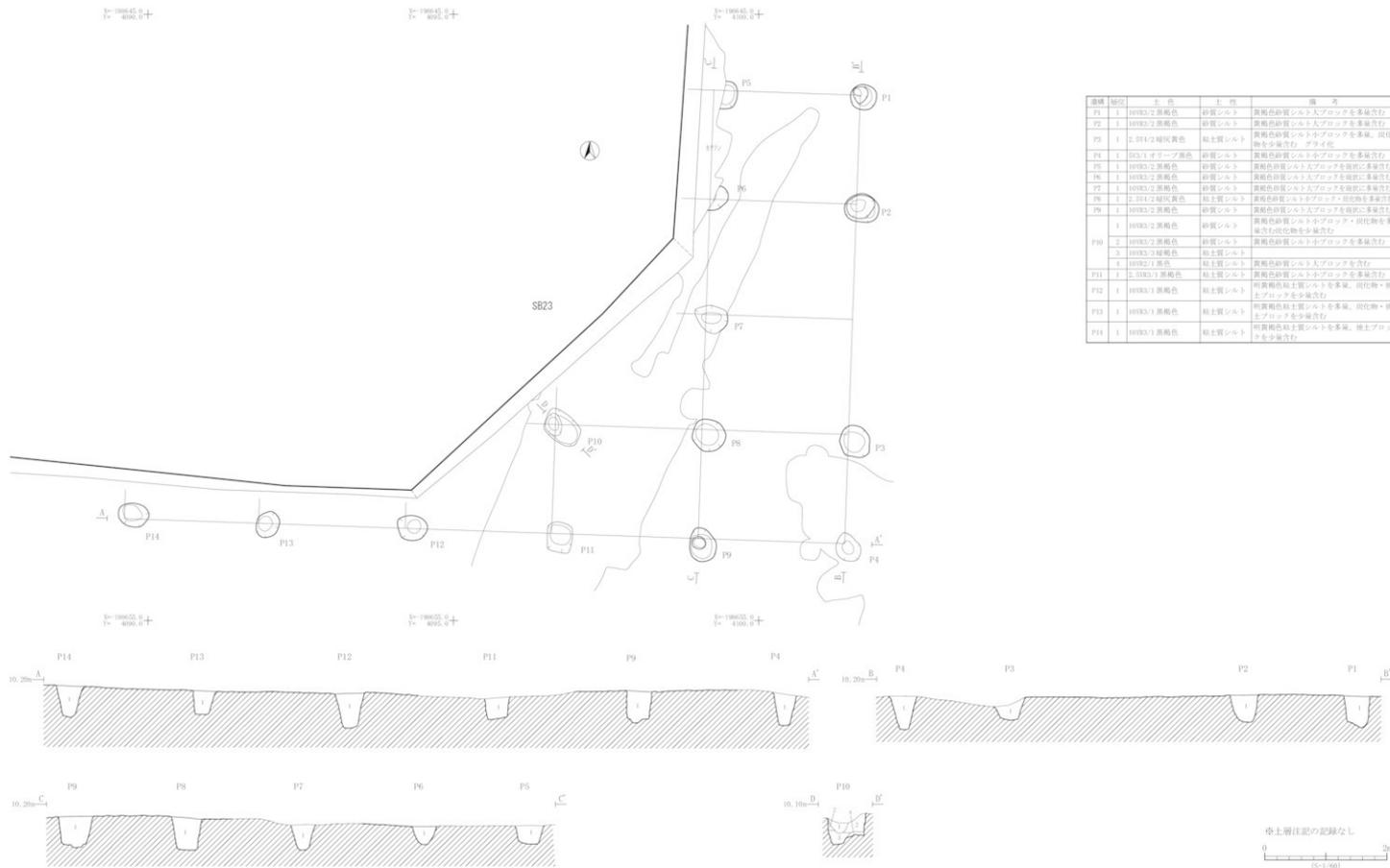
No.	登録番号	IC	グリッド	層位	種別	図種	文様等	備考	写真掲載
1	A-4	16C2	-	III	縄文土器	図録	11種→4種(1次線文・5種り線・12縄文・磨り消し)		14-3

第47図 III層遺構外出土遺物

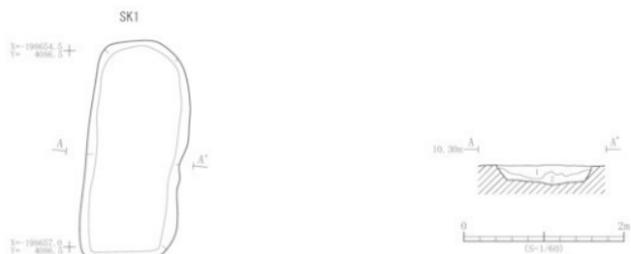


第48図 大野田古墳群160区Ⅲ層遺構配置図



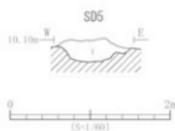


第49図 SB23 掘立柱建物跡平面・断面図



遺構	層位	土色	土性	備考
SK1	1	10R3/2 黒褐色	粘土質シルト	踏留ブロックを少量含む
	2	10R4/3 に近い 黒褐色	粘土質シルト	踏留ブロックを多数含む

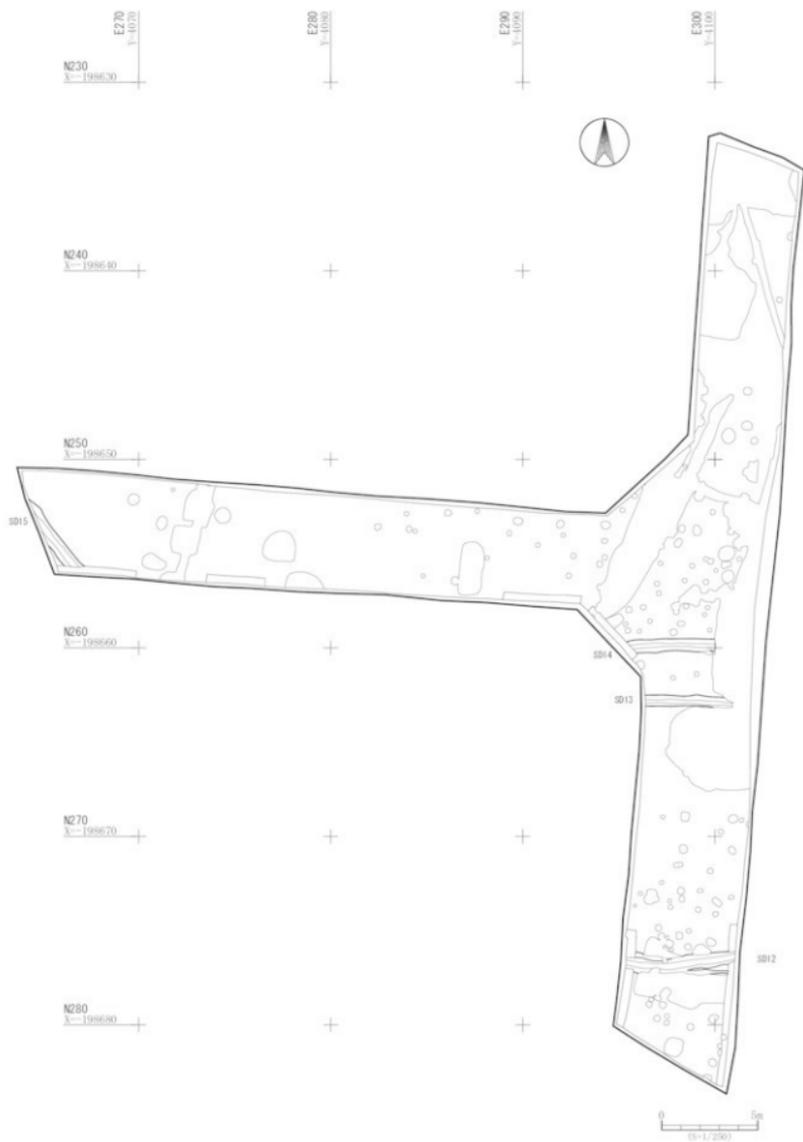
第50図 SK1 土坑平面図・断面図



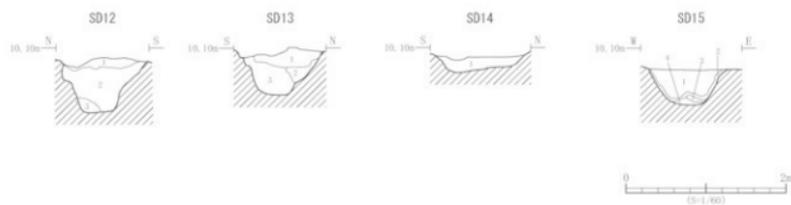
遺構	層位	土色	土性	備考
SD5	1	10R3/2 黒褐色	砂質シルト	黒褐色砂質シルト平ブロックを多数含む

第51図 SD5 溝跡断面図

第5節 大野田古墳群16D区

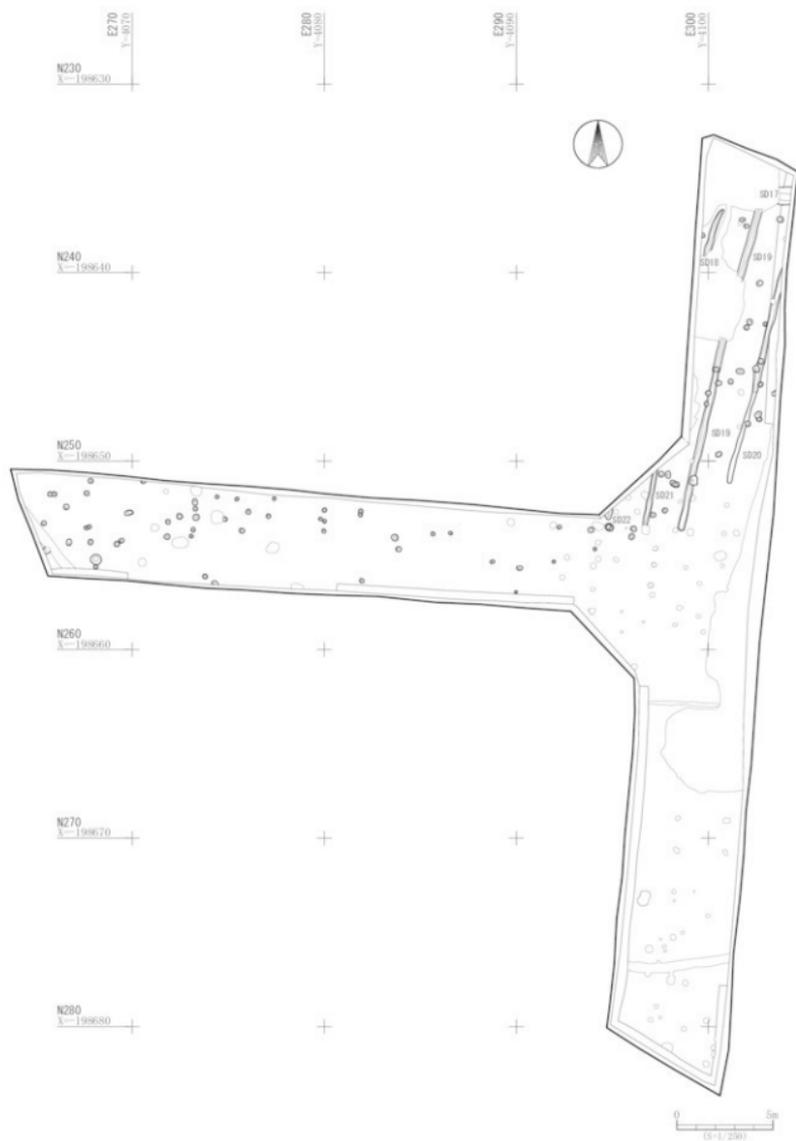


第52図 大野田古墳群16D区IV層遺構配置図



遺構 層位	土色	土性	備考	遺構 層位	土色	土性	備考		
SD12	1	10R8.4 褐色	砂質シルト	灰黄褐色砂質シルト大ブロックを少量含む	SD14	1	10R8.4 褐色	砂質シルト	下部に灰黄褐色砂質シルト大ブロックを少量含む
	2	10R8.2 灰黄褐色	砂質シルト	酸化鉄を多量含む		1	10R5.1 褐灰色	砂質シルト	赤褐色粗砂を多量、褐灰色粘土ブロックを含む
	3	10R4.2 にぶい・黄褐色	砂質シルト	灰黄褐色砂質シルト大ブロックを少量含む	2	2.3YR5.9 明赤褐色	砂質シルト	酸化鉄集積層	
SD13	1	10R8.4 褐色	砂質シルト	細砂を少量含む	SD15	2	10R3.2 黒褐色	粘土質シルト	西周ブロックを多量含む
	2	10R3.1 暗褐色	砂質シルト			3	10R3.2 黒褐色	粘土質シルト	西周ブロックを多量含む
	3	10R4.2 灰黄褐色	砂質シルト	酸化鉄を多量含む		4	10R3.2 灰黄褐色	粘土質シルト	V層ブロックを多量含む

第53図 SD12～15 溝跡断面図

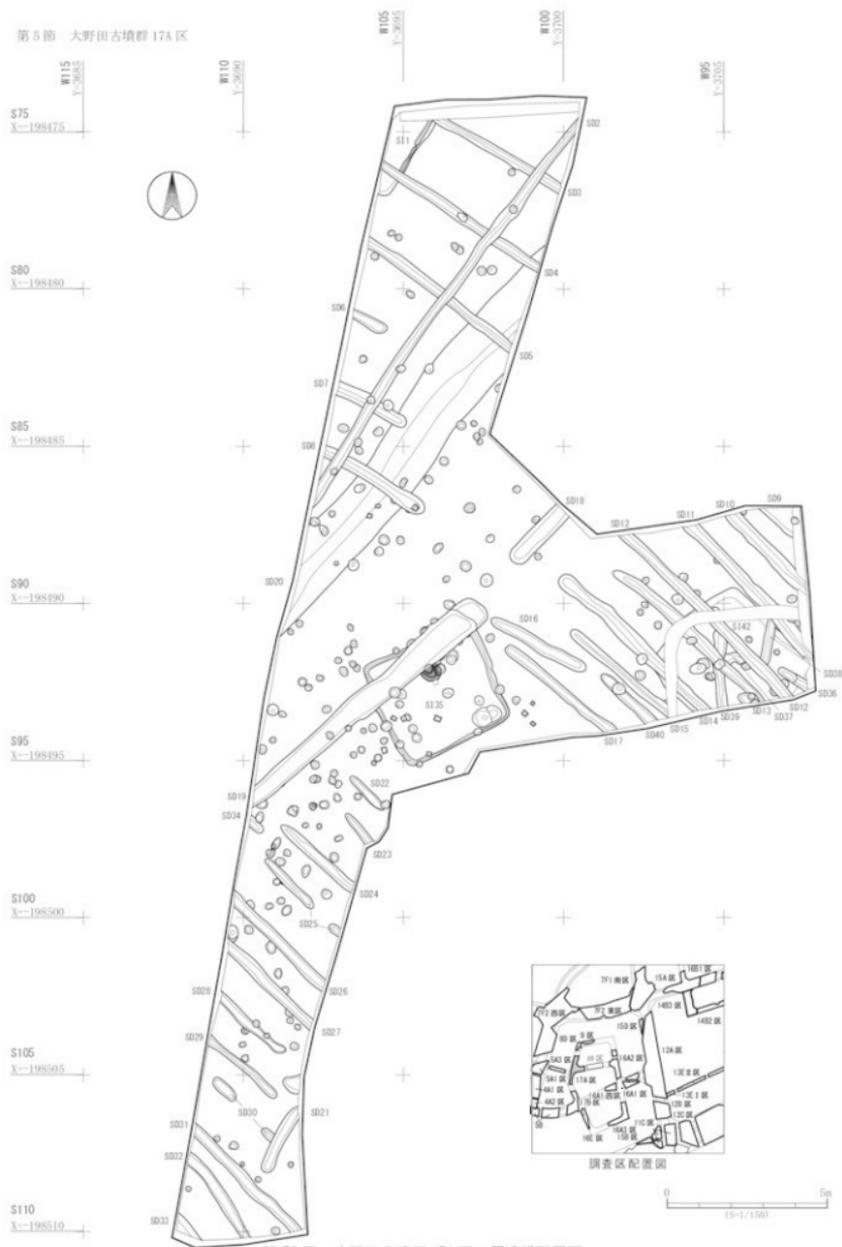


第54図 大野田古墳群16D区V層遺構配置図

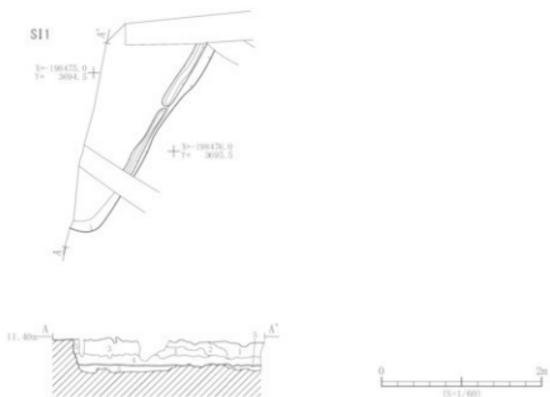


第55図 大野田古墳群 16E区V層遺構配置図

第5節 大野田古墳群 17A区

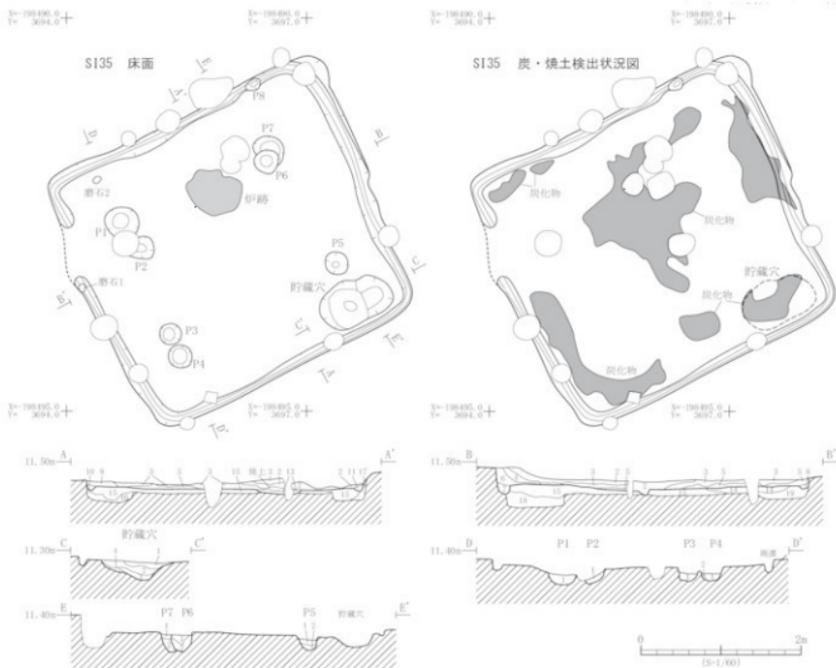


第56図 大野田古墳群 17A区V層遺構配置図



遺構	層位	土色	土性	備考	遺構	層位	土色	土性	備考
S11	1	10YR4/3にふい・黄褐色	粘土	褐色粘土ブロックを少量含む	S11	4	10YR2/1 暗褐色	シルト質粘土	黄褐色シルト質粘土ブロックを少量、炭化物を微量含む
	2	10YR3/3 暗褐色	粘土	褐色シルトブロックを多量、灰黄褐色粘土・炭化物を少量含む		5	10YR4/1 褐色	粘土	暗褐色粘土ブロックを少量含む。縦り方
	3	10YR3/4 暗褐色	粘土	灰黄褐色粘土ブロックを少量、炭化物を微量含む					

第57図 S11 竪穴住居跡平面図・断面図



層位	層位	土色	土性	備考
1	10R4/4 褐色	シルト		
2	10R3/3 暗褐色	シルト		炭化物・伊跡付近に粘土粒を散見含む
3	10R2/3 黄褐色	シルト		炭化物を少量含む
4	7.5R2/3 暗褐色	シルト		粘土ブロックを層状に少量含む
5	10R4/4 褐色	粘土質シルト		炭化物を散見含む
6	10R4/3 に近い黄褐色	粘土質シルト		
7	10R4/4 褐色	粘土質シルト		炭化物を散見含む 周溝
8	10R4/4 褐色	粘土質シルト		周溝
9	10R4/3 に近い黄褐色	シルト		細砂を含む
10	10R4/3 に近い黄褐色	粘土質シルト		周溝
11	10R4/3 に近い黄褐色	粘土質シルト		炭化物を散見含む 周溝
12	10R4/4 褐色	シルト		粘土・伊跡
13	7.5R2/3 暗褐色	シルト		炭化物を散見含む 伊跡内
14	10R4/4 褐色	シルト		細砂を含む 掘り方
15	10R4/4 褐色	シルト		11層よりやや暗い 掘り方
16	10R4/4 褐色	砂質シルト		掘り方
17	10R4/3 に近い黄褐色	シルト		掘り方
18	10R4/4 褐色	粘土質シルト		層状粘土ブロック・炭化物を散見含む 掘り方
19	10R3/3 暗褐色	粘土質シルト		細砂、炭化物を散見含む 掘り方

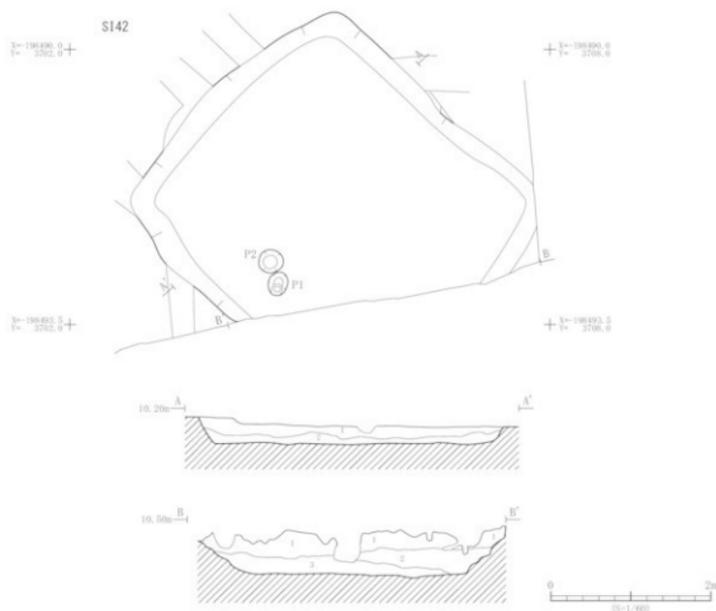
層位	層位	土色	土性	備考
PT	1	10R4/3 に近い黄褐色	粘土質シルト	
PT	2	10R4/3 に近い黄褐色	粘土質シルト	炭化物を少量含む
PT	3	10R4/4 褐色	砂質シルト	
P4	1	10R4/4 褐色	砂質シルト	
	2	10R4/3 に近い黄褐色	砂質シルト	
P5	1	10R3/3 暗褐色	シルト	
	2	2.5Y/4 オリーブ褐色	砂質シルト	
P6	1	10R3/3 暗褐色	シルト	炭化物・粘土粒を散見含む
	2	10R4/3 に近い黄褐色	粘土質シルト	
PT	1	10R4/3 に近い黄褐色	シルト	黄褐色シルトブロック、粘土粒を散見含む
	2	10R4/4 褐色	粘土質シルト	
貯蔵穴	1	10R3/3 暗褐色	シルト	炭化物・粘土粒を散見含む
	2	10R4/4 褐色	シルト	細砂を含む
	3	10R4/3 に近い黄褐色	粘土質シルト	
4	10R4/4 褐色	粘土質シルト		

第58図 S135 竪穴住居跡平面図・断面図



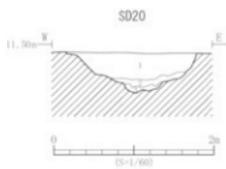
No.	登録番号	IC	出土遺構	層位	種別	部種	口径×底径×高さ (cm)	外面調整	内面調整	備考	写真図版
1	C-0	17A	S135-貯蔵穴	2	土師器	壺	(15.2) × (8.5) 高さ 3.9	ヨコナデ・ヘラナデ・ハタケ	ヨコナデ・ヘラナデ		14-5

第59図 S135 竪穴住居跡出土遺物



遺構	層位	土色	土性	備考	遺構	層位	土色	土性	備考
S142	1	10YR4/3に赤い黄褐色	粘土質シルト	V層に類似	P1	1	10YR4/3に赤い黄褐色	粘土	楕円。黄褐色粘土ブロックを微量含む。
	2	10YR4/3に赤い黄褐色	粘土	1層上りのやや細かい	P2	1	10YR4/3に赤い黄褐色	粘土	黄褐色粘土ブロックを少量。炭化物を微量含む。
	3	10YR4/3に赤い黄褐色	粘土	炭化物を微量含む					

第60図 S142 竪穴住居跡平面図・断面図



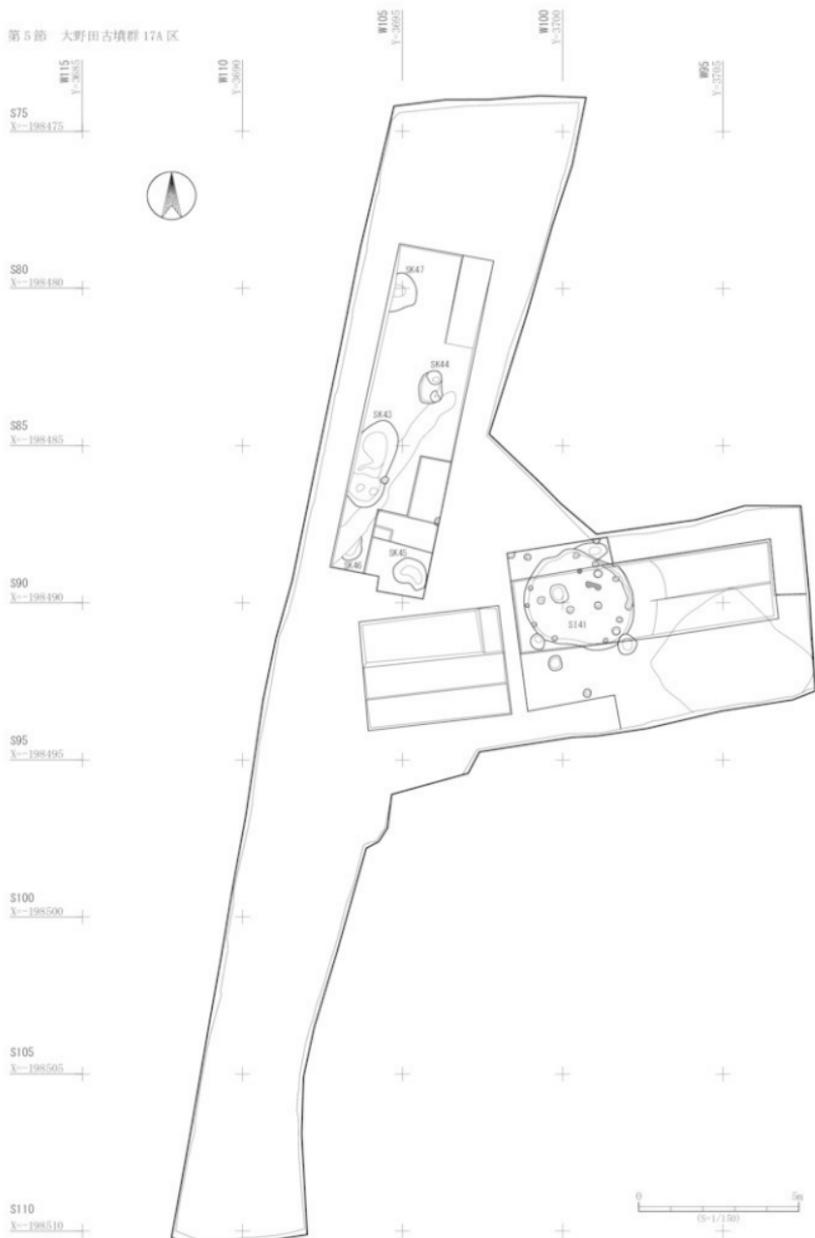
遺構	層位	土色	土性	備考
SD20	1	10YR2/1暗褐色	粘土	に赤い黄褐色を露出させる。
	2	10YR4/3に赤い黄褐色	粘土	黄褐色粘土ブロック。本段粘土を微量含む。
	3	10YR4/2黄褐色	粘土	部分的にに赤い黄褐色露出ブロックを少量含む。



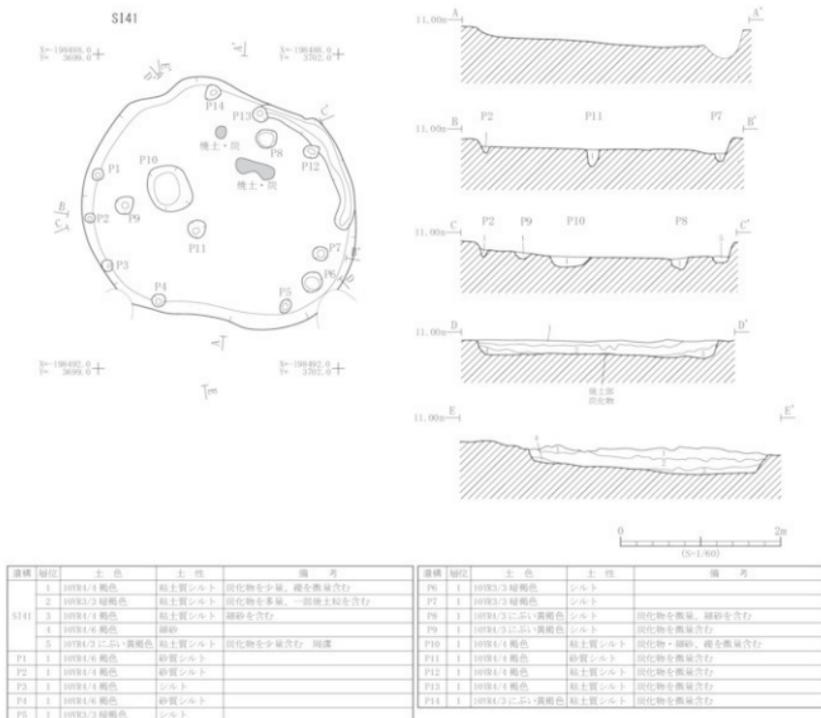
No.	登録番号	K	遺構名	層位	種別	形種	口径×底径×器高 (cm)	容量	産地	時期	写真図版
1	J-1	17A	SD20	1	溝/竪穴	楕円型	(11.63 × × × (3.5))	-	-	11世紀後半~12世紀	14-4

第61図 SD20 溝跡断面図・出土遺物

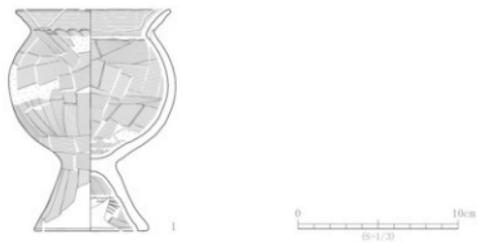
第5節 大野田古墳群 17A区



第62図 大野田古墳群 17A区 区C 階遺構配置図

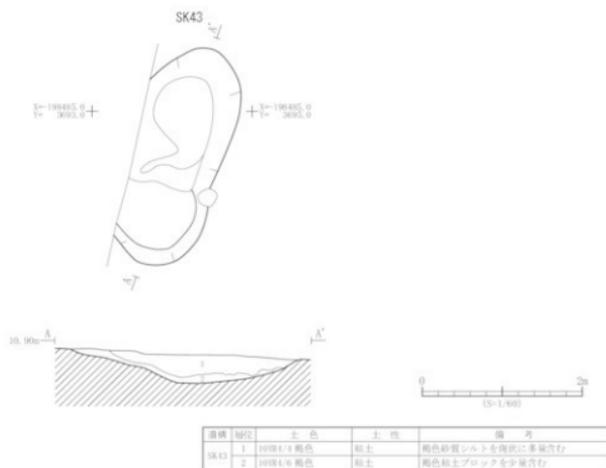


第 63 図 S141 竪穴住居跡平面図・断面図

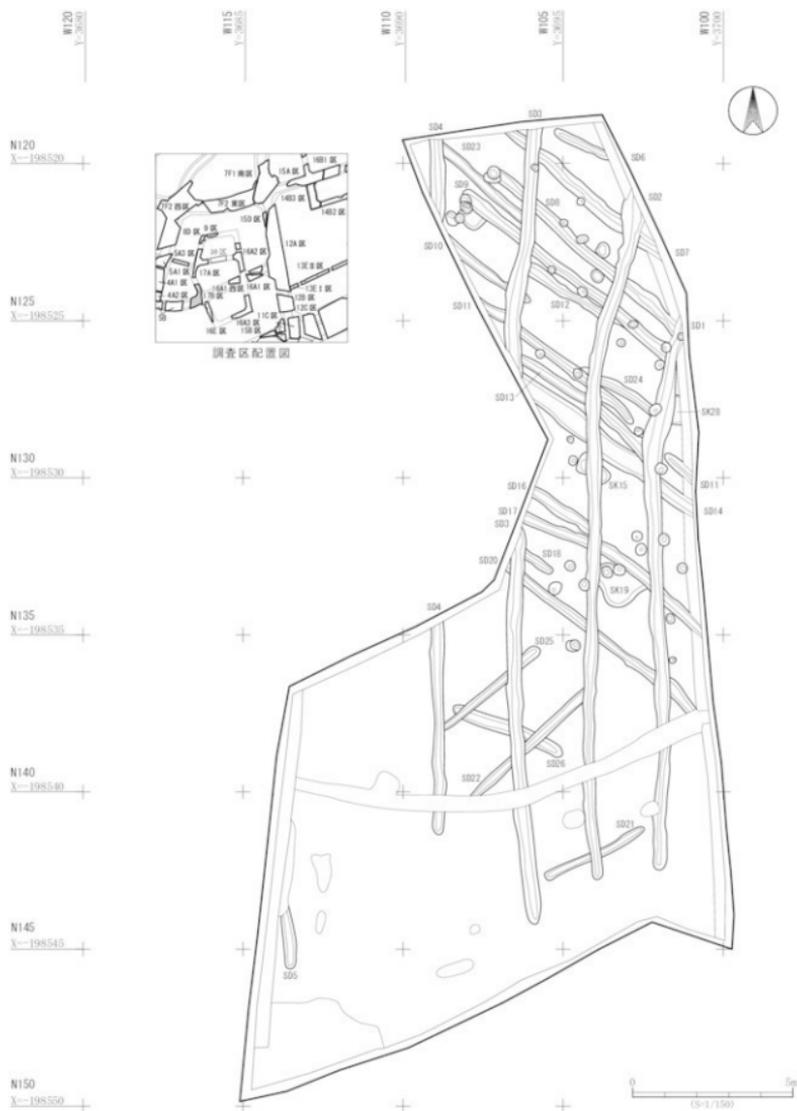


No.	登録番号	区	エリア	層位	種別	器種	口径×底径×器高 (cm)	外面調整	内面調整	備考	写真掲載
1	C-6	17A	-	I	土器器	付付器	φ71×7.2×11.1	ヨコナデ・ヘラナデ	ヨコナデ・ヘラナデ・ハケ		14-6

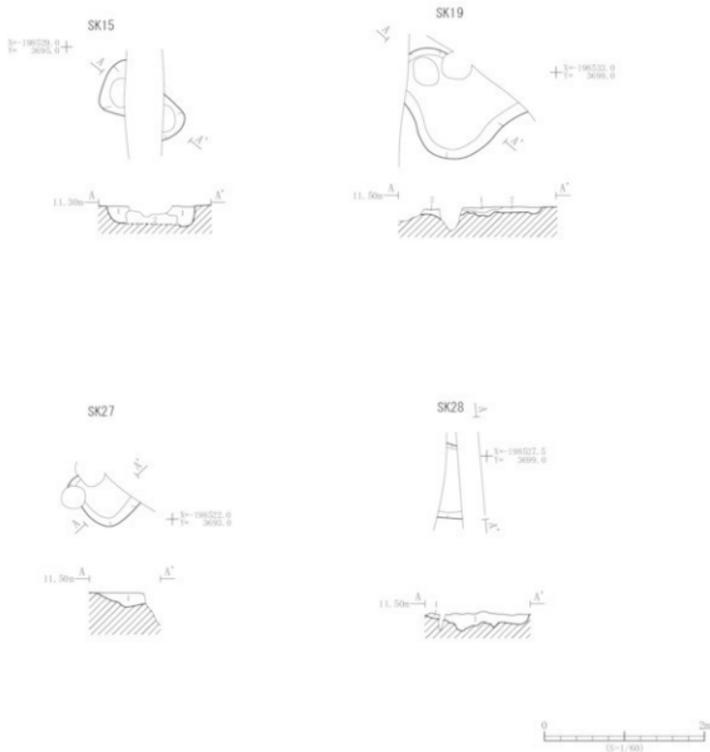
第 64 図 I 層遺構外出土遺物



第 65 図 SK43 土坑平面図・断面図



第66図 大野田古墳群 17B区 V層遺構配置図



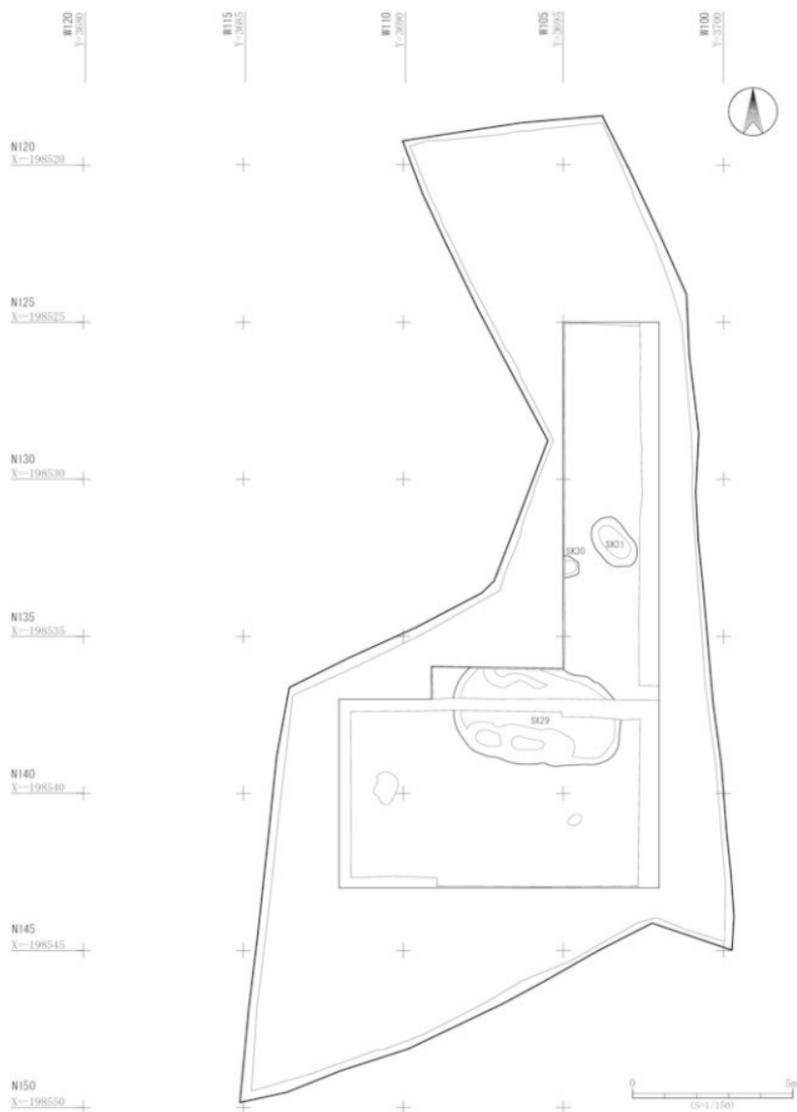
遺構 層位	土色	土性	備考	遺構 層位	土色	土性	備考
SK15 1	10R3/4 暗褐色	粘土	褐色粘土ブロックを少量含む	SK27 1	10R3/5 暗褐色	粘土	褐色粘土ブロックを少量含む
SK15 2	10R4/1 褐色	粘土	灰黄褐色粘土ブロックを少量含む	SK28 1	10R3/4 暗褐色	粘土	褐色粘土ブロックを少量含む
SK19 1	10R3/3 暗褐色	粘土	炭化物を多量含む				

第 67 図 土坑平面図・断面図



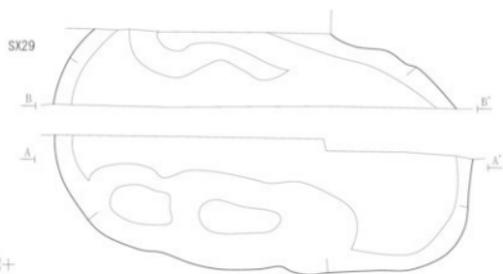
No.	登録番号	区	出土遺構	層位	種別	器種	口径×底径×器高 (cm)	外面調整	内面調整	備考	写真図版
1	C-7	17B	SD14	-	土跡器	器台	-×-×規 3.6	ヨコナデ・ヘラナデ	ヘラナデ		14-7

第 68 図 SD14 溝跡出土遺物

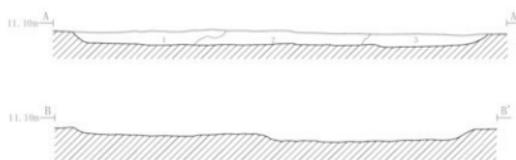


第 69 図 大野田古墳群 17B 区Ⅷ c 層遺構配置図

①=10R02.5+  
②=30R1.0+

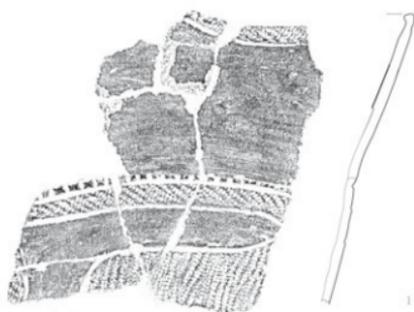


①=10R02.5+  
②=30R1.0+



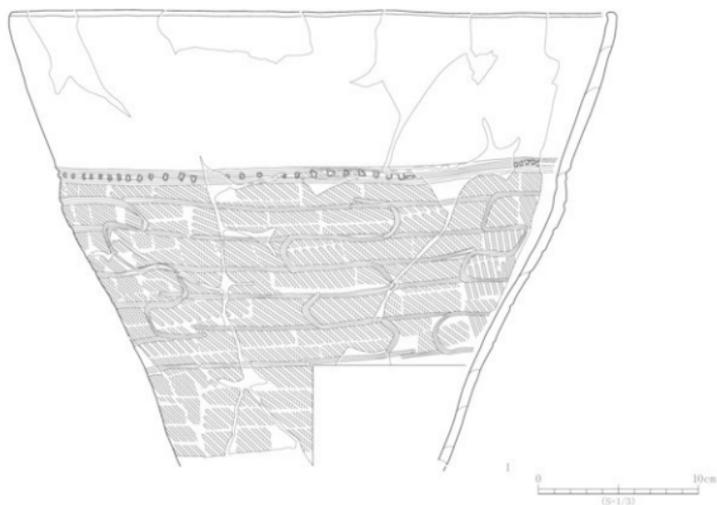
遺構	層位	土色	土性	備考	遺構	層位	土色	土性	備考
SX29	1	10R01/4 褐色	シルト質砂	褐色粘土ブロックを少量含む	SX29	3	10R03/4 緑褐色	シルト質粘土	褐色シルト質砂ブロックを少量含む
	2	10R03/4 緑褐色	シルト質砂	礫を少量含む					

第70図 SX29 性格不明遺構平面図・断面図



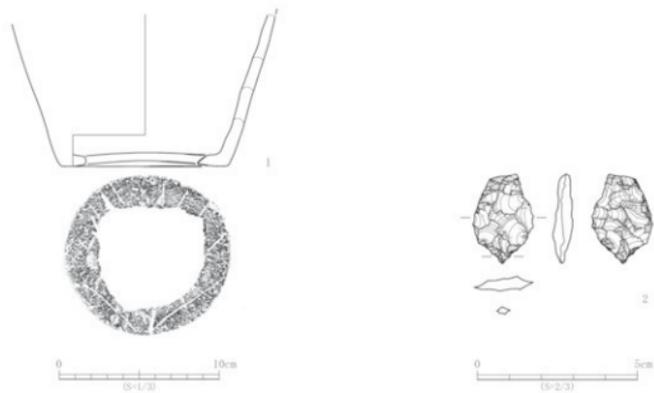
No.	遺跡番号	区	出土遺構	層位	種別	品名	文様等	備考	写真掲載
1	A-0	17B	SX29	-	縄文土器	陶器	口縁→胴部 波状口縁・波状文・1段縄文・3段縄文・磨り出し	検査部未測定。	14-8

第71図 SX29 性格不明遺構出土遺物



No.	登録番号	区	出土遺構	層位	種別	部種	文様等	備考	写真図版
1	A-5	17b	SK30	-	織文土器	胴部	口縁～胴部・沈線文・斜交文・斜織文		15-1

第72図 SK30土坑出土遺物



No.	登録番号	区	ブレイク	層位	種別	部種	石材	文様等	備考	写真図版
1	A-7	17b	-	Ⅳd	織文土器	胴部	流石・木炭屑		流石打り欠片	-
2	8a-c2-1	17b	-	Ⅳd	打製石器	石部	鉄石屑	長さ×幅×厚さ (cm) 重さ (g) 2.8×1.9×0.6 2.6	→断面付片	15-2

第73図 Ⅳd層遺構外出土遺物

## 16. ま と め

大野田古墳群は、仙台市太白区大野田字王ノ檀・千刈田・竹松・宮・宮脇にあり、自然堤防に立地する。標高は10.8～12.8mほどである。平成22年度に15A・15B・15C・15D区、平成23年度に16A1・16A2・16A3・16B・16C・16D・16E区、平成24年度に17A・16A1西・17B区の調査を行い、合計面積は約3,585㎡である。各遺構検出面から、縄文時代、古墳時代、古代、中世の遺構群を検出した。

## (1) 遺構について

- 1) 古代から中世以降の遺構は、基本層Ⅱb層（16A1西区）及びⅢ層上面で検出した。

15B区 一溝跡3条

16A1区 一溝跡3条、ビット2基

16A1西区一溝状遺構25条、ビット7基（Ⅱb層上面）

16A1西区一溝状遺構3条、ビット37基

16D区 一掘立柱建物跡1棟、土坑7基、性格不明遺構2基、溝跡2条、ビット148基

- 2) 古代の遺構は、基本層Ⅳ層で検出した。

15C区 一溝跡3条（Ⅳ層上面）

16A1西区一溝状遺構群3群29条、性格不明遺構1基、ビット70基（Ⅳ層上面）

16D区 一溝跡4条、ビット2基（Ⅳ層上面）

- 3) 古墳時代から古代の遺構は、基本層Ⅴ層上面で検出した。

15A区 一掘立柱建物跡4棟、土坑7基、性格不明遺構4基、溝跡20条、小溝状遺構群6群126条、ビット240基

15C区 一土坑6基、溝跡15条、小溝状遺構群1群27条、ビット234基、この内SD30溝跡は大野田官衙遺跡の南側区画溝である。

15D区 一古墳1基（38号墳）、ビット18基

16A1区 一古墳1基（33号墳）、小溝状遺構群1群15条、ビット約110基

16A1西区一土坑1基、ビット42基（Ⅴa層上面）

16A2区 一土坑1基、小溝状遺構群3群52条、ビット50基

16A3区 一土坑5基、小溝状遺構群3群23条、ビット群

16B区 一堅穴住居跡1軒、土坑3基、溝跡3条、小溝状遺構群2群142条、ビット群

16C区 一古墳3基（1・2・30号墳）、小溝状遺構群2群7条、ビット20基

16D区 一溝状遺構群1群5条、ビット83基

16E区 一溝状遺構3条、ビット2基

17A区 一堅穴住居跡3軒、溝跡4条、小溝状遺構群3群34条、ビット194基

17B区 一土坑4基、小溝状遺構群3群24条、ビット38基

- 4) 縄文時代の遺構は、基本層Ⅵc・Ⅶ・Ⅷ層及び仮C層で検出した。Ⅵc・Ⅶ層上面は時期不詳、Ⅷc層上面は後期中葉宝ヶ塚式後半の時期である。仮C層は、17A区の深掘区で確認されたもので、基本層には該当しない遺構検出面である。時期を特定できる遺物の出土はない。

16A1西区一溝跡2条（Ⅵc層上面）

16A1西区一ビット3基（Ⅶ層上面）

17B区 一土坑2基、性格不明遺構1基（Ⅷc層上面）

17A区 一堅穴住居跡1軒、土坑5基、ビット10基（仮C層上面）

## (2) 遺物について

大野田古墳群からは主に古墳時代から古代の遺物が出土した。

- 1) 縄文時代

後期中葉の宝ヶ塚式土器、後期後半の金剛寺式土器が少量出土した。

- 2) 弥生時代

16A1区から後期前半天王山式前半期の土器、16B1区から中期中葉土器や天王山式土器が出土した。

## 3) 古墳時代

16B1区SI64堅穴住居跡から前期の遺物が出土した。

大野田1・2・38号墳から中期後半の円筒埴輪や朝顔形埴輪が出土した。

大野田1・2号墳出土埴輪は、円筒・朝顔形埴輪共に富沢窯跡系列の基本資料となっており、大野田2号墳（2a段階）から1号墳（2b段階）への変遷が考えられている〔仙台市教委 1983・1987b〕。1号墳出土の朝顔形埴輪の肩部の横ハケ調整は、富沢埴輪編年の2a期とされる指標である。円筒埴輪凸帯の特徴も大野田2号墳と同様のものがあることから、1号墳は2a期から2b期へ移行する過渡的な段階と考えられ、時期は5世紀代後半と考えられる。大野田古墳群では大野田8号墳で2b期の円筒・朝顔形埴輪が出土した〔仙台市教委 2000b〕。

## 4) 古代

15A区のSK80・83土坑から9世紀後半頃の土師器や須恵器環が出土し、墨書土器がやや多く含まれる。

## 5) 中世

17A区SD20溝跡内から青白磁、輪花碗が出土した。

## (3) 古代の文字資料について

大野田古墳群からは、文字資料として墨書土器6点、刻書土器1点が出土した。いずれも9世紀後半代の遺物と考えられる。すべて15A区から見つかっており、基本層IV層とV層上面で検出した遺構（SK80・83土坑）から出土した。

墨書土器のうち文字が判読できたものは4点あり、いずれも環の体部外面に「方」の一字が墨書されている。1点だけ出土した刻書土器については、環の体部外面に焼成前に刻まれたと考えられる細線による記号状のものが見て取れるが、文字としては判読できなかった。

IV層から出土した判読不明の墨書土器2点を除き、ほかはすべてV層上面の遺構から出土した。SK80土坑からは「方」と記された墨書土器3点と判読不明の刻書土器1点、SK83土坑からは同じく「方」と記された墨書土器1点が出土した。SK80土坑とSK83土坑は約2m離れて東西に隣接している。

東北地方において「方」の一字が記された文字資料の出土例は、これまでに墨書土器や刻書土器として14点確認されている〔青森県史編さん古代部会 2008〕。その内訳は、岩手県1点、宮城県4点、秋田県2点、福島県7点である。宮城県では、多賀城市の市川橋遺跡から「方」と記された墨書土器が4点出土しているほか、関連性は不明であるが「方方」と記された墨書土器も1点出土している。

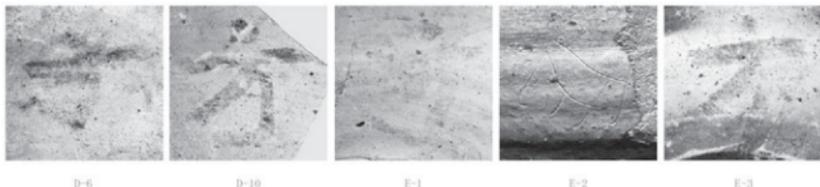
なお、第3節で報告した六反田遺跡の7E区と7F1中区からも「方」と記された墨書土器がそれぞれ1点ずつ出土した。大野田古墳群15A区からは、7E区は北へ約85m、7F1中区は北西へ約65m離れた位置にあり、両地区とも比較的近い位置関係にある。



大野田古墳群出土の墨書土器・刻書土器一覧表

図番号	登録番号	種別	器種	区	層	出土地点	記録部位	方向	記録方法	釈文	備考
第12-3図	D-2	ロクロ土師器	杯	15A	IV		体部外面		墨書	「口」	
第12-6図	D-11	ロクロ土師器	杯	15A	IV		体部外面		墨書	「口」	
第9-2図	D-6	ロクロ土師器	杯	15A	V	SK80	体部外面	正位	墨書	「方」	
第9-5図	D-10	ロクロ土師器	杯	15A	V	SK80	体部外面	正位	墨書	「方」	
第10-3図	E-1	須恵器	杯	15A	V	SK80	体部外面	正位	墨書	「方」	
第10-1図	E-2	須恵器	杯	15A	V	SK80	体部外面		焼成前刻書	「口」	
第10-4図	E-3	須恵器	杯	15A	V	SK83	体部外面	正位	墨書	「方」	

第74図 大野田古墳群出土の文字資料(1)



第75図 大野田古墳群出土の文字資料(2)

(4) 六反田遺跡・伊古田遺跡・大野田古墳群出土の文字関連資料について

本書で報告した古代の文字関連資料は、六反田遺跡7E区(墨書土器2点)・7F1北区(墨書土器9点、円面硯7点)・7F1中区(墨書土器1点)・7F1南区(刻書土器1点)、伊古田遺跡4A区(円面硯1点)、大野田古墳群15A区(墨書土器6点、刻書土器1点)から出土した。いずれも9世紀後半代を中心とする時期の遺物と考えられる。

このうち南西側にやや離れて位置する伊古田遺跡4A区を除き、六反田遺跡7E区・7F1北区・7F1中区・7F1南区、大野田古墳群15A区の5地区は近接している。文字関連資料28点のうち27点はこの5地区からの出土であり、中でも、六反田遺跡7F1北区からの出土がもっとも多く全体の約57%を占める。

判読できた文字は「取」と「方」の二つで、いずれも前述した5地区から出土した。全体として出土量は少ないが、「取」は六反田遺跡7F1北区、「方」は大野田古墳群15A区を中心に分布する傾向がみえる。

また、このほかに近隣では平成18年度に調査が行われた六反田遺跡3A区からも円面硯が1点出土している〔仙台市教委 2017〕。推定底径27.4cmの大形品で、概ね8世紀代の遺物と考えられる。大野田官衙遺跡の北西側約80mの地点から出土しており、同遺跡との関連性が窺われる。



六反田遺跡・伊古田遺跡・大野田古墳群出土の文字関連資料一覧表

遺跡名	図番号	登録番号	種別	器種	区	層	出土地点	記録部位	方向	記録方法	釈文	備考
六反田遺跡	第48-1区	D-10	ロクロ土師器	坏	7E	IV	SK3	体部外面	正位	墨書	「方」	
六反田遺跡	第50-1区	D-8	ロクロ土師器	坏	7E	IV	SD16	底部外面		墨書	「口」	
六反田遺跡	第97-4区	D-44	ロクロ土師器	坏	7F1北	IV		体部外面	逆位方	墨書	「取」	
六反田遺跡	第97-5区	D-45	ロクロ土師器	坏	7F1北	IV		体部外面		墨書	「方」	
六反田遺跡	第63-7区	E-49	須恵器	坏	7F1北	V	S145	底部外面		墨書	「取」	
六反田遺跡	第63-8区	E-50	須恵器	坏	7F1北	V	S145	底部外面		墨書	「取」	
六反田遺跡	第61-1区	D-12	ロクロ土師器	坏	7F1北	V	S145-P11	体部外面	横位	墨書	「取」	
六反田遺跡	第61-4区	D-21	ロクロ土師器	坏	7F1北	V	S145A	体部外面		墨書	「取」	
六反田遺跡	第62-2区	E-24	須恵器	坏	7F1北	V	S145A	体部外面		墨書	「口」	
六反田遺跡	第91-4区	D-24	ロクロ土師器	坏	7F1北	V	SK51	体部外面	正位	墨書	「取」	
六反田遺跡	第91-10区	E-29	須恵器	坏	7F1北	V	SK115	底部外面		墨書	「口」	
六反田遺跡	第107-4区	D-56	ロクロ土師器	坏	7F1中	V	SX6	体部外面	逆位	墨書	「方」	
六反田遺跡	第120-1区	D-57	ロクロ土師器	坏	7F1南	V	SK6	底部外面		焼成前刻書	「取」	
六反田遺跡	第98-5区	E-16	須恵器	片面碇	7F1北	IV						
六反田遺跡	第98-4区	E-17	須恵器	片面碇	7F1北	IV						
六反田遺跡	第98-6区	E-18	須恵器	片面碇	7F1北	IV						
六反田遺跡	第97-9区	E-43	須恵器	片面碇	7F1北	IV						
六反田遺跡	第98-2区	E-48	須恵器	片面碇	7F1北	IV						
六反田遺跡	第92-1区	E-41	須恵器	片面碇	7F1北	V	SX104					
六反田遺跡	第92-2区	E-42	須恵器	片面碇	7F1北	V	SX104					
伊古田遺跡	第23-14区	E-6	須恵器	片面碇	4A2区	V	S1159					
大野田古墳群	第12-3区	D-2	ロクロ土師器	坏	15A	IV		体部外面		墨書	「口」	
大野田古墳群	第12-4区	D-11	ロクロ土師器	坏	15A	IV		体部外面		墨書	「口」	
大野田古墳群	第9-2区	D-6	ロクロ土師器	坏	15A	V	SK80	体部外面	正位	墨書	「方」	
大野田古墳群	第9-5区	D-10	ロクロ土師器	坏	15A	V	SK80	体部外面	正位	墨書	「方」	
大野田古墳群	第10-3区	E-1	須恵器	坏	15A	V	SK80	体部外面	正位	墨書	「方」	
大野田古墳群	第10-1区	E-2	須恵器	坏	15A	V	SK80	体部外面		焼成前刻書	「口」	
大野田古墳群	第10-4区	E-3	須恵器	坏	15A	V	SK83	体部外面	正位	墨書	「方」	

第76図 古代の文字関連資料が出土した遺跡と地区

第1表 遺構一覧表(1)

## 184Ⅴ遺

## 竪立柱建物跡

遺構番号	位置(グリッド)	主軸方向	柱間数	建物規模(m)	備考
S810	E40～50×N20	N-90°-E	軒行3間×梁行2間	軒行総長7.20×梁行総長3.11	-
S802	E30～40×S30	N-0°	軒行2間×梁行2間	軒行総長3.8×梁行総長3.5	-
S809	E40×S30	N-0°-E	軒行2間×梁行2間	軒行総長3.8×梁行総長(2.5～2.6)	-
S8133	E20×S30～20	N-90°-E	軒行3間×梁行2間	軒行総長13.24×梁行総長4.6	-

## 土坑

遺構番号	位置(グリッド)	長軸方向	規模(m)	平面形・断面形	備考
S800a	E30～40×S20	N-80°-E	長軸20.5×短軸(20)×深さ45	-	不整な土坑内、深い土字形
S800b	E20×S30	-	長軸×短軸×深さ40	-	不整な土坑内
S853	E20×S20	N-0°-E	長軸112×短軸102×深さ20	-	不整な土坑内、深い土字形
S8102	E20×S30	N-17°-E	大野田古墳跡	-	→別の土字形
S8153	E10×S20	N-79°-E	長軸165×短軸(76)×深さ23	-	不整な土坑内

## 性格不明遺構

遺構番号	位置(グリッド)	長軸方向	規模(m)	平面形・断面形	備考
S3126	E40×S20	N-0°-E	長軸328×短軸76～110×深さ42	-	不整な土坑内、不整形
S3192	E0～10×S10	N-90°	長軸(1842)×短軸(56～194)×深さ39	-	不整形・土台形

## 溝跡

遺構番号	位置(グリッド)	方向	規模(m)	断面形	備考
S018	E40～50×N20	N-65°-E	長さ7.35×幅0.52×深さ0.35	溝内形	-
S027	E40×S20	N-5°-E	長さ16.21×幅0.68×深さ0.45	溝内形	-
S006	E30×S20	N-0°	長さ2.51×幅0.35×深さ3	-	-
S0117	E10～30×S20	N-82°-E	長さ13.8×幅0.52×深さ0.28	U字形	-
S0140	E10×S30～20	N-3°-E	長さ6.24×幅0.48×深さ3	-	-
S0119	E20～30×S20	N-64°-E N-84°-E	長さ7.51×幅0.7×深さ0.4	開いた土字形	-
S0125	E40～50×S20～30	N-75°-E	長さ11.21×幅1.2～2.0×深さ0.3	開いた土字形	-
S0122	E0～10×S10	N-78°-E	長さ3.31×幅0.78×深さ0.25	溝内形	-
S094	E50×S20	N-8°-E	長さ3.85×幅0.7×深さ0.3	溝内跡状	-

## 小溝状遺構群

小溝状遺構群	位置	方向	規模(m)	遺構番号	備考
I群	西平	南北	長さ1.66～[6.33]×幅0.15～0.47	S023・S027・S028・S025～138・S0141・S0142・S0143～146・S0155・S0160・S0162～164・S0166～168・S0170～172・S0181	S01～4・S06・S07・S011・S013・S014・S016・S017・S020～23・S025～31・S034・S039・S049・S053・S076・S081・S096・S0107・S0111・S0122
II群	東平	南北	長さ0.30～3.76×幅0.15～0.24	S0134・S0147・S0149・S0150～152・S0154・S0156・S0157・S0159	S015・S043～45・S047・S048・S052・S059・S062・S064～68・S070・S087・S089・S092・S093・S096・S098・S099・S100・S102・S103・S104・S105・S106・S107・S108・S109・S110・S111・S112・S113・S114・S115・S116・S117・S118・S119・S120・S121・S122・S123・S124・S125・S126・S127・S128・S129・S130・S131・S132・S133・S134・S135・S136・S137・S138・S139・S140・S141・S142・S143・S144・S145・S146・S147・S148・S149・S150・S151・S152・S153・S154・S155・S156・S157・S158・S159・S160・S161・S162・S163・S164・S165・S166・S167・S168・S169・S170・S171・S172・S173・S174・S175・S176・S177・S178・S179・S180・S181・S182・S183・S184・S185・S186・S187・S188・S189・S190・S191・S192・S193・S194・S195・S196・S197・S198・S199・S200・S201・S202・S203・S204・S205・S206・S207・S208・S209・S210・S211・S212・S213・S214・S215・S216・S217・S218・S219・S220・S221・S222・S223・S224・S225・S226・S227・S228・S229・S230・S231・S232・S233・S234・S235・S236・S237・S238・S239・S240・S241・S242・S243・S244・S245・S246・S247・S248・S249・S250・S251・S252・S253・S254・S255・S256・S257・S258・S259・S260・S261・S262・S263・S264・S265・S266・S267・S268・S269・S270・S271・S272・S273・S274・S275・S276・S277・S278・S279・S280・S281・S282・S283・S284・S285・S286・S287・S288・S289・S290・S291・S292・S293・S294・S295・S296・S297・S298・S299・S300・S301・S302・S303・S304・S305・S306・S307・S308・S309・S310・S311・S312・S313・S314・S315・S316・S317・S318・S319・S320・S321・S322・S323・S324・S325・S326・S327・S328・S329・S330・S331・S332・S333・S334・S335・S336・S337・S338・S339・S340・S341・S342・S343・S344・S345・S346・S347・S348・S349・S350・S351・S352・S353・S354・S355・S356・S357・S358・S359・S360・S361・S362・S363・S364・S365・S366・S367・S368・S369・S370・S371・S372・S373・S374・S375・S376・S377・S378・S379・S380・S381・S382・S383・S384・S385・S386・S387・S388・S389・S390・S391・S392・S393・S394・S395・S396・S397・S398・S399・S400・S401・S402・S403・S404・S405・S406・S407・S408・S409・S410・S411・S412・S413・S414・S415・S416・S417・S418・S419・S420・S421・S422・S423・S424・S425・S426・S427・S428・S429・S430・S431・S432・S433・S434・S435・S436・S437・S438・S439・S440・S441・S442・S443・S444・S445・S446・S447・S448・S449・S450・S451・S452・S453・S454・S455・S456・S457・S458・S459・S460・S461・S462・S463・S464・S465・S466・S467・S468・S469・S470・S471・S472・S473・S474・S475・S476・S477・S478・S479・S480・S481・S482・S483・S484・S485・S486・S487・S488・S489・S490・S491・S492・S493・S494・S495・S496・S497・S498・S499・S500・S501・S502・S503・S504・S505・S506・S507・S508・S509・S510・S511・S512・S513・S514・S515・S516・S517・S518・S519・S520・S521・S522・S523・S524・S525・S526・S527・S528・S529・S530・S531・S532・S533・S534・S535・S536・S537・S538・S539・S540・S541・S542・S543・S544・S545・S546・S547・S548・S549・S550・S551・S552・S553・S554・S555・S556・S557・S558・S559・S560・S561・S562・S563・S564・S565・S566・S567・S568・S569・S570・S571・S572・S573・S574・S575・S576・S577・S578・S579・S580・S581・S582・S583・S584・S585・S586・S587・S588・S589・S590・S591・S592・S593・S594・S595・S596・S597・S598・S599・S600・S601・S602・S603・S604・S605・S606・S607・S608・S609・S610・S611・S612・S613・S614・S615・S616・S617・S618・S619・S620・S621・S622・S623・S624・S625・S626・S627・S628・S629・S630・S631・S632・S633・S634・S635・S636・S637・S638・S639・S640・S641・S642・S643・S644・S645・S646・S647・S648・S649・S650・S651・S652・S653・S654・S655・S656・S657・S658・S659・S660・S661・S662・S663・S664・S665・S666・S667・S668・S669・S670・S671・S672・S673・S674・S675・S676・S677・S678・S679・S680・S681・S682・S683・S684・S685・S686・S687・S688・S689・S690・S691・S692・S693・S694・S695・S696・S697・S698・S699・S700・S701・S702・S703・S704・S705・S706・S707・S708・S709・S710・S711・S712・S713・S714・S715・S716・S717・S718・S719・S720・S721・S722・S723・S724・S725・S726・S727・S728・S729・S730・S731・S732・S733・S734・S735・S736・S737・S738・S739・S740・S741・S742・S743・S744・S745・S746・S747・S748・S749・S750・S751・S752・S753・S754・S755・S756・S757・S758・S759・S760・S761・S762・S763・S764・S765・S766・S767・S768・S769・S770・S771・S772・S773・S774・S775・S776・S777・S778・S779・S780・S781・S782・S783・S784・S785・S786・S787・S788・S789・S790・S791・S792・S793・S794・S795・S796・S797・S798・S799・S800・S801・S802・S803・S804・S805・S806・S807・S808・S809・S810・S811・S812・S813・S814・S815・S816・S817・S818・S819・S820・S821・S822・S823・S824・S825・S826・S827・S828・S829・S830・S831・S832・S833・S834・S835・S836・S837・S838・S839・S840・S841・S842・S843・S844・S845・S846・S847・S848・S849・S850・S851・S852・S853・S854・S855・S856・S857・S858・S859・S860・S861・S862・S863・S864・S865・S866・S867・S868・S869・S870・S871・S872・S873・S874・S875・S876・S877・S878・S879・S880・S881・S882・S883・S884・S885・S886・S887・S888・S889・S890・S891・S892・S893・S894・S895・S896・S897・S898・S899・S900・S901・S902・S903・S904・S905・S906・S907・S908・S909・S910・S911・S912・S913・S914・S915・S916・S917・S918・S919・S920・S921・S922・S923・S924・S925・S926・S927・S928・S929・S930・S931・S932・S933・S934・S935・S936・S937・S938・S939・S940・S941・S942・S943・S944・S945・S946・S947・S948・S949・S950・S951・S952・S953・S954・S955・S956・S957・S958・S959・S960・S961・S962・S963・S964・S965・S966・S967・S968・S969・S970・S971・S972・S973・S974・S975・S976・S977・S978・S979・S980・S981・S982・S983・S984・S985・S986・S987・S988・S989・S990・S991・S992・S993・S994・S995・S996・S997・S998・S999・S1000
III群	西平	東西	長さ0.97～11.27×幅0.29～0.43	S0129・S0131・S0161・S0169・S0173・S0176・S0177・S0179	S011・S046・S050・S051・S051・S055・S060・S063・S069・S071・S072・S085・S086・S090・S091・S093・S0100・S0110・S0112・S0114・S0118・S0114・S0127・S0128
IV群	東平	東西	長さ0.91～24.49×幅0.17～0.42		

## 185Ⅴ遺

## 溝跡

遺構番号	位置(グリッド)	方向	規模(m)	断面形	備考
S01	E10～30×S10～180	-	長さ×幅×深さ0.34	溝内形	-
S02	E10～30×S10～180	N-74°-E N-60°-E	長さ18.51×幅0.7～1.05×深さ0.72	U字形	-
S03	E10～30×S10～180	N-72°-E N-58°-E	長さ15.80×幅0.22～0.5×深さ0.33	U字形	-

## 182Ⅴ遺

## 溝跡

遺構番号	位置(グリッド)	方向	規模(m)	断面形	備考
S030	E280～300×S30	N-89°-E	長さ21.41×幅2.26～3.72×深さ1.24	溝内形	大野田宮内区西溝

## 小溝状遺構群

小溝状遺構群	位置(グリッド)	方向	規模(m)	遺構番号	備考
I群	中北	南北	長さ0.21～[1.81]×幅0.15～0.49	S041～63・S023～36	-

## 180Ⅴ遺

## 宮構

遺構番号	位置(グリッド)	方向	規模(m)	平面形	備考
S04(南)(北)	E20～30×S20	-	-	[円形]・階段	S新記後半
S04(南)(南)	E20～30×S40	-	-	[円形]・階段	S新記後半

## 184Ⅴ遺跡①層

## 小溝状遺構群

小溝状遺構群	位置(グリッド)	方向	規模(m)	遺構番号	備考
I群	全体	南北	長さ2.81～[5.9]×幅0.15～0.46	S061～68	-
II群	全体	東西・南北	長さ1.51～[8.2]×幅0.30～0.56	S069～90	-
III群	西平	南北	長さ2.11～[4.2]×幅0.30～0.40	S091・S092	-

第2表 遺構一覧表(2)

## M41 表V層

## 古溝

遺構番号	位置(グリッド)	方向	規模(m)	平面形・断面形	備考
23号溝	K30～40×S90～110	-	埋没幅2.96～3.64×長さ-	(1)内縁・不明	5世紀後半

## 小溝状遺構群

小溝状遺構群	位置(グリッド)	方向	規模(m)	遺構番号	備考
I群	西平	南北	長さ2.40～3.81×幅0.30～0.40	S04～18	

## M42 表V層

## 小溝状遺構群

小溝状遺構群	位置(グリッド)	方向	規模(m)	遺構番号	備考
I群	全体	北東～南西	長さ3.41～14.31×幅0.30～0.43	S014～20・S041・S043	
Ⅱ群	北平	北西～南東	長さ1.7～13.31×幅0.23～0.55	S01～7・S011・S021～31・S040・S043	
Ⅲ群	全体	-	長さ0.81～13.61×幅0.27～0.50	S036～39	
Ⅳa群		N-10°-W	-	S032～35・S041	
Ⅳb群		N-10°-W	-	S08～10・S012・S042・S047～54	

## M43 表V層

## 土坑

遺構番号	位置(グリッド)	長軸方向	規模(m)	平面形・断面形	備考
SK11	K50×S130	N-70°-E	長軸54×短軸120×深さ55	楕円形・不整形断面	
SK12	K50×S130	N-73°-E	長軸64×短軸40×深さ22	楕円形・浅台形	
SK13	K50×S130	N-90°	長軸54×短軸40×深さ12	楕円形・浅台形	
SK17	K50×S130～140	N-6°-W	長軸98×短軸54×深さ35	楕円形・不整形	
SK27	K70×S160	N-20°-E	長軸108×短軸40×深さ15	不整形楕円形・浅台形	

## 小溝状遺構群

小溝状遺構群	位置(グリッド)	方向	規模(m)	遺構番号	備考
I群	北平	北東～南西	長さ11.81～16.31×幅0.13～0.36	S01～9	
Ⅱ群	南平	南北	長さ11.81～13.31×幅0.17～0.41	S018～25・S028	
Ⅲ群	北平～南平	不定	長さ0.8～3.3×幅0.13～0.29	S010・S014～16・S020	

## M41 表V層

## 竪穴住居跡

遺構番号	位置(グリッド)	主軸方向	規模(m)	平面形	備考
S104(SK70)	E50×S20	N-10°-E	南北4.21×東西4.21×壁高0.23	(1)狭長方形	4世紀

## 溝跡

遺構番号	位置(グリッド)	方向	規模(m)	断面形	備考
S03	E60×S20～40	N-17°-W・N-6°-E	長さ12.41×幅0.7×深さ0.25	浅台形	

## 小溝状遺構群

小溝状遺構群	位置(グリッド)	方向	規模(m)	遺構番号	備考
I群	全体	南北	長さ0.6～18.71×幅0.15～0.54	S02～4・S06～13・S018・S022～27・S045～47・S050・S053・S059・S061・S066・S071～73・S078・S080・S085・S086・S089～91・S096・S0105・S0107・S0110・S0112	
Ⅱa群	全体		長さ16.31～13.11×幅0.14～0.48	S019～21・S028・S033・S040・S044・S054・S088・S0103	
Ⅱb群		N-85°-W	-	S081～83・S087・S089・S0100・S0104	
Ⅱc群		N-90°～80°-E	-	S022・S026・S029・S030・S033・S077・S084・S092・S0101	
Ⅱd群		N-75°～80°-W	-	S015・S023・S025・S027・S038・S039・S058	
Ⅱe群		N-75°～80°-E	-	S05～8・S017	
Ⅱf群		-	-	S014・S016・S014・S041～43・S048・S049・S051～53・S055・S056・S060・S062・S063・S063・S067～70・S074・S087・S088・S0406・S0108・S0109・S0111	

## M42 表V層

## 小溝状遺構群

小溝状遺構群	位置(グリッド)	方向	規模(m)	遺構番号	備考
I群	全体		長さ1.32～17.91×幅0.17～0.43	S016・S012・S027・S0131・S0135・S0137・S0139・S0142・S0144・S0146・S0149	
Ia群		N-5°-E	-	S0113～115・S0117～120・S0122～126・S0128～130・S0132～134・S0136・S0138・S0140・S0141・S0143・S0145・S0147・S0148	
Ib群		N-0°～3°-W	-		

## M41 表V層

## 古溝

遺構番号	位置(グリッド)	方向	規模(m)	平面形・断面形	備考
1号溝	E30×S80～90	-	埋没幅13.15×長さ6.63	(1)内縁・浅台形	
2号溝	E130×S90	-	埋没幅3.31×長さ0.50	(1)内縁・浅台形	

第3表 遺構一覧表(3)

## 1602 表V層

## 古墳

遺構番号	位置(グリッド)	方向	規模(m)	平面形・断面形	備考
2号墳					
30号墳	E110×S160				

## 1601・2表V層

## 小溝状遺構群

遺構番号	位置(グリッド)	方向	規模(m)	遺構番号	備考
I層	北西-南西	南北	長さ16.81～17.61×幅6.23～6.43	S01～3・S06	
II層	北西-南西	東西	長さ11.81～11.61×幅6.37～6.49	S04・S05・S07	

## 160表IV層

## 竪穴性基壇跡

遺構番号	位置(グリッド)	主軸方向	規模(m)	柱間数	備考
S023	E200～300×S240～280	N-65°-E		前行5間×前行4間	前行総長11.90×前行総長7.40

## 土坑

遺構番号	位置(グリッド)	長軸方向	規模(m)	平面形・断面形	備考
S81	E200×S230	N-5°-E	長軸20.5×短軸12.4×深さ2.5	隅丸正方形・溝形	

## 溝跡

遺構番号	位置(グリッド)	方向	規模(m)	断面形	備考
S05	E300×S230～240	N-16°-E	長さ7.251×幅6.3～6.43×深さ6.28	溝形	

## 160表IV層

## 溝跡

遺構番号	位置(グリッド)	方向	規模(m)	断面形	備考
S012	E200～300×S270	N-60°-E	長さ5.451×幅1.16×深さ6.80	溝形	
S013	E200～300×S260	N-69°-E	長さ4.481×幅6.59×深さ6.40	溝形	
S014	E200～300×S250～260	N-90°-E	長さ1.431×幅6.72×深さ6.11	溝形	
S015	E200×S230	N-38°-E	長さ3.451×幅6.75×深さ6.30	溝形	

## 160表IV層

## 小溝状遺構群

遺構番号	位置(グリッド)	方向	規模(m)	遺構番号	備考
I層	北平	南北	長さ0.41～12.51×幅0.15～0.43	S018～22	

## 17A表IV層

## 竪穴性基壇跡

遺構番号	位置(グリッド)	主軸方向	規模(m)	平面形	備考
S11	R110×S80	-	-×-×0.34	-	
S15	R110×S80	N-28°-E	3.92×3.46×0.3	隅丸方形	
S12	R100×S80～90	N-47°-E	東西4.12×南北3.4×0.46	[方形]	

## 溝跡

遺構番号	位置(グリッド)	方向	規模(m)	断面形	備考
S020	R110×S70～90	N-39°-E	長さ11.051×幅1.43×深さ6.52	隅丸溝形	

## 小溝状遺構群

遺構番号	位置(グリッド)	方向	規模(m)	遺構番号	備考
I層	北西-南西	北東-南西	長さ2.21～14.21×幅0.29～0.39	S02・S021	
II層	全体	北西-南東	長さ0.51～7.21×幅0.19～0.49	S03～17・S022～24・S026・S040	
III層	東平	南北	長さ1.41～2.31×幅0.19～0.49	S028・S029	

## 17A表IV層

## 竪穴性基壇跡

遺構番号	位置(グリッド)	主軸方向	規模(m)	平面形	備考
S111	R100～130×S80～90	N-64°-E	東西3.3×南北2.9×深さ0.37	不整形円形	

## 土坑

遺構番号	位置(グリッド)	長軸方向	規模(m)	平面形・断面形	備考
S83	R110×S80	N-18°-E	長軸206×短軸1131×深さ44	[楕円形]・溝形	

## 17B表IV層

## 土坑

遺構番号	位置(グリッド)	長軸方向	規模(m)	平面形・断面形	備考
S815	R110×S120～130	N-52°-E	長軸1141×短軸1×深さ26	不整形・不明	
S819	R110×S120	N-17°-E	長軸147×短軸1241×深さ14	不整形・不明	
S827	R110×S120	N-47°-E	長軸80×短軸541×深さ18	不整形・不明	
S828	R110×S120	-	長軸1×短軸1×深さ26	不整形・不明	

## 小溝状遺構群

遺構番号	位置(グリッド)	方向	規模(m)	遺構番号	備考
I層	全体	南北	長さ1.81～22.51×幅0.20～0.75	S01～5	
II層	南平	北西-南東	長さ3.51～35.01×幅0.10～0.20	S021・S022・S025	
III層	全体	北東-南西	長さ1.41～38.11×幅0.25～0.79	S06～11・S014～18・S020・S023・S024・S026	

## 17B表IV層

## 土坑

遺構番号	位置(グリッド)	長軸方向	規模(m)	平面形・断面形	備考
S830	R110×S130	N-90°-E	長軸68×短軸141×深さ-	不整形・不明	
S831	R110×S130	N-38°-E	長軸126×短軸107×深さ-	楕円形・不明	

## 性格不明遺構

遺構番号	位置(グリッド)	長軸方向	規模(m)	平面形・断面形	備考
S829	R110×S130	N-69°-E	長軸518×短軸302×深さ20	楕円形・溝形	

# 大野田古墳群写真図版





15A区V層 調査区西側(東より)



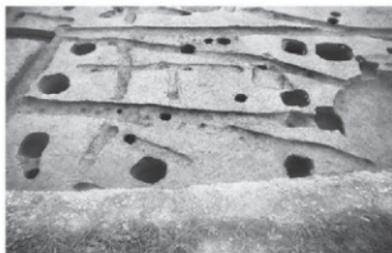
15A区V層 調査区東側(西より)



15A区V層 調査区北側(南より)



15A区V層 SB82(西より)



15A区V層 SB89(北より)



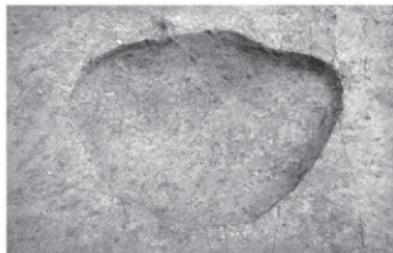
15A区V層 SB133(東より)



15A区V層 SK80a(南より)



15A区V層 SK80a 遺物出土状況(西より)



15A区V層 SK83 (西より)



15A区V層 SK83 遺物出土状況 (東より)



15A区V層 SK153 (西より)



15A区V層 SD117・119 (東より)



15B区Ⅲ層 調査区全景、SD1～3 (東より)



15C区2区V層 調査区全景 (西より)



15C区2区V層 SD30 断面 (東より)



15C区2区V層 小溝状遺構群検出状況 (西より)



15C 区2区V層 小溝状遺構群 (東より)



15D 区V層 調査区全景 (南より)



15D 区V層 38号墳周溝南側断面 (北西より)



15D 区V層 38号墳周溝北側断面 (南より)



16A1 区南・北区V層 調査区全景 (東より)



16A1 区南区V層 小溝状遺構群 (東より)



16A1 区北区V層 小溝状遺構群 (東より)



16A1 西区II b層 調査区全景 (東より)

写真図版3 大野田古墳群 (3)



16A1 西区Ⅲ a 階 調査区全景（北東より）



16A1 西区Ⅳ a 階 調査区全景（北東より）



16A1 西区Ⅴ b 階 調査区全景（北東より）



16A1 西区Ⅴ a 階 調査区全景（北東より）



16A1 西区Ⅴ a 階 調査区西側（北より）



16A1 西区Ⅵ c 階 S095・96（西より）



16A1 西区Ⅶ階 調査区全景（東より）



16A2 区南区Ⅴ階 調査区全景（北より）



16A2 区北区V層 調査区全景 (北より)



16A3 区V層 調査区南側 (東より)



16A3 区V層 調査区北側 (北より)



16B 区1区V層 調査区全景、右下SB93、SD94・95 (西より)



16B 区1区V層 調査区東側、SD1・2付近 (南より)



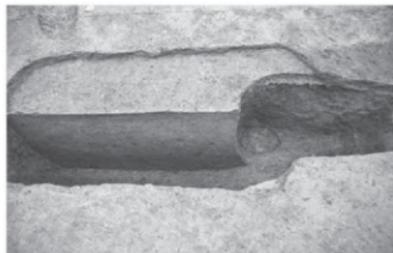
16B 区1区V層 S164 (南より)



16B 区1区V層 SB93、SD94・95 (西より)



16B 区1区V層 SB93\_P1 検出状況 (西より)



16B区1区V層 S893\_P1 柱抜き取り痕 (南より)



16B区1区V層 S893\_P2 (西より)



16B区1区V層 S893\_P2 柱抜き取り痕 (西より)



16B区2区V層 調査区全景 (西より)



16C区1区V層 調査区全景 (北より)



16C区1区V層 1号墳周溝 (南より)



16C区1区V層 1号墳周溝遺物出土状況 (西より)



16C区2区V層 調査区全景 (西より)

写真図版6 大野田古墳群 (6)



16C区2区V層2号墳周溝(北より)



16C区2区V層30号墳周溝(北より)



16D区Ⅲ層 調査区西側(東より)



16D区Ⅲ層 調査区中央(南より)



16D区Ⅲ層 調査区南側(北より)



16D区Ⅲ層 調査区北側(南より)



16D区Ⅲ層 SB23(南より)



16D区Ⅲ層 SK1(北より)

写真図版7 大野田古墳群(7)



16D区IV層 SD12 (西より)



16D区IV層 SD13・14 (東より)



16D区V層 調査区西側 (東より)



16D区V層 調査区中央 (東より)



16D区V層 調査区南側 (北より)



16D区V層 調査区北側 (南より)



16E区V層 SD1・2 (南東より)



16E区V層 SD2断面 (西より)

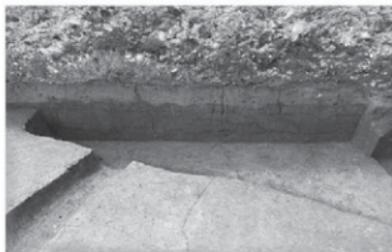
写真図版8 大野田古墳群 (8)



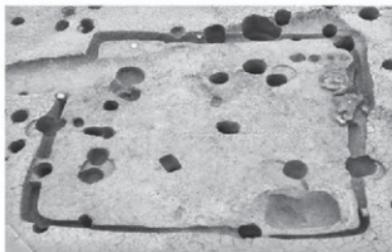
16区V層 S03, P1・2 (西より)



17A区V層 調査区南側 (北より)



17A区V層 S11 (東より)



17A区V層 S135 (南東より)



17A区V層 S135 掘り方 (南東より)



17A区V層 S135 炉 (南より)



17A区V層 S142 (北より)



17A区V層 S020 (南西より)



17A 区板 C 層 SK141 ピット (南より)



17A 区板 C 層 SK43～46 (北より)



17A 区板 C 層 SK47 (東より)



17B 区 V 層 調査区全景 (南より)



17B 区 V 層 SK19 (南より)



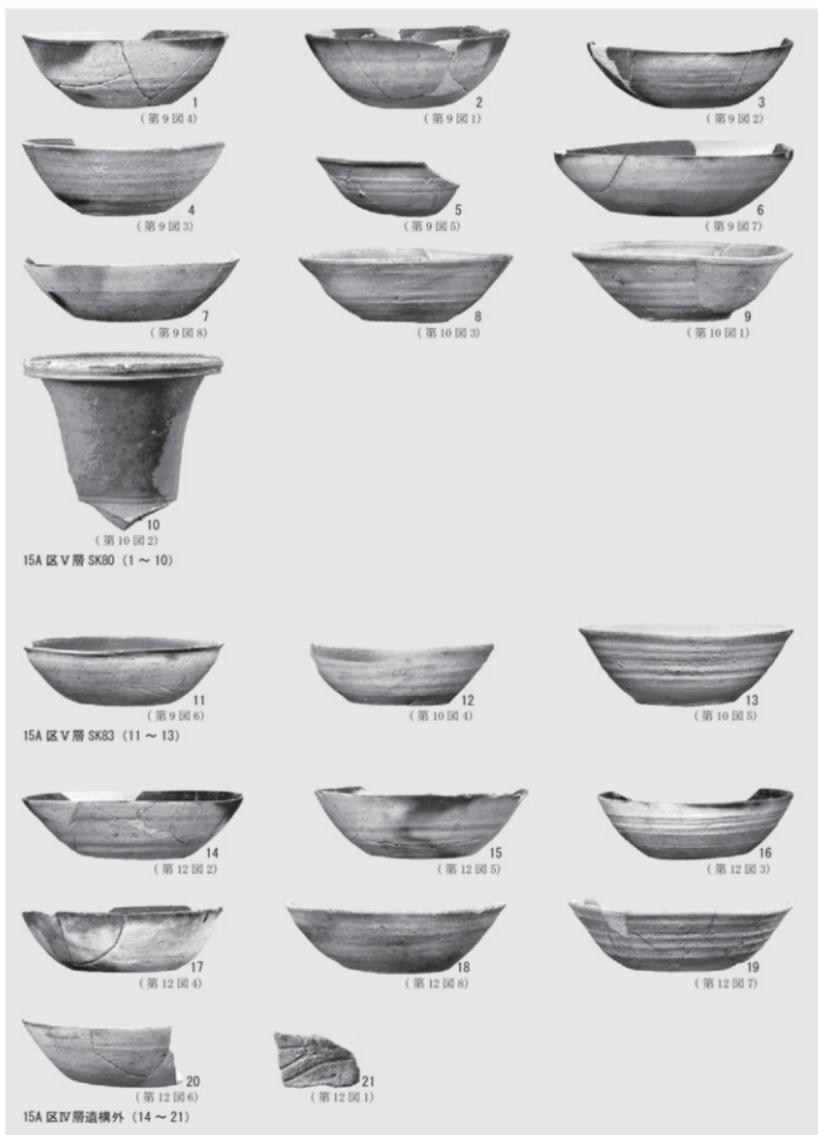
17B 区Ⅱ c 層 調査区全景 (南より)



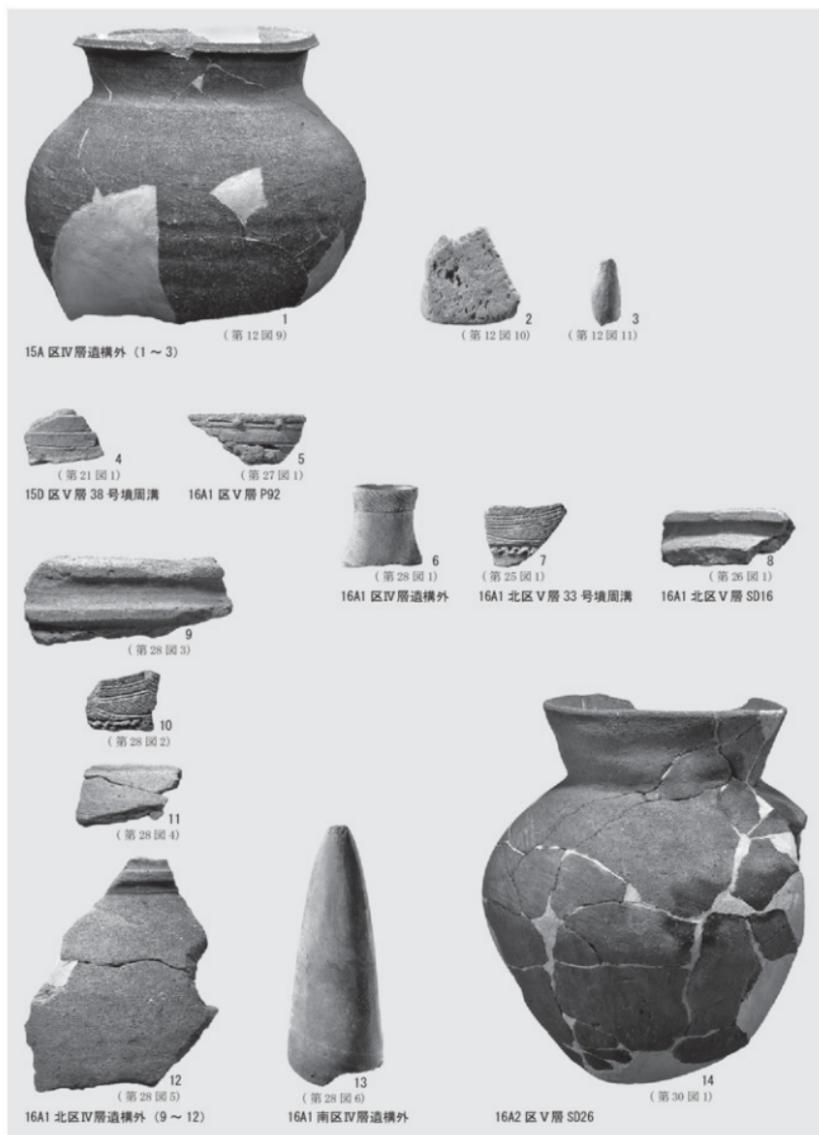
17B 区Ⅱ c 層 SK31 (西より)



17B 区Ⅱ c 層 SK29 (南より)



写真図版 11 大野田古墳群出土遺物 (1)



写真図版 12 大野田古墳群出土遺物 (2)



写真図版13 大野田古墳群出土遺物(3)

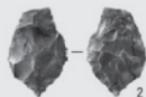


写真図版 14 大野田古墳群出土遺物(4)



17B 区Ⅲ c 層 SK30

(第72図1)



(第73図2)

17B 区Ⅲ d 層遺構外

## 第6節 袋前遺跡

## 1. 調査要項

- (1) 遺跡名：袋前遺跡（宮城県遺跡登録番号01439）  
 (2) 所在地：仙台市太白区大野田字袋前  
 (3) 調査面積：約48㎡  
     ・平成22年度：約48㎡（6区）  
 (4) 調査主体：仙台市教育委員会  
 (5) 調査担当：仙台市教育委員会文化財課  
 (6) 担当職員  
     ・平成22年度：平岡亮輔  
         （派遣調査員：菊地 豊／藤三協技術）  
 (7) 調査期間  
     （野外調査）平成22年度：平成22年10月20日～11月8日

## 2. 6区の調査

基本層V層上面（古墳時代～古代の遺構検出面）において、土坑1基、性格不明遺構1基、小溝状遺構群1群2条、ビット45基を検出した。

## (1) V層検出の遺構と遺物（第1図）

## 小溝状遺構群（第1図）

調査区北側で検出した。ビット群、SD1溝跡と重複し本小溝状遺構群が古い。南北方向の2条である。遺物は土師器・須恵器片が出土した。

## 3. まとめ

袋前遺跡は、仙台市太白区大野田字袋前にあり、自然堤防に立地する。標高は11.3m前後である。平成22年度に6区の調査を行なった。合計面積は約48㎡である。各遺構検出面から、古墳時代から古代の遺構群を検出した。

## (1) 遺構について

1) 古墳時代から古代の遺構は、基本層V層上面で検出した。

6区—土坑1基、性格不明遺構1基、小溝状遺構群1群、ビット45基

## (2) 遺物について

袋前遺跡からは基本層V層からわずかに出土した。

1) 古墳時代から古代と考えられる土師器・須恵器片が基本層V層の小溝状遺構群とビット群内から出土した。

第1表 遺構一覧表

4区V層

土坑

遺構番号	位置（グリッド）	長軸方向	規模(m)	平面形・断面形	備考
S85	E320+M60	N-90°-E	長軸300×短軸50×深さ10	長楕円形・-	

性格不明遺構

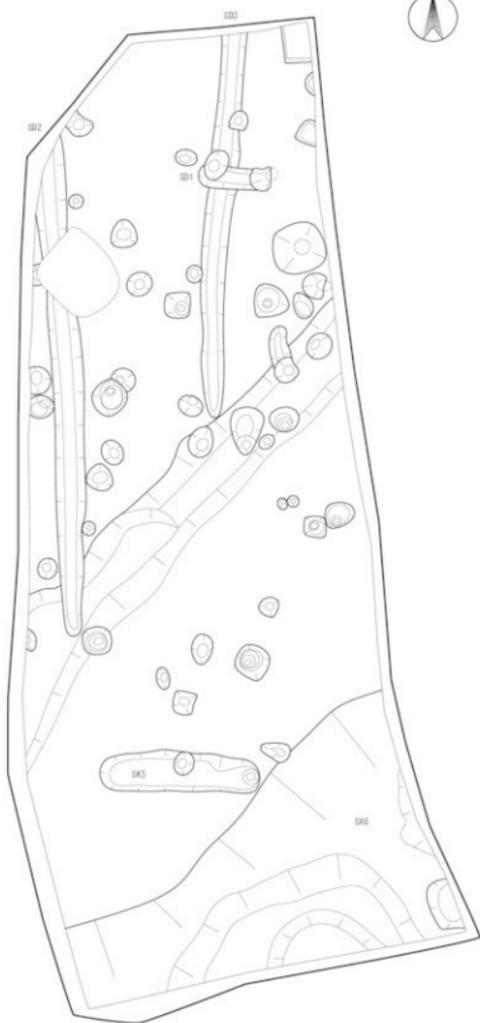
遺構番号	位置（グリッド）	長軸方向	規模(m)	平面形・断面形	備考
S86	E320+M30+60	-	長軸(480)×短軸(320)×深さ20	不整形・-	

溝跡

遺構番号	位置（グリッド）	方向	規模(m)	断面形	備考
SD1	E320+M60	-	長さ0.85×幅0.3×深さ-	-	

小溝状遺構群

小溝状遺構群	位置（グリッド）	方向	規模(m)	遺構番号	備考
1群	北平	南北	長さ(4.9)～(6.6)×幅0.32～0.38	S92・S93	



N50  
X-1983-80



調査区配置図



第1図 袋前遺跡6区V層遺構配置図

## 第7節 伊古田B遺跡

### 1. 調査要項

- (1) 遺跡名：伊古田B遺跡（宮城県遺跡登録番号01480）
- (2) 所在地：仙台市太白区大野田字皿屋敷
- (3) 調査面積：約142㎡
  - ・平成22年度：約142㎡（5区）
- (4) 調査主体：仙台市教育委員会
- (5) 調査担当：仙台市教育委員会文化財課
- (6) 担当職員
  - ・平成22年度：川本剛史
- (7) 調査期間  
（野外調査）・平成22年度：平成22年8月18日～9月8日

### 2. 5区の調査

調査区は2地区に分かれ、それぞれ東・西区と呼称した。

基本層IVa層上面（古代の遺構検出面）において、溝跡2条を検出した。IVb層上面では、溝跡3条、小溝状遺構群1群10条を検出した。V層上面（古墳時代～古代の遺構検出面）では、ビット25基を検出した。

#### （1）IV a層検出の遺構と遺物（第1・2図、写真図版1）

##### SD2溝跡（第2図、写真図版1）

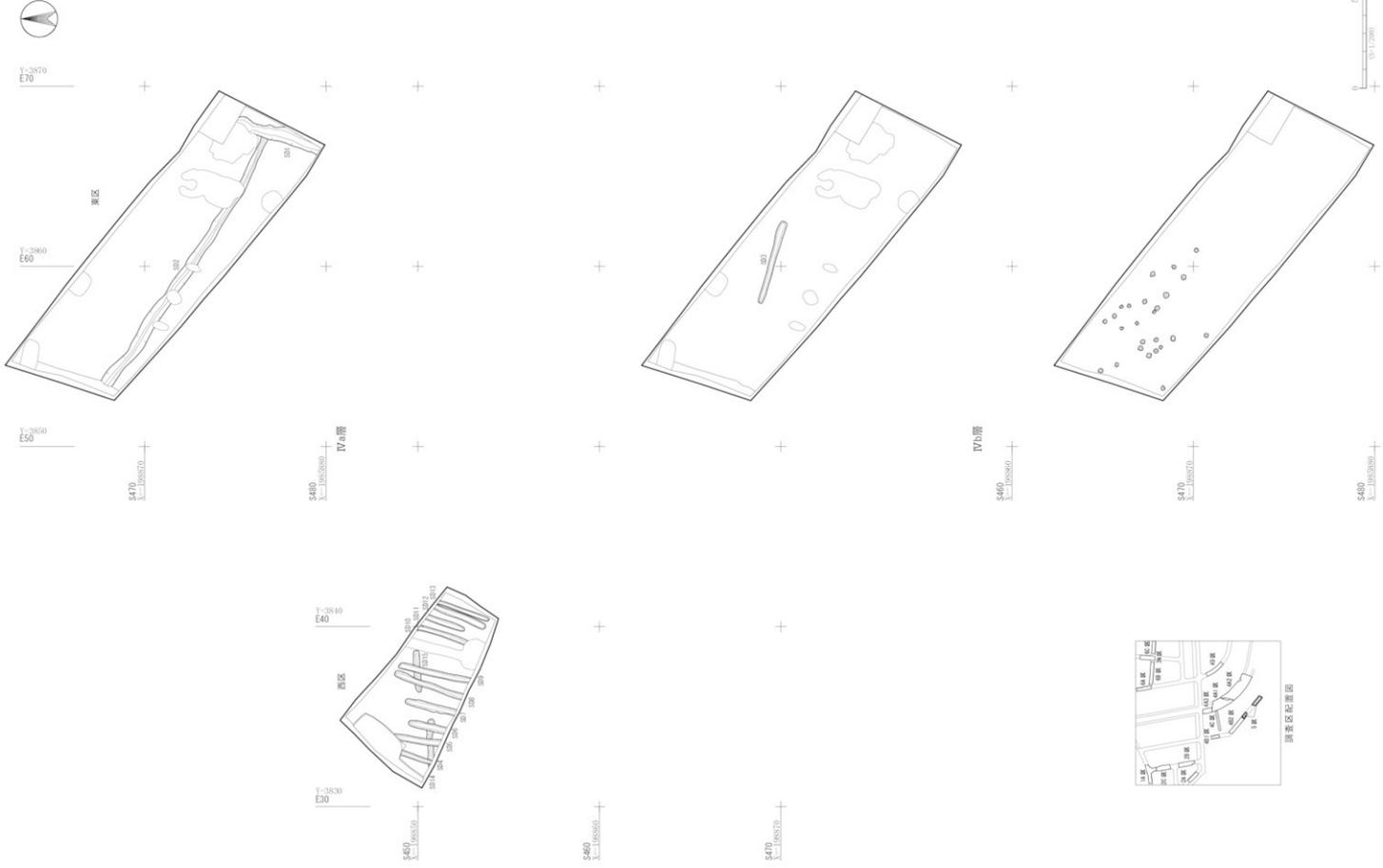
東区調査区中央E50～60・S460～470グリッドで検出した。SD1溝跡と重複し本溝跡が古い。主軸方向はN-58°-Wである。検出長は16.26m、溝幅は86cmである。断面形は逆台形を呈し、深さ40cmである。堆積土は3層に分けられ、自然堆積である。

#### （2）IV b層検出の遺構と遺物（第1図、写真図版1）

西区で南北方向の小溝状遺構群1群10条を検出した。東西方向のSD14・15溝跡より新しい。小溝状遺構群は断面観察からIVa層も切っておりIIIb層から掘り込まれていることが確認されている。

#### （3）V層検出の遺構と遺物（第1図、写真図版1）

東区西側でビット25基を検出した。いずれも小ビットで規則性はない。



第1図 伊古田B遺跡5区IVa～V序置構配置図

V序

S480

S470

E70

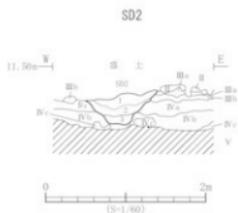
E60

E50

S480

S470

E70



遺構 層位	土色	土性	備考
SD2 1	10R3/2 黒褐色	シルト	褐色シルトブロック、黒褐色シルトブロックを少量含む
SD2 2	10R3/3 暗褐色	シルト	褐色シルトブロックを少量含む
SD2 3	10R3/3 暗褐色	シルト	褐色シルトブロック、にがい・黄褐色シルトブロックを少量含む

第2図 SD2 溝跡断面図

### 3. まとめ

伊古田B遺跡は、仙台市太白区大野田字皿屋敷にあり、自然堤防に立地する。標高は11.9m前後である。平成22年度に5区への調査を行った。合計面積は約142㎡である。各遺構検出面から、古墳時代、古代の遺構群を検出した。

#### (1) 遺構について

1) 古代の遺構は、基本層IVa・IV b層上面で検出した。

5区一溝跡2条(IVa層上面)

5区一溝跡3条、小溝状遺構群1群(IVb層上面)、西区の小溝状遺構群1群10条はIII b層から掘り込まれていることが確認され、古代末葉から中世にかけての遺構と考えられる。

3) 古墳時代から古代の遺構は基本層V層上面でビット25基を検出した。

#### (2) 遺物について

伊古田B遺跡からは基本層IVa・IV b・V層からわずかに土器片が出土した。

1) 古墳時代から古代と思われる土器片が基本層IVa・IV b・V層などからわずかに出土した。

### 第1表 遺構一覧表

#### 5区IVa層

##### 溝跡

遺構番号	位置(グリッド)	方向	規模(m)	断面形	備考
SD1	E60・S470	N-19°・E	長さ(4.8)×幅(0.46)×深さ-	-	-
SD2	E50・60・S490～470	S-58°・W	長さ(16.26)×幅(0.86)×深さ0.4	逆断面	-

#### 5区IVb層

##### 溝跡

遺構番号	位置(グリッド)	方向	規模(m)	断面形	備考
SD3	E50・60・S490	S-73°・W	長さ4.8×幅0.3×深さ-	-	-
SD14	E30・S450	S-89°・E	長さ(3.8)×幅(0.4)×深さ-	-	-
SD15	E30・S450	S-89°・E	長さ2.5×幅0.4×深さ-	-	-

#### 小溝状遺構群

小溝状遺構群	位置(グリッド)	方向	規模(m)	遺構番号	備考
I群	西区全体	南北	長さ(1.7)～(4.8)×幅(0.25)～0.45	SD4～13	-



# 伊古田B遺跡写真図版





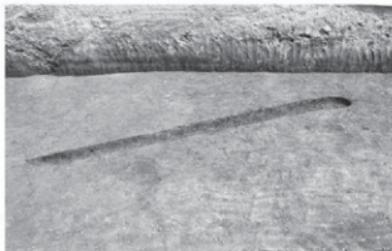
5区東区IV a層 調査区全景（北西より）



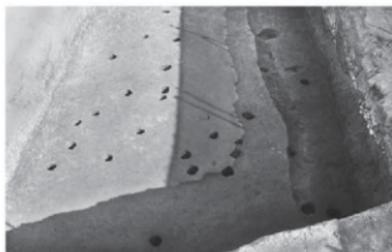
5区東区IV a層 SD1（北より）



5区東区IV a層 SD1 検出状況（北より）



5区西区IV b層 SD3（南西より）



5区東区IV層 調査区西側（北西より）



5区西区IV b層 調査区全景（北西より）



5区西区IV b層 調査区遺構検出状況（西より）



5区西区IV b層 小溝状遺構群断面（北より）

写真図版 1 伊古田 B 遺跡

## 第3章 総括

### 第1節 富沢駅周辺土地区画整理事業関係遺跡の調査成果

本事業に伴う本発掘調査は、平成7年度から平成25年度にかけて実施した。全部で14遺跡、183箇所の調査区で本発掘調査を行い、本書を含め6冊の発掘調査報告書を刊行した。

以下、本事業区域内の発掘調査にもついで時代ごとの概要をとりまとめた。

#### 1. 縄文時代

本事業区域内で最も古い時代の遺物は、中期前半から中葉の土器である。下ノ内遺跡1B区XI層を中心に、口縁部に縄文原体側面圧痕を施す中期前半大木7b式古段階の深鉢形土器と大木8b式の深鉢形土器が出土した。該期の遺構は検出されなかった〔仙台市教委 2011〕。

中期末葉では、大木10式期の竪穴住居跡を下ノ内遺跡2C区XII層で2軒、8区IX層で7軒、9区IX層で1軒検出された〔仙台市教委 2011・2013・2017〕。竪穴住居跡の炉跡は9区の土器埋設炉を除き、他は複式炉である。2C区SI227・8区SI180 竪穴住居跡の2軒は敷石住居である。2C区SI227・8区SI169 竪穴住居跡の出土遺物には、口縁部や胴部に小突起や刺突文が認められる土器があり、大木10式でも最も新しい時期の段階と考えられ、後期初頭への移行期と考えられる。埋設土器遺構についても同時期と考えられ、2C区XI層で5基、4B区VII層で1基、8区IX層で3基検出された。8区VIII層では同時期の遺物包含層が検出された。

後期初頭から前半にかけての遺構は、六反田遺跡7F2東・西区VIII層を中心とした範囲で、竪穴住居跡9軒、掘立柱建物跡4棟、埋設土器遺構6基が検出された。竪穴住居跡の炉跡は地床炉、土器埋設炉、石囲炉である。当該時期の遺物包含層から大木10式から漸移変化した方形区画文や刺突文を施す土器群、網取I式後半からII式前半にかけての土器群、門前系の土器群が出土し、後期前半には網取II式前半の土器が主体になる〔仙台市教委 2017〕。

後期中葉初頭では、下ノ内遺跡8区VIII層で、埋設土器遺構、炉跡、土坑などが検出され、同じく7A区・8区VI層で当該期の遺物包含層が検出された。遺物包含層はほぼ後期中葉初頭の遺物で構成され、土器は後期中葉宝ヶ峯式土器へと移行する直前段階のものであり、打製石器には接合資料も見られる。また、下ノ内遺跡7A区VII層で集石が検出され、下部に土坑が検出された。詳細は不明であるが、各々関係する可能性がある。

後期中葉では、大野田古墳群2H区VIII層から宝ヶ峯式前後の土器・土製品が出土した。土製品には土偶が見られる。

後期後半から晩期については、六反田遺跡5次調査(1A・1B・1C深堀区)VI層及び旧河川等から金剛寺式土器、大洞式土器が出土している〔仙台市教委 2000〕。

以上のように縄文時代の遺構、遺物は、本事業地域内の西北部、下ノ内遺跡、六反田遺跡を中心に検出されており、他の地域では僅かに見られるのみであるが、地下鉄南北線の発掘調査で、伊古田遺跡から後期中葉の遺物包含層が検出され、旧荒川以北の下ノ内遺跡では後期前半の遺物包含層と配石遺構群が検出されている。さらに本事業地東に隣接する大野田遺跡、王ノ塚遺跡で後期前半及び中葉の祭祀遺構、遺物包含層が検出されている。このことから、本事業地及び周辺地域は縄文時代中期末葉から後期後葉にかけて集落の変遷をたどることが可能な地域であると考えられる。

#### 2. 弥生時代

遺構は検出されていない。古墳時代以降の遺構などから中・後期の土器、土製の紡錘車、アメリカ式石鏃、石砲丁が出土した。土器は中期後半から後期の土器が主体である。

#### 3. 古墳時代

##### 前期

4世紀の竪穴住居跡を検出した。4世紀前半頃の遺物は、大野田古墳群14A区SI48 竪穴住居跡、六反田遺跡7F2 西区SI7 竪穴住居跡で出土した〔仙台市教委 2017〕。4世紀後半から末葉頃の遺物は、大野田古墳群21区SI89 竪

穴住居跡、大野田古墳群 12A 区 SI46・47・53 堅穴住居跡、12D 区 SI36 堅穴住居跡などで出土した〔仙台市教委 2000・2017〕。21 区 SI89 堅穴住居跡からは堅楯が出土している。六反田遺跡 8C 区では 4 世紀後半から末葉頃の区画溝を検出した〔仙台市教委 2017〕。前期の堅穴住居跡は、本事業区域南側の下ノ内遺跡・伊古田遺跡・大野田古墳群を中心に検出されている。

古墳は検出されていない。

#### 中 期

5 世紀前半の堅穴住居跡・古墳は共に検出されていない。

5 世紀後半の堅穴住居跡を検出した。

5 世紀後半頃の遺物は、下ノ内遺跡 1B 区 SI51・52 堅穴住居跡、8 区 SI104 堅穴住居跡、六反田遺跡 4A 区 SI20、5A 区 SI1 堅穴住居跡、六反田遺跡 8C 区 SI4 堅穴住居跡などで出土した〔仙台市教委 2011・2013・2017〕。下ノ内遺跡 1B 区 SI51 堅穴住居跡からは、陶器類年 I 型式の 4～5 段階頃と考えられる須恵器甕と蓋が出土している。該期の堅穴住居跡は、本事業区域西側の下ノ内遺跡・六反田遺跡を中心に検出されている。

古墳は、春日社古墳、鳥居塚古墳、王ノ塚古墳、五反田古墳、大野田 1～3 号墳、10～26 号墳、28～39 号墳を検出した〔仙台市教委 1983・1987・2000・2011・2017〕。なお、大野田 4・5～9・27 号墳は〔仙台市教委 1987・1999・2000〕で報告されている。墳形は、鳥居塚古墳が前方後円墳、他は円墳と考えられる。規模は、春日社古墳が径 46 m、鳥居塚古墳が長さ 37 m、他は径 31 m 以下である。春日社古墳の第 2 主体部からは茅盾と鉄鏝、鉄矛が出土した。埴輪を持つ古墳が多く、埴輪を持たないと考えられる古墳は 3・6・7・9・12・16～20・39 号墳で、径 15 m 未満の小円墳が多い。形象埴輪は、春日社古墳・鳥居塚古墳・10・11・33・37 号墳で出土している。

#### 後 期

6 世紀から 7 世紀中葉にかけての堅穴住居跡は検出されていない。

後期と考えられる木棺墓を 7 基検出した。大野田 1 号木棺墓の棺内からは人骨と礎が出土した〔仙台市教委 2000〕。大野田古墳群 9A 区では 2 基並んだ状態で検出した。SK446 木棺墓では、袋状掘り込み内から 6 世紀中葉頃の土師器甕・坏、須恵器短頸壺が、棺内から鉄鏝・刀子が出土した。SK475 木棺墓の棺内からは刀子、不明鉄製品が出土した。袋状掘り込みの有無は新しい時期の遺構との重複により不明である〔仙台市教委 2011〕。大野田古墳群 12A 区 SK42 木棺墓では副葬品などは出土していない〔仙台市教委 2017〕。六反田遺跡 7F1 南区 SK9 木棺墓では、袋状掘り込み内から 6 世紀中葉頃の土師器壺・坏が、棺内からは銅鏡・管玉・ガラス小玉・小礎が出土した〔仙台市教委 2017〕。六反田遺跡 7F2 東区 SK3 木棺墓の棺内からは管玉とガラス小玉が出土した〔仙台市教委 2017〕。六反田遺跡 7F2 東区 SK147 木棺墓では副葬品などは出土していない〔仙台市教委 2017〕。このほか六反田遺跡 1 次調査では五反田木棺墓とともに石棺墓が検出されている〔仙台市教委 1981〕。

ほかに県内では加美町（旧宮崎町）米泉館跡で木棺の痕跡を残す土壇墓が 3 基検出されている。その内 1 基は袋状掘り込みを有している〔宮崎町教委 1996〕。この袋状掘り込みは、北海道や東北部の文化の影響と考えられ、本事業区域内の六反田遺跡・大野田古墳群の検出例が最も南のものである。

## 4. 古 代

本事業区域の北東側約 1.5km に位置する郡山遺跡では、7 世紀中葉頃に I 期官衛が成立し、7 世紀末葉頃に成立する II 期官衛は多賀城以前の陸奥国府と考えられている。また、西台畑遺跡や長町駅東遺跡では、7 世紀前半から 8 世紀にかけて周囲に区画溝を伴う官衛造営に関わる集落跡が検出されている〔仙台市教委 2008・2010〕。

大野田官衛遺跡は、郡山 II 期官衛とほぼ同時期、7 世紀末葉から 8 世紀初頭頃成立し、8 世紀第 2 四半期には廃絶していたものと考えられている〔仙台市教委 2011〕。官衛施設は、区画溝と側柱の掘立柱建物跡 3 棟、総柱の掘立柱建物跡 2 棟を検出した。官衛区画溝内に位置する六反田遺跡 2B 区 SK180 土坑から 8 世紀第 2 四半期以前と考えられる平瓦が出土した〔仙台市教委 2017〕。官衛北側区画溝の西側延長上で六反田遺跡 6A 区 SD1 溝跡を検出した〔仙台市教委 2017〕。官衛西側区画溝の西側で区画溝の可能性のある六反田遺跡 6A 区 SD32 溝跡、6B3 区 SD53 溝跡、大野田古墳群 15A 区 SD125 溝跡を検出した〔仙台市教委 2017〕。これらにより、官衛区画の西側に溝により区画され

た地区が存在する可能性が考えられる。

本事業区域内でも、7世紀後半以降の竪穴住居跡が多く検出されている。王ノ壇遺跡1次調査SI201竪穴住居跡の出土遺物は7世紀第3四半後半から第4四半期前半と推定されている〔仙台市教委 2000〕。大野田官衙期頃の竪穴住居跡としては、官衙の南西側に位置する下ノ内遺跡2C区SI208・209・210・212、9区SI2・8・16・19・29竪穴住居跡、西側に位置する六反田遺跡7F2東区SI140竪穴住居跡などが検出された〔仙台市教委 2011・2017〕。下ノ内遺跡9区SD13溝跡からは、口縁部付近に2条の沈線を描く東北北部系の土師器が出土した。本来は、この溝跡に切られたSI16竪穴住居跡の遺物と考えられる。その後、8世紀前半以降、10世紀にかけて集落は継続して営まれ、8世紀末葉以降、ロクロ土師器の普及と共に集落は拡大する。六反田遺跡7E区SK3土坑、7F1北区SI45竪穴住居跡、SK51土坑、7F1中区SX6性格不明遺構、大野田古墳群15A区SK80・83土坑から「方」「取」と書かれた9世紀後半頃の墨書土器が出土した〔仙台市教委 2017〕。大野田古墳群15A区で9世紀頃と考えられる周囲を小溝で区画するSB10・133掘立柱建物跡を検出した〔仙台市教委 2017〕。六反田遺跡4A区SK4土坑からは、10世紀前半頃の土師器や赤焼土器が多量に出土しており、一括廃棄されたものと考えられる〔仙台市教委 2017〕。六反田遺跡6B3区で埋設土器遺構を検出した。赤焼土器高台杯を逆位で据え、高台内に赤焼土器小皿を正位で据えている。時期は10世紀末葉前後と考えられる〔仙台市教委 2017〕。古代の竪穴住居跡は、古墳が分布する範囲を除き、本事業区域のほぼ全域で検出された。

生産跡では主に小溝状遺構群を検出した。

## 5. 中世

王ノ壇遺跡では、武士の屋敷跡を通過する主要道路跡2条、枝道3条を検出した。いずれの道路も両側に側溝を有する。主要道路は両側溝間が2.8～4.2mあり、使用年代は13世紀後半から14世紀前半と推定され、「奥大道」の可能性が指摘されている〔仙台市教委 2000〕。伊古田遺跡4A2区で竪穴建物跡6棟を検出した。遺物はほとんど出土していない〔仙台市教委 2017〕。伊古田遺跡5B区SD21・22溝跡から12世紀後半から13世紀中葉にかけての常滑製品が出土した〔仙台市教委 2017〕。元袋遺跡1区でSK19・130火葬遺構を検出した〔仙台市教委 2017〕。

## 6. 近世

元袋遺跡1区では屋敷跡の堀跡と考えられるSD1溝跡を検出し、下駄などの木製品、編組製品が出土した〔仙台市教委 2017〕。大野田古墳群7区IV層検出のSB382掘立柱建物跡の柱穴から内面に「小麦」「小豆」と墨書された近世かわらけが出土した。SK378・381土坑からは寛永通宝が出土した。新寛永通宝を伴うことから18世紀以降の墓塚と考えられる〔仙台市教委 2011〕。

## 第2節 小溝状遺構群と性格不明遺構について

本事業区域内のほぼ全域で小溝状遺構群を検出した。検出面は、主にIV・V層上面で、一部、III層あるいはVI層上面でも検出されている。

小溝状遺構群は、上端幅0.30～0.40m、深さ0.15～0.20mほどの細長い溝が、1.50m前後の間隔で複数条平行して掘られるものである。本事業区域内ではほとんどの地区にあり、複数回重複するなど濃密な分布が見られる。

いずれも調査区が狭小で全体が把握できるものはほとんどないが、大野田官衙遺跡と大野田古墳群付近で検出した小溝状遺構群は、東西南北の方位を意識して小溝もほぼ等間隔で整然と掘削されているものが多いのに対して、下ノ内遺跡と伊古田遺跡付近で検出した小溝状遺構群は、主軸方向、小溝の長さ・間隔など全体としてやや雑然とした印象のものが多い。時期がわかるような遺物の出土はないが、本事業区域内では、遺構の重複関係から概ね8～9世紀の時期と考えられる。

また、小溝状遺構群とは別に、性格不明遺構と呼称した平行して群をなす溝状の遺構群が大野田官衙遺跡の北側からまとまって検出されている。

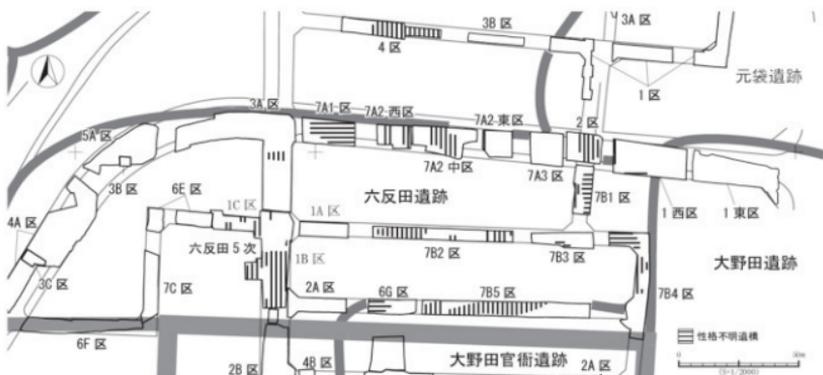
本事業区域内で検出した性格不明遺構のうち、ここで述べる性格不明遺構は、上端幅0.50～1.00m、深さ0.10

～0.70 mほどの不整形な溝状の掘り込みが、1.50 m前後の間隔で複数条平行して掘られるものである。底面は凹凸が著しくピット状の落ち込みが多く見られ、平面形も不整形で列状はなすもののピットが帯状に連続したような不連続な箇所も見受けられる。小溝状遺構群に類似した遺構であるが、明らかに規模や形状が異なる。溝状に延びる方向は東西方向と南北方向の二つが確認できるが、性格不明遺構同士が重複する状況は見られない。元袋遺跡4区（第2章第2節第3図、写真図版1）や六反田遺跡7B5区（第2章第3節第32図、写真図版6）で検出されたものが、ここで述べる性格不明遺構の典型的な遺構形状を示すものである。

同遺構の存在が確認されているのは、大野田官衙遺跡の北辺区画溝の北側に位置する大野田遺跡1区西区、元袋遺跡2・4区、六反田遺跡5次調査（1A・1B・1C区）、3A区、6G区、7A1区、7A2西・中・東区、7B1・2・3・4区、7B2・3・4・5区で、一部の例外を除き、いずれもV層上面で検出した〔仙台市教委 2000・2013・2017〕。本事業区域内における同遺構の分布は、大野田官衙遺跡の北側、東西約2.0km、南北約1.4kmという限られた範囲に限定される。

性格不明遺構の時期を示すような遺物の出土はほとんどないが、六反田遺跡7B3区のSX36性格不明遺構からは8世紀前半頃の須器器環が出土している〔仙台市教委 2017〕。遺構の重複関係を見ると、同遺構より新しいものとして六反田遺跡1B区SI111 堅穴住居跡（8世紀中葉頃）が、同遺構より古いものとして六反田遺跡1B区SX49 堅穴遺構（8世紀前葉）があり〔仙台市教委 2000〕、これら性格不明遺構は8世紀第2四半期頃のものと考えられる。

性格不明遺構の性格については、遺構の形状から畑など耕作に伴うものである可能性を想定しておきたいが、判断材料に乏しく現状では判定できない。



第1図 性格不明遺構の分布模式図

### 第3節 木棺墓出土の管玉・ガラス小玉について

本事業関係遺跡の調査では、本書掲載の六反田遺跡7F1南区、7F2東区より6世紀中頃と考えられる木棺墓2基から副葬品として管玉（15点）とガラス小玉（81点）が出土した。その内訳は、7F1南区SK9木棺墓から管玉10点（欠損1点含む）、ガラス小玉9点、7F2東区SK3木棺墓から管玉6点、ガラス小玉79点とその破片少量である。ここでは、管玉とガラス小玉について肉眼による観察結果をまとめることとする。

#### 1. 管玉について

出土した管玉はすべて碧玉製で片側穿孔である。片面の孔はほぼ中央にあつて径が広く（以下、上面）、もう片面の孔は中心からずれて径が狭い（以下、下面）ことから、上面から穿孔したものと考えられる。また、下面の孔の端部にごく浅い皿状を呈する窪みを持つ個体が同遺構ともに半数以上確認されており、意図的に加工されたものと推

測される。県内では、加美町（旧宮崎町）の米泉館跡の出土品と同様の窪みを持つ類例がみられる〔宮崎町教委1995〕。上・下面の外縁部には使用によると思われる摩滅が確認される。

近隣からは、未製品や砥石、粗製の際にする剥片などが出土していないことから搬入品と考えられる。

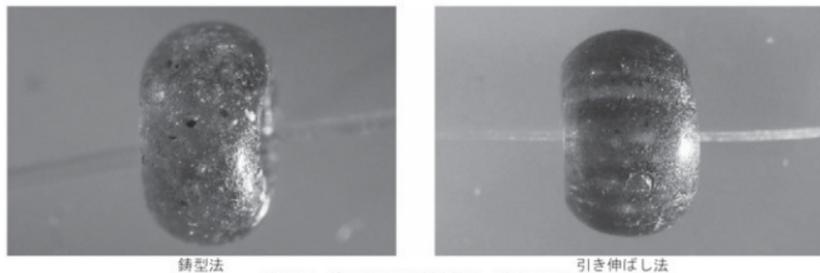
## 2. ガラス小玉について

### (1) 観察方法

ガラス小玉の大きさ、色調、透明度、製作技法の判別は肉眼観察で行った。大きさは、最大径と厚さをデジタルノギスを用いて計測した。ガラス小玉の色調は、青・青緑・緑の3種類で、青は半透明と不透明とに細分した。

製作技法については、ガラス小玉内で確認される気泡の配置、不純物・亀裂の有無、孔壁面の凹凸をガラス小玉に光を透過させて観察した。

ガラス小玉の製作技法は、これまでに鋳型法、引き伸ばし法、巻き付け法などが知られる。鋳型法は、粘土に多数の凹みをあけて芯棒を中心に置いたものを鋳型として、材料となる細かく砕いたガラス片を詰めて鋳型ごと加熱する技法で、溶解が十分でない場合、気泡が不規則になることや、色のムラ、孔壁面の凹凸、突起、亀裂が多数みられる。引き伸ばし法は、加熱して軟化させたガラスを別に用意した管の先につけて引き伸ばし、一旦、細いガラスの管を製作し、それを輪切りで切り離して小玉を製作する技法である。ガラスを引き伸ばした際、孔に平行する気泡の列がガラス内に生成される。孔壁面は平滑となる。また、切り離した後、再度加熱することによって丸味を帯びた小玉とする場合がある。巻き付け法は、細い棒に軟化させたガラスを1個ずつ巻き付けていく技法で、気泡が孔の周囲を回る気泡の列が生成される。ガラス小玉は、以上の3種の技法を想定して観察を行った。



第2図 ガラス小玉の製作技法（倍率不同）

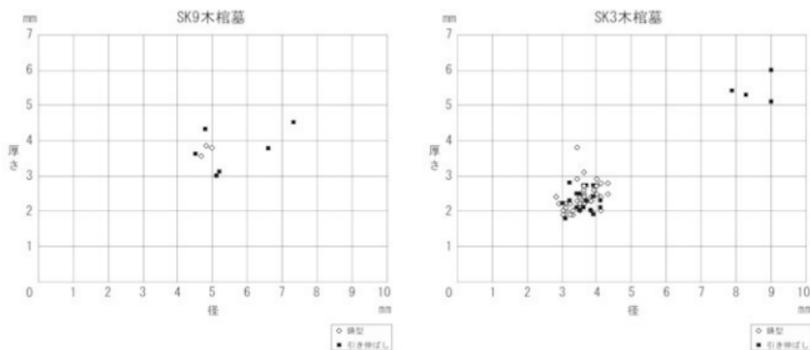
### (2) 観察結果

色調は、SK9木棺墓出土のガラス小玉は、青7点（半透明5点、不透明2点）、青緑1点、緑1点、SK3木棺墓出土のガラス小玉は、青54点（半透明52点、不透明2点）、青緑12点、緑6点であった。

ガラス小玉の大きさ、製作技法を出土した遺構別に示したのが第3図である。

製作技法は、SK9木棺墓が鋳型法3点、引き伸ばし法6点、SK3木棺墓が鋳型法46点、引き伸ばし法22点、不明4点であった。製作技法ごとの大きさの分布を見ると、SK9木棺墓の鋳型法は径4.5～5.1mm、厚さ3.4～4.0mm、引き伸ばし法は径4.5～7.3mm、厚さ3.0～4.5mmの範囲内に分布する。SK3木棺墓の鋳型法は径2.8～4.3mm、厚さ1.9～3.8mmの範囲でまとまり、引き伸ばし法は径3.0～4.1mm、厚さ1.8～2.8mmのもの、それよりやや大きい径7.9～9.0mm、厚さ5.1～6.0mmの2群が確認できる。

ガラス小玉の形状は、いずれも丸味を帯びた形状を呈しており、管状のものは確認されない。



第3図 ガラス小玉の製作技法別の形状分布図

### (3) まとめ

両木棺墓出土のガラス小玉の色調は約75%が青で、そのほとんどが半透明であった。次いで、青緑、緑となる。今回は蛍光X線による化学分析を行っていないため、どのような材料が使用されていたかは不明であるが、色調を見る限り青の色調を示したガラス小玉は同一の材料であると推定される。製作技法は、鋳型法と引き伸ばし法の2種類が確認され、SK9木棺墓では引き伸ばし法によるガラス小玉が多く、SK3木棺墓では鋳型法によるガラス小玉が多い。巻き付け法によるガラス小玉は確認されなかった。形状は、ガラス小玉すべて丸味を帯びる形状であるため、引き伸ばし法で製作されたガラス小玉は再加熱による加工が施されていると考えられる。

第3図を見ると、鋳型法によるガラス小玉は、両木棺墓ともにある程度の範囲に大きさが集中する傾向が見える。引き伸ばし法によるガラス小玉は、SK9木棺墓ではやや広い範囲にまばらに分布するのに対して、SK3木棺墓では明らかに大小2つの規格があることが看取される。出土状況からは確認できないが、装飾的な観点から大小2種類を使い分けていた可能性が考えられる。

第1表 仙台市富沢駅周辺土地区画整理事業関係遺跡報告書別調査成果一覧(1)

調査年度	遺構名	地区	時代	主な遺構	所収報告書
平成20年度 (2008)	大野田遺跡	1区東区	古墳～古代	瓶穴遺構1基、溝跡1条、小漢状遺構群2群	第414集
平成20年度 (2008)	大野田遺跡	1区西区	古代 古墳～古代	溝跡1条、小漢状遺構群1群 溝跡3条、小漢状遺構群3群	第414集
平成17年度 (2005)	元宮遺跡	1区	近世 中世 古墳～古代 古墳	井戸跡1基、溝跡1条 溝跡1条、穴遺構2基 瓶穴住居跡4軒、溝跡2条、小漢状遺構群26群 瓶穴住居跡1軒	第435集
平成19年度 (2007)	元宮遺跡	2区	古代 古墳～古代	溝跡2条、小漢状遺構群2群 溝跡9条、小漢状遺構群4群	第435集
平成20年度 (2008)	元宮遺跡	3A区	-	-	第414集
平成20年度 (2008)	元宮遺跡	3B区	古代 古墳～古代	瓶穴住居跡1軒 溝跡4条	第414集
平成22年度 (2010)	元宮遺跡	4区	古代 古墳～古代	瓶穴住居跡1軒 瓶立柱建物跡1棟、井戸跡1基、小漢状遺構群3群	第436集
平成9年度 (1987)	六反田遺跡	1A～C区	古代	瓶穴住居跡2軒、瓶穴遺構1基、瓶立柱建物跡6棟、柱列3列、小漢状遺構群11群	第243集
平成17年度 (2005)	六反田遺跡	2A区	古墳～古代	溝跡2条、小漢状遺構群3群	第435集
平成17年度 (2005)	六反田遺跡	2B区	古墳～古代	溝跡4条、小漢状遺構群4群	第435集
平成18年度 (2006)	六反田遺跡	3A区	古代 古墳～古代 古墳	瓶穴住居跡5軒 瓶穴住居跡1軒、溝跡13条、小漢状遺構群24群 瓶穴住居跡1軒	第435集
平成18年度 (2006)	六反田遺跡	3B区	-	-	第435集
平成18年度 (2006)	六反田遺跡	3C区	古墳～古代	溝跡1条	第435集
平成19年度 (2007)	六反田遺跡	4A区	古代 古墳～古代 古墳	瓶穴住居跡4軒、溝跡1条 瓶穴住居跡1軒、溝跡21条、小漢状遺構群7群 瓶穴住居跡1軒	第435集
平成19年度 (2007)	六反田遺跡	4B区	古代 古墳～古代	溝跡1条 溝跡15条、小漢状遺構群6群	第435集
平成20年度 (2008)	六反田遺跡	5A区	古代 古墳～古代 古墳	瓶穴住居跡1軒 溝跡10条、小漢状遺構群4群 瓶穴住居跡1軒	第435集
平成20年度 (2008)	六反田遺跡	5B区	古墳～古代	小漢状遺構群1群	第435集
平成20年度 (2008)	六反田遺跡	5C区	古代 古墳～古代	瓶穴住居跡2軒 瓶穴住居跡1軒、溝跡15条、小漢状遺構群10群	第435集
平成20年度 (2008)	六反田遺跡	5D区	-	-	第435集
平成21年度 (2009)	六反田遺跡	6A区	古代 古墳～古代	瓶穴住居跡1軒 瓶穴住居跡4軒、溝跡8条、小漢状遺構群6群	第435集
平成21年度 (2009)	六反田遺跡	6B区	中世 古代	土器埋没遺構1基 瓶穴住居跡2軒、小漢状遺構群1群	第435集
平成22年度 (2010)	六反田遺跡	6B5区	古墳～古代	溝跡1条、小漢状遺構群2群	第436集
平成21年度 (2009)	六反田遺跡	6C南区	古墳～古代	小漢状遺構群2群	第436集
平成22年度 (2010)	六反田遺跡	6C北区	古墳～古代	瓶立柱建物跡1棟、小漢状遺構群2群	第436集
平成22年度 (2010)	六反田遺跡	6D区	古墳～古代	溝跡1条、小漢状遺構群2群	第436集
平成22年度 (2010)	六反田遺跡	6D2区	古墳～古代	瓶穴住居跡1軒、溝跡1条、小漢状遺構群2群	第436集
平成21年度 (2009)	六反田遺跡	6E区	古代	瓶穴住居跡2軒、瓶立柱建物跡2棟、小漢状遺構群6群	第435集
平成21年度 (2009)	六反田遺跡	6F区	古墳～古代	溝跡2条	第435集
平成22年度 (2010)	六反田遺跡	6G区	古墳～古代	溝跡1条、小漢状遺構群3群	第435集
平成22年度 (2010)	六反田遺跡	7A区	古墳～古代	小漢状遺構群3群	第436集
平成22年度 (2010)	六反田遺跡	7A2西区	古墳～古代	小漢状遺構群3群	第436集
平成22年度 (2010)	六反田遺跡	7A2中区	古墳～古代	小漢状遺構群3群	第436集
平成22年度 (2010)	六反田遺跡	7A2東区	古墳～古代	溝跡2条、小漢状遺構群2群	第436集
平成22年度 (2010)	六反田遺跡	7A3区	古墳～古代	溝跡2条、小漢状遺構群2群	第436集
平成22年度 (2010)	六反田遺跡	7B1区	古墳～古代	溝跡1条、小漢状遺構群3群	第436集

第2表 仙台市富沢駅周辺土地區畫整理事業關係遺跡報告書別調查成果一覽(2)

調査年度	遺構名	地 区	時 代	主な遺構	所収報告書
平成20年度 (2010)	六反田遺跡	782区	古墳～古代	窆穴住居跡1軒、溝跡1条、小漢状遺構群5群	第456集
平成20年度 (2010)	六反田遺跡	783区	古墳～古代	小漢状遺構群4群	第456集
平成22年度 (2010)	六反田遺跡	784区	古墳～古代	溝跡4条、小漢状遺構群3群	第456集
平成22年度 (2010)	六反田遺跡	785区	古墳～古代	溝跡4条、小漢状遺構群2群	第456集
平成22年度 (2010)	六反田遺跡	7C区	古代	窆穴住居跡1軒	第456集
平成22年度 (2010)	六反田遺跡	7C区	古墳～古代	小漢状遺構群4群	第456集
平成22年度 (2010)	六反田遺跡	7E区	古代	小漢状遺構群1群	第456集
平成22年度 (2010)	六反田遺跡	7E区	古墳～古代	窆立柱建物跡2棟、小漢状遺構群2群	第456集
平成22年度 (2010)	六反田遺跡	7F1北区	古代	窆穴住居跡7軒、小漢状遺構群4群	第456集
平成22年度 (2010)	六反田遺跡	7F1北区	古墳～古代	窆穴住居跡1軒、窆立柱建物跡6棟、柱列1列、溝跡6条、小漢状遺構群4群	第456集
平成22年度 (2010)	六反田遺跡	7F1中区	古墳～古代	窆穴住居跡2軒、溝跡6条、小漢状遺構群3群	第456集
平成22年度 (2010)	六反田遺跡	7F1南区	古墳～古代	木棺墓1基、溝跡9条、小漢状遺構群2群	第456集
平成23年度 (2011)	六反田遺跡	7F2東区	古墳	古墳1基、木棺墓1基	第456集
平成23年度 (2011)	六反田遺跡	7F2東区	古墳～古代	窆立柱建物跡2棟、窆立柱建物跡3棟、溝跡10条、小漢状遺構群3群	第456集
平成23年度 (2011)	六反田遺跡	7F2東区	古墳	木棺墓2基	第456集
平成23年度 (2011)	六反田遺跡	7F2東区	縄文	窆穴住居跡2軒、窆立柱建物跡1棟	第456集
平成23年度 (2011)	六反田遺跡	7F2西区	古代	窆穴住居跡5軒	第456集
平成23年度 (2011)	六反田遺跡	7F2西区	古墳～古代	窆穴住居跡9軒、窆立柱建物跡4棟、小漢状遺構群2群	第456集
平成23年度 (2011)	六反田遺跡	7F2西区	古墳	窆穴住居跡3軒	第456集
平成23年度 (2011)	六反田遺跡	7F2西区	縄文	窆穴住居跡7軒、窆穴遺構1基、窆立柱建物跡4棟、柱列1列、配石遺構5基、埋設土器遺構6基	第456集
平成22年度 (2010)	六反田遺跡	7G区	古墳～古代	溝跡3条、小漢状遺構群2群	第456集
平成24年度 (2012)	六反田遺跡	88区	古代	窆穴遺構1基、窆立柱建物跡1棟、溝跡5条	第456集
平成24年度 (2012)	六反田遺跡	88区	古墳～古代	窆穴住居跡1軒、柱列1列、小漢状遺構群3群	第456集
平成24年度 (2012)	六反田遺跡	88区	古代	窆穴住居跡1軒、窆立柱建物跡4棟、小漢状遺構群3群	第456集
平成25年度 (2013)	六反田遺跡	8C区	古墳～古代	窆穴住居跡2軒、窆立柱建物跡1棟、溝跡1条、小漢状遺構群3群	第456集
平成25年度 (2013)	六反田遺跡	8C区	古墳	窆穴住居跡3軒	第456集
平成23年度 (2011)	六反田遺跡	8D区	古墳～古代	小漢状遺構群3群	第456集
平成24年度 (2012)	六反田遺跡	9区	古代	溝跡3条	第456集
平成24年度 (2012)	六反田遺跡	9区	古墳～古代	溝跡3条、小漢状遺構群2群	第456集
平成17年度 (2005)	伊吉田遺跡	1区	古代	窆穴住居跡2軒	第413集
平成17年度 (2005)	伊吉田遺跡	1区	古墳～古代	窆立柱建物跡1棟、溝跡13条	第413集
平成18年度 (2006)	伊吉田遺跡	2A区	古墳～古代	溝跡1条	第413集
平成18年度 (2006)	伊吉田遺跡	2B区	古代	窆穴住居跡3軒、窆立柱建物跡1棟	第413集
平成18年度 (2006)	伊吉田遺跡	2B区	古墳～古代	溝跡8条	第413集
平成21年度 (2009)	伊吉田遺跡	3区	古代	窆穴遺構1基、溝跡5条、小漢状遺構群1群	第414集
平成21年度 (2009)	伊吉田遺跡	3区	古墳～古代	溝跡2条	第414集
平成21年度 (2009)	伊吉田遺跡	3区	古墳	窆穴住居跡2軒	第414集
平成23年度 (2011)	伊吉田遺跡	4A1・2区	中世	窆穴建物跡6棟	第456集
平成23年度 (2011)	伊吉田遺跡	4A1・2区	古代	窆穴住居跡1軒、溝跡7条、小漢状遺構群3群	第456集
平成23年度 (2011)	伊吉田遺跡	4A1・2区	古墳～古代	窆穴住居跡2軒、窆立柱建物跡2棟、溝跡10条、小漢状遺構群3群	第456集
平成23年度 (2011)	伊吉田遺跡	5A1区	古代	窆穴住居跡1軒、小漢状遺構群3群	第456集
平成23年度 (2011)	伊吉田遺跡	5A1区	古墳～古代	窆立柱建物跡1棟、溝跡1条、小漢状遺構群2群	第456集
平成23年度 (2011)	伊吉田遺跡	5A2区	古墳～古代	窆立柱建物跡1棟、溝跡23条、小漢状遺構群2群	第456集
平成23年度 (2011)	伊吉田遺跡	5A3区	古墳	窆穴住居跡1軒	第456集
平成23年度 (2011)	伊吉田遺跡	5A3区	-	-	第456集
平成23年度 (2011)	伊吉田遺跡	5B区	古代	窆穴住居跡1軒	第456集
平成23年度 (2011)	伊吉田遺跡	5B区	古墳～古代	窆穴住居跡4軒、窆穴遺構1基、溝跡9条、小漢状遺構群4群	第456集
平成23年度 (2011)	伊吉田遺跡	5B区	古墳	窆穴住居跡1軒、窆穴遺構1基	第456集
平成24年度 (2012)	伊吉田遺跡	6区	-	-	第456集
平成19年度 (2007)	春日社古墳	-	古墳	古墳1基	第390集
平成15年度 (2003)	王ノ塚古墳	-	古墳～古代	小漢状遺構群4群	第390集
平成15年度 (2003)	王ノ塚古墳	-	古墳	古墳1基	第390集
平成7年度 (1995)	大野田古墳群	1A～F区	古墳	古墳8基	第243集
平成7年度 (1995)	大野田古墳群	1A～F区	古墳～古代	溝跡2条、小漢状遺構群12群	第243集
平成8年度 (1996)	大野田古墳群	2A～1区	古墳～古代	小漢状遺構群32群	第243集
平成8年度 (1996)	大野田古墳群	2A～1区	古墳	古墳5基、窆穴住居跡1軒	第243集
平成9年度 (1997)	大野田古墳群	3A～0区	古代	水田跡	第243集
平成9年度 (1997)	大野田古墳群	3A～0区	古墳～古代	溝跡4条、小漢状遺構群30群	第243集
平成9年度 (1997)	大野田古墳群	3A～0区	古墳	古墳3基、木棺墓1基	第243集
平成10年度 (1998)	大野田古墳群	4A～C区	古墳～古代	溝跡3条、小漢状遺構群15群	第243集
平成12年度 (2000)	大野田古墳群	5A区	古墳～古代	壘列2列、小漢状遺構群1群	第390集

第3表 仙台市富沢駅周辺土地地区画整理事業関係遺跡報告書別調査成果一覧(3)

調査年度	遺構名	地区	時代	主な遺構	所収報告書
平成13年度 (2001)	大野田古墳群	6A区	-	-	第399集
平成13年度 (2001)	大野田古墳群	6B区	古墳～古代	護路1条	第399集
平成13年度 (2001)	大野田古墳群	6C区	古墳～古代	護路1条、小漢状遺構群2群	第399集
平成14年度 (2002)	大野田古墳群	7区	近世 古墳～古代	掘立柱礎物跡1棟 護路19条、小漢状遺構群3群 古墳1基、堀穴住居跡3軒	第399集
平成15年度 (2003)	大野田古墳群	8A区	古墳 古墳～古代	護路5条 護路3条、小漢状遺構群4群 古墳1基	第399集
平成15年度 (2003)	大野田古墳群	8B区	古墳～古代	小漢状遺構群2群	第399集
平成16年度 (2004)	大野田古墳群	9A区	古墳～古代 古墳	護路2条、小漢状遺構群5群 木棺墓2基	第399集
平成16年度 (2004)	大野田古墳群	9B区	古墳～古代	護路5条、小漢状遺構群2群	第399集
平成17年度 (2005)	大野田古墳群	10区	古墳	小漢状遺構群2群	第413集
平成18年度 (2006)	大野田古墳群	11A区	古墳～古代 古墳	護路10条、小漢状遺構群9群 古墳4基	第455集
平成18年度 (2006)	大野田古墳群	11B区	古代 古墳～古代	護路5条、小漢状遺構群5群 護路17条、小漢状遺構群21群	第455集
平成18年度 (2006)	大野田古墳群	11C区	古墳～古代 古墳	護路25条、小漢状遺構群2群 古墳1基	第455集
平成18年度 (2006)	大野田古墳群	11D区	古墳～古代	小漢状遺構群3群	第455集
平成19年度 (2007)	大野田古墳群	12A区	古墳～古代 古墳	坪戸跡1基、護路79条、小漢状遺構群33群 古墳7基、木棺墓1基、土塚墓3基、堀穴住居跡6軒	第455集
平成19年度 (2007)	大野田古墳群	12B区	古墳～古代	護路10条、小漢状遺構群4群	第455集
平成19年度 (2007)	大野田古墳群	12C区	古墳～古代	護路5条、小漢状遺構群3群	第455集
平成19年度 (2007)	大野田古墳群	12D区	古墳～古代 古墳	護路3条、小漢状遺構群4群 堀穴住居跡1軒	第455集
平成20年度 (2008)	大野田古墳群	13A区	古墳～古代 古墳	小漢状遺構群2群 堀穴住居跡1軒	第455集
平成20年度 (2008)	大野田古墳群	13B区	古墳～古代	護路3条、小漢状遺構群6群	第455集
平成20年度 (2008)	大野田古墳群	13C区	古墳～古代 古墳	護路3条 古墳1基	第455集
平成20年度 (2008)	大野田古墳群	13D区	古代 古墳～古代	護路5条 小漢状遺構群3群	第455集
平成20年度 (2008)	大野田古墳群	13E区	古代 古墳～古代	護路3条 小漢状遺構群11群	第455集
平成20年度 (2008)	大野田古墳群	13F区	古墳～古代	護路1条、小漢状遺構群4群	第455集
平成21年度 (2009)	大野田古墳群	14A区	古代 古墳～古代	護路1条 堀穴遺構1基、護路3条、小漢状遺構群4群	第455集
平成21年度 (2009)	大野田古墳群	14B区	古代 古墳～古代 古墳	護路12条、小漢状遺構群11群 護路22条、小漢状遺構群11群 堀穴住居跡1軒	第455集
平成21年度 (2009)	大野田古墳群	14C区	古代	護路5条	第455集
平成21年度 (2009)	大野田古墳群	14D区	古墳～古代 古墳	小漢状遺構群4群 堀穴住居跡1軒	第455集
平成21年度 (2009)	大野田古墳群	14E区	古墳～古代	護路1条、小漢状遺構群1群	第455集
平成22年度 (2010)	大野田古墳群	15A区	古墳～古代	掘立柱礎物跡4棟、護路20条、小漢状遺構群6群	第456集
平成22年度 (2010)	大野田古墳群	15B区	-	-	第456集
平成22年度 (2010)	大野田古墳群	15C区	古代 古墳～古代	官物埋藏区内護路1条 護路14条、小漢状遺構群1群	第456集
平成22年度 (2010)	大野田古墳群	15D区	古墳	古墳1基	第456集
平成23年度 (2011)	大野田古墳群	16A1区	古墳～古代	小漢状遺構群1群	第456集
平成24年度 (2012)	大野田古墳群	16A1西区	古代	小漢状遺構群3群	第456集
平成25年度 (2011)	大野田古墳群	16A2区	古墳～古代	小漢状遺構群3群	第456集
平成25年度 (2011)	大野田古墳群	16A3区	古墳～古代	小漢状遺構群3群	第456集

第4表 仙台市富沢駅周辺土地区画整理事業関係遺跡報告書別調査成果一覧(4)

調査年度	遺構名	地区	時代	主な遺構	所収報告書
平成25年度(2011)	大野田古墳群	16B区	古墳～古代 古墳	溝跡3条、小漢状遺構群2群 堀穴住居跡1軒	第456集
平成25年度(2011)	大野田古墳群	16C区	古墳～古代	小漢状遺構群2群	第456集
平成25年度(2011)	大野田古墳群	16D区	古代 古墳～古代	溝跡4条 小漢状遺構群1群	第456集
平成25年度(2011)	大野田古墳群	16E区	-	-	第456集
平成24年度(2012)	大野田古墳群	17A区	古墳～古代 古墳	堀穴住居跡1軒、溝跡4条、小漢状遺構群3群 堀穴住居跡1軒	第456集
平成24年度(2012)	大野田古墳群	17B区	古墳～古代	堀穴住居跡1軒 小漢状遺構群3群	第456集
平成11年度(1999)	下ノ内遺跡	1A区	古墳～古代	竪立柱建物跡1棟、溝跡1条、小漢状遺構群2群	第399集
平成11年度(1999)	下ノ内遺跡	1B区	古代	堀穴住居跡1軒	第399集
			古墳～古代	竪立柱建物跡2棟、溝跡2条、小漢状遺構群5群	
			古墳	堀穴住居跡2軒	
平成11年度(1999)	下ノ内遺跡	1C区	古墳	堀穴住居跡1軒、竪立柱建物跡1棟、埋設土器遺構5基	第399集
			古墳～古代	堀穴住居跡1軒 小漢状遺構群4群、水田跡	
平成11年度(1999)	下ノ内遺跡	1D区	-	-	第399集
平成12年度(2000)	下ノ内遺跡	2A区	-	-	第399集
平成12年度(2000)	下ノ内遺跡	2B区	-	-	第399集
平成12年度(2000)	下ノ内遺跡	2C区	古墳～古代	堀穴住居跡4軒、溝跡3条、小漢状遺構群4群	第399集
			縄文	堀穴住居跡2軒、埋設土器遺構4基	
平成13年度(2001)	下ノ内遺跡	3A区	古代 古墳～古代	堀穴住居跡1軒 小漢状遺構群2群	第399集
平成14年度(2002)	下ノ内遺跡	4A区	古代	堀穴住居跡4軒	第399集
			古墳	堀穴住居跡1軒	
			縄文	埋設土器遺構1基	
平成14年度(2002)	下ノ内遺跡	4B区	古代	堀穴住居跡1軒	第399集
平成15年度(2003)	下ノ内遺跡	5A・8区	古墳～古代	溝跡3条	第399集
平成17年度(2005)	下ノ内遺跡	6区	古代	堀穴住居跡2軒	第413集
			古墳～古代	溝跡10条、小漢状遺構群3群	
			古墳	堀穴住居跡1軒	
平成18年度(2006)	下ノ内遺跡	7A区	古代	堀穴住居跡1軒	第413集
			古墳～古代	竪立柱建物跡1棟、溝跡15条、小漢状遺構群6群	
平成18年度(2006)	下ノ内遺跡	7B区	古墳	堀穴住居跡1軒	第413集
平成19年度(2007)	下ノ内遺跡	8区	古代	堀穴住居跡2基、溝跡1条	第414・455集
			古墳～古代	堀穴住居跡5基、竪立柱建物跡1棟、柱列1列、溝跡13条、小漢状遺構群22群	
			古墳	堀穴住居跡4軒、溝跡8条、小漢状遺構群6群	
			縄文	埋設土器遺構2基、竪路2基	
平成20年度(2008)	下ノ内遺跡	8区	縄文	堀穴住居跡7軒、埋設土器遺構3基	第414・455集
平成20年度(2008)	下ノ内遺跡	9区	古墳～古代	堀穴住居跡5基、溝跡16条	第455集
			縄文	堀穴住居跡1軒	
平成21年度(2009)	下ノ内遺跡	10区	古墳～古代	小漢状遺構群1群	第455集
平成8年度(1996)	王ノ塚遺跡	1区、1～14区	中世	道路跡2条	第243集
			古墳～古代	溝跡3条、小漢状遺構群6群	
			古墳	古墳1基	
平成20年度(2008)	鹿野敷遺跡	1区	-	-	第414集
平成10年度(1998)	袋前遺跡	1A区	古墳～古代	竪立柱建物跡1棟、溝跡5条	第399集
平成10年度(1998)	袋前遺跡	1B区	古墳～古代	小漢状遺構群2群	第399集
平成13年度(2001)	袋前遺跡	2A区	古墳～古代	溝跡1条、小漢状遺構群2群	第399集
平成13年度(2001)	袋前遺跡	2B区	古墳～古代	溝跡1条、小漢状遺構群3群	第399集
平成15年度(2003)	袋前遺跡	3区	古墳～古代 古墳	溝跡1条、小漢状遺構群3群 堀穴住居跡1軒	第399集
平成16年度(2004)	袋前遺跡	4A区	古墳～古代	溝跡1条、小漢状遺構群1群	第399集
平成16年度(2004)	袋前遺跡	4B区	古墳～古代	溝跡1条、小漢状遺構群1群	第399集

第5表 仙台市富沢駅周辺土地区画整理事業関係遺跡報告書別調査成果一覧(5)

調査年度	遺跡名	地区	時代	主な遺構	所収報告書
平成19年度 (2007)	袋前遺跡	5区	古代	護路3条	第414集
平成22年度 (2010)	袋前遺跡	6区	古墳～古代	小漢状遺構群1群	第436集
平成19年度 (1998)	伊吉田B遺跡	1A区	古代	水田跡	第390集
平成19年度 (1998)	伊吉田B遺跡	1B区	古墳～古代	護路1条、小漢状遺構群2群	第390集
平成19年度 (1998)	伊吉田B遺跡	1B区	古墳～古代	小漢状遺構群2群	第390集
平成14年度 (2002)	伊吉田B遺跡	2A区	-	-	第390集
平成14年度 (2002)	伊吉田B遺跡	2B区	古墳～古代	小漢状遺構群1群	第390集
平成14年度 (2002)	伊吉田B遺跡	2C区	古墳～古代	護路1条	第390集
平成16年度 (2004)	伊吉田B遺跡	3区	古墳～古代	小漢状遺構群2群	第390集
平成21年度 (2009)	伊吉田B遺跡	4A区	古代	小漢状遺構群1群、水田跡	第414集
平成21年度 (2009)	伊吉田B遺跡	4A区	古墳～古代	竪立柱建物跡1棟、護路2条	第414集
平成21年度 (2009)	伊吉田B遺跡	4A区	古代	竪立柱建物跡1棟	第414集
平成21年度 (2009)	伊吉田B遺跡	4A区	古墳～古代	小漢状遺構群3群	第414集
平成21年度 (2009)	伊吉田B遺跡	4A区	-	-	第414集
平成21年度 (2009)	伊吉田B遺跡	4B区	古代	小漢状遺構群2群	第414集
平成21年度 (2009)	伊吉田B遺跡	4B区	古墳～古代	護路2条、小漢状遺構群4群、水田跡	第414集
平成21年度 (2009)	伊吉田B遺跡	4B区	古墳～古代	護路1条	第414集
平成21年度 (2009)	伊吉田B遺跡	4C区	古代	小漢状遺構群3群	第414集
平成21年度 (2009)	伊吉田B遺跡	4D区	古代	小漢状遺構群2群	第414集
平成22年度 (2010)	伊吉田B遺跡	5区	古墳～古代	護路5条、小漢状遺構群1群	第436集
平成13年度 (2001)	袋前遺跡 (大野田官街遺跡)	2A区	古代	竪立柱建物跡1棟	第390集
平成13年度 (2001)	袋前遺跡 (大野田官街遺跡)	2B区	古代	竪立柱建物跡1棟	第390集
平成15年度 (2003)	袋前遺跡 (大野田官街遺跡)	3区	古代	竪立柱建物跡1棟	第390集
平成17年度 (2005)	六反田遺跡 (大野田官街遺跡)	2B区	古代	官街開通区西護路1条	第390集
平成20年度 (2008)	六反田遺跡 (大野田官街遺跡)	5C区	古代	竪立柱建物跡1棟、官街開通区西護路1条	第390集
平成21年度 (2009)	六反田遺跡 (大野田官街遺跡)	6A区	古代	官街開通区西護路1条	第390集
平成12年度 (2000)	大野田古墳群 (大野田官街遺跡)	5A区	古代	官街開通区西護路1条	第390集
平成15年度 (2003)	大野田古墳群 (大野田官街遺跡)	8A区	古代	官街開通区西護路1条	第390集
平成16年度 (2004)	大野田古墳群 (大野田官街遺跡)	9A区	古代	竪立柱建物跡1棟	第390集
平成18年度 (2006)	大野田古墳群 (大野田官街遺跡)	11D区	古代	官街開通区西護路1条	第390集
平成20年度 (2008)	大野田古墳群 (大野田官街遺跡)	13D区	古代	竪立柱建物跡1棟、官街開通区西護路1条	第390集
平成20年度 (2008)	大野田古墳群 (大野田官街遺跡)	13C区	古代	官街開通区西護路1条	第390集
平成21年度 (2009)	大野田古墳群 (大野田官街遺跡)	14B区	古代	官街開通区西護路1条	第390集

※基本的に護路や小漢状遺構群など複数地区にまたがる遺構については、各地区でそれぞれ数えた。

※古墳は、複数地区にまたがる場合、主要部分が位置する地区のものとして扱った。

※竪立柱建物跡と竪立柱建物跡については、建て替えや転築を行っているものも1棟として数えた。

※大野田官街遺跡に関連する竪立柱建物跡と区画護路は、該当する遺跡から除外して大野田官街遺跡の遺構として扱った。

## 引用・参考文献

- 青森県史編さん古代部会編 2008 『青森県史 資料編 古代2 出土文字資料』 青森県
- 岩手考古学第29回研究大会 2002 発表要旨 岩手県を取り巻く縄文文化
- 大田区立郷土博物館 2001 『ものづくり考古学—原始・古代の人々の知恵と工夫—』 東京美術
- 小田幸子 1980 『ガラス工』『新版考古学講座』第9巻 雄山閣
- 縄文セミナーの会編 2002 『後期前半の再検討』第15回縄文セミナー
- 鈴木恵介・堀木真美子 2015 『古墳時代後期ガラス小玉の製作技法—矢作川左岸地域3遺跡の分析から—』『研究紀要』第16号 愛知県埋蔵文化財センター
- 仙台市教育委員会 1981 『六反田遺跡発掘調査報告書』仙台市文化財調査報告書第34集  
1982 『年報3 昭和56年度』仙台市文化財調査報告書第41集  
1987a 『六反田遺跡発掘調査報告書』仙台市文化財調査報告書第102集  
1987b 『春日社古墳・鳥居塚古墳発掘調査報告書』仙台市文化財調査報告書第108集  
1990 『下ノ内遺跡—仙台市高速鉄道関連遺跡発掘調査報告書Ⅱ—』仙台市文化財調査報告書第136集  
1995a 『伊古田遺跡—仙台市高速鉄道関連遺跡発掘調査報告書Ⅲ—』仙台市文化財調査報告書第193集  
1995b 『六反田遺跡—仙台市高速鉄道関連遺跡発掘調査報告書Ⅳ—』仙台市文化財調査報告書第199集  
1996 『下ノ内浦・山口遺跡—仙台市高速鉄道関連遺跡発掘調査報告書Ⅴ—』仙台市文化財調査報告書第207集  
1998 『原遺跡—第1・2次発掘調査報告書—』仙台市文化財調査報告書第229集  
2000a 『大野田古墳群・王ノ墳遺跡・六反田遺跡』仙台市文化財調査報告書第243集  
2000b 『王ノ墳遺跡—都市計画道路「川内・柳生線」関連遺跡—発掘調査報告書Ⅰ』仙台市文化財調査報告書第249集  
2002 『原遺跡—第4次発掘調査報告書—』仙台市文化財調査報告書第257集  
2004 『元袋遺跡—都市計画道路「川内・柳生線」関連遺跡—発掘調査報告書Ⅱ』仙台市文化財調査報告書第272集  
2005 『大野田古墳群—第8次発掘調査報告書—』仙台市文化財調査報告書第290集  
2009 『大野田古墳群—第14次発掘調査報告書—』仙台市文化財調査報告書第339集  
2011a 『下ノ内遺跡・春日社古墳・大野田官衙遺跡ほか』仙台市文化財調査報告書第390集  
2011b 『郡山遺跡 31』平成22年度発掘調査概報 仙台市文化財調査報告書第394集  
2013a 『伊古田遺跡・大野田古墳群・下ノ内遺跡』仙台市文化財調査報告書第413集  
2013b 『大野田遺跡・元袋遺跡・伊古田遺跡ほか』仙台市文化財調査報告書第414集  
2014 『大野田遺跡—都市計画道路「川内・柳生線」関連遺跡—発掘調査報告書Ⅲ』仙台市文化財調査報告書第424集  
2017 『元袋遺跡・六反田遺跡・大野田古墳群ほか』仙台市文化財調査報告書第455集
- 仙台市史編さん委員会編 1995 『仙台市史 特別編2 考古資料』仙台市
- 仙台市史編さん委員会編 1999 『仙台市史 通史編1 原始』仙台市
- 辻 秀人 2007 『古代東北・北海道におけるモノ・ヒト・文化交流の研究(課題番号:15320111)』平成15年度～18年度科学研究費補助金(基礎研究B)研究成果報告書 東北学院大学文学部
- 奈良文化財研究所飛鳥資料館 2016 『飛鳥寺跡出土遺物の研究 ガラス玉類の考古学的研究』飛鳥資料館研究図録第19冊
- 藤田 等 1994 『弥生時代ガラスの研究—考古学的方法—』名著出版
- 宮崎町教育委員会 1996 『米泉館跡』宮崎町文化財調査報告書第5集
- 山形市教育委員会 1991 『菅沢2号墳』山形市教育委員会

## 報告書抄録

ふりがな	もとぶくろいせき・ろくたんだいせき・いこだいせきほか							
書名	元袋遺跡・六反田遺跡・伊古田遺跡ほか							
副書名	仙台市宮沢駅周辺土地面整理事業関係遺跡発掘調査報告書VI							
シリーズ名	仙台市文化財調査報告書							
シリーズ番号	第456集							
編著者名	主濱光朗・荒井 格・水野一夫・結城慎一・工藤信一郎・渡部弘美・湯原勝美・千田幸生・上田優喜							
編集機関	仙台市教育委員会							
所在地	〒980-0011 宮城県仙台市青葉区上杉一丁目5番12号 上杉分庁舎 TEL.022-214-8899							
発行年月日	2017年(平成29年)3月24日							
所収遺跡名	所在地	コード		北 緯	東 経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
元袋遺跡	宮城県仙台市太白区 大野田字元袋	04100	01179	38° 13' 7"	140° 52' 33"	2010.07.02 ～ 2010.08.18	約195㎡	区画整理 事業 市道建設
六反田遺跡	宮城県仙台市太白区 大野田字反田・竹松・ 袋前・元袋・六反田	04100	01189	38° 12' 53"	140° 52' 16"	2009.03.01 ～ ～	約9,440㎡	区画整理 事業 市道建設
				38° 13' 6"	140° 52' 38"	2013.09.30		
伊古田遺跡	宮城県仙台市太白区 大野田字千刈田・塚田	04100	01191	38° 12' 50"	140° 52' 15"	2010.11.08 ～ ～	約3,145㎡	区画整理 事業 市道建設
				38° 12' 53"	140° 52' 19"	2012.08.23		
大野田古墳群	宮城県仙台市太白区 大野田字王ノ樋・千刈 田・竹松・宮・宮藪	04100	01361	38° 12' 47"	140° 52' 19"	2010.04.26 ～ ～	約3,585㎡	区画整理 事業 市道建設
				38° 12' 57"	140° 52' 37"	2012.10.26		
袋前遺跡	宮城県仙台市太白区 大野田字袋前	04100	01439	38° 12' 57"	140° 52' 37"	2010.10.20 ～ ～	約48㎡	区画整理 事業 市道建設
				2010.11.08				
伊古田B遺跡	宮城県仙台市太白区 大野田字皿屋敷	04100	01480	38° 12' 40"	140° 52' 26"	2010.08.18 ～ ～	約142㎡	区画整理 事業 市道建設
				38° 12' 41"	140° 52' 27"	2010.09.08		
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
元袋遺跡	集落跡・ 畑跡	古代	塹穴住居跡・竪立建物跡・井戸跡・ 土坑・溝跡・小溝状遺構群・ピット		弥生土器・土師器・須恵器・ 土製品			
六反田遺跡	集落跡・ 畑跡・ 墓跡	縄文時代・ 古墳時代 ～古代	古墳・塹穴住居跡・竪立建物跡・ 木棺墓・土坑・溝跡・小溝状遺構 群・ピット・石組遺構・集石遺構・ 埋設土器遺構		縄文土器・弥生土器・土師器・ 須恵器・赤埴土器・灰軸陶 器・瓦質土器・土製品・石器・ 石製品・金属製品・ガラス 製品		7F1南区から袋状掘り込 みを伴うSK9木棺墓を検 出した。木棺墓内からは 銅鏡、管玉、ガラス小玉 が出土し、袋状掘り込み 内から6世紀中葉頃の土 師器坏と壺が出土した。	

伊古田遺跡	集落跡 ・ 畑跡	古墳時代 ～古代 ・ 中世	堅穴住居跡・堅穴建物跡・掘立柱 建物跡・土坑・溝跡・小溝状遺構群・ ピット	縄文土器・弥生土器・土師器・ 須恵器・赤焼土器・灰軸陶器・ 陶器・土製品・石器・石製品・ 金属製品	中世の堅穴建物跡を6棟 検出した。
大野田古墳群	古墳群 ・ 集落跡 ・ 畑跡	古墳時代 ～古代	古墳・堅穴住居跡・掘立柱建物跡・ 土坑・溝跡・小溝状遺構群・ピット	縄文土器・弥生土器・埴輪・ 土師器・須恵器・赤焼土器・ 青白磁・陶器・土製品・石器・ 石製品	15A区SK80・83土坑から 「方」と墨書された土器 が出土した。
袋前遺跡	包蔵地 ・ 畑跡	古墳時代 ～古代	土坑・小溝状遺構群・ピット	土師器・須恵器	
伊古田B遺跡	包蔵地 ・ 畑跡	古墳時代 ～古代	溝跡・小溝状遺構群・ピット	土師器・須恵器	
要 約	<p>元袋遺跡</p> <p>IV区V層から性格不明遺構を検出した。南北方向に伸びる不整形な溝跡で、約1.5m間隔で平行して検出し、底面の凹凸が著しく、人為的に埋め戻されたものと考えられ、畑作関連の遺構と推測される。</p> <p>六反田遺跡</p> <p>7F2西区のⅧa～Ⅷd層にかけて縄文時代後期初頭～前葉にかけての遺物包含層や遺構を検出した。</p> <p>8C区から古墳時代、4世紀頃の区画溝と考えられる、SD58溝跡を検出した。</p> <p>7F1南区と7F2東区から五反田古墳の周溝を検出した。周溝内から大野田古墳群と同時期の円筒埴輪が出土したことから、時期は5世紀後半頃と考えられる。</p> <p>7F1南区と7F2東区から木棺墓を3基検出した。SK9木棺墓からは副葬品として銅鏡、管玉、ガラス小玉が出土したほか、袋状掘り込み内から6世紀中葉頃の土器が出土した。</p> <p>7G区検出のSD1溝跡は大野田官街遺跡の西側区画溝である。</p> <p>7F1北区のSI45堅穴住居跡から「取」の字が記された墨書土器が出土した。時期は9世紀後半頃と考えられる。</p> <p>伊古田遺跡</p> <p>4A2区から中世の堅穴建物跡6棟を検出した。</p> <p>大野田古墳群</p> <p>16C1・2区から大野田1・2号墳の周溝を検出し、周溝内から5世紀後半頃の円筒埴輪や朝顔形埴輪が出土した。</p> <p>15C2区検出のSD30溝跡は大野田官街遺跡の南側区画溝である。</p> <p>15A区SK80・83土坑から「方」の字が記された墨書土器が出土した。時期は9世紀後半頃と考えられる。</p> <p>袋前遺跡</p> <p>V層上面から古墳時代～古代と考えられる土坑や小溝状遺構群を検出した。</p> <p>伊古田B遺跡</p> <p>IVa・IVb層上面から古代と考えられる溝跡や小溝状遺構群を検出した。</p>				

---

仙台市文化財調査報告書第456集

**元袋遺跡・六反田遺跡・伊古田遺跡ほか**

仙台市富沢駅周辺土地地区画整理事業関係遺跡  
発掘調査報告書VI

〔第2分冊〕

2017年3月

発行 **仙台市教育委員会**  
宮城県仙台市青葉区上杉一丁目5番12号 上杉分庁舎  
文化財課 022(214)8899

印刷 **株式会社ライフ**  
千葉県成田市東和田595

TEL 0476(24)1564

---